

Annual Report 2009・2010

年 報 2009年(平成21年)度
2010年(平成22年)度



JA広島総合病院

JA. HIROSHIMA General Hospital

Contents

| | |
|----------------------|---|
| 巻頭言 ——— 病院長の言葉 | 4 |
| ロゴマーク制定について | 5 |

巻頭特集

| | |
|------------------------------------|---|
| 地域住民の要請と期待に応じて 地域救命救急センターの開設 | 6 |
|------------------------------------|---|

トピックス

| | |
|---------------------------------------|----|
| 患者の行動変容支援の継続性を重視して構築した糖尿病病診連携パス | 10 |
| 周術期リハビリテーションサービスが充実! | 13 |
| 骨粗鬆性椎体骨折に対して経皮的後弯矯正術が保険診療になりました | 16 |
| 市民公開講座の開催 | 18 |

病院の概要

| | |
|--------------------|----|
| 病院概況 | 22 |
| JA広島総合病院のあゆみ | 23 |

活動報告

| | |
|----------------|----|
| 呼吸器内科 | 26 |
| 循環器内科 | 27 |
| 腎臓内科 | 28 |
| 糖尿病・代謝内科 | 29 |
| 消化器内科 | 30 |
| 小児科 | 31 |
| 外科 | 32 |
| 乳腺外科 | 33 |
| 整形外科 | 34 |
| 脳神経外科 | 35 |
| 呼吸器外科 | 36 |
| 心臓・血管外科 | 37 |
| 皮膚科 | 38 |
| 泌尿器科 | 39 |
| 産婦人科 | 40 |
| 眼科 | 41 |
| 耳鼻咽喉科 | 42 |
| 放射線治療科 | 43 |
| 画像診断部 | 44 |
| 麻酔科 | 45 |
| 歯科口腔外科 | 46 |
| 救急・集中治療科 | 47 |
| 緩和ケア科 | 48 |
| 健康管理センター | 49 |

| | |
|----------------------|----|
| 病理研究検査科 | 50 |
| 看護部 | 51 |
| 外来 | 52 |
| ICU・西3階病棟 | 53 |
| 西4階病棟 | 54 |
| 西5階病棟 | 55 |
| 西6階病棟 | 56 |
| 西7階病棟 | 57 |
| 西8階病棟 | 58 |
| 東3階病棟 | 59 |
| 東4階病棟 | 60 |
| 東5階病棟 | 61 |
| 東6階病棟 | 62 |
| 東7階病棟 | 63 |
| 東8階病棟 | 64 |
| 手術室 | 65 |
| 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所 | 66 |
| 薬剤部 | 67 |
| 臨床研究検査科 | 68 |
| 中央放射線科 | 69 |
| 臨床工学科 | 70 |
| リハビリテーション科 | 71 |
| 栄養科 | 72 |
| 診療情報管理科 | 73 |
| 医療安全管理室 | 74 |
| 地域医療連携室 | 75 |
| PEGチーム | 76 |
| NST(栄養サポートチーム) | 77 |

実績

| | |
|-----------|-----|
| 著書・論文 | 80 |
| 学会発表 | 86 |
| 学会での座長 | 108 |
| 研究会講演・発表 | 111 |
| 研究会座長 | 127 |
| 地域活動 | 131 |
| その他 | 138 |
| 合同カンファレンス | 143 |

資料

| | |
|------|-----|
| 統計資料 | 148 |
|------|-----|

Annual Report 2009・2010

年 報 2009年(平成21年)度
2010年(平成22年)度



新しい業績集発刊に際して

当院では850名以上の正職員に委託職員を含めると約1,000名が働き、職種も30種近くになります。これらの職員一人ひとりの力でJA広島総合病院は運営され、機能しています。働くためには人それぞれの理由、動機がありますが、働きたいという本能に突き動かされ、それが人の役に立ち、評価されることに喜びを感じることは人すべてに共通していると思います。人に評価され、認めてもらうことは生きるために非常に根源的なことです。

病院の業績集は歴史的に論文、学会発表に偏っている傾向にありますが、それは恐らく昔からの大学医局の業績主義に端を発し、業績発信の方法も限られたものだったからでしょう。今や時代は大きく変わり、病院は医師以外の人たちの働きが大きくなり、地域や行政への医学的貢献の重要性が増し、メディアの進歩も多彩になり、学術誌や学会を中心とした業績評価だけでは極めて不十分になっています。

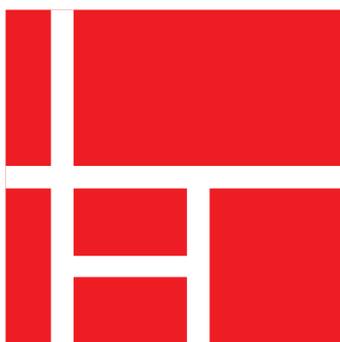
当院業績集のリニューアルは以上述べた観点から見直しを委員の方々をお願いしましたが、医師の派遣を頂いている大学医学部、患者さんを介して病診連携を行っている医療施設の方々、この病院を利用頂いている地域住民の方々、そして行政の方々にも、当院が行っている医療、研究、活動を幅広く知って頂くことを最終目標としております。

この小誌が当院理解の一助となって皆様のJA広島総合病院への関心、愛情がより深まり、今まで以上のご指導、ご鞭撻が頂けることを心から念願しております。

2012年3月

広島県厚生農業協同組合連合会
広島総合病院

病院長 福田 康彦



JA 広島総合病院のロゴマーク制定について

当院は創立 64 年を迎えようとしていますが、現在の JA 広島総合病院の名称になったのは西病棟の新築と 570 床への増床が行われた昭和 54 年であり、その後 30 年間農協の緑の JA マークを転用した「JA 広島総合病院」のロゴマークを使用してまいりました。しかし、当院は今まで築いた土台の上に新たな医療の展開を求められています。これからは厚生連、病院、医療者中心の病院内完結型医療ではなく、市民と共に地域医療を守る役割が当院の重要な役割になります。そのためには職員の大きな意識改革と、開かれた病院を市民にアピールすることが非常に大切です。

新しいロゴマークは、4 社のコンペティションにより提案された中から半年をかけて管理委員会のメンバーが慎重に選びました。世界に誇る厳島神社をシンボルにすることにより、この地域の人たちと当院が一つになることを願っています。朱色と白の鮮やかなコンセプトカラーを選びましたが、朱色はわれわれの医療への熱い情熱を表し、白は当院が市民に広く開かれていることを意味しています。このロゴマークはわれわれの市民へのメッセージです。末長く愛されるロゴマークになることを願っています。

(病院長 福田 康彦)

コンセプト

広く広島県西部の救急医療、総合医療を担い、市民への啓蒙に意欲的姿勢で取り組む総合病院として知られる JA 広島総合病院。ロゴマークをデザインするにあたっては、この広島において築かれてきた強いリーダーシップと市民の信頼感を形にしたいと考えました。そこで、ロゴマークのデザインベースとして、白い十字形と模式化した鳥居を用いました。十字は、医療施設であることをわかりやすく一般に示し、また鳥居は全国的に知られる厳島神社のイメージを取り込むことで、広島という地域性を示します。これらを極めて直線的に、鮮烈なカラーを背景としてレイアウトし、組織的でありながら情熱的である総合医療の理想的在り方を表現しました。安定感のあるデザインは、見る人に確固たる信頼を感じさせます。



十字(左)と鳥居(右)を表現した幾何学模様。

幾何学模様を用いて、十字と鳥居を表現し、また、模様の中にはユニークな形で、病院名「JAHG」の頭文字(JA. HIROSHIMA General Hospital)が含まれています。

地域住民の要請と期待に応えて 地域救命救急センターの開設

2010年9月に着工したJA広島総合病院地域救命救急センター増築工事が無事終了し、2011年3月26日に議会、行政、医師会などからの多くの来賓出席のもと竣工式が行われ、4月1日より運用を開始している。



竣工式テープカット

【 設立背景と経緯 】

JA広島総合病院は、廿日市市、大竹市、広島市佐伯区の人口30万人が居住する広島県西部地域唯一の急性期総合病院であり、二次救急医療施設として救急医療を行ってきた。しかし、実態は三次救急医療を担ってきた現実があり、100例を超える心肺停止患者をはじめ、重傷の脳・心肺疾患などの救急医療を行ってきた。しかし、地元の廿日市市消防管轄だけでも三次救急患者の27%は広島市に搬送せざるを得ない状況にあり、当院での三次救急受け入れ能力の拡張が求められていた。また、廿日市市5,000人の住民アンケートの結果でも、すべての要望の中で救急医療の充実が圧倒的に第1位を占め、地元の行政、市民の救急センター設立への熱意が大きく、救急医療をテーマにした当院の市民公開講座には800人以上の市民が集まり、その関心の高さが伺われた。



地域救命救急センター全景

2010年5月、政府は二次医療圏医療整備費として「地域医療再生基金」3,100億円規模の予算案を計上し、広島県にも当初100億円の割当てが見込まれ、「広島県地域医療再生計画」の素案が策定された。その中で広島都市圏救急医療体制の充実が取り上げられていたので、望月前佐伯地区医師会会長からの働きかけもあって、救急医療と医療情報ネットワークを結びつけた広島西医療圏の救急医療提案書を県に提出した。この提案には県も好意的であったが、その後政府予算の大幅削減によって、われわれの提案は対象からはずれることになった。しかし、広島県からは三次救急補助金を利用した「地域救命救急センター」として当院を認可する方向で努力いただいた。すなわち、通常の救命救急センターは人口100万人に1施設の基準からみて広島県で認可の余地がないため、2005年に制定された19床以下の地域救命救急センター（従来の新型救命救急センターを改称）として認可されることとなった。

JA広島総合病院三次救急実績(2009年度)

JA広島総合病院 年間重篤患者数(2009年4月~2010年3月)

| 疾病名 | 患者数(人) | 退院・転院(人) | 死亡(人) |
|--------------------|--------|----------|-------|
| 病院外心停止 | 110 | 3 | 107 |
| 重症急性冠症候群 | 103 | 98 | 5 |
| 重症大動脈疾患 | 17 | 12 | 5 |
| 重症脳血管障害 | 62 | 54 | 8 |
| 重症外傷 | 21 | 14 | 7 |
| 重症熱傷 | 3 | 3 | 0 |
| 重症急性中毒 | 33 | 33 | 0 |
| 重症消化管出血 | 13 | 13 | 0 |
| 重症敗血症 | 14 | 9 | 5 |
| 重症体温異常 | 7 | 7 | 0 |
| 特殊感染症 | 2 | 1 | 1 |
| 重症呼吸不全 | 52 | 37 | 15 |
| 重症急性心不全 | 22 | 21 | 1 |
| 重症出血性ショック | 3 | 3 | 0 |
| 重症意識障害 | 7 | 7 | 0 |
| 重篤な肝不全 重篤な急性腎不全 | 5 | 4 | 1 |
| その他の重症病態 | 7 | 7 | 0 |
| 合計 | 495 | 338 | 157 |

施設概要

既存施設に接する約90坪の土地に3階建て、延床面積940㎡規模のセンターを増築した。1階は4部屋の診察室と2部屋の処置室を設置しているが、開業医の先生方が利用できる診察室も用意した。特記すべきは、CTと一般撮影装置をこのフロアに設置した点で、撮影のための動線が著しく短縮した。2階には8床のHCU病床を新設し、従来のICU11床を加えて19床を準備した。特にHCU新設により急患が直接病棟へ入院する頻度が減少し、病棟業務改善につながっている。3階は全職種の職員が利用できる12室の当直室(待機室)を設け、開業医、開放病床利用医のための部屋も用意した。また、この階の一角にはITを駆使した“地域医療調整ホール”を設けている。ここでは医療機関と当センター間で画像を含めてインターネットを利用したネットワークにより情報交換を行い、まもなく救急車からも画像、心電図の送信が可能になる予定である。へき地医療への活用も期待している。さらに電子カルテやネットワーク画像を大画面で表示できるため、カンファレンス室機能が大幅に向上した。



調整ホール

総工費は6億円で、県、廿日市市、大竹市から総計3億円の補助を受けた。また、佐伯地区医師会から寄付された1,000万円を使って、前述した開業医の先生方が救急

医療に参加していただくことを想定した特別仕様の外来診察室と待機室を設けた。

当センターの特徴をまとめると、1) 救急外来内のCT設置による検査機能の向上、2) 医療機関、消防とのネットワーク構築による救急医療のIT化、3) 開業医の救急医療参画への受け皿的機能、4) 全職種待機室(当直室)のセンター内集約による救急医療への全職員参加意識の向上、などが挙げられる。

【 体 制 】

救命救急センター所属救命救急医の確保はセンター設立に向けて最大の課題であったが、4月時点で2名から5名へ増員できた。これにより休日・夜間の医師勤務は、救急センター1名(ホットライン対応)、外科系1名、内科系1名、研修医2名の計5名の体制を敷くことが可能となった。

看護師は現在夜勤5名体制であるが、数名の増員を計画している。その他放射線技師、検査技師、薬剤師、臨床検査技師それぞれ1名の夜勤体制を取り、待機は各科医師、手術室看護師、内視鏡科看護師であるが、放射線科医、整形外科医、救命救急医はネットワークにより自宅で救急患者の画像診断ができるようインフラを整備した。また、昼間勤務として専属のME1名、医療秘書1名を配属している。

当院は依然として二次救急対応施設でもあるため、昨年度の2,400件の救急車受け入れ件数から、今年度は3,000件を目標にしている。さらに今後ER的機能付加も考慮に入れている。すでに佐伯地区医師会は成人内科疾患を対象とした休日・夜間診療を実施しているので、当面外科的一次救急対応を医師会の協力のもとで行うべく現在協議に入っている。

原則として救命救急センターから2時間以上の搬送時間を要する二次医療圏に地域救命救急センターの設

置が認められることになっているが、現実問題としてそのような地域で救急センター機能を持つことができる施設は少なく、当センターは全国で4番目の認可である。当院は広島市からの距離は比較的近いものの、人口が多いために広島市に多くを依存することはできない。また、心肺停止や脳硬塞の治療は分単位での緊急性が求められる時代でもあり、住民が身近な救命救急センター設置を強く希望したことが、廿日市市の地域救命救急センター設置に行政が理解を示したと考えられる。今後は、地域やへき地の医療者が、それぞれの地域の実情に即し、機能を集約した小型の救命救急センターの設置を提案する必要があるだろう。それには、今回の設立経験から感じたことであるが、人員配置や施設基準を中心としたかなりの規制緩和を引き出すことが必要であり、医師会としても尽力すべき重要な案件と考えている。

患者の行動変容支援の継続性を重視して構築した 糖尿病病診連携パス

糖尿病・代謝内科

我が国の糖尿病患者数は増加の一途を辿り、2007年の厚生労働省実態調査では820万人は糖尿病の疑いが強いとされている。糖尿病患者の病態は様々であり、非専門医にとって経口血糖降下薬やインスリンによる治療は他疾患の薬物療法より難しいとの声をよく聞く。また、治療の根幹である食事・運動療法の実践にはライフスタイル改善を目的とした頻回な食事・療養の個別指導が重要であり、合併症の発症・進展予防のチェックも欠かせない。これら糖尿病特有の問題点があるがゆえ、熱心な糖尿病患者ほど糖尿病専門医や充実した診療機器の存在する地域中核病院に集中する傾向がある。約28万人の医療圏人口を有する当院は地域唯一の急性期中核病院であり、3人の糖尿病専門医で2千人を超える定期外来通院患者の診療を行う傍ら、手術などの急性期治療で入院してくる糖尿病合併患者の血糖管理を一手に引き受けておりパンク寸前の状況である。一方、近隣診療所の医師や患者にとっては、当院への紹介を要する病状であっても「紹介した患者が戻って来ない」「診療時間が長い」などの理由でこの足を踏むケースが少なくない。これらの問題点は、糖尿病治療に難渋する地域住民や医療者にとって不幸であり、地域全体でより多くの糖尿病患者のケアを向上させる体制構築のため病診連携パスの運用が急務であると考え、2008年8月に運用を開始した。

当院を核とした病診連携パスの特徴は、①初診診療を円滑に行うための事前情報収集(要点の記載に絞った簡便な情報提供書や患者生活情報の収集を目的とした専用問診票・食事記録の作成)、②紹介目的の明確化(教育・治療方針の決定・合併症評価)、③診療の役割分担の明確化(一般診療所で実施困難な栄養・療養相談、薬物治療内容の妥当性や合併症の評価、フットケアなどを当院が担う)、④これらの目的達成を持続すべく、当院への受診を6ヶ月ごと実施するリサイクル型とする(図1)、という点である。その上で、当院作成

連携パスで最も重要と位置づけたのは、診療所と当院との療養指導の連続性である。すなわち当院来院時に当院コメディカルと面談した患者自身が主体的に決定した行動目標を明確にし(図2)、それらが当院受診後も継続して実践できているか否かを診療所で評価可能にすることである。糖尿病は検査の疾患とよく言われ、連携パスでも検査計画が重要視されがちであるが、治療の成否を最も左右するのは日常生活の適正化であり、病診連携においても当院糖尿病医療チームでその点に特に力を入れている。図3には2010年11月時点での連携パス運用状況を示したが、2010年度末の時点で119名の連携パス運用目的の患者紹介をいただいている。社会状況を反映して教育入院は3割に満たないが、図4の治療成績で示すように運用開始1年以上経過しても体重増加を認めることなく約7割がHbA1c7%未満を維持することができており、入院をしなくても連携開始後の良い療養行動の継続に貢献できていると思われる。

一方、地域全体の糖尿病診療レベル向上を目的とした勉強会である「広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会」を連携パス開始と同時に立ち上げた(4ヶ月ごと開催、内容を表に記載)。現在では地区医師会員・歯科医師会員・保健師・看護師・薬剤師・栄養士の積極的なご参加により、参加者数は120人を超える会に発展してきている。

図1 糖尿病地域連携パスの流れ

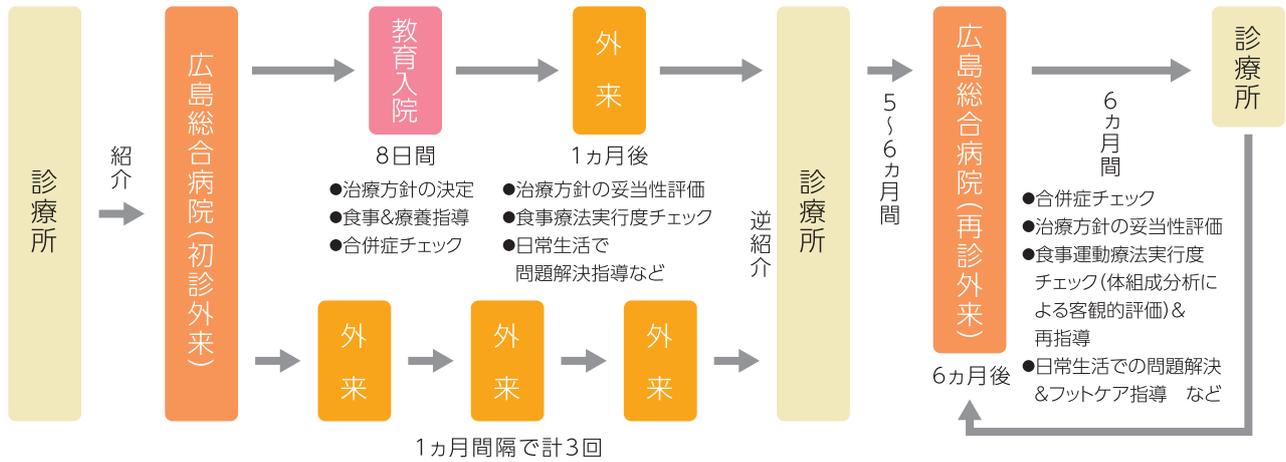


図2 糖尿病地域連携パス行動 目標シート

6ヵ月毎の当院受診時に、それ以降6ヵ月間の行動目標を患者が自己決定できるように、療養担当看護師・管理栄養士が支援する

内容を当院とかかりつけ医が共有することで、療養指導方針の継続が可能

**糖尿病地域連携パス
行動目標シート**

氏名 XXXXXXXXXX

2010年5月当院定期受診時に決めた行動目標

2010/5/10 XXXXXXXXXX 石田 Dr

食事① 間食の中止
食事② おかず(油)の過食中止
食事③ ご飯は1食160g
生活① 歩行30分(毎日)
生活②
生活③
タバコ 禁煙 喫煙 ()本/日

次回受診日 2010/11/15 療養指導(足の観察) 検査 採血・早朝尿 採血・採尿
 栄養指導 心電図・体脂肪測定 動脈硬化検査
 空腹来院(食後で来院) 神経障害

2010年11月当院定期受診時に決めた行動目標

2010/11/15 XXXXXXXXXX 石田 Dr

食事① 副食の量を控えましょう(特に煮物)
食事② ゆっくりよく噛んで早食いを防止しましょう
食事③ 果物は1単位にしましょう
生活① 30分の散歩は早歩きを歩きましょう
生活② スクワット1分を3回/日続けましょう
生活③ 卓球や筋トレ(集会所)を休日に合わせ行いましょう
タバコ なし 禁煙 喫煙 ()本/日

次回受診日 2011/5/29 療養指導(足の観察) 検査 採血・早朝尿 採血・採尿
 栄養指導 心電図・体脂肪測定 動脈硬化検査
 空腹来院(食後で来院) 神経障害

図3 広島県西部地区糖尿病地域医療連携パス運用状況(2010年11月20日現在)

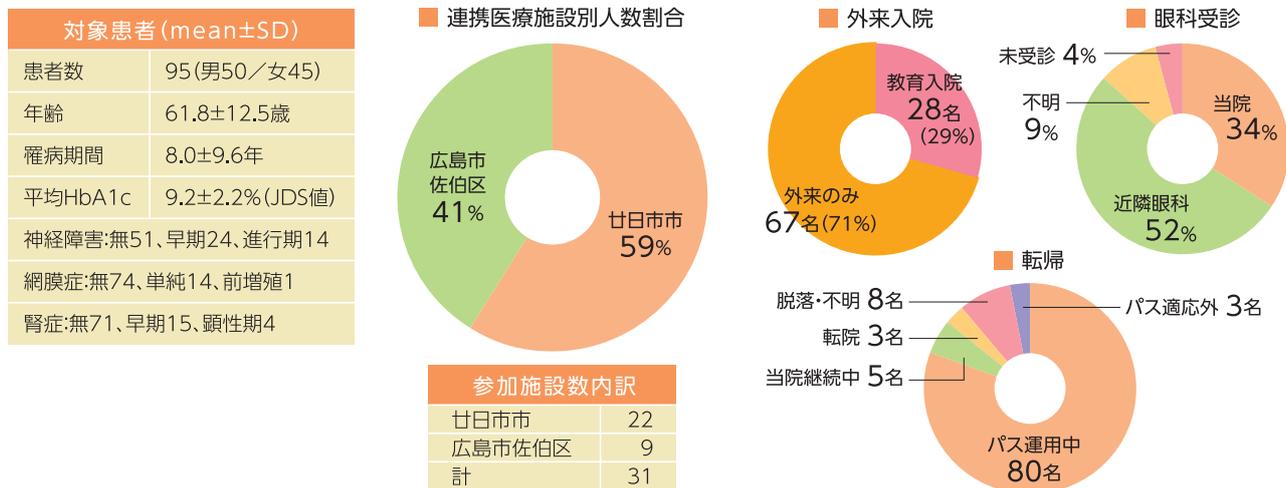


図4 地域連携パス運用によるHbA1c(JDS値)の推移

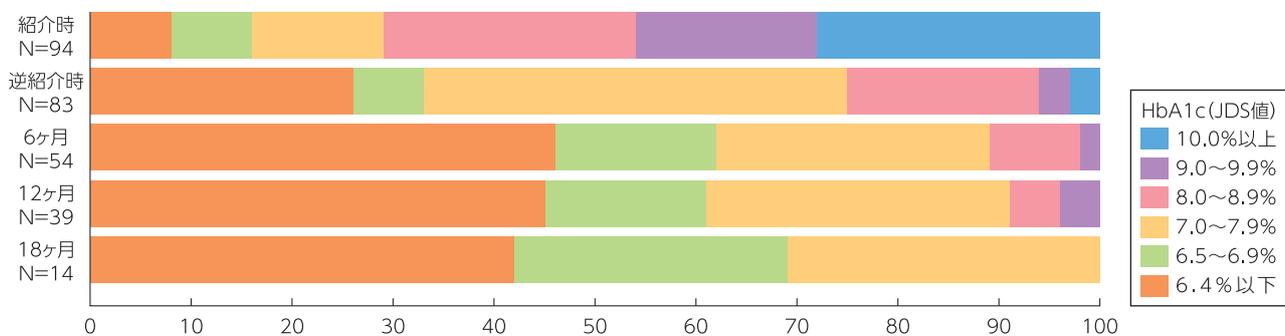


表 広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会の歴史

| 回 | 開催日 (参加者数) | テーマ | コメディカルコーナー | 症例検討ご呈示医師 (ご所属医師会) | その他 | 共催メーカー |
|---|--------------------------|--|--|--|--|----------------|
| 1 | 2008年 8月8日 (44名) | 糖尿病医療連携クリニカルパスの運用開始に向けて ①当院糖尿病専門診療の実態と医療連携の提言(石田和史) ②糖尿病地域連携クリニカルパスの提言(中元美恵 看護師) ③糖尿病地域連携パス予約申込について(地域医療連携室 岡崎のり子室長、山根保博) | | | | アステラス製薬 |
| 2 | 2008年 12月8日 (48名) | 食後高血糖をターゲットにした経口剤治療の実際 (石田和史) | | 木村泰博先生 (佐伯地区) 永井哲士先生 (佐伯地区) | 糖尿病地域連携 パスの運用状況 | 第一三共 |
| 3 | 2009年 4月14日 (41名) | インスリン抵抗性をターゲットにした経口剤治療の実際 (石田和史) | | 長谷川健司先生 (佐伯地区) 向井俊一先生 (佐伯地区) | 医療連携パスの 進捗状況報告 | バイエル薬品 |
| 4 | 2009年 8月11日 (68名) | 糖尿病非専門医でも可能な インスリン療法のイロハ (石田和史) | 安全、簡単なインスリン 注射指導!! (中元美恵 看護師) | 中丸光昭先生 (佐伯地区) 小笠原英敬先生 (佐伯地区) | 医療連携パスの 進捗状況報告 | 持田製薬 |
| 5 | 2009年 12月10日 (87名) | 2型糖尿病における1日2回 インスリン療法の進め方 (石田和史) | 知って役立つ!? インスリン注射の種類 (中元美恵 看護師) | 高石英樹先生 (広島市佐伯区) 岸本瑠衣 (広島総合病院) | 地域連携パス運 用状況の報告 | 田辺三菱製薬 |
| 6 | 2010年 4月14日 (104名) | 速報! DPP-IV阻害薬の臨床 効果(石田和史) | 意外とややこしくない?! 経口糖尿病薬について (角井碧 薬剤師) | 伴 公二先生 (広島市佐伯区) 一町澄宜 (広島総合病院) | 地域医療連携パ スの今後の運用 について(改善点 の提言) | 興和創薬 |
| 7 | 2010年 8月11日 (124名) | インスリン分泌促進薬をどう 使い分けるか?(石田和史) | 3つのコツであなたも今 日からミニ栄養士! (河本良美 管理栄養士) | 山根尚慶先生 (大竹市) | 糖尿病診断基準 改定のお知らせ など | 帝人ファーマ |
| 8 | 2010年 12月8日 (123名) | 糖尿病診療に役立つ臨床検 査の活用法(石田和史) | フットケアを知ろう ~冬季の指導ポイント~ (中元美恵 看護師) | 網本達也先生 (佐伯地区) | 糖尿病医療連携 パスの現状報告 | ノバルティス ファーマ |

周術期リハビリテーションサービスが充実!

* 急性期病院におけるリハビリテーション科の役割としては、入院(手術後)早期に介入することで、患者さんの合併症と廃用を予防し、より早く患者さんが退院できるよう、援助することであると考えています。その目的で、各科医師および関係スタッフとの協力の下、以下の経緯で周術期リハビリテーションマニュアル、パスを作成しました。

開始までの経緯

| | |
|----------|--------------------------------|
| 2009年 4月 | 導入準備開始 |
| 2009年 7月 | リハビリテーション科、病棟スタッフで第1回勉強会開催 |
| 2009年10月 | 多職種カンファレンスの開始 |
| 2009年12月 | 全症例に対して心臓リハビリテーションを開始 |
| 2010年 2月 | 心臓リハビリテーションパス・パンフレット等を作成し運用を開始 |

導入までには勉強会や意見交換会を重ね、心臓リハビリテーションに対する理解と各部門の連携を深めていきました

【心臓リハビリテーションの取り組み】 ～開心術後リハビリテーションの施行～

開心術後に心臓リハビリテーションを行うことによって、自覚症状や運動耐容能が改善するといわれています。当院では2008年度まで離床の遅延する患者さんのみに廃用症候群としてリハビリテーション介入してきましたが、2009年度より全症例の早期離床を目的に心臓リハビリテーションの介入を開始しました。

開心術後心臓リハビリテーションの流れ

| 手術 2 日前 | 患者入院 → 心臓リハビリテーション処方 |
|----------|---|
| 手術 前日 | 手術説明 (医師) 術前オリエンテーション (理学療法士) ① 基本動作練習 ② 呼吸訓練 ③ 離床計画の説明 * 薬剤師・栄養士・看護師もオリエンテーションを行う |
| 手術 当日 | |
| 手術 2 日目 | 介入開始 端坐位練習 |
| 手術 3 日目 | 立位練習 |
| 手術 4 日目 | 歩行練習 (30m) |
| 手術 5 日目 | 歩行練習 (200m) |
| 手術 10 日目 | 階段昇降練習 |
| 手術 11 日目 | 退院時指導 |
| 手術 14 日目 | 退院 |

こんにちは、リハビリです。

術後の回復を理学療法士と看護師がお手伝いします。

これから、手術後のリハビリテーションについて説明します。



- 麻酔から目を覚ました時には、人工呼吸器が口から装着され、呼吸管理をされていますが、しっかり呼吸ができるようになれば、呼吸器を外すことができます。
- 手術後は、点滴や心電図モニター、一時的な体外的ペースメーカー、おしっこを管理する管、心臓周辺の余った血液を出す管(ドレン)など様々なものにつながれていますが、状態が安定すると、医師の指示でリハビリテーションが開始されます。

手術後できるだけ早期からリハビリテーションを開始すると、合併症が少なく回復も早いと言われています。

【呼吸練習の必要性について】
手術は胸の前の胸袋(きょうこつ)という骨を真ん中から切って胸を開いて行います。

また、手術後は胸の真ん中に、心臓周辺の余った血液を出す管(ドレン)が挿入されます。ドレンは手術後2日目には抜くことができます。

肋骨やリンパ管に痛みがあり、大きな深呼吸ができなかつた。手術後は前向きで寝ていることが多いので、肺が十分に広がらなくて苦しむことがあります。

<呼吸練習の方法>
鼻から大きくゆっくりと空気を吸い込み、吸い込んだら、秒程度息を止めて、肺の拡張を促しましょう。そして口を閉じて呼吸でゆっくりと息を吐き出しましょう。手を添えることさらに深呼吸が強調されます。

<咳をするときの注意点>
咳をするときは手術の傷を守るように手を添えながら行いましょう。

* 体を起こすことだけでも呼吸器合併症の予防につながります。

【手術後早期に体を動かすことについて】

* 手術当日から翌日にかけて *

手足を動かすことから始めましょう。

- 手術後、状態が落ち着いてきたら、できるだけ体を動かすようにしましょう。
- 最初はベッドの中で、手のひらをグーパーしたり、手首、足首を回したり上り下りに動かすことから始めましょう。

* 手足を動かすことで、手足の循環を改善し、筋肉や血管を正常な状態に近づける効果があります。

* 手術後 2 日目にかけて *

ベッドの端に腰掛けしましょう。

- 電動ベッドの頭の部分を起こしてもらい、体を起こすことに慣れたら、次は足をベッドの端から降り出して座ってみましょう。
- 手術の翌々日には座れるようになることを目標に進めます。

* 座ることで、呼吸がしやすくなったり、血圧を調節する機能や座る(バランス)神経の機能改善にも役立ちます。

* 手術後 2 日目から 3 日目にかけて *

できるだけ早く立つ練習ができるように援助します。

- 人間は足をつかないでいると、予想以上に早く立つことが難しくなります。
- 手術の翌々日には立つことを目標に進めます。
- 同時に体重測定を行います。

* 立つことで、筋力を維持するだけでなく、血圧を調節する機能やバランス神経の機能改善にも役立ちます。

リハビリの進行については、その都度、回復状況を評価して判断しますが、順調に経過すれば、1週間ほどで病棟内歩行自立し、階段昇降もできるようになります。

ご不明点がありましたら、遠慮なくリハビリスタッフまでお問い合わせください。





オリエンテーション用パンフレット

2010年の心臓リハビリテーションクリニカルパス開始以後、現在まで約130件のリハビリテーションを行っております。心臓リハビリテーションを導入したことで、ICU在室時からの介入が可能となり、早期離床の効果が得られるようになってきました。また、患者さんにも運動療法の重要性を理解していただけるようになり、スタッフも流れが明確になることで、教育や指導をスムーズに行うことができるようになりました。



手術後2日目のリハビリ風景



手術後3日目のリハビリ風景



歩行訓練風景



カンファレンス風景

呼吸器リハビリテーション ～呼吸器外科術後の合併症予防～

高齢者肺癌手術症例は増加傾向にあり、当院でも肺癌手術症例の75%を65歳以上の高齢者が、そのうち10%を80歳以上の高齢者が占めております。また、高齢の手術症例は術前に何らかの合併症を有する場合が多く見られます。このようなことから、術後の合併症（無気肺・肺炎）を防ぐことを目的に、呼吸器外科術前リハビリテーションを開始しました。

開始までの経緯

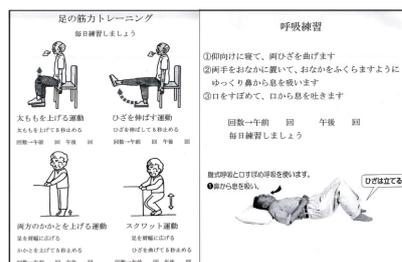
| | |
|----------|--------------------|
| 2009年10月 | 担当医師、栄養科とカンファレンス開始 |
| 2009年11月 | マニュアル試行運用を開始 |
| 2010年1月 | 術前マニュアル完成、実運用へ |

呼吸器外科周術期リハビリテーションの流れ

| | |
|---------|------------------------------------|
| 初回（外来） | 6分間歩行試験 運動の指導（腹式呼吸、歩行、下肢筋力増強など） |
| 2回目（外来） | 自宅での自主トレーニング施行状況の確認 下肢筋力練習 |
| 入院 | 6分間歩行試験 |
| 手術 | |
| 手術2日目 | 介入開始 |
| 手術3日目以降 | 退院まで運動療法継続 |

2009年11月の運用から13件のリハビリテーションを行っております。

運用前と比較し、術日までに肺機能が改善したり、合併症の発症率や在院日数が有意に減少するなどの効果が得られております。



術前指導のパンフレット



術後2日目の
リハビリテーション風景

乳腺外科リンパ郭清術後のリハビリテーション

～術後合併症予防のために～

2010年4月乳腺外科が新設され、乳ガン手術件数が増加しました。それに伴い、手術後の合併症（関節可動域制限・筋力低下・リンパ浮腫など）の予防を目的に乳腺外科リンパ郭清術の周術期リハビリテーションを開始しました。

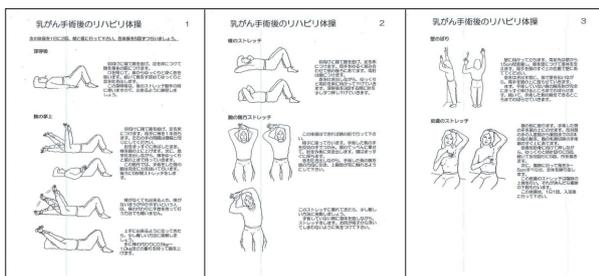
開始までの経緯

| | |
|----------|--|
| 2010年10月 | 乳腺外科医師より、術後リハビリテーションの要請マニュアルや患者説明用パンフレット作成 |
| 2010年11月 | 乳腺外科パスにリハビリテーションの項目を追加 術前機能評価も含めてマニュアル実運用開始 |

乳腺外科リハビリテーションの流れ

| 術前 | 術前評価（可動域・周径など） |
|---------|---|
| 手術1日目 | 介入開始 ① 肩関節の自動運動 ② 手指・母指・手関節・前腕・肘関節・肩甲骨の自動運動 ③ グリップエクササイズ ④ 自主トレーニング指導 |
| 手術2日目以降 | 上記リハビリ継続 |
| 退院前 | 術後リハビリ体操を指導 |

乳腺外科リハビリテーション開始後から現在まで、約60件のリハビリを行っています。術前の指導・評価、そして早期より術後の管理を行うことで、術前と同程度の可動域を維持し、リンパ浮腫の発症を予防し、日常生活上の注意点・動作指導を行うことで退院までスムーズに移行することができるようになりました。



乳ガン術後体操のパンフレット

各リハビリ担当医師からのコメント



開心術二日目 リハ実施風景

心臓血管外科

部長 小林 平

長期の心臓リハビリテーションには予後改善の多くのエビデンスがあります。退院後の運動耐容能

向上を図るため、退院指導を充実し、併せて指導後の追跡調査を行い、現在のリハビリテーションプログラムへ反映させたいと考えています。



郭清術後六日目 リハ実施風景

乳腺外科

主任部長 船越 真人

リンパ浮腫ドレナージ手技を習得して頂き、患者指導の充実を図りたいと考えています。



開胸術三日目 リハ実施風景

呼吸器外科

主任部長 渡 正伸

手術前の体力改善を目的にリハビリテーション科、栄養科が介入して、良好な結果が得られています。

チーム医療の効果について、当院および全国に学会発表を通して、アピールしていきたいと考えています。

* チーム医療がスムーズに提供出来るか否かは、医療従事者の各々が、役割と責務を自覚し、協調性を持って連携をとれるかにかかっています。今後も、より良い関係を保ちながら急性期チーム医療を推進していきます。

骨粗鬆性椎体骨折に対して

経皮的後弯矯正術が保険診療になりました

はじめに

骨粗鬆性椎体骨折は、高齢者の方が転倒したときにおこる橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、上腕骨頸部骨折とならび4大骨折の一つです。これらの骨折は、要介護の原因疾患の第3位(約10%)を占め、社会・家族に及ぼす負担は大きなものです。また本骨折は本邦では年間20万件とこれらの外傷の中で最も多く発生しています。

椎体骨折の症状は骨折による疼痛のみならず、後弯変形により呼吸機能低下、胃部不快感、早期腹満感などの消化器症状や抑うつ状態、ADLの低下から死亡率の上昇の原因にもなります。

従来、本骨折の治療は安静加療、ギプス・コルセット固定を含めたいわゆる「寝かせて治す」ことが主流でした。しかし、高齢者は疼痛や筋力低下によるADL低下により、骨折は治ったが車いすの生活となることがよくありました。そこで当院では寝たきり防止のため、早期の除痛と社会復帰をめざして中四国厚生局の認可を受けた先進医療として「経皮的椎体形術」を行ってまいりました。2010年12月までに合計438例の患者さんの治療を行い良好な結果を得て、患者さんには満足頂いているものと考えております。

今回、2011年1月から「経皮的後弯矯正術」と名を変えて、若干の術式の変更はありますが、圧迫骨折により曲がった背中をまっすぐに矯正し、生じた空隙に骨セメントを注入して骨折部を固める術式が保険診療として認められました。

経皮的後弯矯正術は、1990年代に米国で開発された治療法です。国内では2005年から8施設で臨床試験が行われ、2010年2月より厚生労働省より認可を受け、2011年1月より保険適用されました。当院は全国50カ所の研修施設の1つになり、広島県内では唯一の施設です。

手術方法の紹介

手術は全身麻酔で行います。術中レントゲンにて罹患椎体レベルに2か所の小さな皮膚切開を加えます。そして背中から小さな風船つきの器具を挿入します(図1-1)。椎体の中の風船を膨らませ、つぶれた骨をもとの形にもどします(図1-2)。風船を抜くと椎体内に空間ができます。空間を満たすように骨セメントを充填します(図1-3)。手術は1時間程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります(図1-4)。手術翌日から歩行していただくことができ、

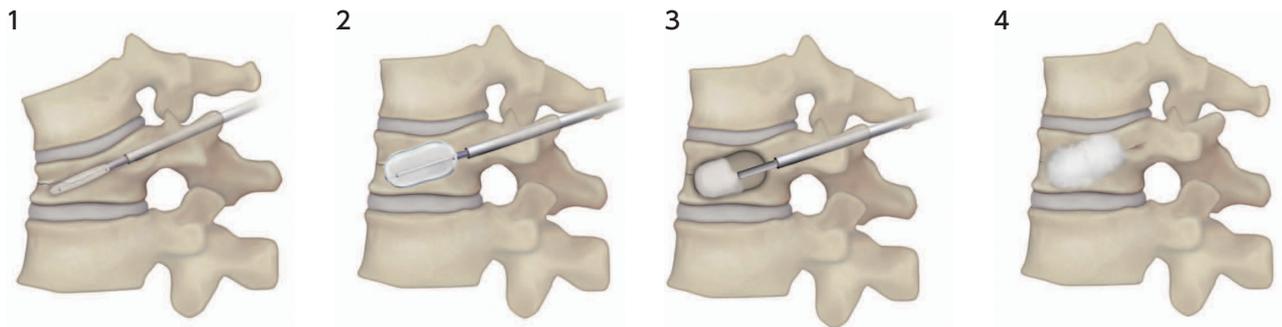
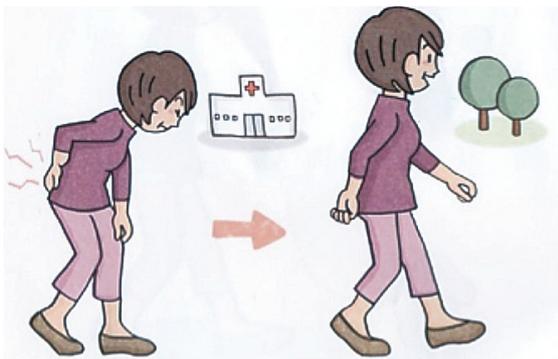


図1

術後1週間で退院することが可能です。

この手術により、骨折部の不安定性を除去することで早期の除痛と骨折後の遅発性神経麻痺の改善にも効果を期待できます。



本法以外の方法としては、脊椎インスツルメントを用いた後方固定術がありますが、手術侵襲、術後合併症の大きさを考慮すると必ずしも高齢者に容易に勧められるものではありません。

整形外科医が本法を実施するにあたり、当院を含めた研修病院で講義、模型を用いた実技実習、臨床手術見学の後に試験に合格する必要があります。当科主催で2011年4月14日に第1回の講習会が行われ、11月までに7回行い、中四国から32名の先生が受講され資格を取られました。今後さらに受講希望者が増えることが予想されますので、本法を安全に施行していただくため正確な情報と手術手技を指導していくことを心がけてお思います。



2時間の講義



模型を用いた実技実習

市民公開講座の開催

当院は、広島県西部地域（広島市佐伯区・廿日市市・大竹市：背景人口約30万人）の中核病院として、救急医療をはじめとする急性期医療を行っている。

又地域医療支援病院として他の医療機関・行政と連携を図りながら住民の健康を守り地域と病院を繋ぐ役割を担っている。

その取り組みの一つとして、2010年より市民公開講座を開催した。当院から情報発信を行う事で、地域住民の医療に対する知識が深まり、又当院を

知ってもらい利用していただく事を目的に企画した。テーマはがんの検診率向上を目指したものや、症状別に引き起こる疾患と治療について当院の医師達が講演を行った。第1回・第2回とも会場いっぱいの盛況で、アンケートからは、次回講演のテーマに対する要望も多数あり公開講座への期待度の高さが伺えた。今後も住民の方々の期待に応え、継続して開催をしていきたい。

JA広島総合病院 第1回市民公開講座

日 時：2010年6月20日（日曜日） 13:00～15:15

場 所：廿日市市総合健康福祉センター 「あいプラザ」 多目的ホール

趣 旨：地域がん診療連携拠点病院として、広島県西部地域におけるがん検診受診率の向上を図る。

出席者：一般市民 229名

テーマ：乳がんについて知りましょう ～検診から診断・治療まで～

< 講演 >

| | | |
|----------------|---------------------|-------|
| 「乳がん検診を受けましょう」 | 健康管理センター長 | 碓井 裕史 |
| 「マンモグラフィーの実際」 | 放射線科 科長 | 小濱 千幸 |
| 「最新の乳がん治療」 | 乳腺外科 主任部長 | 船越 真人 |
| 「お知らせ」 | 廿日市市福祉保健部 健康推進課 保健師 | 山本 紀子 |

< 会場風景 >



JA広島総合病院 第2回市民公開講座

日 時：2011年1月16日(日曜日) 13:00～15:40

場 所：廿日市市さくらびあ大ホール

趣 旨：地域救命救急センター開設に伴い、市民の救急医療に対する知識を深めて頂き、当院の救急医療体制について理解を得る。

出席者：一般市民 825名

テーマ：危険な痛みについて知りましょう ～命にかかわる頭痛・胸痛・腹痛～

< 講 演 >

| | | |
|-------------------|-----------------------|-------|
| 救急車の出動状況 | 廿日市市消防本部消防長 | 末永 孝幸 |
| 廿日市市休日夜間診療所の実績と現状 | 佐伯地区医師会 | 奥 純一 |
| 危険な痛みについて | JA広島総合病院 救急・集中治療科主任部長 | 吉田 研一 |
| ～頭痛編～ | JA広島総合病院 脳血管内治療科主任部長 | 渋川 正顕 |
| ～胸痛編～ | JA広島総合病院 心臓血管内治療科主任部長 | 辻山 修司 |
| ～胸痛編～ | JA広島総合病院 心臓・血管外科科主任部長 | 川本 純 |
| ～腹痛編～ | JA広島総合病院 腹部救急治療科主任部長 | 香山 茂平 |
| 地域救命救急センターの紹介 | JA広島総合病院 救急センター長 | 中尾 正和 |

< 会場風景 >



■ Annual Report 2009-2010 2009年(平成21年)度 年報 ■
2010年(平成22年)度

病院の概要

病院概況

病院基本理念 **私たちは人間愛に基づいた医療を実践し地域社会に貢献します**

- 基本方針
- 1 地域の医療機関と密接に連携した医療を提供します
 - 2 医療の安全性を高め安心できるチーム医療を提供します
 - 3 最新の知識と技術を習得し質の高い医療を提供します
 - 4 説明と同意に基づき人権を尊重した医療を提供します

病院の概要

| | | | |
|----------------|---|------------|------------|
| 病院名 | 広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院 | | |
| 所在地 | 〒738-8503 広島県廿日市市地御前1丁目3番3号 TEL(0829)36-3111 FAX(0829)36-5573 | | |
| 開設年月日 | 1947年12月23日 | | |
| 許可病床数 | 561床(一般) | | |
| 開設者 | 広島県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 石原照彦 | | |
| 病院長 | 福田康彦 | | |
| 土地・建物の状況 | 区分 | 敷地面積 | 建物延面積 |
| | 病院 | 12,825.33㎡ | 32,123.09㎡ |
| | 住宅地 | 3,967.47㎡ | 3,632.41㎡ |
| | 計 | 16,792.8㎡ | 34,815.15㎡ |
| 診療科目 (計34科) | 内科、循環器内科、呼吸器内科、内視鏡科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、神経内科、緩和ケア科、化学療法科、心療内科・精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓・血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、腹部救急科、脳血管救急科、心臓血管救急科 | | |

| | |
|-------|--|
| 指定等 | <ul style="list-style-type: none"> ・病院群輪番制病院 昭和 55年 2月 4日 ・災害拠点病院 平成 9年 2月 14日 ・脳死臓器提供病院 平成 9年 8月 1日 ・救急指定病院(救急告示番号第421号) 平成 20年 4月 14日 ・臨床研修指定病院 平成 15年 10月 30日 ・地域医療支援病院 平成 16年 8月 12日 ・地域がん診療連携拠点病院 平成 18年 8月 24日 ・DPC対象病院 平成 21年 4月 1日 ・地域救命救急センター 平成 23年 4月 1日 |
| 併設事業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション 平成 6年 5月 1日 ・居宅介護支援事業所 平成 11年 11月 4日 |
| 施設基準 | <p>■基本診療料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院基本料7:1入院基本料 平成 18年 5月 1日 ・入院時医学管理加算 平成 21年 4月 1日 ・地域医療支援病院入院診療加算 平成 16年 8月 1日 ・診療録管理体制加算 平成 14年 4月 1日 ・医師事務作業補助体制加算 平成 20年 11月 1日 ・医療安全管理加算 平成 20年 4月 1日 ・臨床研修病院入院診療加算 平成 16年 4月 1日 ・療養環境加算 平成 12年 4月 1日 ・重症患者等療養環境管理加算 平成 14年 4月 1日 ・小児入院医学管理料3 平成 20年 4月 1日 ・褥瘡患者管理加算 平成 16年 4月 1日 ・栄養管理実施加算 平成 18年 4月 1日 ・救急医療管理加算 平成 18年 4月 1日 ・乳幼児救急医療管理加算 平成 18年 6月 1日 ・ハイリスク分娩管理加算 平成 20年 6月 1日 <p>■特掲診療料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放型病院共同指導料(20床) 平成 12年 6月 1日 ・薬剤管理指導料 平成 12年 4月 1日 ・在宅末期医療総合診療 平成 12年 4月 1日 ・検体検査管理加算(I・II) 平成 20年 4月 1日 ・画像診断管理加算2 平成 20年 8月 1日 ・特殊MRI撮影 平成 12年 4月 1日 ・無菌製剤処理加算 平成 20年 4月 1日 ・外来化学療法加算1 平成 20年 4月 1日 ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術 平成 2年 2月 1日 ・体外衝撃波胆石破砕術 平成 4年 4月 1日 ・糖尿病合併症管理料 平成 20年 5月 1日 ・ペースメーカー移植術 平成 10年 4月 1日 ・ // 交換術(電池交換を含む) 平成 10年 4月 1日 ・大動脈パルレンパンプ法(IIABP法) 平成 10年 4月 1日 ・経皮的冠動脈形成術 平成 10年 4月 1日 ・麻酔管理 平成 8年 4月 1日 ・放射線治療専任加算 平成 13年 5月 1日 ・高エネルギー放射線治療 平成 14年 4月 1日 ・脊髄刺激装置植込術又脊髄刺激装置交換術 平成 14年 6月 1日 ・単純CT撮影及び単純MRI 平成 18年 4月 1日 ・脳血管疾患等リハビリテーション(II) 平成 21年 5月 1日 ・運動器リハビリテーション(I) 平成 18年 4月 1日 ・呼吸器リハビリテーション(I) 平成 18年 4月 1日 |
| 認定 | <ul style="list-style-type: none"> 日本医療機能評価機構(区分4 Ver.5.0) 平成 19年 3月 18日 DMAT指定医療機関(災害派遣医療チーム) 平成 18年 9月 24日 |

平成 23年 4月 1日現在

病棟別許可病床数(一般561床)

| 西棟 | | 階 | 東棟 | |
|---------------|------|---|------------------|------|
| 内(呼消)・放射線治療科 | 55床 | 8 | 内(内分泌・腎・透析) | 44床 |
| 内(消化器)・画像診断部 | 55床 | 7 | 内(呼)・整・呼吸器外科・(脳) | 43床 |
| 外・(泌) | 54床 | 6 | 泌・外・皮・精・心療内科 | 51床 |
| 整形外科 | 55床 | 5 | 脳外・歯科口腔外科 | 52床 |
| 産婦・外科系(小)・ドック | 46床 | 4 | 小・耳・眼 | 43床 |
| 地域救命救急センター | 19床 | 3 | 内(循環器)・心外・麻酔 | 44床 |
| 計 | 284床 | | | 277床 |
| 計 561床 | | | | |

JA 広島総合病院のあゆみ

昭和21年6月佐伯郡内の町村長および町村農業会長の代表の方々が県農業会を訪れ、廿日市方面の緊急対策として原子爆弾による負傷者に対する医療施設を設置するよう強い働きかけがあった。そのため佐伯郡37ヶ町村および農業会が出資して地御前村元旭兵器(株)の工員宿舎を買収し農業会病院の誘致を決定する。

昭和22年12月23日、4診療科、スタッフ総員20名、60床の病床を有する農業会佐伯病院として開設された。その後、昭和37年と40年に相次いで増床と診療体制の充実を図り、昭和41年には総合病院の認可を受け、名称も佐伯総合病院と改称された。

爾来、同地域は広島市のベッドタウンとして開発が進み、診療圏人口の増加に伴って施設の狭隘化を来したため、昭和54年には大幅な増改築が行われ、これを機会に名称も現在の広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院と改められた。その後更なる人口増加に伴う医療需要の増大により地域の中核的病院の性格を持つに至り、昭和55年には二次救急病院の指定を受け、また昭和59年および平成元年には増築増床工事が実施され430床となる。

更に平成9年5月には、施設の狭隘化と老朽化に対する対策として新棟建設と既存棟の改築工事が開始され、平成10年10月末に新棟完成、平成12年2月には全工事が完了し、同年4月より578床となる。その後透析用ベッドへの転用により平成15年に570床、外来化学療法用ベッドに転用により平成20年に561床となる。

広島西二次保健医療圏の三次救急患者への速やかな高度医療の提供と、広島都市圏域全体の救急医療体制の充実強化のため、平成22年8月から平成23年2月にかけて救急棟新築工事が行われ、平成23年4月には「地域救命救急センター」19床を開設した。

| | |
|--------------|--|
| 昭和 21 年 8 月 | 佐伯郡37ヶ町村および農業会が出資して地御前村元旭兵器(株)の工員宿舎を買収し農業会病院の誘致を決定 |
| 昭和 22 年 12 月 | 診療科(内科・外科・耳鼻科・歯科)、病床数60床、職員20名で広島県農業会佐伯病院として発足 |
| 昭和 23 年 4 月 | 婦人科開設 |
| 昭和 23 年 6 月 | 眼科新設 |
| 昭和 24 年 12 月 | 結核病棟開設(一般49床、結核11床) |
| 昭和 25 年 5 月 | 外来診療室拡張のため(一般44床、結核11床)計55床に変更 |
| 昭和 26 年 3 月 | 一般病床25床、結核病床25床 計50床に変更 |
| 昭和 29 年 6 月 | 一般病床37床、結核病床42床 計79床に変更 |
| 昭和 31 年 7 月 | 小児科新設 |
| 昭和 37 年 1 月 | 病棟増築(一般130床、結核20床) |
| 昭和 37 年 6 月 | 皮膚泌尿器科新設 |
| 昭和 37 年 7 月 | 整形外科新設 |
| 昭和 40 年 2 月 | 病棟増築(一般160床、結核20床) |
| 昭和 41 年 2 月 | 総合病院の認可を受け、佐伯総合病院となる |
| 昭和 49 年 9 月 | 結核病床20床一般病床へ転用、16床増床し196床に変更 |
| 昭和 54 年 1 月 | 脳神経外科新設、皮膚泌尿器科が分離独立し皮膚科・泌尿器科となる |
| 昭和 54 年 4 月 | 病棟増築(一般270床) |
| 昭和 54 年 4 月 | 現在の広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院に名称変更 |
| 昭和 55 年 2 月 | 第二次救急医療指定病院となる |
| 昭和 59 年 7 月 | 病棟増築100床(一般370床) |
| 昭和 60 年 4 月 | 麻酔科新設 |
| 昭和 60 年 9 月 | 放射線科(治療部門)新設 |
| 昭和 60 年 10 月 | 放射線治療棟完成 |
| 昭和 63 年 4 月 | 心臓血管外科新設 |
| 昭和 63 年 7 月 | 放射線科(診断部門)開設 |
| 平成 元年 4 月 | 精神科・心療内科新設 |
| 平成 元年 4 月 | 大竹市栗谷診療所の委託運営開始 |
| 平成 元年 6 月 | 病棟増築60床(430床) |
| 平成 2 年 8 月 | 形成外科新設 |
| 平成 2 年 11 月 | MRI棟完成 |
| 平成 4 年 3 月 | 院内保育園開園 |
| 平成 6 年 5 月 | 訪問看護ステーション開設 |
| 平成 9 年 2 月 | 災害拠点病院指定 |
| 平成 9 年 9 月 | オーダリングシステム稼働 |
| 平成 10 年 9 月 | 広電・JA広島病院前駅開業式 |
| 平成 10 年 10 月 | 新館西病棟落成 |
| 平成 11 年 4 月 | 病棟増床59床(489床) |
| 平成 11 年 11 月 | 居宅介護支援事業所開設 |
| 平成 12 年 4 月 | 病棟増床89床(578床) |
| 平成 12 年 6 月 | 開放病床(20床)届出 |
| 平成 13 年 10 月 | 呼吸器外科新設 |
| 平成 15 年 2 月 | 一般病床8床を透析用ベッドに転用(570床) |
| 平成 15 年 10 月 | 臨床研修指定病院指定 |
| 平成 16 年 8 月 | 地域医療支援病院 |
| 平成 18 年 8 月 | 地域がん診療連携拠点病院指定 |
| 平成 18 年 8 月 | 電子カルテシステム稼働 |
| 平成 20 年 4 月 | 一般病床9床を外来化学療法用ベッドに転用(561床) |
| 平成 21 年 4 月 | DPC対象病院 |
| 平成 22 年 4 月 | センター制導入(救急センター、循環器・呼吸器疾患センター、一般外科治療センター、健康管理センター、急性期リハビリテーションセンター) |
| | 神経内科新設 |
| 平成 23 年 4 月 | 地域救命救急センター開設(19床) |

■ Annual Report 2009-2010 2009年(平成21年)度 2010年(平成22年)度 年報 ■

活動報告

呼吸器内科

■ スタッフ

櫻井稯司、近藤丈博、中増昭久、山岡千尋の4名が担当しています。

■ 診療状況

当科では以下のように呼吸器疾患の加療にあたっています。

【肺がん】

| | | |
|------------|-----|------|
| 2009年度 肺がん | 全体 | うち新規 |
| 件数 | 133 | 69 |
| 化学療法 | 72 | 42 |
| 2010年度 肺がん | 全体 | うち新規 |
| 件数 | 110 | 53 |
| 化学療法 | 59 | 29 |

例えば初診から治療まで当院では呼吸器外科と放射線治療科と連携し最速で2週間程で診断後治療に入れます。市内の大病院では治療まで一ヶ月前後かかるにもかかわらず、まだまだこの地域の患者さん達は市内の病院へ目を向けていると思われる。当院も市内と変わらないレベルの治療を行うことができることを知っていただき、もっと当院で肺がんの方々を診ることができればと思います。

【感染症】

当科で扱うのは主に肺炎です。高齢化の影響で誤嚥性肺炎なども多く、繰り返される傾向にあり最近では治療に難渋する傾向があります。また肺結核を早期診断し、外来加療を行ったり結核病棟のある病院への紹介も行っています。また最近増加している非結核性抗酸菌症の加療も行っています。

【気管支喘息】

吸入ステロイドの普及に従い、10年前と比べ喘息死は半数以下となっていますが、まだまだ吸入ステロイドは普及していないように思います。大学などと連携し、

この地域の喘息患者さんに良い治療があることを知ってもらうことが大事だと思っています。

【COPD(慢性閉塞性肺疾患):肺気腫、慢性気管支炎など】

去年までは桂歌丸さん、今年からは和田アキ子さんが啓発運動の広報大使に任命され、ここ数年でだんだんこの疾患名も知られてきました。日本人の場合は喫煙が原因です。当院では早期診断し、吸入薬などによる加療や必要に応じて在宅酸素療法の導入を行っています。

【びまん性肺疾患】

特発性間質性肺炎などです。早期診断し、薬物が効くタイプを鑑別するのが大事ですが、当科では気管支鏡や画像診断で早期発見に努めています。

【睡眠時無呼吸症候群】

外来または入院でPSG検査を行い耳鼻咽喉科とも連携しつつ、CPAP等の導入を行っています。最近では徐々に診療される開業医の先生方も増えて来られたので逆紹介も行いたいと思っています。

その他にも様々な分野の呼吸器の疾患がありますが、当科は広島大学病院呼吸器内科や市中の病院の呼吸器科と連携をはかり、最新の知見を吸収しつつ広島県西部地区の医療に貢献できればと思っています。

循環器内科

■診療科紹介

2010年4月1日から循環器内科は藤井(循環器内科主任部長)、辻山(心臓血管内治療科主任部長)、前田(心カテ室担当主任部長:2011年4月1日以降)、久留島(部長)、對馬、政田の6名の医師により構成されていたが、2011年3月31日で對馬医師の転勤に伴い2011年4月1日より新しいメンバーの佐倉医師が加わった。また広島西部地区の救急医療を充実する目的で開設された地域救命救急センターで循環器の救急医療を担うため莊川医師(部長)が2011年1月1日より広島大学病院循環器科より当科に赴任、2011年4月1日以降1年間の予定で救命救急センター救急医として活動中で、現時点で総勢7名の科である(有資格者数は、日本循環器学会専門医4名・日本心血管インターベンション治療学会指導医1名・日本高血圧学会高血圧専門医1名)。また日本循環器学会認定循環器専門医研修施設である。

循環器内科の扱う疾患は、心筋梗塞・狭心症などの虚血性心疾患、心不全、弁膜症、心筋炎、心筋症、先天性心疾患、高血圧、高脂血症、不整脈(徐脈・頻脈)、閉塞性動脈硬化症などの循環器疾患の診断と治療を行っている。心臓血管外科との連携をとり、患者さんに最適な医療を選択し施行している。また開業医の先生方とも病診連携に重点を置き、地域に貢献出来るよう急性期循環器疾患に対して24時間体制をとり、前述の地域救命救急センターの循環器領域をサポートしている。

■診療実績

年度ごとの当科の実績を以下に示す(2009/2010年度別)。

侵襲的検査と治療に関しては、心臓カテーテル検査(診断を含):590/645例を施行し、そのうちPCI(経皮的冠動脈カテーテルインターベンション)症例:240/292例であり、そのうち急性冠症候群症例も約80件/年程度含まれている。またPCI時には狭窄部の形態・プラーク性状分析、適切なステント留置のためIVUS(血管内超音波)を多くの症例で使用している。また冠

動脈高度石灰化病変に対して PTRCAも施行している。PCI件数は、2011年4月の救命救急センターの開設により更に増加が見込まれる(図1)。

難治性潰瘍などの重症下肢虚血を含む閉塞性動脈硬化症に関して、心臓血管外科との協力の下バイパス手術と血管内治療を行っているが、当科では血管内治療(34/29例)を行っている。治療抵抗性高血圧や急性肺水腫の原因の1つとして注目されている腎動脈狭窄に対してはエコーによるスクリーニングを行い、腎動脈有意狭窄症例に対して腎動脈インターベンションを施行している(2/8例)。また電気生理学的検査も徐脈に関して施行している。新規植え込みペースメーカー:23/24例、電池交換:16例/11例である。

非侵襲的検査も多数実施している。画像診断部と中央放射線科の協力の下に64列心臓CT検査:625/647例を施行している(下図参照)。また心臓核医学検査:349/374例、生理機能検査科の協力の下、心臓超音波検査(成人のみ):4509/4334例、経食道心エコー:67/74例、ホルター心電図:385/351例である。

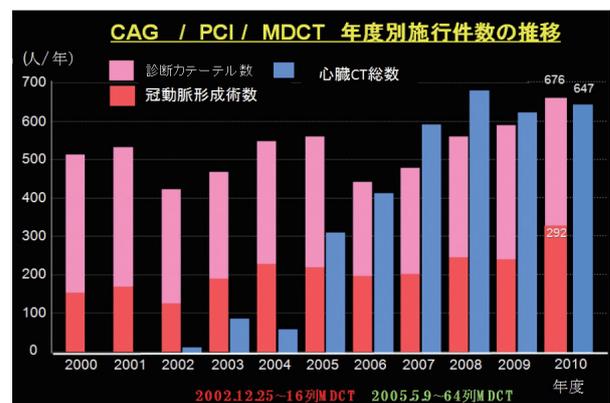


図1

■将来展望

新救急棟が2011年3月に完成し既存の集中治療室を加え地域救命救急センター(全国で4番目)が2011年4月1日よりスタートした。それ以前より当科では、循環器疾患では急性心筋梗塞、急性冠症候群などの二次、三次救急の重症患者さんにも対応しており、今後も適切かつ積極的な医療活動を行っていく所存である。

腎臓内科

活動報告

■ 診療科紹介

2010年4月1日から腎臓内科は平林医師(腎臓膠原病内科主任部長)、倉恒医師(腎臓膠原病内科主任部長代理)、佐々木医師の3名の医師により構成されていたが、2011年3月31日で平林医師、倉恒医師の転勤に伴い、2011年4月1日より広島大学病院透析内科より荒川医師(腎臓内科主任部長代理)、県立広島病院より吉田医師が着任した。また、平林医師の転勤により膠原病内科の診療医が不在となったため、2011年4月1日より膠原病内科の専門診療は終了とし腎臓内科として再出発することとなった。現在3名体制で、腎炎から血液透析まで幅広い腎疾患の治療に従事している。当院は、日本腎臓学会研修施設および日本透析医学会専門医制度認定施設に認定されている。

腎臓内科は、その専門性の高さから他科から相談を受けることも多い一方で、蛋白尿・血尿の診断に始まり、腎臓病の治療、さらには透析導入と導入後の管理など、腎臓病の初期から終末期まで一貫して行うことが大きな特徴である。また、腎疾患は他臓器の合併症も多く、腎臓内科は腎臓のみならず全身を診ることが特徴である。近年、慢性腎臓病(CKD:Chronic Kidney Disease)患者は増加の一途をたどっており、現在わが国では約2,000万人程度と推測されている。その上、今後さらにCKD患者が増加することが予測されている。そのため、腎臓内科のニーズは今後さらに高まっていくことが予想される。腎臓内科を専門で診る医療機関が少ないため、各医療機関の先生方から多くの患者を紹介して頂いており、外来、入院患者数は県内有数である。腎臓病を早期に発見し、適切に管理することを目標に、日夜診療に励んでいる。

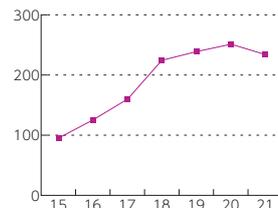
■ 診療実績

原発性糸球体・尿細管間質性疾患、高血圧、糖尿病、膠原病、血液疾患などに伴う全身性腎疾患、急性腎不全、慢性腎不全など、あらゆる腎臓病に対し幅広く診療に当たっている。腎炎に対しては腎生検を中心とした診断と、その診断結果の基づいた集学的な治療を、また腎

不全に対しては食事・薬物療法などによる保存的加療および透析療法を実施している。透析療法においては、積極的に腹膜透析(PD)導入を推進しているのが当院の特徴であり、また、血液透析(HD)に加え、各種疾患に対するアフェリシス療法も積極的に行っている。

当科の延べ外来患者数は月650名程度。2010(4/1~3/31)年度の延べ入院患者数は250名であった。腎生検(40例)、CKD教育入院、透析準備(シャント作成)・透析導入、維持透析患者の合併症対応など予定・緊急入院がある。またシャントPTA(経皮的シャント血管拡張術)も年間約30例程度実施している。

| 慢性腎不全 | HDあり | 82 |
|--------|------|----|
| | HDなし | 95 |
| 急性腎不全 | | 5 |
| 腎炎 | | 44 |
| 遺伝性腎疾患 | | 2 |
| 感染症 | | 10 |
| 悪性腫瘍 | | 2 |
| その他 | | 26 |



また、15台の透析コンソールを有し、年間80件程の新規血液透析導入と10件の新規腹膜透析導入を行っている。また、常時35名の透析患者の治療を行っており、35名の腹膜透析患者の診療を行っている。

糖尿病・代謝内科

■スタッフ

| | |
|-------|------------------------|
| 石田和史 | (昭和61年卒、主任部長) 昭和63年～ |
| 大黒景子 | (平成16年卒) 平成18年4月～21年3月 |
| 平岡佐知子 | (平成17年卒) 平成19年4月～21年3月 |
| 岸本瑠衣 | (平成17年卒) 平成21年4月～22年3月 |
| 一町澄宜 | (平成18年卒) 平成21年4月～23年3月 |
| 日域邦昭 | (平成9年卒、部長) 平成22年4月～ |

■診療状況

症例数：定期通院外来総患者数 約2,200名

糖尿病 外来定期通院患者 計約2,000名

(1型糖尿病 6%、2型糖尿病 93%、その他 1%)

糖尿病入院患者 163名(平成21年度)
106名(平成22年度)

2008年8月に開始した広島県西部地区糖尿病連携パス紹介患者数 119名

★インスリン治療(経口糖尿病薬併用を含む) 30%以下に内訳を示す

1型(SPIDDMを含む)：5回法20%、4回法47%、3回法14%、2回法14%、1回法5%
2型：4回法7%、3回法22%、2回法64%、1回法7%

★2型糖尿病における治療内容内訳(全患者に占める割合を示す、重複あり)

SU薬43%、グリニド薬10%、BG薬50%、チアゾリジン薬24%、αGI薬9%、DPP-4阻害薬7%

GLP-1受容体作動薬2%、インスリン治療25%、食事・運動療法のみ17%

★全患者(初診患者も含む)の月別HbA1c(JDS値)

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2009 | 7.13 | 7.13 | 7.08 | 7.01 | 7.04 | 6.98 | 7.02 | 7.13 | 7.10 | 7.16 | 7.19 | 7.23 | 7.10 |
| 2010 | 7.14 | 7.15 | 6.98 | 6.94 | 7.02 | 6.94 | 6.89 | 6.98 | 7.06 | 7.19 | 7.29 | 7.30 | 7.07 |

★定期通院患者のHbA1c(JDS値) 年間平均値(2011年3月時点)
1型:7.58% 2型:7.05%

甲状腺疾患 約200名(バセドウ病、慢性甲状腺炎のみ)
※甲状腺腫瘍病変は他科で取り扱い

下垂体機能低下症および副腎機能低下症 若干名

■研究活動

治験 1) AS-3201の糖尿病性末梢神経障害患者を対象とした二重盲検法による用量設定試験(後期第Ⅱ相試験)

2) 経口血糖降下薬で効果不十分な2型糖尿病患者に対するインスリンリスポ混合製剤-50の段階的導入法の有効性および安全性の検討(第Ⅳ相試験)

受託研究 ピタバスタチンの耐糖能異常者に対する糖尿病発症予防試験(J-PREDICT)

研究テーマ 1) 電流知覚閾値検査(CPT)を用いた糖尿病神経障害の評価(治療戦略を視野に入れた病期分類確立に向けて)

2) インスリンアナログ製剤の評価(リスポmix25とアスパルト30mixの比較を中心に)

3) 体組成分析装置InBodyを用いた肥満評価(血中アディポサイトカイン・生活活動度との関連)

4) インクレチン関連薬の臨床評価

5) 測定法の相違によるHbA1c測定値の乖離

消化器内科

■ スタッフ(役職、専門分野)

| | | |
|------|-----------------------|-------------------------|
| 石田邦夫 | 副院長 | 肝疾患 |
| 徳毛宏則 | 診療部長・ 消化器内科主任部長 | 肝胆道疾患/ 胃瘻関連 |
| 小松弘尚 | 内視鏡科主任部長 緩和ケア科主任部長 | 消化管疾患/ 消化器癌/ 緩和ケア |
| 藤本佳史 | 消化器内科 主任部長代理 | 膵胆道疾患 |
| 古土井明 | 内視鏡科 主任部長代理 | 消化管疾患 |
| 野中裕広 | 消化器内科部長 | 肝胆道疾患 |
| 菅宏美 | 消化器内科医師 | 消化器疾患全般 |
| 瀧川英彦 | 消化器内科医師 | 消化器疾患全般 |

■ 診療実績

| 消化器内科／内視鏡科検査処置件数(2011年) | | | |
|-------------------------|-------|-------------|--------|
| 上部消化管内視鏡検査 | 4,020 | 腹部超音波検査 | 3,781 |
| 上部消化管内視鏡処置 (含EUS) | 451 | 腹部超音波下処置 | 145 |
| 十二指腸内視鏡検査処置 (ERCP等) | 237 | 超音波関連検査処置合計 | 3,926 |
| 小計 | 4,708 | | |
| 下部消化管内視鏡検査 | 1,150 | | |
| 下部消化管内視鏡処置 | 481 | | |
| 小計 | 1,631 | | |
| 全内視鏡検査処置合計 | 6,339 | 消化器内科検査処置総計 | 10,265 |

■ 診療内容とトピックス

広島総合病院消化器内科では、内視鏡機器や超音波機器などの医療機器を使用して各種の検査処置をしています。これらの機器での診療は広島総合病院内視鏡科にて行われます。2009年6月これらの機器を最新機器に一新し最先端の医療を提供しています。

上部消化管疾患診療でのトピックスは、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)です。これは早期胃癌などに対して胃内視鏡で切除する方法で、従来の方法に比べて大きな病変まで切除できるメリットがあり、近年急速に認知されるようになり、最近保険診療が認められたばかりです。当院ではこの方法により早期胃癌の治療をしています。その他、胃癌や食道癌で食べ物が通らなくなる状態を治療するステント治療も患者さんのQOL(生活の質)改善のために積極的に行っています。胃瘻関連処置においても全国有数の施設と認められています。

下部消化管疾患としては、大腸ポリープや大腸癌などの腫瘍性疾患に加え、潰瘍性大腸炎やクローン病と

いった炎症性腸疾患があります。大腸ポリープや早期大腸癌に対する内視鏡的粘膜切除術、炎症性腸疾患に対する白血球除去療法や抗TGF α 抗体製剤の投与など最新の治療を行っています。

肝臓疾患としては、脂肪肝(NASH)、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変や肝臓癌などがあります。肝臓癌に対する治療面では、分枝標的剤による薬物療法、外科手術、放射線療法、肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼療法などを他科との合同カンファレンス(カンサーボード)で検討したうえ最善の治療法で対処しています。

膵胆道疾患としては、胆嚢炎、総胆管結石、胆管癌、膵癌、IPMNなどがあります。診断面では最新の診断方法である超音波内視鏡検査(EUS)および細径針吸引生検(FNAB)を取り入れ診断能の向上に努めています。内視鏡的乳頭切開術や閉塞性黄疸に対するステント留置術など内視鏡的処置を積極的に行っています。また、膵嚢胞性疾患診療の地域連携パスを作成し地域のかかりつけ医と連携して診療しています。

救命救急医療の現場においては問題となることに吐血があります。消化器内科では、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術(EVL)、胃潰瘍からの出血に対するクリッピング法などの内視鏡的止血術を24時間体制で施行できる体制としています。

■ 当科の特徴

当科のモットーである、「患者さん本意の診療」を日々実践しています。最先端診療技術を習得するため医師の他施設での研修への派遣のみならずコメディカルの各種資格獲得のための支援なども積極的に行っています。研修医への教育においては、当科独自の研修プログラムが好評で情熱のある上級医による指導で多くの研修医が当科で研修を希望するようになっています。臨床研究も積極的に行っており、その成果は学会や論文で発表しています。また、地域の先生方や医療者との連携にも力を入れており、地域相互消化器医師ネットワーク(Regional Interactive G.I. Doctors' Network : 略称RIGID Net)という勉強会を立ち上げ様々な交流を活発に行っています。

小児科

■ スタッフ

主任部長 中 畠 千恵子
 資格 小児科専門医 心の相談医 産業医
 臨床研修指導医
 専門 小児神経(てんかん)、小児内分泌(成長
 ホルモン)

部 長 古 井 潤
 資格 小児科専門医 医学博士(甲)小児循環
 器暫定指導医 新生児蘇生法イ
 ンストラクター BLS・PALSプロ
 バイダー
 専門 小児循環器(先天性心疾患・川崎病)、小
 児アレルギー(食物アレルギー)

医 師 樋 口 公 章
 資格 新生児蘇生法インストラクター 小児
 科専門医
 専門 新生児(新生児集中治療)BLSプロバイ
 ダー

エピペン(アドレナリン自己注射薬)処方件数

09年 4件 10年 7件

食物アレルギー経口負荷試験

09年 外来19件 入院27件

10年 外来40件 入院11件

食物アレルギーに対する急速免疫療法

10年 3件

食物アレルギーに対する緩徐免疫療法

10年 12件

心エコー 09年 355件 10年 362件

■ 診療科紹介

2010年4月現在までのスタッフは中畠(主任部長)、古井(部長)、塩手(部長)の3名体制でした。2011年塩手医師の転勤に伴い、新しいスタッフとして広島市民病院NICUから樋口医師を迎え新生児領域の対応が速やかとなりました。

2011年度中に小児科スタッフは4名に拡充される予定で、さらに地域医療に貢献できるものと自負しております。

当科の特色は以下の3点です。

- ① 二次医療機関として、入院患者受け入れ機関であること
- ② 小児領域専門診察が可能であること
- ③ NICUの設置はしてないが、院内出生児の迅速な対応ができること

常勤スタッフが3名しかいないことから、小児時間外救急には対応しておりませんが、重症児の救急車での搬送受け入れは救急センタースタッフと連携して行っています。

■ 治験や受託研究

ロタウイルス経口ワクチン

重症川崎病に対する免疫グロブリン・プレドニゾロン初期併用療法のランダム化比較試験(RAISE Study)
<http://raise.umin.jp/>

■ 診療実績

成長ホルモン負荷試験 09年 35件 10年 23件

脳波 09年 530件 10年 517件

予防接種 09年 444件 10年 590件

シナジス接種

09年度のべ109件 10年度 135件

外科

■ スタッフ

| 役職 | 氏名 | 資格 | 専門 |
|---------------------------|-------|--|--------------------|
| 院長 | 福田康彦 | 医学博士 日本外科学会専門医指導医 日本消化器学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本透析医学会専門医・指導医 日本乳癌学会認定医 | 消化器外科 移植外科 |
| 一般外科 治療センター長 | 中光篤志 | 医学博士 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医 マンモグラフィ読影認定医 広島大学臨床教授 | 肝胆膵 消化管 |
| 消化器外科主任部長 (化学療法主任部長) | 今村祐司 | 医学博士 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 マンモグラフィ読影認定医 消化器がん外科治療認定医 抗腫瘍化学療法認定医 インフェクションコントロールドクター(ICD) | 消化管 肝胆膵 |
| 乳癌外科主任部長 | 船越真人 | 医学博士 日本外科学会専門医・指導医 日本乳癌学会乳癌専門医 マンモグラフィ読影認定医 乳房超音波検査資格医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医 日本消化器外科学会専門医 | 乳癌 |
| 外科部長 (腹部救急治療科 主任部長) | 香川茂平 | 医学博士 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本外科学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医 インフェクションコントロールドクター(ICD) マンモグラフィ読影認定医 | 消化器外科(大腸) 内視鏡外科 |
| 外科部長 | 加納幹浩 | 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 | 腹腔鏡消化器手術 |
| 外科部長 | 上神慎之介 | 日本外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 | 一般外科 |
| 外科副部長 | 桑田亜希 | マンモグラフィ読影認定医 | 一般外科 |
| 外科副部長 | 藤解邦生 | 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 マンモグラフィ読影認定医 | 一般外科 |
| 外科医員 | 埴越宏幸 | | 一般外科 |

■ 症例数 (2010年4月1日～2011年3月31日)

| | 症例数 | (腹腔鏡手術) | | 症例数 | (腹腔鏡手術) |
|---------|------|---------|------------|-------|---------|
| 食道 | 4 | | 乳癌 | 116 | |
| 胃癌 | 81 | (11) | 甲状腺 | 40 | |
| 胃十二指腸良性 | 15 | (2) | ヘルニア | 168 | |
| 結腸癌 | 102 | (42) | イレウス | 18 | (5) |
| 直腸癌 | 56 | (14) | 肛門手術 | 20 | |
| 大腸良性 | 10 | | 虫垂炎 | 67 | (8) |
| 肝 | 27 | | 人工肛門造設 | 22 | |
| (原発肝癌) | (11) | | 人工肛門閉鎖 | 14 | |
| (転移性) | (16) | | CAPDチューブ挿入 | 9 | (9) |
| 胆膵悪性 | 23 | | ポート埋め込み | 86 | |
| 胆石 | 116 | (100) | その他 | 72 | |
| | | | 計 | 1,066 | |

■ 診療状況

当院は2006年のがん拠点病院に指定されており、癌患者の手術件数も年々増加傾向にある。またその地域性から急性腹症の診療数も多く、昨年度の全手術件数

は1,066例と増加している。主要な疾患内訳は左下図の様になっている。

2010年度のトピックスは、船越(乳癌専門医)の赴任により、乳癌の手術症例が増加したことである(詳細は乳癌外科の項参照)。

その他の疾患では、腹腔鏡手術の増加が特徴である。胃癌に関しては、腹腔鏡補助下の幽門側胃切除が3年ほど前より導入され、本年も増加傾向であった。大腸癌に関しては158件の手術を施行したが、腹腔鏡手術の件数が増加傾向である。また遠隔転移を有するStageⅣの大腸癌症例でも、転移巣の切除を可能な限り行い成績向上を追求している。肝胆膵の悪性疾患は、特に今年度、消化器内科に胆膵領域を専門とする藤本が赴任したことにより、手術症例数が増加している。その他急性腹症領域でも鏡視下手術を施行することが増えている。鏡視下手術件数は今後ますます増加することが予想される。しかし手術の本質は安全性と根治性にあることを忘れてはならないと考えている。

診療においては、各種疾患のガイドラインが作成され、治療に関するコンセンサスが得られつつあり、それに準じて治療方針を決定している。しかし、それでも治療方針に悩む悪性疾患は存在し、それらについては院内のcancer boardにより内科・外科・画像診断部・放射線治療科合同で討議し方針を決めており、各科共同で集学的治療を行っている。

また癌治療にとって、手術との両輪である化学療法治療にも積極的に取り組んでいるが、化学療法室の設置により、安全・円滑に多くの外来化学療法が施行できるようになっている。さらに各種副作用のマネージメントが以前より格段に向上しており、快適にintensiveな外来化学療法が施行できるようになっている。

■ 研究活動

論文発表・学会発表も別掲のように積極的に行われている。

乳腺外科

■ スタッフ

主任部長 船越真人

非常勤医師 安井大介

■ 診療状況

2010年4月—2011年3月 乳癌新患者数：128

乳癌手術数：112

広島総合病院 乳腺外科は乳腺疾患を専門に扱う診療科として2010年4月新設されました。乳腺を専門に扱う科は広島市西区以西では初めての設立です。診療内容は乳癌を中心に乳腺疾患の診断、治療を行っています。乳癌治療は、手術療法・薬物療法・放射線療法といった治療法を適宜組み合わせて行う集学的治療が基本であり、それにより飛躍的に治療成績が向上します。当院外来化学療法室、放射線科、放射線治療科、病理研究検査科と協力し治療にあたっています。手術は乳房部分切除とセンチネルリンパ節生検(乳房温存手術)を基本に乳房切除が必要な方には形成外科にご協力いただき乳房再建も積極的に行っています。

また当科の特色にきわめて精度の高いセンチネルリンパ節生検があります。

乳癌は進行すると、わきの下のリンパ節(腋窩リンパ節)に転移することが知られています。最初に転移をきたすリンパ節のことをセンチネルリンパ節(見張りリンパ節)といいます。当院では、術前に3D-CTリンフォグラフィ、RI(ラジオアイソトープ)でセンチネルリンパ節を確認後、手術中に色素、RI併用法でセンチネルリンパ節を摘出し、迅速病理診断で転移の有無を診断しています(センチネルリンパ節生検)。転移がない場合はリンパの切除(腋窩リンパ郭清)を省略し、転移がある場合はリンパの切除を行っています。不必要なリンパ郭清を省略することにより、手術後の腕や手の浮腫(むくみ)、しびれ感や痛みなどの後遺症を防ぐことができます。

乳癌の薬物療法も進化の早い部門です。乳癌初期治療について少し解説します。腋窩リンパ節転移の有無・個数、腫瘍径などの「解剖学的拡がり」に基づいてリスクを評価するというのが20世紀までのルーチンでした。ところが、最近は薬物感受性があるかどうか

した標本を遺伝子検査して薬の感受性を決めて薬物療法を行っています。

また最近では不必要な抗癌剤を避けるため21個の遺伝子を検索して抗癌剤を投与するかどうかを決めることが海外では常識になりつつあります。

このように、乳癌の治療は進歩しています。毎年、大きな学会で決まったことにより標準治療が変わっていきます。

当科も常に世界標準の乳癌治療が患者さんに提供できるよう常にアップデートしてまいります。

■ 研究活動

1. 2011年度共済連委託研究課題

(ホルモンレセプター陽性乳癌患者に対する遺伝子発現解析を用いた化学療法必要性因子の研究)

2. JBCRG研究

JBCRG-C01

HER2陽性の原発性乳癌患者を対象とした補助療法としてのトラスツズマブの有用性を検討する観察研究—コホート I

JBCRG-C02

トラスツズマブの補助療法治療歴を有する再発乳癌患者を対象としたトラスツズマブの有用性を検討する観察研究—コホート II

JBCRG04(CREATE-X)

術前化学療法、原発巣手術施行後、病理学的に腫瘍が残存している乳癌患者を対象にした術後補助療法におけるCapecitabine単独療法の検討—第Ⅲ相比較試験

3. CSPOR研究

1. HER2陽性の高齢者原発性乳癌に対する術後補助療法におけるトラスツズマブ単剤と化学療法併用に関するランダム化比較試験

2. レトロゾールによる術前内分泌療法が奏効した閉経後乳癌患者に対する術後化学内分泌療法と内分泌単独療法のランダム化比較試験

3. 閉経後乳癌の術後内分泌療法5年終了患者に対する治療終了とアナストロゾール5年延長のランダム化比較試験

整形外科

■ スタッフ

| | | |
|------|------|------------|
| 副院長 | 藤本吉範 | (2002年4月～) |
| 主任部長 | 高田治彦 | (2010年4月～) |
| 部長 | 山田清貴 | (2009年4月～) |
| 部長 | 橋本貴士 | (2011年4月～) |
| 医員 | 清水良 | (2011年4月～) |
| 医員 | 住吉範彦 | (2011年4月～) |
| 医員 | 高澤篤之 | (2010年4月～) |

以下のごとく各スタッフが専門領域を担当しております。

脊椎・脊髄疾患：藤本、山田

関節外科：高田、橋本

手の外科、関節リウマチ：高田

外傷：清水、住吉、高澤

■ 診療状況

整形外科は広島県西部地区の基幹病院として地域の病院・医院の先生方と連携を取りながら診療を行っております。年間の初診患者数は約1,300例でそのうち紹介率は約120%を占め、また当院で治療の終了した患者さんは再び地域の先生に御加療いただいております(逆紹介率約120%)。

2010年度の手術件数は1,102例で、頸椎手術92例、腰椎手術379例と症例の多くは脊椎・脊髄疾患で、広島県内はもちろん中四国、関西、関東地区から藤本副院長を慕って紹介されてくる患者さんもいます。その多くは腰椎、頸椎の変性疾患や、脊椎椎体骨折後偽関節の患者さんです。手術は手術用顕微鏡を用い低侵襲を心がけ、術中モニタリングを併用し安全な手術を行っております。また、脊椎椎体骨折後長期の安静により活動性がさがり要介護になることを予防するため、経皮的椎体形成術を中四国厚生局から認可された先進医療として積極的に行ってまいりました。「圧迫骨折を寝かせて治す時代は終わった」を合言葉に、高齢者でも可能な低侵襲で除痛効果の優れた手術を行っております。経皮的椎体形成術は経皮的後弯矯正術と名を変えて2011年1月から保険診療として行えるようになりました。詳しく

くは本誌トピックスを参照して下さい。

その他、手の外科は手根管症候群・肘部管症候群、橈骨遠位端骨折など一般的な疾患や、腱皮下断裂など特殊な再建術など専門性の高い医療も行っております。関節外科は人工膝関節・股関節を中心に行っております。

整形外科といえば外傷ですが、2011年4月から地域救命救急センターの設立に伴い、「地域の外傷は地域で完結を」をめざし西部地区の病院・医院の整形外科の先生と連携しながら治療を行ってまいります。また大腿骨近位部骨折に関しては地域連携パスを運用し、回復期の3病院(アマンリハビリテーション病院、廿日市記念病院、大野浦病院)と連携しておりますが、さらなる連携拡大が望まれます。

当科の治療成績は良好なものと考えておりますが、学会・研究会などでこれを発表し、評価を受けながら常にこれを向上させる姿勢を持ち続けていきたいと思っております。

■ 多施設共同研究

日本脊椎脊髄病学会委託事業「整形外科外来の脊椎関連慢性疼痛患者における神経障害性疼痛有病率に関する調査」

脳神経外科

■ スタッフ

主任部長 黒木 一彦 (1991年広島大学卒業)

脳血管障害、脳腫瘍を中心に治療を行っている。救急専門医も保持し、DMAT隊員でもある

脳血管内治療科
主任部長 渋川 正顕 (1990年広島大学卒業)

脳血管障害に対する血管内治療を専門に行っている

織田 祥至 (2005年広島大学卒業)

■ 診療状況

2010年入院患者数 534名

2010年手術数 143例

うち、脳動脈瘤クリッピング術:21例

脳腫瘍:17例

血管内手術:25例

これまで脳梗塞の急性期治療といえは発症3時間以内に諸条件が満たせばtPAを投与してきた。麻痺や意識障害の改善が得られることもあるが、奏効率は高いとはいえない。最近塞栓症に対しては血管内手術にて中大脳動脈部の血栓を回収する器具(Merci)が発売された。特に認可された医師のみ行える手技になるが、当院では渋川医師が認定されており、いつでも対応可能である。

呼吸器外科

■ スタッフ

主任部長 : 渡 正 伸

医 員 : 松 浦 陽 介

■ 診療状況

年間手術症例は100–150例、そのうち肺癌根治術は40–70例程度実施しています。肺癌は最近増加している疾患であり、根治術も増加傾向です。縮小手術としては胸腔鏡を用いた内視鏡手術を数多く行っています。一方、進行癌に対しては拡大手術が必要であり、高い技術が必要とされる胸骨正中経路による両側縦隔郭清術を行っている施設は広島県下で当科のみの状況です。肺癌患者の多くは肺機能が低下したCOPDを合併していることが多く、手術に際してハイリスクであり術後合併症の発生頻度も高いと言われています。我々はこのような症例に対して入院までの期間を利用して栄養指導、呼吸リハビリ、吸入薬による肺機能の改善等を図るチーム医療を実践して好成績を上げています。このような活動は全国でも初めての成果と言えます。

最近のトピックスとして2010年秋に、アメリカで行われてきた肺癌のCT検診のスタディ(NLST)で低線量胸部CTが肺癌死亡率を低下させたという結果が出ました。この胸部CT検診は、我々がいち早く10年も前から行っている胸部CT検診が有効であるという証拠が出たわけです。

■ 研究活動

治験や受託研究などは現在行っておりません。

心臓・血管外科

■ スタッフ

主任部長 川 本 純 (2009年4月～)
 部 長 小 林 平 (2009年4月～)
 医 員 前 田 和 樹 (2011年4月～)

■ 診療科紹介

心臓血管外科とは文字通り心臓と血管に対する治療を行う科です。心臓や胸部の大血管などの開心術(心臓を一時的に止め、人工心肺が必要で)、胸部大血管以外の腹部大動脈や下肢の動脈の手術、下肢静脈瘤、透析に必要な内シャント術などの手術を行っています。JA広島総合病院心臓血管外科では、地方都市の一病院ではありますが、先進的な手術を行なっております。

心臓外科の手術において特徴的でかつ重要である体外循環(人工心肺装置)においては、1994年から、従来の低体温による体外循環に比べ回復が早く、出血量、感染症などの点で良好な常温体外循環(常温心筋保護法併用)を補助手段として使用しております。

狭心症/心筋梗塞に対する冠動脈バイパス術においては多くの施設に先駆け1989年から足の静脈(10年後には約3割が閉塞するといわれている)に代えて、内胸動脈、右胃大網動脈手の動脈(とう骨動脈)を使って、長期予後の改善を試みてきました。

最近では、若年者への僧帽弁置換術を可及的に避けるため積極的な僧帽弁形成術(人工腱索やリング)を施行して良好な結果を残しています。

心臓移植の代替治療として欧米でも注目されている先端の治療であるバチスタ手術(拡張型心筋症の患者の左心室を縮小、形成する手術、最近ではSAVE手術という左心室の形成術が多く行われている)を、1998年中四国で初めて開始しました。

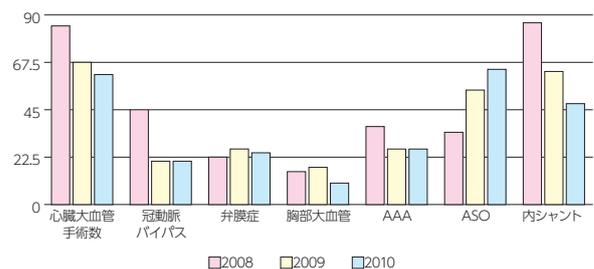
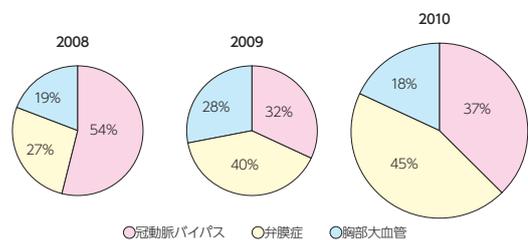
予後の改善に加え、ADLの改善、本人・家族の満足の得られる医療をめざしております。

■ 診療実績

年度ごとの当科の実績を以下に示す。2010年の総手術数は362例であり、うち心大血管手術は75例であった。そのうち45%が弁膜症手術であり、僧帽弁形成術を主に行っている。平均手術時間は277分、平均体外循環時間136分であった。

難治性潰瘍などの重症下肢虚血を含む閉塞性動脈硬化症に関しては個々の症例で循環器内科と協議を行い、血管内治療またはバイパス術を選択している。バイパス術は年々増加傾向にあり、2010年は79例に施行、うち重症下肢虚血に対する下腿へのバイパス術を26例に施行している。

胸部大動脈瘤手術は6例、腹部大動脈手術は30例であり、本年胸部、腹部ともにステントグラフトの実施設として認定されたため、今後症例の増加が見込まれる。



皮膚科

活動報告

■診療科紹介

2010年4月より森川(皮膚科主任部長)、中村(2011年4月より副部長に昇進)、木矢の3名で診療を行っています。皮膚科の日常ですが、3人で病棟カンファレンスをした後、病棟患者さんの処置を行い、それから3人で午前中は外来診療を行います。外来診療は3人も毎日初診、再診ともに診ていきます。午後からは、月曜日、金曜日は手術室での手術、火曜日、水曜日、木曜日は外来にて小手術、皮膚生検およびその他の検査などを行っています。そのあとで、朝にできなかった病棟患者さんの処置、他科の入院患者さんの往診などを行っています。そして、1日の最後に患者さんの回診をします。また、木曜日は小中高校生の患者さんを対象として午後外来を行っております。入院患者さんに対しては、担当医の名前はついておりますが、原則主治医性とはならず、3人で患者さんを見ていくという方針で行っております。そのほか、適宜、手術症例の検討、手術や生検で得られた病理組織の検討を行っています。

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------|---|----|----|----|----|
| 外来診療前 | | 朝の病棟カンファレンス及び病棟処置 | | | | |
| 午前 | 1診 | 森川 | 森川 | 森川 | 森川 | 森川 |
| | 2診 | 中村 | 中村 | 中村 | 中村 | 中村 |
| | 3診 | 木矢 | 木矢 | 木矢 | 木矢 | 木矢 |
| 午後 | 15:30 | 手術室手術 小手術 小手術 小手術 手術室手術 病棟処置及び他科の患者さんの往診 午後外来 ←----- 病棟回診 -----> | | | | |

■診療状況

当科では、外来診療において湿疹皮膚炎群や白癬といった一般皮膚科的にポピュラーなものから、近隣の皮膚科開業医や院内他科からも紹介を受け、難治性の皮膚疾患、薬疹に対する診療、各種皮膚の腫瘍性疾患に対し、手術なども積極的に行っております。また、入院が必要な各種皮膚疾患の患者さんに対しても、必要性に応じて随時対応をしていきます。一方、寝たきり患者さんに生じた褥瘡に対しても、各病棟への往診などにて対応を行っています。

■診療実績

2009、2010年度の入院患者の内訳を下記に示します。

| 病名 | 人数 (2009年度) | 人数 (2010年度) |
|----------------|----------------|----------------|
| 湿疹・皮膚炎 | 5 | 4 |
| 蕁麻疹・痒疹 | 6 | 3 |
| 紅斑・紅皮症 | 6 | 4 |
| 中毒疹・薬疹 | 4 | 5 |
| 血管炎・紫斑 | 3 | 0 |
| その他の脈管疾患 | 5 | 3 |
| 膠原病および類縁疾患 | 1 | 0 |
| 物理・化学的障害 | 18 | 22 |
| 水疱症・膿疱症 | 6 | 6 |
| 角化症 | 2 | 0 |
| 代謝異常症 | 0 | 0 |
| 付属器疾患 | 0 | 0 |
| 皮膚良性腫瘍 | 17 | 17 |
| 皮膚悪性腫瘍 | 35 | 30 |
| 細菌性皮膚疾患 | 49 | 31 |
| ウイルス性皮膚疾患 | 84 | 40 |
| 真菌症 | 0 | 0 |
| 昆虫・原虫などによる皮膚疾患 | 0 | 0 |

泌尿器科

■ スタッフ

2011年7月からのスタッフは小深田義勝(1979年卒、診療部長、泌尿器科主任部長)丸山 聡(1985年卒、結石破砕主任部長)高広悠平(2008年卒)の常勤医と2回/週の大学院生(沖 真実、2002年卒)です。

■ 診療科紹介

朝は7時30分集合、病棟カンファレンス、病棟回診を行います。外来は8時過ぎから開始します。このことにより、夕方5時に仕事が終了するように努力しています。

■ 診療実績

年間の入院患者は約700名で、手術件数は360—400件です。

最近の当科のトピックスを述べたいと思います。やはり前立腺癌の増加が一番にあげられます。前立腺生検も年間200件近く行われ100例近くが前立腺癌の診断がつかます。

- 1) 前立腺内に限局した前立腺癌に対する根治的前立腺全摘出術が、年間40例をこすようになりました。(5年前は20例)その理由は、手術適応例(早期癌)が増えた事。また経験を重ねることにより、合併症(出血、術後尿漏れなど)がほとんど起こらなくなったこと。このため手術時間も現在では2.5時間と1時間ほど短縮されました。
- 2) 前立腺癌のもう一つの治療の中心である抗男性ホルモン療法が有効でなくなった症例(ホルモン不応性)では、その後の治療が困難なことがありました。しかし新しい抗癌剤(タキソテール)が認可され治療の幅が広がりました。現在まで36例投与してきました。全て外来治療が可能で、入院の必要はありません。副作用も重篤なものはありません。治療期間は長い人で4年近くになります。(タキソテール開始後)
- 3) 腎臓癌に対する治療として分子標的治療薬(内服薬)が開発され、転移性腎癌の治療も進化してきました(3種類あり)。しかし副作用がかなりあること、また薬が高額なのが少し気になります。
- 4) 前立腺肥大症の新しい内服薬が開発され、有効な事

が多く、手術(TUR-P経尿道的切除術)が若干減少しました(年間90-100例が70件弱に減少)。外科医としては少し残念な気がしますが、技術は進歩していますので手術適応のある患者さんには積極的に勧めています。

5) 尿路結石に対するESWLは年間150件前後施行しています。

最近、ドルニエ社製の新機種に変わり、砕石力がUPしました。これにより治療回数が減少し、患者さんに好評です。このことより尿路結石の内視鏡手術(TUL PNL)が激減しています。しかし、治療が難しいサンゴ状結石に対しては、PNLを第一選択として行っています。20年以上使ってきた超音波砕石器を大事に使って有効活用しています。

| 術式 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
|----|-------|-------|-------|-------|-------|

1 副腎、腎の手術

| | | | | | |
|---------------------|---|----|----|---|----|
| 根治的腎摘除術(腎癌) | 6 | 8 | 5 | 7 | 5 |
| 鏡視下腎摘除術(腎癌) | 3 | 11 | 4 | 3 | 7 |
| 腎部分切除術(腎癌) | 8 | 7 | 13 | 0 | 5 |
| 腎尿管全摘除術(腎盂尿管癌) | 3 | 6 | 4 | 4 | 2 |
| 鏡視補助下腎尿管全摘除術(腎盂尿管癌) | 5 | 7 | 13 | 6 | 13 |
| 副腎摘除術(副腎腫瘍) | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 鏡視下副腎摘除術(副腎腫瘍) | 2 | 4 | 4 | 1 | 2 |

2 尿管、膀胱の手術

| | | | | | |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経尿道的膀胱悪性腫瘍手術(膀胱癌) | 108 | 105 | 119 | 119 | 132 |
| 膀胱結石手術 | 13 | 20 | 11 | 11 | 10 |
| 膀胱全摘除術 | 8 | 3 | 7 | 4 | 4 |
| 回腸導管造設術 | 7 | 3 | 6 | 5 | 4 |
| 尿管皮膚瘻術 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 腸管利用代用膀胱造設術 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 膀胱部分切除術 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |

3 前立腺の手術

| | | | | | |
|--------------------|-----|----|----|----|----|
| 経尿道的前立腺切除術(前立腺肥大症) | 102 | 83 | 70 | 93 | 66 |
| 前立腺被膜下摘除術(前立腺肥大症) | 3 | 2 | 1 | 0 | 2 |
| 根治的前立腺全摘除術(前立腺癌) | 21 | 20 | 13 | 29 | 38 |

4 陰嚢内容臓器、尿道の手術

| | | | | | |
|--------------|----|----|----|---|---|
| 高位精巣摘除術(精巣癌) | 1 | 9 | 3 | 3 | 5 |
| 精巣摘除術(前立腺癌) | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 精巣水腫根治術 | 9 | 11 | 11 | 2 | 5 |
| 経尿道的内尿道切開術 | 13 | 13 | 4 | 7 | 8 |

5 結石

| | | | | | |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経皮的腎砕石術(PNL) | 2 | 6 | 3 | 8 | 1 |
| 経尿道的尿管砕石術(TUL) | 10 | 5 | 4 | 12 | 8 |
| 体外衝撃波尿管結石破砕術(ESWL) | 129 | 115 | 138 | 158 | 122 |

6 小児泌尿器科手術

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|----|----|
| 精巣固定術(停留精巣) | 0 | 2 | 1 | 3 | 1 |
| 包皮切除術(包茎) | 2 | 3 | 1 | 11 | 12 |
| 尿管膀胱新吻合術 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 |

7 その他

| | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 前立腺針生検法 | 138 | 131 | 130 | 209 | 174 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|

産婦人科

■ スタッフ

| | | |
|------------|-------|--------------|
| 主任部長 | 中西慶喜 | (1984年広島大学卒) |
| 主任部長 代理 | 藤本英夫 | (1986年広島大学卒) |
| 部長 | 中前里香子 | (1998年広島大学卒) |
| 部長 | 田中教文 | (2000年広島大学卒) |
| 部長 | 佐野祥子 | (2001年広島大学卒) |
| 医師 | 皆川詩織 | (2008年広島大学卒) |

外来人員配置

医師6名、看護師5名、受付2名、医療秘書1名

■ 診療状況

2009年

| | |
|-------|------|
| 分娩 | 582件 |
| 子宮頸癌 | 12件 |
| 子宮体癌 | 15件 |
| 卵巣癌 | 14件 |
| 腹腔鏡手術 | 43件 |

2010年

| | |
|-------|------|
| 分娩 | 616件 |
| 子宮頸癌 | 6件 |
| 子宮体癌 | 21件 |
| 卵巣癌 | 17件 |
| 腹腔鏡手術 | 50件 |

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

(広島県内では6施設)

婦人科の特徴としては広島県内では6病院しか指定されていない日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設の一つであり、悪性腫瘍に対する手術療法や化学療法を積極的に行い、放射線治療に関しては広島大学病院と連携し子宮頸癌の治療を行っている。

良性疾患に対しては入院期間の短く、侵襲の少ない腹腔鏡下手術・子宮鏡下手術や腔式手術に積極的に取り

組んでおり年々症例数が増加している。

産科では未熟児センターがなく、在胎週数が35週以降で胎児推定体重2000g以上が当院小児科で管理できる限界であり、早い時期での早産などに関しては広島市内の病院(広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院など)に搬送をしている。

近隣の施設からの母体搬送は可能なかぎり引き受けており、2009年には50件、2010年には67件の母体搬送を受けている。臨月まで管理できた妊婦さんは希望すれば紹介元の施設に逆紹介して分娩をしてもらうなど、近隣施設とは良好な連携を保っている。また、主任部長は広島県西部産婦人科医会(広島市西区から大竹市まで)の会長として年3回程度の講演会を開催し、毎回約20名の先生に参加して頂いている。

眼科

■ スタッフ

二井宏紀(にいひろき)主任部長と中村有美子(なかむらゆみこ)医師の2名体制です。看護師2名、ORTが2名、OMA1名、事務1名に支えられ毎日が過ぎていきます。二井は1986年広島大学眼科に入局後に広島大学病院並びに関連病院で眼科臨床を、米国イェール大学で緑内障の基礎研究を行い、広島大学では緑内障外来担当および病棟医長として緑内障を専門分野としました。1999年から現職となり臨床に明け暮れています。

■ 診療状況

外来患者は50名前後、入院患者は10名前後です。二井の専門分野である緑内障患者の紹介が多く、また高齢化の進んだ地域を反映して白内障患者も多数受診されます。したがって、緑内障・白内障が中心の診療となっています。糖尿病患者も当院内科から多く紹介されています。専門外の疾患は躊躇せずそれぞれの専門施設へ紹介しています。2009年の手術実績は、白内障409例、緑内障手術59例(線維柱帯切開術9例 白内障手術併用線維柱帯切開術20例 線維柱帯切除術20例 白内障手術併用線維柱帯切除術6例 白内障手術併用隅角癒着解離術4例)でした。他にも翼状片などの外眼部手術などで年間500例程度の手術を行っています。緑内障に関しては、眼圧がよく下がる手術は手術による視力低下や感染症などの合併症をおこしやすく、逆に安全な手術は眼圧の下がりが少ないことが多いため術式決定は個々の症例の状態で最適と思われる手術を使い分けています。また、緑内障手術が必要な人は白内障を合併していることが多く、緑内障術後に白内障の悪化が多いことから白内障・緑内障同時手術も積極的に行なっています。また、アジア人に多い閉塞隅角緑内障には白内障手術単独でも眼圧下降や発作の予防に有効であり、閉塞隅角緑内障には積極的に早期の白内障手術を勧めています。白内障手術は、眼への負担を最小にするため極小切開白内障手術(2.0mm以下の切開での手術)を行っています。

■ 研究活動

緑内障新薬の治験を随時行っています。

耳鼻咽喉科

■ スタッフ

外来人員配置

医師3名（2009年7月より）、看護師3名（2011年3月より2名に減）、受付1名、医療秘書1名（2010年9月より）

医師は全員日本耳鼻咽喉科学会所属（兼見主任部長と水野部長は認定専門医）

日本耳鼻咽喉科学会認定研修施設

身体障害者福祉法 第15条指定医師（兼見主任部長）

広島大学医学部臨床教授（兼見主任部長）

■ 診療実績

手術件数（外来手術を除く）

2009年度 329件

耳科領域 27件、鼻科領域 82件、

口腔・咽頭・扁桃領域 139件

喉頭・気管領域 44件、

頭頸部領域・その他 37件

2010年度 343件

耳科領域 30件、鼻科領域 89件、

口腔・咽頭・扁桃領域 145件

喉頭・気管領域 35件、

頭頸部領域・その他 44件

■ その他活動

廿日市市立学校定期検診（耳鼻科検診）

佐伯中学校、玖島小学校、浅原小学校、

吉和小学校、吉和中学校、津田小学校、

金剛寺小学校

世話人（兼見主任部長）

広島頭頸部腫瘍研究会、

広島上気道感染症研究会、

広島スギ・ヒノキ花粉症研究会

広島耳鼻咽喉科アレルギー疾患研究会

ESS手術風景



ディエゴシステム

手術顕微鏡



ライカ社製

スギ・ヒノキ花粉カウント



ロータリー型花粉測定器

放射線治療科

■ スタッフ

医師は桐生浩司(主任部長)、幸慎太郎(副部長)の2名で診療にあたっている。二人とも日本医学放射線学会治療認定医であるとともに、日本癌治療認定医機構癌治療認定医でもある。診療放射線技師には中村哲之、海老谷京子、砂田研二の3名、看護師は瀧井輝美、事務に藤岡恵美子の計7名で放射線治療棟が運営されている。中村哲之は放射線治療品質管理士及び放射線治療専門技師の資格をもっており放射線治療線量の精度について担当している。

■ 診療実績

2009年4月～2011年3月の新患数は512名、のべ患者数は627名である。そのうち前立腺のIMRTを50名に行っている。

この2年間の最大のトピックスは2010年に体幹部定位照射の機具としてエイペックスメディカル株式会社ア

ブチェス胸腹2点測定式呼吸モニタリング装置、クオリタ社製ESN-1800型体幹部固定システムが導入され、体幹部定位照射が可能になったことと思われる。2011年3月までに、肺定位照射3例、肝定位照射1例施行した。

■ 当科の特徴

毎週月曜日には、放射線治療科スタッフ全員でカンファレンスが行われ、各患者のプレゼンテーション、それが計画したとおり、正確に照射されているかが確認され、連絡事項についてもしっかり申し送りがされる。

当科の特徴としては

①IMRT、体幹部定位照射といった高精度放射線治療

を行っている。

②化学放射線療法の効果を最大限にいかすため、各病棟・外来化学療法室と連携し抗癌剤と放射線治療の時間調整を行っている。

③毎回EPIDで写真を撮り、位置照合を行い、より正確な照射を行うよう取りくんでいる。

などがあげられる。

広島県西部の放射線治療を担う病院として今後も頑張っていくつもりである。

画像診断部

■ スタッフ

病院長補佐 藤川 光一
 (医学博士、日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、広島大学医学部臨床教授)
 専門分野 総合画像診断・IVR

主任部長 鈴木 孝之
 (医学博士、日本医学放射線学会専門医)
 専門分野 総合画像診断・IVR

部長 田村 彰久
 (医学博士、日本医学放射線学会専門医)
 専門分野 総合画像診断・IVR

部長 太刀掛 俊浩
 (医学博士、日本医学放射線学会専門医)
 専門分野 総合画像診断・IVR

医師 西亀 正代
 専門分野 総合画像診断・IVR

診療内容

CT、MR、核医学検査、各種造影検査(上部消化管・注腸)、血管造影の実施と紹介医に対する診断結果の報告

肝細胞癌、転移性肝癌、頭頸部癌、膀胱癌、急性動脈出血等に対するIVR

CT下生検、CT下ドレナージ

脳ドックの実施と診察

■ トピックス

心臓CTによる冠動脈病変の診断

当科独自の流体解析ソフトによる正常圧水頭症のMR診断

■ 診療状況

検査・治療件数

| 検査・治療 | 件数 |
|------------------|--------|
| CT | 26,909 |
| MR | 12,596 |
| 核医学検査 | 905 |
| 各種造影検査(上部消化管・注腸) | 3,290 |
| 血管造影・IVR | 286 |

診療機器

| | | |
|---------|--------------------------------|----|
| C T 装 置 | LightSpeed Ultra 16 (16列) GE | 1台 |
| | LightSpeed VCT (64列) GE | 2台 |
| M R 装 置 | Signa TwinSpeed Excite 1.5T GE | 1台 |
| | Signa HDxt 1.5T GE | 1台 |
| 血管造影装置 | Innova4100IQ GE | 1台 |
| 核医学診断装置 | Millennium VG GE | 1台 |
| X線テレビ | Curevista 日立メディコ | 2台 |

麻酔科

■ スタッフ

中尾正和(山口大学卒) 診療部長 地域救命救急センターセンター長、臨床研修プログラム責任者、医学博士、麻酔科学会麻酔指導医、ICLSインストラクター、JPTEC CMD、査読者：Journal of Anesthesia、日本臨床麻酔学会雑誌、麻酔と蘇生

松本千香子(長崎大学卒)、麻酔科学会麻酔指導医

吉田研一(広島大学卒) 救急・集中治療部門責任者、医学博士、麻酔科学会麻酔指導医

新澤正秀(島根医科大学卒)、麻酔科学会麻酔指導医、心臓血管麻酔認定医

本多亮子(愛媛大学卒)、麻酔科学会麻酔指導医、米国心臓協会認定ACLSインストラクター、ICLSディレクター

高田菜々子(福岡大学卒) 広島総合病院での初期研修後、麻酔科後期研修中

西藤幸子(広島大学卒) 広島大学病院での初期研修後、麻酔科後期研修中

大植香菜(広島大学卒) 広島大学歯科麻酔科より医科麻酔研修中



■ 診療状況

・2010年度の手術件数は4,869例で、うち麻酔科管理は3,289例で、中央部門として大きな役割を果たしています(前週木曜日の計画締め切り後に申し込まれた追加手術が412例、当日申し込みの緊急手術が446例と計画外手術が多いのが特徴です)。

・麻酔管理の診療科別内訳は外科 957、整形外科 917、泌尿器科 344、産婦人科 325、耳鼻科 254、心臓血管外科 188、呼吸器外科 148、口腔外科 85、脳外科 64、皮膚科 17、眼科 4などで新生児を除く多岐にわたっています。

・ペインクリニック：平日午前のみですが、外来で痛みをもつ患者さんの治療を担っています。緩和ケアチームの一員です。

・集中治療(ICUのセクション参照)

■ 麻酔科の機器

・麻酔ワークステーション：ドレーゲル社全身麻酔器

Fabius GSをベースに、フィリップス社インテリビューモニターを統合し、安全で信頼性の高いシステムを構築しています。

・自動麻酔記録システム：PaperChartを神戸海星病院の越川正嗣Drと共同開発し活用しています。

・高次脳波モニターBISの全室配備：患者さんの術中覚醒防止と麻酔薬の調整に有用なBIS モデルA2000を全手術室に配備し全身麻酔患者さんに利用しています。当院のように手術室が9室あるような大きめの一般病院では全国で数番目と早期から導入されています。実際の麻酔の品質管理にも役立っています。



■ 活動

・麻酔科学会認定指導病院

◇後期研修医の麻酔科医への養成指導

◇ガイドラインによる歯科麻酔科医を育てる医科麻酔研修施設

◇初期研修医の医師としての基本的手技を含めた基礎教育

◇広島大学医学部生に対する学外教育

◇救急救命士の就業前研修、就業後研修、気管挿管などの実習病院

◇女性麻酔科医師復帰支援機構の協力病院など、多くの役割を果たしています。

■ 研究活動

・臨床試験：ペインクリニックでの、1日貼り替え型フェンタニルテープの良性疾患への適応拡大

・ビデオ喉頭鏡GlideScope, AirwayScopeによる安全で速やかな気管挿管に関する研究

・ビデオ喉頭鏡を利用した、気管挿管技術習得の品質管理

■ その他活動内容

・救急蘇生の講習会 日本救急医学会認定ICLS認定コース 開催

・外傷のプレホスピタルケア JPTEC認定コース 開催

・院内職員向けAED講習会 講師(中尾)

・院外 AHA認定ACLSコース インストラクターとして指導(本多)

・院外 看護協会の救急蘇生講習会 講師(中尾)

・心臓血管麻酔学会の専門医試験委員(新澤)

歯科口腔外科

■ スタッフ

主任部長 原 田 直
 (歯学博士、日本口腔外科学会指導医、
 専門医、日本がん治療機構暫定教育
 医、臨床研修指導医)

歯科医師 安 田 雅 美

研修医 長 瀬 大 地

歯科衛生士 2名

歯科助手 1名

■ 取得資格

歯科医師臨床研修施設

口腔外科学会認定専門医研修施設

■ 診療状況

現在、年間約1,500人以上の当科新患があり、その約60%近くが佐伯地区医師会、佐伯歯科医師会を中心に、大竹市、岩国市など広い地域の医療施設から、医科、歯科関係なく紹介されている。その専門性から口腔外科学会認定専門医研修施設、歯科医師臨床研修施設に認定されている。また、突発的事故による顎顔面外傷など救急を要する例に対しても24時間待機の救急体制を行っている。口腔外科領域は医科と歯科の狭間に位置することから、その専門性が要求される一分野である。

| 症例数 | | | |
|-------------|-------------|-----------------|--------|
| 全身麻酔下での手術件数 | 口腔外科疾患入院患者数 | 外来患者数(新患数) | 外来手術件数 |
| 奇形・変形症 4件 | 233件 | 10,517 (3,519)名 | 942件 |
| 炎症 28件 | | | |
| 外傷 9件 | | | |
| 良性腫瘍・嚢胞 76件 | | | |
| 悪性腫瘍 46件 | | | |
| その他 46件 | | | |
| 計 209件 | | | |

救急・集中治療科

■ スタッフ

| | |
|------|--|
| 主任部長 | 吉田 研一 |
| 資格 | 医学博士 日本救急医学会専門医 日本麻酔学会指導医 臨床研修指導医 |
| 専門分野 | 集中治療・救急医療 |
| 出身大学 | 広島大学(1984年卒業) |
| 部長 | 荘川 知己 |
| 資格 | 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 |
| 専門分野 | 循環器救急、心不全、肺高血圧症 |
| 出身大学 | 広島大学(1994年卒業) |
| | 村上 大道 |
| 専門分野 | ER・救急医療 |
| 出身大学 | 琉球大学(2006年卒業) |
| | 櫻谷 正明 |
| 専門分野 | 集中治療・救急医療 |
| 出身大学 | 広島大学(2006年卒業) |
| | 前岡 侑二郎 |
| 専門分野 | 集中治療・救急医療 |
| 出身大学 | 広島大学(2009年卒業) |

■ 診療状況

救急・集中治療科は、「内科系、外科系を問わず呼吸、循環、代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者を収容し強力かつ集中的に治療看護を行うことにより、その効果を期待する」部門です。

症例数

救急患者等受入状況救急患者等受入状況
(2009年4月1日より2010年3月31日まで)

| | |
|-----------------|-------|
| 救急患者(休日・夜間来院患者) | 7,174 |
| 救急車搬入件数 | 2,422 |
| 三次救急(ICU入室)患者 | 326 |
| ホットライン件数 | 282 |

救急車搬入重症患者の内訳

| | |
|---------|-----|
| 心肺停止患者 | 110 |
| 外来での死亡数 | 81 |
| 多発外傷患者 | 21 |

■ トピックス

地域救命救急センターの開設

当院は広島県西部の中核病院として、かかりつけ医や廿日市市休日夜間診療所等からの紹介や、救急車受け入れなど、入院加療が必要な救急患者さんをお受けする二次救急病院です。集中治療室を整備し緊急手術への対応もしており、これまでも実際にはより高度な治療を要する患者さんにも対応して参りました。このたび、2010年4月から救急センターとして、組織変更し、より患者さんへもわかりやすい体制作りをはじめました。地域に愛され信頼される病院として、2011年度からは地域救命救急センター(三次救急病院)として認可をうけられるように、さらに設備と体制の整備をすすめていく計画です。御支援をよろしく願います。

■ 研究活動

- (1) 重症感染症(敗血症)患者の救命率の向上
- (2) 脳低温療法の導入
- (3) オートプシー・イメージング(Autopsy imaging, Ai)の検討

厚生労働省の調査票から(2009年)実症例

| | 患者数 | 退院・転院 | 死亡数 |
|-------------------------|-----|-------|-----|
| 心肺停止患者 | 110 | 3 | 107 |
| 重症脳血管障害 | 62 | 54 | 8 |
| 急性心筋梗塞及び心不全 | 192 | 177 | 15 |
| 急性大動脈解離 | 17 | 12 | 5 |
| 重症呼吸不全 | 52 | 37 | 15 |
| 重症急性肺炎 | 11 | 9 | 2 |
| 全身麻酔による緊急手術を要した急性腹症 | 29 | 26 | 3 |
| 重篤な代謝性障害(肝不全、腎不全、糖尿病など) | 14 | 12 | 2 |
| 多発外傷 | 21 | 14 | 7 |
| 多発外傷以外の全身麻酔を要した外傷 | 32 | 32 | 0 |
| 脊椎損傷(脊椎骨折) | 11 | 11 | 0 |
| 指肢切断 | 2 | 2 | 0 |
| 重症熱傷 | 3 | 3 | 0 |
| 急性中毒 | 33 | 33 | 0 |

※上記のなかには敗血症、横紋筋融解症、各種ショックなど含まれない疾患もあります。

緩和ケア科

がんと診断された早期から痛みなど困ったことを緩和する緩和ケアチームです。患者さん、ご家族がよりよく生きるためのお手伝いをさせていただきます。主治医に「緩和ケアを受けたい」と声をかけてください。

■スタッフ

緩和ケア科

外来： 医師 小 松 弘 尚

緩和ケア認定看護師 高 原 さおり

緩和ケアチーム：

チームリーダー： 医師 小 松 弘 尚

身体担当医師： 松 本 千香子

桐 生 浩 司

香 山 茂 平

近 藤 丈 博

精神担当医師： 高 石 美 樹

薬剤師： 寺 澤 千佳子

磯 貝 明 彦

看護科長： 松 下 理 恵

緩和ケア認定看護師： 古 本 直 子

岡 田 恵美子

緩和ケア認定専従看護師： 高 原 さおり

がん相談員： 安 本 壽 枝

正 畠 忠 貴

栄養士： 中 西 弘 子

リハビリ： 小 林 恭 子

■診療状況

緩和ケア科

外来診察 45症例/2010年度(緩和ケア専従看護師と他科主治医との診察も含む)

依頼内容：疼痛 不安 せん妄 家族ケア リンパ浮腫等

緩和ケアチーム診察 108症例/2010年度

依頼内容：疼痛 呼吸困難 不安 せん妄 家族ケア等

■研究活動

2009年 第58回日本農村医学会 「JA広島総合病院緩和ケアチームの現状と課題—緩和ケアチームに対するアンケート調査から—」

2010年 第21回日本在宅医療学会学術集会「在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安と影響要因—看護職とその他の職種と比較から—」

2010年 日本ホスピス・在宅ケア研究会 「在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安と影響要因」第18回鳥取大会

2011年 第16回緩和医療学会発表「緩和ケアチームの関わり」について—遺族アンケートからみえてくるもの—

2011年 第21回佐伯医学会総会ががん診療連携拠点病院の地域連携室としての在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの不安アンケートから部門内の研修会

2009年度より毎年「緩和ケア」について地域がん診療に携わる医師に対する研修会、院内看護スタッフ・地域住民・地域医療者対象で研修会を開催してきました。

2011年度の予定：

2011年5月21日・22日 地域がん診療に携わる医師に対する研修会開催

2011年10月1日 佐伯俊成医師を講師に迎え地域住民対象研修会「家族ケア」研修会開催予定

2011年 6月～月2回 院内看護師・地域医療従事者対象緩和ケア専門コース研修会開催予定

健康管理センター

■ スタッフ

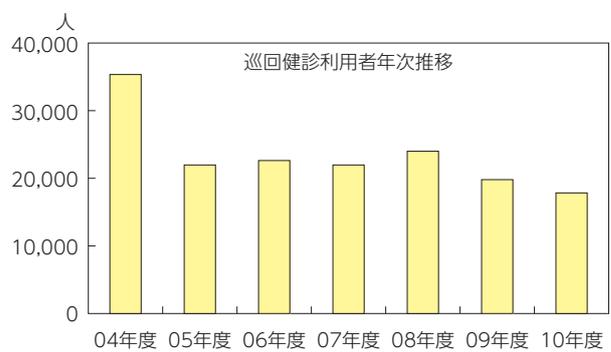
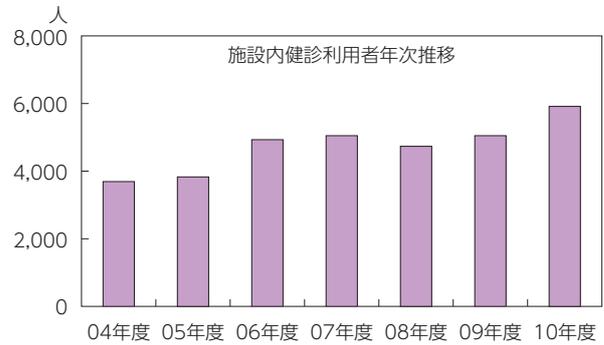
- ・所属医師：碓井裕史
各科医師の定期的・臨時的の協力をいただいている。
- ・保健師7名（課長、主任含む）
- ・事務9名（委託含む）
- ・その他臨時職員8名（巡回健診の対応等）

■ 活動状況

当センターは、病院併設型の健診施設であり、年間約2万4千人の方に施設内健診、巡回健診を利用して頂いております。JA組合員、地域住民の健康増進と精度の高い健診を目指し、JAグループ・行政・医師会等と連携を図り、JA組合員送迎ドック、廿日市市国保ドック、特定健診事業の推進に努めております。平成22年度は待合室、診察室、保健指導室、計測室などを落ち着いてゆったりとしたフロアに改装しました。管理栄養士とレストラン(JA.Jala)と協同で考案したドックヘルシー食も開始し、受診者の方から好評です。

<主な事業内容>

- 施設内健診：入院ドック、外来(半日)ドック、協会けんぽ健診、健康診断、原爆検診、個別子宮・乳がん検診、B型肝炎検査及びワクチン接種、特定保健指導等
- 巡回健診：JA組合員生活習慣病予防健診、職員健診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、特定健診、学生健診、健診結果報告会等
- その他：健康教育活動(2009～2010年度実績39回、JA組合員他1,005人)、研究活動、学会発表、各種会議



○各検査実施状況(2009年度)

| 検査項目 | | 受診者数(人) | 要精検者数(人) | 精検受診者数(人) | 当院で精査(人) | がん(人) |
|-------------|------------|---------|----------|-----------|----------|-------|
| 胃透視 | 施設内 | 1,406 | 71 | 44 | 17 | 1 |
| | 巡回 | 2,136 | 43 | 31 | 9 | 0 |
| 胃内視鏡 | 施設内 | 1,321 | 114 | 80 | 68 | 3 |
| | 巡回 | 3,255 | 227 | 156 | 109 | 0 |
| 胸部X線 | 施設内 | 2,480 | 31 | 28 | 21 | 3 |
| | 巡回 | 93 | 7 | 5 | 5 | 1 |
| 乳がん検診 | 施設内MMG+視触診 | 1,084 | 229 | 187 | 128 | 1 |
| | 施設内視触診のみ | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 巡回視触診のみ | 1,373 | 26 | 22 | 13 | 1 |
| 子宮頸部がん検診 | 施設内 | 1,117 | 37 | 21 | 13 | 1 |
| | 巡回 | 1,409 | 40 | 25 | 12 | 0 |
| 腫瘍マーカー(施設内) | PSA | 792 | 10 | 6 | 5 | 2 |
| | CEA | 1,475 | 4 | 2 | 2 | 0 |
| | AFP | 1,369 | 5 | 4 | 3 | 0 |
| | CA19-9 | 1,128 | 18 | 14 | 10 | 0 |

病理研究検査科

■ スタッフ

・ 構成人数

- 病理医 1名
- 臨床検査技師 4名
- 事務 1名

・ 取得資格

- 病理専門医
- 細胞診専門医
- 病理解剖資格
- 細胞検査士
- 国際細胞検査士
- 2級臨床検査士

・ 所属学会

- 日本病理学会
- 日本臨床細胞学会
- 日本臨床衛生検査技師会

■ 診療状況

・ 業務内容

病理組織検査・細胞診検査・病理解剖

| | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 検査件数 | 2009年度 | 組織診 | 4,717件 |
| | | 細胞診 | 7,912件 |
| | | 解剖 | 8件 |
| | 2010年度 | 組織診 | 4,898件 |
| | | 細胞診 | 6,518件 |
| | | 解剖 | 5件 |

看護科の理念と目標

■看護科の理念

病院基本理念に則り地域の中核病院として看護の果たすべき役割を自覚して実践し、患者さんの安全と生活の質を守り、地域社会から信頼される看護を提供します。

個人目標について担当科長とスタッフとの個人面接を年3回行い、信頼関係の構築とキャリアアップをめざしている。

■2010年度看護科目標

心と心の通い合うハートふるナーシング

～心を愛で満たんに～

- 1.患者さんの視点で共に考えるチーム医療を実践します。
 - 1)患者さん・家族・職員間で優しいまなざしをもち、思いやりのあるコミュニケーションをとります。
 - 2)リスク感性を高め安全な医療の提供につとめます。
 - 3)看護の専門性を発揮し、他部門・他職種との連携をすすめます。
- 2.専門職として知識・技術・態度の習得に努めキャリアアップを目指します。
 - 1)看護職の教育体制整備に努めます。
 - 2)ひとり一人が目標をもち、役割を担うことでやりがいに繋がります。
 - 3)職場のルールを守ります。

■2010年度看護科の取り組み

専門職としてチーム医療の実践に参画し、地域の基幹病院として市民に安心して選んでもらえる急性期病院を目指している。厚生連長期修学制度を利用して認定看護師の育成を支援し、現在12名がチーム医療の核として活動している。

① 新人看護師教育研修

集合研修(2週間)及び各部署でのOJTを積極的に実施し、新人看護師の成長を支えている。平成21年度から新人ローテーション研修を開始し、秋に59名の新人看護師が2～3週間他部署への研修を経験した。

② 目標管理システム

看護科目標から各部署の目標を決定し、さらに個人目標を定めて1年間取り組んでいる。

外来

■ 外来の概要

診療科：34科

外来患者数：1日平均1,060人

救急車来院件数：2,638件

看護体制：科長2名・主任3名・スタッフ84名

認定看護師：がん化学療法看護認定1名

緩和ケア認定：1名 看護助手：1名

患者紹介率：76,5% 逆紹介率：60,4%

外来は病院の窓口として地域医療と連携を密にし、急性期の疾病の治療・疾病の予防・健康の保持増進活動を行っている。医療・看護は地域から外来、外来から病棟、病棟から外来、外来から地域へというケアの流れが途切れることなく継続的に行なわれるものである。そのため診療部門だけでなく、救急部門や内視鏡・放射線科などのような中央検査部門も整備され、円滑に業務が行われている。

■ 看護

1. 外来看護師の業務内容を調査した。

【結果】現在看護師が行っている業務の一部は医師事務作業補助や看護助手に移行できる内容であった。

【改善】業務量調査の結果から業務委譲できる内容の整理ができたことで外来看護師が、本来の看護業務を行うことができるように機能分担への一案として他職種の組織の協力を得て、医師業務作業補助スタッフの配置導入に至った。

2. 小集団活動

安全、感染、教育チームや他職種チームを構成することにより、日々の患者対応や業務遂行を患者の立場に立った検討会を実施した。

看護科長：石崎淳子 益村勇子

安全：インシデント発生時はミーティングで情報共有し、再発防止に努めた。投書などで指摘されたことにおいては、話し合いの場を設け事例を共有するとともに、誠実に対応した。

感染：看護科感染委員会の課題に沿って活動してきた。医療器の消毒方法のマニュアル化を行った。

教育：年3回外来勉強会を実施した。第1回は神経科外来看護師による不眠、うつ、ヒステリー発作、カ

ウンセリングについて。第2回は緩和ケア認定看護師によるエンゼルメイクの実技。第3回は消化器内科医師による緊急内視鏡の実際について。いずれにおいても現場スタッフに身近な内容であった事で参加して良かったと好評であった。

がん化学療法チーム：

約月平均300件の外来化学療法治療を癌化学療法専門の認定看護師を中心に副作用の観察と患者教育・相談を薬剤師など他職種チームで行なっています。スタッフ一同笑顔をモットーに頑張っています。



3. 看護外来

1994年より看護師による外来糖尿病療養相談室を運営し、糖尿病患者さんのインスリン注射指導や相談窓口としての役割をもっている。2008年からは糖尿病神経障害のある患者さんの巻き爪、胼胝ケア、足病変予防のためのフットケア外来の運営を2回/月で開始した。

また、地域で糖尿病患者さんを支えるために、2008年8月から糖尿病地域連携パスの運用を開始し、2011年末で100人超の患者さんがパスで当院を受診している。かかりつけ医では日常診療していただき、6ヶ月毎に当院での合併症のチェックや治療方針の再評価とともに、栄養指導や、看護師による生活指導を行っている。

2010年度 在宅療養指導料(インスリン・GLP-1受容体作動薬注射)904件

フットケア 30件

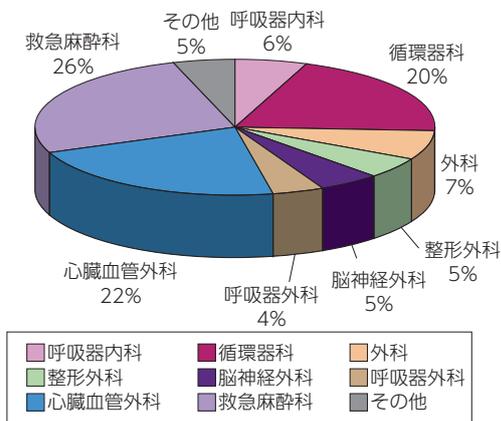


ICU・西3階病棟

■病棟の概要

ICU4床、西3病棟10床(CCUを含む)の14床が定床である。当病棟が担当するのは集中治療が必要な患者さんで、重症患者および救急搬送された患者を院外・院内問わず収容し、集中監視・集中治療している。また、心臓カテーテル検査室も担当しており、緊急時の検査にも24時間体制で対応している。

2010年度病床稼働率は71.2%、一日平均在院患者数は10.0人、平均在院日数は9.8日、入院患者数は563人であった。診療科別入院患者数は以下に表示する。



■看護

- 人工呼吸器・IABP・PCPS・CHDなど、生命維持装置装着患者・監視装置など高度救命医療に即した看護実践を目指し、勉強会を開催するとともに、スタッフ個々が院外研修への積極的な参加を行っている。
- ICUという環境下での治療を必要とする患者さんとその家族に対して、不安の軽減に努められる様に、日々のケアの充実に努めている。また、制限された面会時間を大切に過ごせるようケアの調整と情報提供に努めている。
- 重症患者であり、易感染患者である対象への、感染対策は重要である。感染予防対策としてスタンダードプリコーションの徹底、MRSAの早期対応に対しては週一回の喀痰培養を実施している。また、ICTのラウンドにより定期的なサーベイランス

を受けながら対策に努めている。

■教育

- 毎週水曜日に医師が講師となり勉強会を開催、新人はもとより部署異動後のスタッフの教育の機会となっている。
- BLS・FCCSなどの研修会に参加し、救急医療や集中治療領域の知識習得に努めている。
- 呼吸管理を要する症例が多く、適正な鎮静の必要性が論じられており、鎮静管理において個々の看護師の主観でなく適正な鎮静深度判断がなされ、鎮静薬の調整ができるよう鎮静スケールを導入し、スタッフ全体への浸透が図れた。
- 研究：鎮静スケール導入による看護師の意識の変化－Richmond Agitation Sedation Scale: RASS)を導入して－

坂本 佳奈江・坂井 真理子
(2011年度学会発表予定)



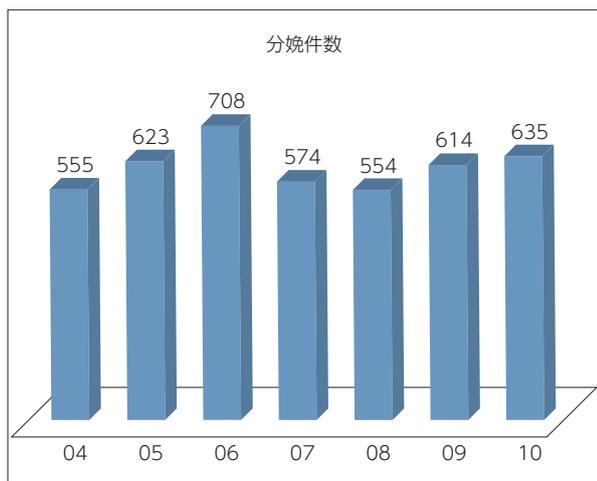
西 4 階病棟

■ 病棟の概要

西4階病棟は産婦人科をメインとした外科系混合病棟で、病床数は41床である。2011年3月末現在、産婦人科医師6名(常勤5名、非常勤1名)、助産師22名、看護師8名である。

産婦人科では広島県西部(広島市佐伯区、廿日市市、大竹市)と山口県東部(和木町、岩国市)の患者さんが大部分を占める。西部地区における拠点病院であり、近隣施設からの紹介・母体搬送の受け入れをしている。ローリスク～34週以降のハイリスクを受けている。

毎週火曜日に産婦人科医師・小児科医師・看護職をまじえた周産期カンファレンスを行い、密に連携している。2007年2月から始めた分娩制限も徐々に緩和し、2010年度の分娩件数は635件である。



■ 看 護

産科部門では、妊娠中はマタニティクラス、マタニティフィットネス、おっぱい教室など妊婦教室を行っている。また、助産師による外来保健指導を2010年11月から開始し、月曜日～金曜日まで毎日実施している。一人の妊婦に対して、前期・中期・後期の3回保健指導を行っているが、ハイリスク妊婦は妊婦健診時、毎回保健指導を行っている。妊婦さんからは「細かいことも聞けて安心できる。」等の感想を頂き、好評である。

分娩は自然分娩を推進しており、産後はカンガルーケア、抱っこ育児、24時間母児同室を積極的に進めてお

り、母乳哺育には特に力を入れている。退院後も安心して楽しく母乳育児ができるように、母乳外来で継続的にフォローしている。



婦人科・外科部門では手術を受ける患者さん、化学療法を受ける患者さんも多く、一人ひとりの患者さんに寄り添い、生活の質を保てるように責任を持って看護している。

■ 教 育

今年度は新人助産師5名が配属になった。産科も婦人科も看護できる助産師育成を目指し、新人を2チームに分け、産科と婦人科・外科系を半年でローテーションする方法で教育を行った。また、2年目以降の助産師も婦人科・外科系の看護およびリーダー業務ができるようになるため、数か月単位でローテーションを行っている。

2011年度、助産外来を開設するため、助産外来プロジェクトチームを立ち上げた。プロジェクトチームを中心に研修に積極的に参加し、病院見学(山口県立総合医療センター、ベルランド総合病院)も行い、伝達講習を行った。

■ 研 究

院内看護研究発表会にて発表

「助産外来開始に向けての妊婦のニーズに関する調査～妊婦へのアンケートによる意識調査から～」

○河野真実 市岡加代子 土井友里絵

西5階病棟

■病棟の概要

西5階の主な診療科は整形外科で、看護師は脊椎疾患やその他慢性疾患の術前から術後の看護、急性期の外傷患者さんの看護を行っている。病棟の勤務体制は2交代勤務で、看護方式は2チームの固定チームナーシングの受け持ち制である。看護師の経験年数は1年目3名、2～4年目14名、5年～9年目8名、10年目以上8名である。その他の病棟の詳細については下記の表1・2を参照いただきたい。

表1 2010年度 病棟概要

| | | |
|---------|---------|---------|
| 病棟スタッフ数 | 看護師 33名 | 看護助手 2名 |
| 病床数 | 55床 | |
| 年間手術件数 | 1,142件 | |
| 在院日数 | 14.5日 | |
| 病床利用率 | 74% | |

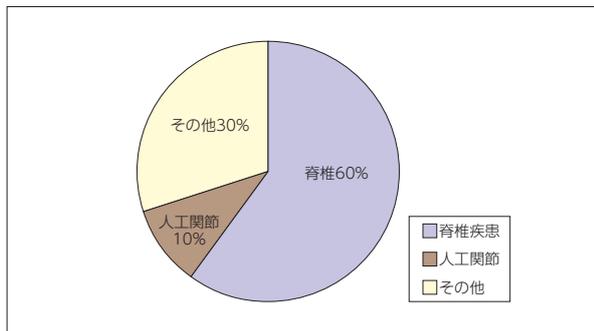


図1 2010年度 手術件数の内訳

■看護

整形外科看護の特徴として高齢者の慢性疾患看護と急性期の外傷看護などが挙げられる。当病棟では、日常生活を機能的に支えられる看護と急性の外傷看護について、専門性が高く個別性のある看護を目指している。

患者個々に受け持ち看護師を決定し、固定されたチームで関わり、入院から退院まで責任を持った温かい看護を提供できるよう取り組んでいる。患者さん、家族と情報交換を行い、カンファレンスを通し意見交換を行っている。

病棟での決定事項や伝達は月に1度リーダー会で決定する。チーム会はリーダー会の後毎月1度開催し連携をとっている。



■教育

個人の関心に基づいて課題を明らかにする。個人の自立性を尊重し自己を成長させ、自己の成長を病棟の発展へとつなげることを念頭に置いている。

2010年度に行った勉強会

- ・疾患別勉強会(新人対象)
- ・知って役立つインスリン注射の種類
- ・深部静脈血栓症
- ・心不全
- ・看護業務について
- ・看護の経済性について
- ・医療事故について
- ・リーダーシップやカンファレンスについて
- ・感染や口腔ケア

■研究

看護師の行う環境整備について日本赤十字看護大学からの研究サポートを受けている。

■実習体制

日本赤十字看護大学の実習を受け入れ、指導を行っている。

西6階病棟

■病棟の概要

西6階病棟は、病床数54床の消化器外科病棟である。2001年より、「入院期間中を通じて受け持ち患者のケアに責任をもち、患者個々のニーズに応じた看護過程を提供する。また退院後の生活設計者として患者・家族の指導を行う。」を目的とし固定チームナーシング(Aチーム、Bチーム)を行っている。病棟スタッフは、看護師32名看護助手2名で構成されている。勤務体制は、三交代勤務を実施している。(看護師の経験年数は図1に示す)

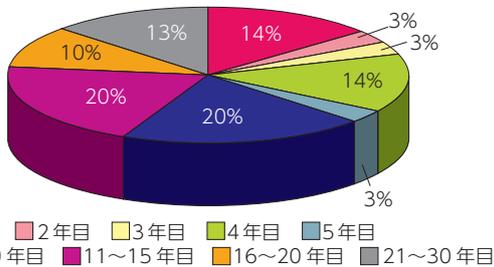


図1 看護師経験年数

術後の看護は、合併症の防止を重視し、早期離床を行う援助を実施している。入院はクリニカルパスに準じており、81.5%のパス使用率となっている。そのため在院日数もパス使用当初の24.5日から現在では、17.7日になっている。(病棟概要については、表1に示す。)

表1 2010年度 病棟概要

| 病棟スタッフ数 | 看護師32名 看護助手2名 |
|---------|---------------|
| 病床数 | 54床 |
| 入院患者総数 | 807名 |
| 年間手術件数 | 658件 |
| 在院日数 | 16.9日 |
| 病床利用率 | 82.4% |

昨年外科手術は、1,078件行われており、そのうち当病棟では、658件の手術患者を受け入れている。(手術内訳は、図2示す。)

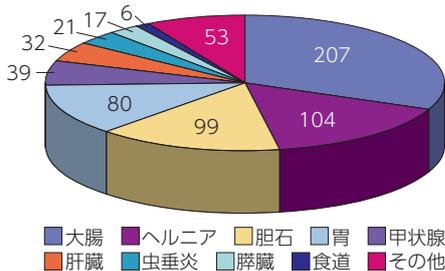


図2 2010年度 手術件数内訳

■看護

ストーマ造設患者が増え、患者指導の充実を目的として2007年よりストーマ外来を毎週1回開設した。それに加え当病棟の在院日数の減少で入院中の指導だけでは、ストーマ管理指導が充分行えず、生活に密着した指導を目標とするためストーマ外来日を週2回に増やし対応している。(ストーマ外来については表2に示す)昨年当院で行われたポスター展では、ストーマ外来を紹介したポスターの展示を行った。

表2 ストーマ外来の概要

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 開設日 | 週2回(月曜日・木曜日) |
| 時間 | 9時～17時 |
| 受付 | 外科外来 |
| 場所 | 西6階病棟 |
| 担当者 | 皮膚・創傷ケア認定看護師 中国ストーマリハビリテーション講習会受講者 |



■教育

年間を通して、講義、演習形式を取り入れた「ストーマ勉強会」を行っている。また専門知識を習得するため医師、コメディカルの協力も得て、年間で研修会を計画している。

(昨年行った勉強会)

- ・外科疾患の術後管理勉強会(医師)
- ・ストーマ管理指導勉強会
- ・心電図勉強会
- ・人工呼吸器勉強会(臨床工学士)
- ・術後の食事指導に関する勉強会(栄養士)
- ・呼吸器リハビリテーション研修会(PT)
- ・腰痛防止の患者移動(PT)
- ・連携パス研修会

■実習体制

- ・山陽看護専門学校 ・福岡看護専門学校
- ・東亜看護学院

上記3校の実習を受け入れ指導を行っている。

西 7 階病棟

■ 病棟の概要

当病棟は病床数55床の消化器内科・画像診断部の病棟である。入院される主な疾患は胃や大腸のポリープ・癌、肝疾患、肝臓癌、胆・膵臓癌、総胆管結石などであり、内視鏡を介した治療を目的に入院する急性期疾患の患者と終末期の患者が混在している。2010年度の治療件数とその内訳を図1に、病棟運営状況を表1に示す。

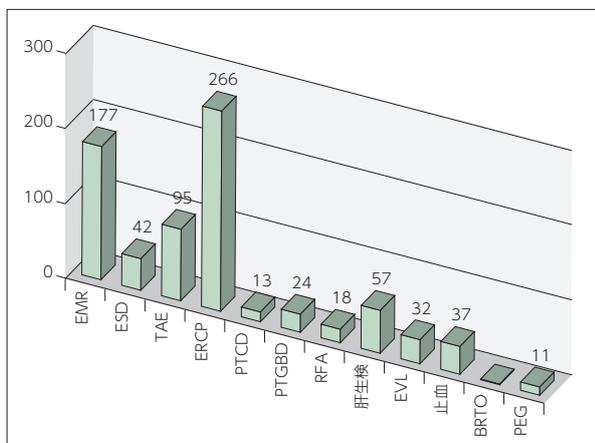


図1 治療件数とその内訳

表1 病棟運営状況

| 病床稼働率 | 在院日数 | 1日患者数 | 入院患者数 | 退院患者数 | 転院患者数 | 死亡退院数 |
|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 77.9% | 14.2日 | 42.8人 | 1,110人 | 1,019人 | 84人 | 74人 |

■ 看護

看護チーム

看護方式は3チームからなる固定チームナーシングである。固定チームナーシングにおける受持ち看護師の責任とチームでの深い関わりが果たせるよう、朝のミニカンファレンスではケアの方向性や内容について、積極的なディスカッションを行っている。

退院前カンファレンス

最後は在宅で過ごしたいという患者さんも少数ではあるが、患者さんの「家に帰りたい」という希望を叶えるため、主治医、在宅医、ケアマネージャー、訪問看護師、ソーシャルワーカー、家族で退院前カンファレンスを行っている。

■ 教育・研修

消化器内科医・臨床研修医とともに月に1回、消化器内科懇話会を開催している。内容は消化器疾患とその治療について行っているが、看護師からの要望に応えてもらうこともある。看護師が医師との合同の勉強会を計画することで、日々疑問に思っていることが解決でき、また最新の治療を学ぶよい機会となっている。参加者は医師・臨床研修医・看護師だけでなく薬剤師・検査技師などコメディカルの参加もある。



消化器内科懇話会

また、院外研修でそれぞれが学んだことをチーム会のなかで報告したり、月担当者を決め、勉強会を開催している。



病棟スタッフ

■ 研究発表

第64回日本消化器内視鏡技師学会
 要望演題 緊急内視鏡の現状と対応
 「緊急内視鏡の現状を知る」

○松下 理恵

西 8 階病棟

■病棟の概要

当病棟は、55床の呼吸器内科、消化器内科、放射線治療科の混合病棟である。主な疾患は間質性肺炎、慢性呼吸不全、喘息、睡眠時無呼吸症候群、また肺癌・食道癌などの悪性腫瘍、加えて摂食嚥下障害などである。患者数は、呼吸器内科9,685人、消化器内科2,371人、放射線治療科2,148人、その他1,854人である(図1参照)。病棟運営状況は、平均在院日数16.7日、病床稼働率80.2%である。また、死亡退院患者数103人と院内で最も多くの終末期・看取りの看護を行っている。

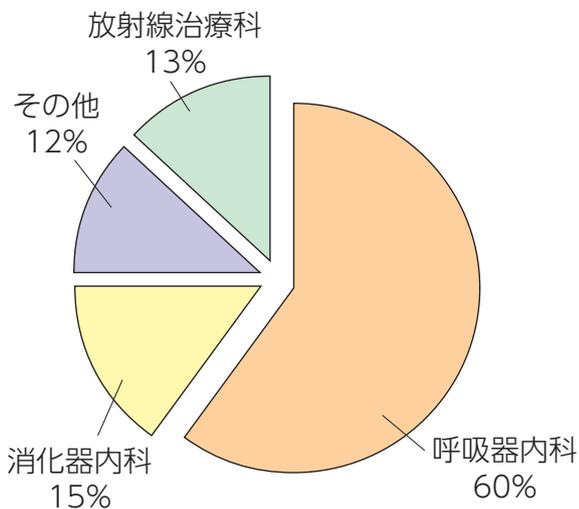


図1 在院患者数 科別内訳

■看護

1. 患者・家族の意思の尊重

毎日ミニカンファレンスを行い、患者・家族のニーズをスタッフ間で共有し、患者さんの意思を尊重した看護に活かした。また、患者さんや家族の思いを医師に代弁し、患者さんに寄り添った看護の実践に努めた。

2. カンファレンスによる医療・看護の方向性の統一

医師や他職種との合同カンファレンスを行い、医療や看護の方向性の統一を図った。また、デスカンファレンスは看護を振り返ると共に看護師のグリーフケアに繋がった。

3. 患者サービスの充実

入院中に誕生日を迎えられる方には、手作りの誕

生日カードを作成し共に祝った。また、お亡くなりになった方のご遺族に悲しみを和らげられるようお手紙を送り、遺族のグリーフケアを行った。

4. 退院支援による適切な療養の場の選択

MSWと協働し入院早期から退院支援を行った。医師や他職種、開業医や地域の介護職と退院前カンファレンスを行い、患者さんが安心・納得し、次の療養の場へ繋がった。

5. 看護の専門性を発揮

アロママッサージや各認定看護師の活動及び摂食・ワーキンググループなど、根拠に基づいた知識・技術の習得に努め、実践能力を高め、看護の質向上に励んだ。

■教育

教育委員及び認定看護師を中心に4グループの勉強会を行った。グループは、

①PEG管理・口腔ケア ②緩和ケア ③がん化学療養・放射線治療 ④人工呼吸器・呼吸療法である。

定期的に勉強会を行い、看護専門職としての知識の向上と看護実践能力の習得に励み、看護の質を高めるよう努めた。

■研究

1. 第36回日本看護研究学会学術集会

「急性期混合病棟における口腔ケアの現状と課題」

○大屋奈緒美 坂尻明美

2. JA広島総合病院ふれあいポスター展 優秀賞

「本当は怖い、いびきの話～睡眠時無呼吸症候群、その症状と検査・治療について～」

東 3 階病棟

■ 病棟の概要

東3階病棟は、循環器内科・心臓血管外科の混合病棟で病床数44床である。看護師31名、看護助手2名で看護業務に取り組んでいる。

■ 看護

看護方式は固定チームナースィング(2チーム)制。部署目標として、「患者の視点で考え行動する」を掲げ、個別性のある看護に重点を置き、カンファレンスと患者指導の充実を目指し活動している。

カンファレンスの充実では、チームに分かれ看護計画の見直し、評価・追加・修正を行い、チームスタッフが継続して看護できるようにしている。また主治医に同席してもらい、情報の共有と共に治療方針に沿った看護方針を明確にできるよう心がけている。心臓血管外科患者に対しては、週1回、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士での他職種合同カンファレンスを行い、充実したチーム医療を目指している。

患者指導の充実では、心筋梗塞患者、ペースメーカー埋め込み術患者、開心術前術後患者に対する、パンフレット作成チームを作り、内容検討・スタッフへの教育活動を行っている。さらに患者指導の充実のために、循環器内科では、心筋梗塞・狭心症患者・家族に対して、1つのパンフレットを使い、医師・看護師・薬剤師・栄養士が連携を取り、生活指導を行っている。医師は病状説明、看護師は患者の生活パターンのアンケート調査

①問題点を抽出し看護計画を立案②生活指導のポイントをピックアップし薬剤師・栄養士に情報提供③パンフレットを使用し指導

を行う。薬剤師は服薬指導、栄養士は栄養指導を行う。心臓血管外科患者に対しては、開心術前後の指導を循環器内科同様一つのパンフレットを使用し、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士が連携を取り指導にあっている。今年度はペースメーカー埋め込み患者への生活指導の充実に取り組んでいく予定である。

■ 教育

循環器看護に必要な知識の向上と技術の習得のため、医師と共に勉強会の年間計画を立てている。

新人教育に関しては、2004年から2007年の病棟の離職率は平均29%と高く、2008年度より教育体制の見直しや環境の調整を行い、その結果2008年度以降の卒後1～3年目の離職者がなくなった。1年目看護師に対する勉強会の講師はスタッフがを行い、病棟全体で教育する環境が整ってきている。

■ 研究

1. 日本心臓リハビリテーション学会

「心臓リハビリテーションを含めた開心術パス導入と今後の展開」

○高橋健太 岡崎祐也 藤田寿賀

2. 日本クリニカルパス学会

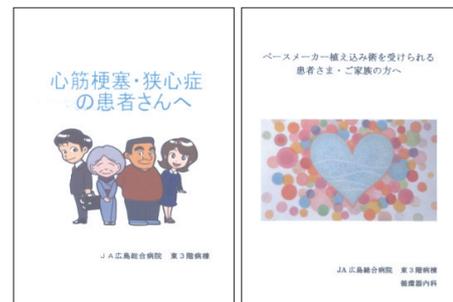
「心臓リハビリテーションを導入した開心術パスの検討—バリエーション分析の結果からみた問題点と今後の展開」

○岡崎祐也 高橋健太 藤田寿賀

3. 廿日市支部研究発表会

「循環器病棟における新人看護師の教育体制の見直し」

○益田尚恵 丸澤葉志子 藤田寿賀



患者指導用パンフレット

東 4 階病棟

■ 病棟の概要

当病棟は小児科・眼科・耳鼻咽喉科の混合病棟であり病床数は42床である。個室10床(うち重症個室1床)、2人部屋6室、4人部屋5室である。

小児科のベッド管理は疾患や病状を考慮する必要があり、患者数の多い時は医師と相談して部屋を決めている。また、大人と子どもが同室になることもある。

■ 看護

小児科は感染症の患児が多いため、感染対策マニュアルに沿って感染予防に努めている。転倒転落防止のためにサークルベッドを使用し、入院時オリエンテーションではリーフレットを用いてベッド柵を必ず上段まで上げるように指導している。また患児には母親などの付き添いが多く、付き添い者とのコミュニケーションがととても大切であり、家族の不安な心理状態を理解して、笑顔で精神的援助を行うように努めている。

眼科は老人性白内障の手術目的入院が主である。高齢者が多く、手術当日は眼帯で視野が制限されるため、入院時にアセスメントし、転倒転落予防に努めている。糖尿病や心臓疾患など合併していることが多く、持参薬や処方薬の管理が難しい方には看護師が内服管理を行っている。

耳鼻咽喉科は慢性扁桃炎・アデノイド増殖症・慢性副鼻腔炎・声帯ポリープ・喉頭腫瘍・甲状腺腫瘍・耳下腺腫瘍などの手術目的入院、突発性難聴・顔面神経麻痺・眩暈・急性咽喉頭炎などの緊急入院、がん患者の治療目的入院などがある。就学前の小児の扁桃摘出術には、外来と連携してキワニスドールを使ったプレパレーションを用いて説明を行っている。がん治療による副作用で口腔内の炎症が出現し、食事摂取困難や疼痛が出現することがある。栄養科や薬剤部などの他職種と連携を取ってチーム医療に努めている。

また、当病棟では7月に七夕会、12月にクリスマス会を開催している。七夕会では短冊作り、ヨーヨー釣り、歌、読み聞かせなどを行っている。クリスマス会では手品、ゲーム、合奏などを



行い、サンタクロースやトナカイに扮した医師、看護師が各病室を回りプレゼントを渡している。



■ 教育

毎月第3金曜日に病棟勉強会を開催している。医師からの最新情報、スタッフが受講してきた研修会の伝達講習、他職種の専門的な知識などを勉強している。

1年生対象には病棟勉強会とは別に基礎的看護技術の勉強会を定期的に行っている。

また、小児科実習の受け入れも行っている。(山陽看護専門学校・日本赤十字広島看護大学・東亜看護学院など)

■ 研究

院外看護研究発表

1. 第60回日本病院学会

「外来・病棟・手術室を通したプレパレーション導入の効果～幼児期の患児へのパンフレット・キワニスドールを使用して～」

○辻幸枝

2. 第41回日本小児看護学会

「親同伴点滴導入における看護師の意識変化」

○川口裕子 橋本弓子

3. 第41回日本小児看護学会

「医療ネグレクトを疑われた聴覚障害をもつ母親との関り」

○光井綾美 辻幸枝

東 5 階病棟

■ 病棟の概要

定床51床で、一般病室7室と混合病室3室、一般個室10床、重症個室1床の病棟である。主に脳神経外科・口腔外科患者を対象とする混合病棟である。2010年度の平均在院日数は19.3日であり、病床稼働率は80.8%で、1日あたりの在院患者数が41.2人である。手術件数は、脳外科124件/年、口腔外科85件/年である。

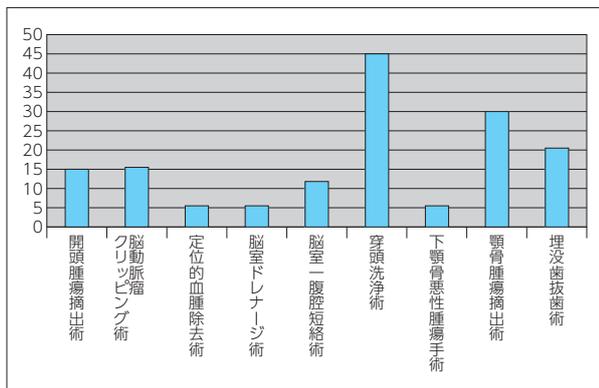


図1 2010年度 東5階病棟での主な手術

また、脳神経外科は、病棟で急性期の治療が終了すると、地域連携パスを使用し、地域の回復期リハビリテーション病院への転院を積極的に行っている。

パス使用での回復期リハビリへの転院は47件/年その他の病院への転院130件/年であった。

■ 看護

看護師の勤務形態は、それぞれのライフスタイルに合わせ2交代と3交代の混合であるが、徐々に2交代制へ移行している。

看護の方法は固定チームナーシングで、目的にスタッフ力の強化、業務の効率化、看護の継続性を掲げ、A、Bチームに分かれて行っている。新人や配置転換後の看護師が多い当病棟では、看護の質を維持、向上させるにはチームナーシングは有効な看護方法である。

また、カンファレンスは、医師、リハビリスタッフ、看護師の合同リハビリカンファに毎週参加し、情報交換や、問題点を話し合い、病棟での看護につなげている。

毎月の病棟会では、業務改善の議題提案が多くあり、アンケートや事前調査を行い、充実した病棟会となり、積極的に業務改善がなされており、看護に活かされている。

医療安全の面では、誤薬防止には食前薬ボードを作成、食前薬、インスリンにはカード立てを作成するな

ど、具体的な改善方法を実施し、インシデントの減少に努めている。

クリニカルパスは、パス委員が主体となり、血管内手術、アンギオのパスに修正を加え、スタッフ全員が分かりやすく、使いやすいパスを完成させた。

■ 教育

今年度は、4月に新人看護師5名、10月に配置転換等の看護師4名を含め、9名の看護師が当病棟経験1年目であったため、それぞれのレディネスに合わせてスタッフ全員で指導に取り組んだ。特に新人教育では、病棟用チェックリストを基にプリセプターナースが、指導に力を入れ、個々のレベルに応じた対応を行った。

疾患の看護では、主任が中心となり疾患別に5グループに分かれ、それぞれがグループ内で学習を深め、スタッフに勉強会でプレゼンして行き、知識の向上、スキルアップにつなげた。

また病棟勉強会では、脳外科治療薬、救急蘇生、CAPDなど看護の現場で必要な知識の研修を6回/年行うことで、実践に繋がる勉強会となった。

記録については、転院サマリーを書く機会が多いため、主任を中心に転院サマリーの書き方のサンプルを作成したことで、基本的な書き方の統一を図ることができた。さらに受け持ちナースの書いた症例毎のサマリーの指導を行ったことで、記録のレベルアップにつながった。



■ 研究

院内看護研究発表

「脳神経外科病棟における緊急入院患者の家族への対応～アンケート調査をもとに患者家族への関わりを考える～」

○中村清美

東 6 階病棟

■ 病棟の概要

主たる診療科：泌尿器科・乳腺外科・皮膚科・外科

泌尿器科の主たる疾患：前立腺癌・前立腺肥大

前立腺炎・膀胱癌・腎臓癌・尿管結石

乳腺外科の主たる疾患：乳癌・乳腺腫

外科の主たる疾患：虫垂炎・イレウス・胆石

皮膚科の主たる疾患：带状疱疹・良性、悪性腫瘍

蜂窩織炎

病床数：49床 個室8室・4人部屋10室

看護体制：科長1名・主任2名・スタッフ25名

(皮膚排泄ケア認定看護師1名)看護助手1名

固定チームナーシングと受け持ち制

病床稼働率：平均69.5%

平均在院日数：9.8日

入院総数：1,325人

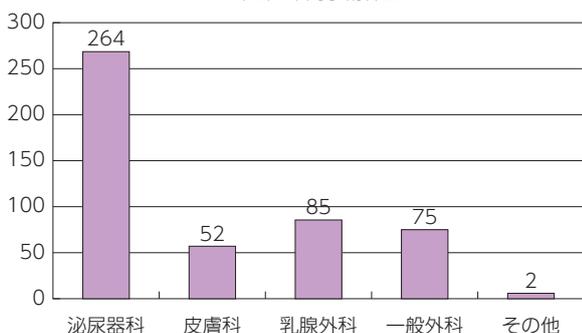
一日当たりの新入院患者数3.6人

退院総数：1,305人

手術件数：泌尿器科：264件、皮膚科：52件、

乳腺外科：85件、一般外科：75件、その他：2件

東6階年間手術件数



■ 看護

病棟内の整備整頓・4科の回診に伴う朝の混雑を解消する為、また事故防止・効率的な行動がしやすいように業務改善に努めた。業務改善に努めた結果、患者カンファレンスにて看護計画の見直しを行い統一した看護が提供出来るようになってきた。また受け持ち看護師の患者さんに対する意識の向上が見られるようになってきた。

「患者さんに思いやりのある言葉かけを行ないコ

ミュニケーションを図る」の目標に対して、カンファレンスを行ない情報の共有化ができ、患者さんのことをより考えて行く姿勢ができてきた。今後は、お互いに注意して、病棟の看護をよりよくしていくための病棟の風土作りに努力していく。

■ 教育

固定チームの目的としての教育的効果を期待してチームの活性化に努め、日勤のリーダーの役割を明確にして、リーダーシップがとれるように指導を行なった。その結果、朝のカンファレンスにリーダーシップをとりメンバーをまとめて行くことができています。

「乳腺疾患の理解を深め、安心して治療できるようなチーム医療を実践」の目標に対して、看護協会の研修会・セミナー・癌センターの施設見学・癌治療実践研修プログラムに参加した。その後、伝達講習会の実施を行い知識の向上に努め、また院内勉強会として乳腺外科経験外来看護師による勉強会・乳腺外科医師による勉強会を行った。そして病棟内乳腺外科チーム編成を行い、クリニカルパスの変更修正・入院退院パンフレット作成を行い統一した看護の提供に努めた。リハビリについては理学療法士と協力してパンフレットを作成、リハビリの成果を確認して患者さんの支援に努めている。また、事故防止に繋げるために、医師・看護師・患者さんが視覚的にとらえることのできる排液量のチェック表を作成し、活用している。

「乳腺疾患患者家族の精神的支援」の目標に対して入院中の不安な言動に基づいて、外来看護師に直接伝達またサマリーに記載して継続看護の依頼を実施・マニュアル化を行なっている。



東 7 階病棟

■病棟の概要

東7階病棟は、呼吸器外科・心臓血管外科・呼吸器内科の混合病棟で定床は43床である。

スタッフは科長1名、主任2名、看護師24名、看護助手2名で構成されている。そのうち緩和ケア認定看護師は1名である。

呼吸器外科は肺癌、縦隔腫瘍、気胸等で手術または化学療法、放射線治療を受ける患者さんを主に受け入れている。心臓血管外科は閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤、腹部大動脈瘤で手術を受ける患者さんを主に受け入れている。呼吸器内科は肺炎、慢性呼吸器疾患、肺癌等の患者を受け入れている。

1年間の手術件数は呼吸器外科：160件、心臓血管外科：150件である。平均在院日数は18日、病床稼働率は83%、平均患者数は36人である。

■看護

患者さんは高齢者が多く急性期から終末期まで幅広い看護を求められている。

2010年の病棟目標は以下に示す。

- 1 呼吸器科に必要な知識・技術を習得し、呼吸器看護の専門性を高めます

フィジカルアセスメントの学習やフィジコ等を利用して勉強会を行った。

- 2 基本は笑顔！チームワークで接遇の好感度アップを目指します

スタッフ全員が、失礼のない言葉使いや態度を常に意識し、患者さんのニーズが充足できて笑顔で気持ちのよい看護が提供できるように心がけた。

- 3 病棟内を整理整頓しよう

働きやすい環境を意識して、一人一人が整理整頓に取り組んだ。



口腔ケア勉強会の様子

他にも呼吸器外科も心臓血管外科も疾患の特徴から禁煙が必要となり患者教育は重要である。2010年度のポスター展では禁煙をテーマに出展した。



禁煙ポスター

■教育

月に1回、関連の疾患や看護について勉強会を行っている。各個人がスキルアップのために院外の研修会にも参加している。

■研究

高齢で手術を受ける患者さんも多くあり、術後にせん妄状態になる患者さんがいることから、2010年度はニーチャム混乱・錯乱スケールを使用して看護研究に取り組んだ。



ピースで頑張る日勤メンバー

東 8 階病棟

活動報告

■ 病棟の概要

当病棟は腎臓病内科、糖尿病・代謝内科を主とする病棟で病床数は34床である。その他透析病棟15床を持っている。勤務体制は2交替制である。

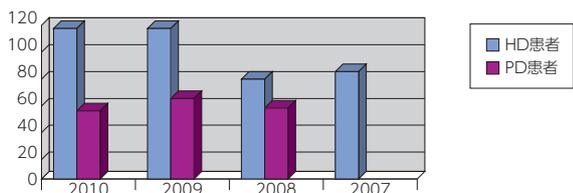
【構成人数】

科長：1名 主任：2名 看護師：22名
助手：2名

【人員配置】

日勤看護師：10～11名(うち早出1名
透析担当1名 療養指導室1名)
夜勤看護師：3名
外来透析看護師：3名

血液・腹膜透析患者数



■ 看護

病棟看護は、リーダー担当による指示受けや医師への状態報告、部屋持ち担当による受け持ち患者の看護全般を行っている。教育目的の患者さんには、個別の指導や勉強会の講義なども行っている。

透析担当者は入院・外来患者の透析中管理と看護、及び2回/週の外来腹膜透析患者の対応をしている。また、外来に療養相談室を有し、外来及び他病棟の糖尿病患者への指導や相談に応じている。院外活動として、透析患者を対象とした1回/年の患者会の開催、糖尿病チームとして地域の健康祭りへの参加なども行っている。



アイプラザまつり風景



■ 医療安全対策

情報の共有を図るため、定期的なカンファレンスを行っている。透析チームは毎日ミニカンファレンスを行い日々の患者さんの状態を把握し、2回/週は病棟スタッフを含め、1回/月は臨床工学士も含めたカンファレンスを行っている。

腎臓病・糖尿病チーム共に、医師・看護師・薬剤師・栄養士をメンバーに1回/週の入院患者のカンファレンスを行い、糖尿病チームでは1回/月は外来看護師とクラークも含めた外来合同カンファレンスを行っている。

また、当病棟には慢性期疾患の患者さんが多いため、退院後も24時間電話相談に対応するなど、退院後のフォローにも力を注いでいる。



病棟カンファレンスの様子

■ 教育

病棟内で1回/月以上の勉強会を行い、新人看護師や異動後の看護師の知識・技術の向上に取り組みながら院外の研修や学会にも積極的に参加し、新しい看護の習得に努めている。また、透析及び糖尿病認定看護師、糖尿病療養指導士などの資格を取得し、専門性を高めている。

■ 研究

日本腎不全看護学会研究発表
日本糖尿病看護学会研究発表



透析室の様子



手術室

■概要

当院手術室は、看護科長を中心に看護師29名・看護助手15名で構成されており、科長は、手術部部長と共に運営管理を行っている。また、中央材料室の科長を兼任し滅菌部門を含め総合的に管理している。2010年度より、看護の質向上及び看護業務の効率化のために、看護助手増員と(株)日本ステリへ業務委託し、清掃・洗浄・滅菌業務を依頼している。

2010年度の年間手術件数は、4,881件(うち麻酔科管理3,289件)を取り扱い、また、緊急手術は614件であった。(図1)

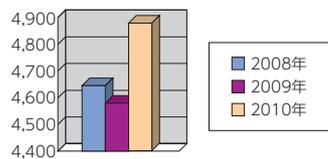


図1 年間手術総件

手術週間スケジュール調整・空き枠の有効活用を積極的に行い、外科・整形外科・心臓血管外科の手術の増加と共に乳腺外科の開設により、手術件数は前年度の4,581件に比べ300件増加した。

患者さん1人1人の手術を、各科医師、麻酔科医師、手術室看護師を中心に放射線科・臨床研究検査科・臨床工学科のコメディカルスタッフが協力し合い、安全な手術が行えるように総力を挙げ対応している。



■看護

当院手術室は、看護師2名で待機体制をとり、365日24時間緊急手術に対応できる勤務体制をとっている。

1. 予定手術に対しては専任制による術前訪問を行い、術前オリエンテーションに力を入れ緊張不安軽減に努めている。また、その患者さんにあった看護計画を立案し実践している。
2. 手術室業務がスムーズに実施できるように、スタッフを器械管理・器材物品管理などの各係に役割分担している。
3. 安全・安心な医療・看護の提供を目指しマニュアルを作成し、看護の統一に努めている。
4. 医療機器の管理・看護行為を臨床工学士と連携・協働し、より安全な手術環境が提供できるように努めている。



帝王切開手術時のカンガルーケア

■教育

3校の看護実習の受け入れを行っており、新人看護師にはプリセプターを中心に教育計画を基に、各科指導チームと連携した教育に力を入れている。

■研究

第23回日本手術看護学会

「四点支持台を用いた腹臥位手術における体圧分散の為の大腿部マットの工夫

—スタッフをモデルとしての考察—

○中野あゆみ 上田順子 中原薫



手術を待っている患者
家族への連絡用電話

訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

～訪問看護ステーション～

【利用者数】

| | 2009年度 | 2010年度 |
|------|--------|--------|
| 医療保険 | 9 | 13 |
| 介護保険 | 18 | 13 |
| 合計 | 27 | 26 |

【訪問回数】

| | 2009年度 | 2010年度 |
|------|--------|--------|
| 医療保険 | 742 | 747 |
| 介護保険 | 831 | 786 |
| 合計 | 1,573 | 1,533 |

【ケアプラン作成数】

| | 2009年度 | 2010年度 |
|------|--------|--------|
| 要支援1 | 39 | 52 |
| 要支援2 | 32 | 42 |
| 要介護1 | 78 | 126 |
| 要介護2 | 101 | 146 |
| 要介護3 | 48 | 71 |
| 要介護4 | 48 | 35 |
| 要介護5 | 34 | 47 |
| 合計 | 380 | 519 |

～訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所～

■2009・2010年度、利用状況

訪問看護利用者(年間)延べ件数

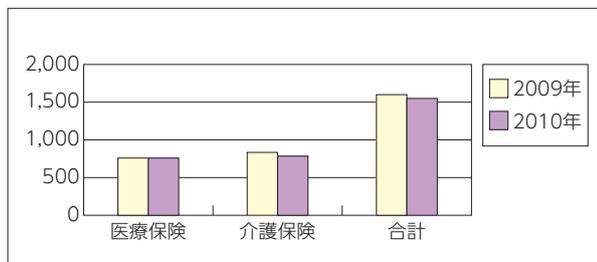


図1

【新規利用者前経緯】

自宅 44%
医療機関 56%

【終了内訳】

在宅死 14%
病院死 64%
入院 11%
軽快その他11%

【主治医】

併設病院 64% 開業医 36%

【月平均利用者数】 2009年度 26.6名
2010年度 23.6名

※2009・2010年度で利用者数に大きな変化はない。
居宅ケアプラン作成数

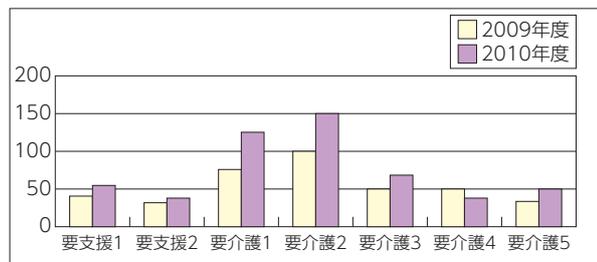


図2

【ケアプラン数月平均】 2009年度 31.66名
2010年度 43.25名
(※介護予防含む)

※2009・2010年度でケアプラン数は36%増加した。

■2010年度、実習生研修医受入れ状況

①日本赤十字広島看護大学(28名) ②尾道看護専門学校(12名) ③東亜看護学院(3名) ④JA広島総合病院臨床研修医(4名) ⑤緩和ケア認定看護師(2名)

■2010年度、主なる行事報告

- 6月 利用者満足度調査(訪問看護・居宅)
- 7月 第1回 廿日市市訪問看護ステーション情報交換会(廿日市市内5ステーション参加)
- 9月 尾道看護専門学校 在宅看護論2年生講義(10時間)
介護サービス情報の公表調査実施(広島県介護サービス情報公表センター)
- 10月 平成22年度 第1回在宅医療運営委員会開催(院内在宅医療推進委員)
- 11月 院内ポスター展示へ参加
介護保険施設等の実地指導(西部厚生環境厚生課・廿日市福祉保健部高齢介護課)
- 1月 “せと”広報紙 投稿

■勤務体制(2011年3月末)

<訪問看護ステーション>

管理者1名(地域医療連携室長兼務)
看護師3名(専)
保健師1名(2011年3月22日～産休)

<居宅介護支援事業所>

管理者1名(実務兼務・看護師)
介護支援専門員1名(専・看護師)
介護支援専門員0.2名(兼務・社会福祉士)

■当事業所の特徴及び今後の展望

急性期医療・地域がん診療連携拠点病院併設の事業所として、医療依存度の高い方や癌ターミナルの方を中心に、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカー・認定看護師・専門員や病棟科長及びスタッフ等とリアルタイムに連携をとりながら、在宅療養を支援しています。今後も併設病院の事業展開を視野に入れ、地域の人々の医療福祉に貢献し、教育的役割も担いながら事業を継続します。

薬剤部

■スタッフ

薬剤師25名 事務4名

[人員配置]

西5階、西6階、西7階、西8階、東3階、東6階、東7階、東8階に病棟薬剤師

がん化学療法専任 2名 ICT専任 1名

NST専任 1名

[取得資格(認定、所属学会、世話人、等)]

日本糖尿病療養指導士 4名

日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師 7名

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 1名

日本病院薬剤師会認定指導薬剤師 2名

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師 6名

日本医療薬学会がん指導薬剤師・がん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師 1名

日本DMAT隊員 1名

危険物取扱者 1名

サプリメントアドバイザー 1名

日本糖尿病学会 1名、日本臨床薬理学会 1名

日本TDM学会 2名

日本医療薬学会 4名、日本緩和医療学会 1名

日本緩和医療薬学会 3名

日本環境感染学会 1名、日本臨床救急医学会 1名

日本厚生連病院薬剤師長会議理事・監事 1名

廿日市市薬剤師会理事・副会長 1名

広島県病院薬剤師会理事 1名

広島県病院薬剤師会委員会(DI委員 1名、薬剤業務・プレアボイド委員 1名)

■業務内容

調剤業務:外来 500枚/日(院外処方箋発行率0%)入院 200枚/日、
注射調剤 170件/日、院内製剤 50品目、
TDM(VCM・TEIC・ABK) 16件/月

抗がん剤無菌調製:外来 14件/日 入院 7件/日、抗がん剤レジメン構築・管理

薬剤管理指導算定件数 460件/月、持参薬鑑別 20件/月

薬品管理(採用薬:内服薬 765剤、注射薬 538剤、外用薬 298剤、用時購入 72剤)

医薬品情報(DI)、ICT、NST、医療安全管理、後発医薬品選定、糖尿病教室

治験 4件/年、実務実習指導 3名/年

■その他活動内容

プレアボイド、各委員会、がん化学療法運営委員会事務局、薬事委員会事務局

治験委員会事務局

■管理機器一覧

錠剤分包機、散剤分包機、散剤バーコードシステム、高圧蒸気滅菌機、乾熱滅菌機

RO純水製造装置、クリーンベンチ、安全キャビネット

■部門内の研修会

3回/月 薬剤部定期勉強会

薬剤部は薬剤師25名、助手4名で構成される。当院は100%院内調剤であり、外来癌化学療法のミキシングは全例薬剤部で行っているため、外来関連業務の占める割合が高い。しかし、そのような中でも、病棟業務や各種委員会などを通じて他職種との協働に力点をおく。病棟業務では、入院癌化学療法のミキシング、入院患者への服薬指導や薬剤管理、病棟配置薬の管理、医師や看護師への薬剤に関する情報提供を通して、安全な薬物療法の推進に努めている。ICTやNST、緩和ケアの分野では、ラウンドを行いチーム医療に貢献している。

近年、薬剤師にも高い専門性が求められており、個人のスキルアップをめざし、院外の研修会や学会へも積極的に参加するようになった。薬剤部内の定例勉強会では、薬剤に関する研修の他、学会参加者が得られた知見の発表や病棟担当者が病棟活動で経験した症例の検討など、幅広い分野で薬剤師全体のレベルアップを目指している。

臨床研究検査科

■ スタッフ

臨床検査技師 38名 助手 1名

■ 部門紹介

当検査室は24時間毎日30～60分で検査結果が出せる様に日々業務を行っています。当科は早くから業務の効率化を図るために数々の工夫を取り入れていきます。その代表が1988年、一本の検体搬送ラインに複数台の自動分析機を接続して全体を一台の自動分析機として測定・管理を行うDAC(S(Differential-order Adaptive Conveyer System)であり、これを開発し進化させてきました。現在は4代目になり、検査のスピード化の一助として稼働しています。

また1997年、院内オーダリングシステムの導入に伴い検査情報システム(LIS)をシステム会社と共同開発し、当院に合ったLISの運用を行っています。現在、各種システム(検体検査システム、生理検査システム、輸血システム、細菌システム、試薬管理システム、地域連携システム)が稼働しています。また特殊検査室は研究室を兼ねて各種遺伝子検査なども行っています。

さらに当院健康管理課が実施している健康診断業務に積極的に参画し、廿日市を中心とする住民検診、農協組合員の健診や職域検診等では皆様の所までチームを組んで出かけています。

検査の精度については、3年前より(社)日本臨床衛生検査技師会の標準化事業に参加し広島県に4つある標準化基幹施設として県内の検査標準化を推進しています。

■ 業務内容

各部門の主な業務内容と主要機器になります。

- ◆採血業務(検査のための採血)
- ◆生化学検査(肝機能、腎機能、糖質代謝、脂質検査等)
JCA-BM2250(日本電子)
- ◆免疫検査(肝炎検査、ホルモン検査、腫瘍マーカー検査等)
ADVIA Centaur XP(シーメンスヘルスケア・ダイ

アグノスティクス)

- ◆血液検査(末梢血検査、血液凝固検査、骨髓検査等)
ADVIA 2120i(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス)
- ◆一般検査(尿検査、便検査、寄生虫検査等)
クリニテック500(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス)
- ◆輸血検査(血液型検査、交差適合試験、不規則性抗体検査等)
AUTO VUE Innova(オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス)
- ◆細菌検査(一般細菌培養、結核菌培養、薬剤感受性試験、院内環境調査等)
VITEC2(シスメックス)
- ◆生理学的検査(心電図検査、脳・神経機能検査、肺機能検査等)
CardioStar FCP-7431、FUDAC77(フクダ電子)
- ◆超音波検査(心臓エコー検査、腹部エコー検査、膀胱エコー検査等)
- ◆特殊検査(遺伝子検査等)



中央放射線科

■ スタッフ

構成人数...23名

人員配置...

中央放射線(一般撮影、マンモグラフィ、骨密度測定、泌尿器科撮影室、破砕装置、ポータブル撮影、手術室、核医学、心臓カテーテル室、歯科撮影)12名

CT(CT2台、ドック検診胃透視、汎用血管造影、救命センターを含む)5名

MR3名

治療3名(中村科長以外は診断からのローテーション)

取得資格(認定、所属学会、世話人、etc)

認定

保健学 修士 3

保健衛生学 学士 5

放射線学 学士 5

保健学 学士 2

工学 学士 1

| | |
|------------------------|---|
| 検診マンモグラフィ撮影認定技師 | 6 |
| 放射線治療専門放射線技師 | 2 |
| 放射線治療品質管理士 | 1 |
| 第1種放射線取扱主任者 | 3 |
| エックス線作業主任者 | 2 |
| ガンマ線透過写真撮影作業主任者 | 2 |
| 第一種作業環境測定士 | 1 |
| 核医学専門技師 | 1 |
| 日本医療情報学会認定 医療情報技師 | 2 |
| 日本放射線技師会認定 MRI検査技能検定3級 | 4 |
| 日本放射線技師会認定 放射線管理士 | 4 |
| 日本放射線技師会認定 放射線機器管理士 | 5 |
| 日本放射線技師会認定 一般撮影技能検定3級 | 1 |
| 日本放射線技師会認定 医用画像情報管理士 | 3 |
| 日本放射線技師会認定 臨床実習指導教員 | 2 |

所属学会

公益法人 日本放射線技師会
 公益法人 日本放射線技術学会
 NPO 日本乳癌検診学会
 日本消化器集団検診学会
 日本医用画像管理学会
 日本核医学技術学会
 日本核医学会中四国部会
 日本磁気共鳴医学会

世話人等

公益法人日本放射線技術学会代議員
 公益法人日本放射線技術学会中四国部会理事
 NPO日本乳がん検診学会評議員 2
 ひろしま乳房画像研究会世話人
 広島臨床画像研修会幹事 2
 日本放射線技師会代議員
 公益法人広島県放射線技師会理事
 広島CT技術研究会会長
 せとうち心臓CTMRI勉強会世話人
 瀬戸内CTサイエンスセミナー代表世話人
 マルチフォーラム世話人
 高速らせんCT技術セミナー世話人
 広島国際フォーラム世話人
 CTテクノロジーセミナー世話人
 公益法人広島県放射線技師会 西部地区理事
 広島県MRI勉強会 世話人
 広島GEMRIユーザーズミーティング世話人
 公益法人日本放射線技術学会分科会中四国世話人
 日本核医学技術学会中四国部会理事
 中国・四国画像カンファレンス世話人
 ひろしま核医学技術検討会世話人
 安芸RI倶楽部世話人

■ 診療科紹介

中央放射線科は、すべての診療科・部門と密接な連携のもと、放射線に関連する検査と画像診断・インターベンショナルラジオロジー(IVR)・放射線治療・核医学検査に携わっています。院内での放射線関連部署は1.中央放射線、2.画像診断、3.放射線治療の3部門です。(骨密度測定、乳房撮影、ポータブル撮影、核医学検査装置、心臓カテーテル検査などを含む)一般X線撮影を中心に行う中央放射線部門、CTやMRIなどのコンピュータ断層装置、血管造影装置など画像診断部の診療を補助する画像診断部門、および放射線治療科とともに放射線治療に携わる治療部門です。現在、診療放射線技師23名、画像診断医師5名、放射線治療医師2名、看護師12名、医事職員10名と52名の大所帯でチーム医療を実践しています。放射線技師は中央放射線、画像診断に22名、放射線治療に3名配属しています。

近年の医療機器工学の進歩は目覚ましく、当院でも多くの機器の更新や新設が逐次行われています。2011年2月～3月にかけて中央放射線の一般撮影装置を更新し、最新技術を導入したフラットパネルディテクタの撮影装置も5台となりました。2011年4月に開設された地域救命救急センターにも最新鋭の64列CT装置、一般撮影装置を設置しました。現在診断部門では、1.5T MRI装置2台、CT装置3台(64列と16列)、フラットパネルディテクタの装置は心臓カテーテル検査装置1台、血管造影検査装置1台、一般撮影3台、乳房専用X線撮影装置1台の計6台、消化管検査・IVR等に使用するX線透視装置3台を有しています。医療の高度化に伴い放射線技師も他医療職と同様に専門分野ごとの認定制度が動き出しました。放射線治療では放射線治療技師により精密で正確な線量管理を行い、IMRT、定位放射線治療など精度の高い緻密な放射線治療を行っています。マンモグラフィ撮影においても、マンモグラフィ撮影認定を取得した女性技師が乳房撮影を行っています。第一種放射線取り扱い主任者、放射線管理士など放射線管理や被ばくについてより専門性の高い資格を有しているものも多数あります。このように、最新の装置と高度な技術を駆使し、より質の高い医療技術、医療被ばくの適正化など患者さんにやさしく、思いやりのある、そして安心して安全に検査や治療を受けて頂けるよう心がけております。

私たち放射線技師は最先端、最新鋭の画像診断装置、放射線治療装置を駆使し、患者さんへの質の保証を目指し、診断・治療に役立つ最良の技術を提供していくため、研究会や勉強会にも熱心に参加し、「理論に裏付けされた技術集団」をめざし、日夜奮闘しています。

臨床工学科

■ スタッフ

臨床工学技士 12名

看護助手 1名

■ 部門紹介

臨床工学技士は、医師や看護師とチームを組んで「生命維持管理装置の操作や各種医療機器の保守・点検」を行います。臨床工学科は現在12名の技士で業務を行っており、手術室、人工透析室、集中治療室、心臓カテーテル室など院内の様々な分野で活躍しています。

■ 業務内容

人工心肺業務

- ・人工心肺装置、自己血回収装置

集中治療室業務

- ・血液浄化療法(CHDF、血漿交換、血液吸着 等)
- ・補助循環装置(PCPS)、IABP
- ・人工呼吸器などの酸素療法に関連する機器操作、管理
- ・生体情報モニター管理

循環器業務

- ・心臓カテーテル検査、ペースメーカー、EPS、IVUS 等

血液浄化業務

- ・HD、HDF、LCAP、GCAP、PMX、PE 等

手術室業務

- ・手術室ME機器管理(麻酔器、電気メス 等)
- ・整形外科業務
- ・内視鏡外科業務

高気圧酸素療法業務

ME機器管理業務

■ トピックス

手術室では、これまでの人工心肺業務に加え、2008年4月からはじまった、医療機器メーカーの立ち合い規制により、整形外科領域で臨床工学技士が携わるようになった他、循環器科領域でのペースメーカー植え込み・

交換手術や、定期チェックにおいても臨床工学技士が携わり、患者さんの管理を総合的に行っています。

地域救命救急センター開設にあたり、救急領域での業務も増え、現在ICUにも技士が常駐するようになりました。ICUでは、人工呼吸器の管理を中心に、補助循環装置(IABP・PCPS等)の操作や急性血液浄化療法などの業務を行っています。

夜間の緊急やトラブルにおいても、迅速な対応ができるよう、24時間“on call”体制をとっています。更に、2011年1月よりRST(呼吸サポートチーム)を立ち上げ、週一回、医師や看護師と共に人工呼吸器を装着した患者さんのラウンドを行い、呼吸管理の最適化や離脱へのサポートを行っています。

■ 取得認定資格

透析技術認定士:3名

呼吸療法認定士:4名

体外循環技術認定士:3名

ペースメーカー関連認定士:1名

■ 所属学会

日本臨床工学技士会

日本体外循環技術医学会

日本アフエレーシス学会

日本呼吸療法医学会

日本人工臓器学会

日本透析医学会

リハビリテーション科

■ スタッフ

理学療法士 10名
 作業療法士 2名
 言語聴覚士 2名

[取得資格]

呼吸療法認定士
 福祉住環境コーディネーター2級
 社会福祉士
 介護支援専門員

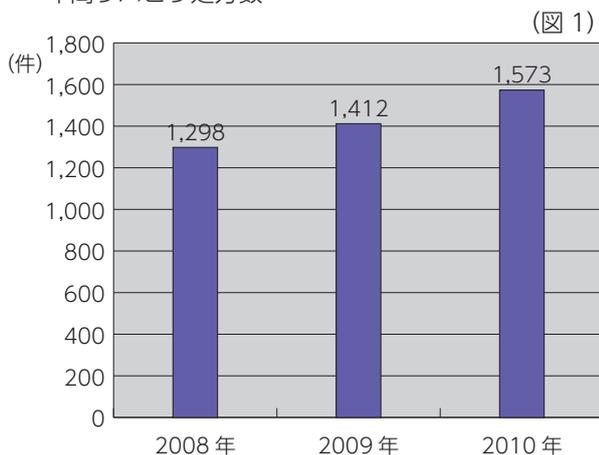
[所属学会]

日本理学療法士協会
 日本作業療法士協会
 日本言語聴覚士協会
 広島県言語聴覚士会
 心臓リハビリテーション学会

■ 部門紹介

整形外科、脳神経外科を中心に、心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科など、院内全科からのリハビリテーション依頼を受けております。昨年度は年間1,573件のリハビリテーションの処方を受けており、その数は年々増加しています。(図1)当科は入院患者さん中心のリハビリを行っており、リハビリテーション室だけでなく、病棟やICUでも急性期から積極的に、坐位乗乗練習・歩行訓練・ADL動作練習・嚥下訓練・高次脳機能訓練などを行っています。昨年度より作業

年間リハビリ処方数



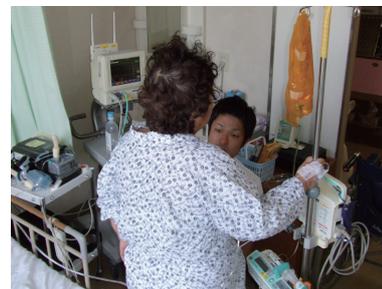
療法士も配属され、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれの専門性を活かしたリハビリテーションを提供しております。また、定期的に医師や看護師、管理栄養士、薬剤師などとカンファレンスの実施の他に、NSTやRST・緩和ケアチームなどの院内のチームにも参加して、よりよい医療が提供できるように他職種と協同で患者さんに関わっております。

■ 施設基準

運動器リハビリテーション施設基準Ⅰ
 呼吸器リハビリテーション施設基準Ⅰ
 脳血管疾患等リハビリテーション施設基準Ⅱ
 心大血管リハビリテーション施設基準Ⅰ

■ 管理機器一覧

自転車エルゴメーター・トレッドミル・渦流浴・ホットパック・起立台・CPM・低周波・スパイロメーター



栄養科

■スタッフ

栄養部長 1名 香山茂平 医師
 科長 1名 坂田良子
 主任 1名 河本良美
 管理栄養士 7名 (科長、主任含む)
 委託(調理部門) 40名 (株)日米クック

[人員配置]

病棟担当 各1名 NST専従 1名
 外来指導担当 常時3名

[取得資格(認定、所属学会、世話人、etc)]

坂田良子 管理栄養士、病態栄養専門師、
 日本糖尿病療養指導士

所属学会：日本病態栄養学会、
 日本静脈経腸栄養学会

河本良美 管理栄養士、病態栄養専門師、
 日本糖尿病療養指導士

所属学会：日本病態栄養学会、
 日本糖尿病学会

小松満美子 管理栄養士、
 日本糖尿病療養指導士

所属学会：日本病態栄養学会、
 日本静脈経腸栄養学会

上村真由美 管理栄養士、病態栄養専門師
 所属学会：日本病態栄養学会、
 日本静脈経腸栄養学会

中西弘子 管理栄養士
 所属学会：日本病態栄養学会

松下有紀 管理栄養士
 所属学会：日本病態栄養学会、日本静脈経腸
 栄養学会

八幡謙吾 管理栄養士、NST専従
 所属学会：日本病態栄養学会、日本静脈経腸
 栄養学会、日本臨床栄養協会

■業務内容

栄養科では治療のために個々の患者さんの病態に

合わせた食事を提供しています。病棟担当制で栄養士
 を配置しており、食事の説明や嗜好調査、摂取量、症状
 に合わせた個別対応を行っています。また、栄養状態
 不良の患者さんを抽出し、NST(栄養サポートチーム)
 の一員として栄養状態の改善を行っています。

栄養食事指導では、患者さんの食生活・食習慣など
 を考慮した個別指導や、集団指導を実施しています。

2010年度実績

| 外来 1,918件 | | | 入院 375件 | | |
|-----------|-----|------|---------|-----|------|
| 内 訳 | 腎臓病 | 909件 | 内 訳 | 心疾患 | 200件 |
| | 糖尿病 | 820件 | | 糖尿病 | 80件 |
| | その他 | 189件 | | その他 | 95件 |

<集団指導>144件

糖尿病教室 1回/週
 腎臓病教室 1回/月

■その他活動内容

患者サービス：行事食(敬老の日、クリスマスなど)
 退院食(退院前日に、メッセージ
 カードとともに提供)

集団栄養教育：妊産婦教室

チーム活動：NST、褥瘡、緩和ケア、PEG、RST
 へ参加

そ の 他：あいプラザまつり(糖尿病グルー
 プ)、腎臓病市民公開講座のスタッ
 フとして参加



<敬老の日>



<退院食>

診療情報管理科

■ スタッフ

- 佃 真由美
 診療情報管理士・院内がん登録実務初級者修了
 所属学会：日本診療情報管理士会
- 井 本 真 美
 診療情報管理士・院内がん登録実務中級者修了
 所属学会：日本診療情報管理士会
- 高 科 順 子
 診療情報管理士
 所属学会：日本診療情報管理士会
- 沖 理 美
- 大 本 智 恵
- 好 村 由 紀
- 田 中 詩 野

■ 概要・診療方針

診療録の適正な管理をする。
 診療や医学研究また法的資料等の一層の充実向上のため、貴重な資料の紛失や、散逸防止を図る。

■ 業務内容

がん診療連携拠点病院の指定病院として、がん疾患

のデータを採録し、国立がんセンターに年一回データを提出している。また、そのデータを活用し地域がん登録として、広島県医師会に毎月データを提出している。

退院時サマリー・DPCデータ等より、医師・コメディカルの研究や各種の研修・アンケート等の資料を作成している。

医師退院時サマリーの2週間以内記載率を100%にするよう督促を行い、順次当科用の退院時サマリーを作成している。

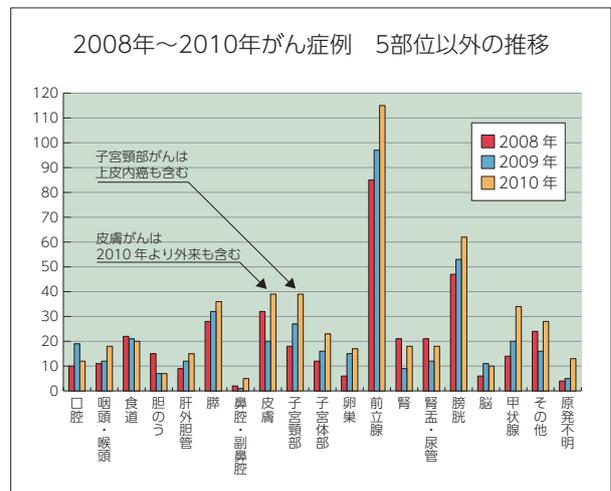
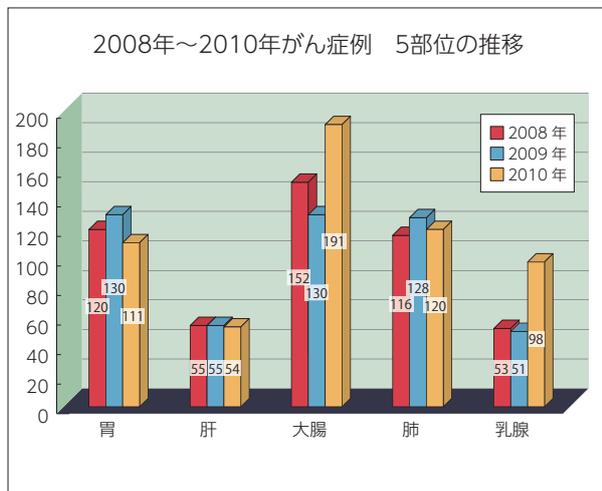
2006年9月より電子カルテの運用となり、現在では副カルテ(同意書等)の保管・管理を行っている。(入院診療録は1991年から紙カルテの保管・管理を行っている)

■ 当科の特色

当科用の退院時サマリーは、国際疾病分類より、疾病名は「ICD-10」、手術・処置は「ICD-9-CM」でコーディングを行っている。

地域・院内がん登録は、UICC TNM分類・進展度の登録を行っている。

DPCは様式1担当からの疑問点に答えている。



医療安全管理室

■ スタッフ

新 宅 祐 子

看護科長、専従リスクマネジャー

所属学会:日本医療・病院管理学会、医療事故・紛争
対応研究会、国際ケアリング学会・医療
の質・安全管理学会

今 本 紀 生

看護科主任、感染管理認定看護師、専従感染看護
師

所属学会:日本環境感染学会

吾 郷 志津枝

看護科主任、専従リスクマネジャー

■ 概要・診療方針

・概要・2010年度活動方針

医療安全管理部会や院内リスクマネジャー管理部
会を中心に、職員が医療安全活動に積極的に参加す
るための支援をする。

■ 活動内容

1.院内リスクマネジャー管理部会(毎週月曜日:15:10
~16:00)

消化器内科医師・徳毛、脳神経外科医師・湯川、ICU
看護科長・村中、総務課長・川上、薬剤部科長・寺澤、
臨床研究検査科科長補佐・三舛、臨床工学科主任・曾
我、医療安全管理室主任・今本、吾郷、科長・新宅

2.医療安全管理部会(1回/月) 各部門の長により
構成される部会メンバーによるラウンドやミニレク
チャーの実施

3.感染管理部会(毎週火曜日:16:00~17:00)

外科医師・今村、呼吸器内科医師・櫻井、感染管理認
定看護師・今本、感染管理専任検査技師・池部、感染
管理専任薬剤師・正畠、看護科長・松村、医事課長・丸
澤

4.医療安全研修会(12回/年)

5.医療安全広報活動(医療安全管理室だより2回/年、
緊急メール、院内HP掲載)

6.医療安全週間の取り組み(11月25日を含む1週間)

7.医療事故防止対策マニュアルの新規作成・変更

・医療安全管理室の取り組み、実績

専従リスクマネジャー新宅、感染管理認定看護師
今本主任に加え、2010年4月~9月まで吾郷主任が
病棟と兼任となりました。10月からは専従リスクマ
ネジャーとして加わり、医療安全管理室が更にパワー
アップしました。

長年の希望でもあったヒヤリ・ハット報告のオンラ
イン化が実現し、2010年度の総報告件数は2,569
件で、前年より約500件増となりました。これらの報
告の中には、当院の運用を大きく変えるきっかけと
なったものもありました。具体的には、体内ガーゼ遺
残防止のため手術室で使用するガーゼを全てX線対
応に変更、手術室退出前にレントゲン撮影の実施、患
者誤認防止のためのタイムアウト実施、医療材料の
使用期限切れ一斉チェック、医薬品の使用期限切れ
一斉チェックや運用手順の変更などが上げられます。
感染管理活動では、コアチームによる活動が軌道に
乗り、結核発生やインフルエンザをはじめとするあら
ゆる感染症の対応が迅速かつ的確にできるようにな
りました。

その他、医療安全管理室の下部組織として、2010
年10月よりRST(Respiratory Support Team:呼
吸サポートチーム)準備委員会を立ち上げ、2011年
1月より活動を開始しました。現在は、1回/週の定期
ラウンドにて、人工呼吸器およびNPPV装着患者の管
理やスタッフへの助言・指導を行っています。やる気
のある、ガッツあふれる若いスタッフで構成されてお
り、充実した活動が展開されています。

■ トピックス

2011年4月より、医療安全管理室の実働は、感染管
理認定看護師今本主任、専従リスクマネジャー吾郷主任
の2名となりました。当室の下部組織として発足したRST
(呼吸サポートチーム)は、4月1日より院内の委員会と
して位置付けられました。今後とも、皆様のご協力をお
願いいたします。



地域医療連携室

■ スタッフ

9人

[人員配置]

地域医療連携室室長 1名

MSW 4名

専門員 1名

事務職 3名

■ トピックス

紹介患者専用窓口常設 (紹介予約件数)

2009年 15,453件

2010年 15,775件

■ 業務内容

[地域連携業務]

- ・ 救急搬入件数、紹介率等の地域医療連携実態調査及び管理
- ・ 地区医師会との連携、調整
- ・ 地域支援病院諮問委員会、JA広島総合病院運営委員会、開放病棟運営委員会等の会議開催
- ・ 地域医療連携クリニカルパスの推進
- ・ 廿日市市町内会連合会病院視察
- ・ 介護教室の開催

[患者・家族相談]

- ・ 相談件数

| | |
|-------|-----------------------|
| 2009年 | 3,837件 (内、がん相談1,045件) |
| 2010年 | 4,836件 (内、がん相談1,556件) |

- ・ 2009年7月21日 がんサロンの開設

月2回 第2月曜日 交流会

第4月曜日 交流会&ミニレクチャー

[ボランティア受入(総合受付にて受診案内)]

登録者11名

| | 活動延人数 |
|-------|-------|
| 2009年 | 83名 |
| 2010年 | 84名 |

■ その他活動内容

市民公開講座の開催(年2回開催)

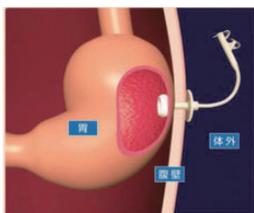
地域医療従事者研修会の開催(年4回開催)

PEG チーム

PEGとは.....

内視鏡を用いることによって、腹壁と胃壁の間に‘胃瘻(瘻孔)’を作成する手術のことです。臨床的には、作成された瘻孔を指してPEG(ペグ)と呼ぶことが多くなっています。

胃瘻を通じて栄養を投与することで、経口摂取が困難な場合などでも腸管を経て消化できるため、栄養管理が効果的に行えます。



メンバー紹介.....

消化器内科医師(徳毛医師)を中心に病棟看護師、外来看護師、摂食・嚥下障害認定看護師、内視鏡技師、管理栄養士で活動しています。



PEGの健全な普及と一般への啓発を目的に設立されている全国組織である「PEG・在宅医療研究会」により、以下の施設認定や個人資格認定を受けています。

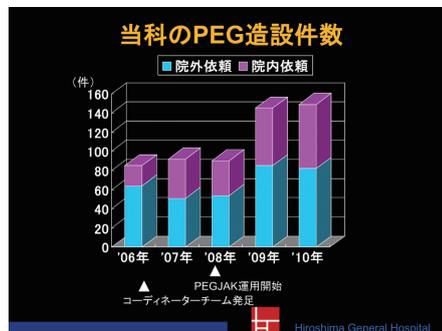
- ・専門胃瘻造設施設
- ・専門胃瘻造設者
- ・専門胃瘻管理者
- ・胃瘻教育者

PEG造設件数の推移.....

胃瘻造設件数は2009年以降、急激に増加し、年間140~150例となっています。

これは他施設からの造設依頼件数の増加がそのま

ま反映していると思われます。



活動内容.....

1) 回診

PEG回診は毎月第1水曜日に各病棟をラウンドして栄養状態やトラブルの有無などベッドサイドで観察し、病棟スタッフへのアドバイスをおこなっています。昨年の回診患者総数は、のべ70例となっています。

回診時以外でも、困ったことがあればいつでも相談を受けています。

2) 研修会

PEG造設後、周辺施設への転院が多いことから、院内のみでなく周辺施設を対象にした研修会も行っています。

3) PEG通信

地域連携と情報発信を目的に発行しています。



学会・研究会.....

以下の研究会などで数多くの研究発表をしています。

PEG・在宅医療研究会

広島胃瘻と経腸栄養療法研究会(広島ページェント)

NST（栄養サポートチーム）

■ ラウンドメンバー

香山茂平(医師)、八幡謙吾(管理栄養士;専従)、藤田寿賀(看護師)、藤本七津美(看護師)、石崎淳子(看護師)、山口瑞穂(看護師)、中島恵子(薬剤師)、玉田雅美(言語聴覚士)、横山富子(臨床検査技師)、池部晃司(臨床検査技師)

■ 活動現況

NSTとはnutrition support teamの略称です。院内の栄養不良の患者さんに対し適切な栄養管理を行うために設置されており、患者さんが必要としている栄養素をより生理的な方法で提供し、栄養状態改善、創傷治癒促進、免疫能改善等が主な目的です。NSTは医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・言語聴覚士など多職種から構成されており、それぞれの立場から専門的な知識、技術を持ち寄って活動しています。

当院でのNST活動は2003年に栄養管理推進委員会として現糖尿病代謝内科主任部長の石田和史医師のもと立ち上がり、現在日本病態栄養学会のNST稼働施設認定を受けております。また2010年度からは専従のメンバー(管理栄養士)も生まれ、NST加算の取得を行うまでに至っています。

普段の活動は週に一度、各病棟から依頼された栄養不良患者さんを回診し、メンバー・病棟スタッフを交え問題点のディスカッションを行い栄養評価、適切な栄養管理がなされているかどうかを確認し、最もふさわしい栄養管理法の指導・提言などを行っています。具体的には、食欲不振や、摂食嚥下障害に対する食事対応やリハビリテーション、経腸・静脈栄養法計画、口腔ケアなど栄養に関する様々な事項に対応しています。最近は嚥下に問題を抱えた患者さんの増加に伴いPEG(経皮内視鏡的胃ろう造設術)を造設するか判断に迫られることが増えていますが、当院にはPEGの権威である徳毛宏則医師がおり、胃切除後などの困難例も含め年間100件以上ものPEGを施行しています。また摂食嚥下に強いメン

バーが揃っているため、可能な限り経口摂取をすすめていけるように考えており、患者さんにとって適切な時期でのPEG導入が可能となっています。また他施設への転院などの際には、栄養に関する診療情報を提供し可能な限り継ぎ目のない栄養管理を受けられるように心がけています。

教育面では、職員全員のレベルupが図れるよう、院内研修も定期的に行っています。

■ 2010年度NST研修会実績

| 開催年月日 | タイトル | 担当者 |
|-------------|--------------------|-----|
| 2010年10月5日 | 急性期・周術期の栄養管理について | 香山 |
| 2010年10月7日 | 栄養スクリーニング(MNA)について | 八幡 |
| 2010年10月7日 | 経腸栄養剤・栄養補助食品について | 八幡 |
| 2010年11月12日 | PEGについて | 石崎 |
| 2010年11月12日 | 口腔ケアについて | 藤本 |
| 2011年2月1日 | 栄養評価につかえる検査項目 | 横山 |
| 2011年2月1日 | ともに学ぼう！菌トレ | 池部 |

栄養サポートチーム(NST)のご紹介

「栄養サポートチーム(NST)」とは、様々な職種が専門的な知識を持ち寄り、入院患者さんの治療が円滑に進むように栄養面からサポートを行うチームです。患者さんの状態を把握し、一人ひとりに適した栄養管理が行えるよう、活動しています。



医師
看護師
管理栄養士
薬剤師
臨床検査技師
言語聴覚士



患者さん

～活動目的～

- 患者さんの状態に見合った栄養管理を行い、栄養状態の改善を目指します。
- 栄養状態を良くすることで、感染症や床ずれ(褥瘡)を予防し、治療やリハビリが順調に進むためのお手伝いをします。

～主な活動内容～

- 主治医より依頼を受け、その患者さんに適した栄養摂取方法を検討。
- 口から食事を食べることを目標に、栄養状態の改善を目的とした経腸栄養の実施。
- 血液検査や身体計測などによる栄養状態の評価、栄養治療計画の見直し。など

主治医または病棟看護師にお気軽にご相談ください。
★回診：毎週水曜日 16:00～ JA広島総合病院NST 2010年9月

著書・論文

呼吸器内科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|------|-------------|------------------------------------|-------|
| ARDS患者に対するAPRV,HFOVの有用性の検討 | 近藤丈博 | 日本集中治療医学会雑誌 | (1340-7988) 16巻Suppl. 253 | 2009年 |
| 肺炎球菌肺炎からARDSを合併し、 腹臥位管理にて呼吸状態の改善をみた1例 | 近藤丈博 | 呼吸と循環 | (0452-3458) 57巻12号 1323-1326 | 2009年 |

循環器内科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|---|----------------------|------------------------|-------|
| [CT冠動脈造影実践学] CT冠動脈造影におけるプラーク解析の基礎 | 藤井隆 (編者 木原康樹・ 栗林幸夫) | (中外医学社) | 112~121 | 2010年 |
| MDCTによる冠動脈の検査と診断 | 海地陽子 土田恭幸 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 藤井隆 | MDCTによる冠動脈の 検査と診断 | Vol 26. No 6. 67~69 | 2010年 |
| Coronary plaque stabilization followed by Color Code Plaque™ analysis with 64-slice multidetector row computed tomography | Eiji Kunita Takashi Fujii Youji Urabe Shuuji Tsujiyama Kouji Maeda Naohito Tasaki Yoshitaka Sekiguchi | Circulation Journal | Vol 73. 772~775 | 2009年 |

腎臓内科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|--|----------------------|----------------------|-------|
| 1. Clinicopathological characteristics of patients with IgG4-related tubulointerstitial nephritis | Takako Saeki Shinichi Nishi Naofumi Imai Tomoyuki Ito Hajime Yamazaki Mitsuhiro Kawano Motohisa Yamamoto Hiroki Takahashi Shoko Matsui Shinji Nakada Tomoki Origuchi Akira Hirabayashi Noriyuki Honma Yutaka Tsubota Ichiei Narita | Kidney International | Vol 78. 1016~1023 | 2010年 |

消化器内科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|--------------------|------------|--------------------------|-------|
| 食道mucosal bridge.別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No11 消化管症候群(第2版) | 徳毛宏則 石田邦夫 | 日本臨床社 | 45~48 | 2009年 |
| 第17回在北米被爆者健康診断成績 | 碓井静照 松村誠 徳毛宏則ほか | 広島医学 | Vol 63. No 8. 567~592 | 2010年 |

外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|--|---------------|----------------------------|-------|
| Pouchitis disease activity index (PDAI) does not predict patients with symptoms of pouchitis who will respond to antibiotics | M. Kohyama Y. Takesue H. Ohge Y. Murakami F. Shimamoto T. Sueda | Surgery Today | Vol39 .No11 . 962 ~ 968 | 2009年 |

| | | | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------|-------------|-----------------------------|-------|
| 全身低下を伴った進行胃癌に対し、集学的治療により長期生存しえた1例 | 加納幹浩 赤木真治 田中智子 | 栗栖佳宏 柴村英典 羽田野直人 | 広島医学 | Vol 63. No 5. 402~405 | 2010年 |
| 腸重積をきたした盲腸子宮内膜症に対する腹腔鏡補助下回盲部切除術の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 臺丸裕 | 日本内視鏡外科学会雑誌 | Vol 15. No 6. 755~759 | 2010年 |
| 精神疾患を有する患者に生じた腹腔内遊離ガスを伴う腸管囊腫様気腫症の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 | 腹部救急医学会雑誌 | Vol 30. NO 3. 469~472 | 2010年 |
| Amyand's herniaの1例 | 栞田亜希 | 香山茂平 | 日本大腸肛門病学会雑誌 | Vol 63. No 5. 281~284 | |
| 腹壁瘢痕ヘルニア術後2年目に発症した遅発性メッシュ感染の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 | 日本臨床外科学会雑誌 | Vol 71. No 5. 1355~1359 | 2010年 |
| 胃全摘術後の輸入脚症候群の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 | 腹部救急医学会雑誌 | Vol 30. No 5. 725~728 | 2010年 |
| S状結腸が嵌頓した巨大鼠径ヘルニアの1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 | 中光篤志 香山茂平 埜越宏幸 | 日本臨外科会誌 | Vol 71. No7. 1901~1904 | 2010年 |
| Bevacizumab併用FOLFIRI療法にて組織的CRが得られた直腸癌肝転移の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 癌と化学療法 | Vol 37. No 13. 2937~2940 | 2010年 |
| Weekly paclitaxelが奏功した乳腺invasive micropapillary carcinoma 再発の1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 広島医学 | Vol 63. No 7. 553~556 | 2010年 |
| 腹腔鏡補助下に脾尾部切除したSPTの1例 | 栞田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 胆と脾 | Vol 31. No 9. 895~898 | 2010年 |
| 当院における小腸穿孔症例の臨床的特徴 | 栞田亜希 今村祐司 香山茂平 上神慎之介 福田康彦 | 中光篤志 船越真人 加納幹浩 埜越宏幸 | 広島医学 | Vol 63. No 10. 696~699 | 2010年 |
| Direct Kugel法にて修復しえた両側膀胱ヘルニアの1例 | 藤解邦生 中光篤志 上神慎之介 埜越宏幸 | 今村祐司 香山茂平 栞田亜希 | 日本臨床外科学会雑誌 | Vol 71. No 9. 2429~2432 | 2010年 |
| pouchitis disease activity index(PDAI)は抗生剤に治療効果を示す回腸囊炎症例を予測できない | 香山茂平 大毛宏喜 嶋本文雄 | 竹末芳生 村上義昭 末田泰二郎 | 広島大学医学雑誌 | Vol 58. No 4. 9~10 | 2010年 |
| 憩室炎と鑑別が困難であった壁外発育型S状結腸のgastrointestinal stromal tumorの1例 | 上神慎之介 中光篤志 栞田亜希 羽田野直人 臺丸裕 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 埜越宏幸 | 日本消化器外科学会雑誌 | Vol 43. No 9. 958~963 | 2010年 |

乳腺外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------|
| Fine Needle Aspiration Cytology of Solid Neuroendocrine Carcinoma of the breast: A Case Report | Mahito Funakoshi, M.D., Ph.D. | Diagnostic Cytopathology | Vol.39, Issue 7, 527-530 | 2011年 |

整形外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|--|------------------|--------------------------|-------|
| Clinical results of cervical myelopathy in patients older than 80 years of age: evaluation of spinal function with motor evoked potentials. | Nobuhiro Tanaka Kazuyoshi Nakanishi Yoshinori Fujimoto Hirofumi Sasaki Naosuke Kamei Takahiro Hamasaki Kiyotaka Yamada Risako Yamamoto Toshio Nakamae Mitsuo Ochi | J Neurosurg Sine | Vol 11. 421~426 | 2009年 |
| 骨粗鬆性椎体骨折後の遅発性神経障害合併例に対する経皮的椎体形成術 | 古高慎司 藤本吉範 金沢敏勝 奥田晃章 平松武 力田高德 | 中国・四国整形外科学会雑誌 | Vol 21. No 1. 7~15 | 2009年 |
| 脊髄再生に関する基礎的研究－細胞移植の可能性について | 田中 信弘 藤本吉範 | 日本脊椎脊髄病学会雑誌 | Vol 20. No 4. 772~783 | 2009年 |
| Quantitative assessment of myelopathy patients using motor evoked potentials produced by transcranial magnetic stimulation. | Toshio Nakamae Nobuhiro Tanaka Kazuyoshi Nakanishi Yoshinori Fujimoto Hirofumi Sasaki Naosuke Kamei Takahiko Hamasaki Kiyotaka Yamada Risako Yamamoto Bunichirou Izumi Mitsuo Ochi | Eur Spine J | Vol 19. No 5. 685~690 | 2010年 |

脳神経外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|-------------------|----------------------|--------------------|-------|
| 当院における10年間のくも膜下出血の治療成績 特に開頭クリッピング術症例について | 黒木一彦 田口治義 湯川 修 | 広島医学 | Vol 63. 736~740 | 2010年 |
| シロスタゾール(プレタール)投与により改善を認めた症候性主幹動脈狭窄症の2症例 | 黒木一彦 | Progress in medicine | vol 31 290~292 | 2011年 |

心臓血管外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|----------------|------------|--------------------------|-------|
| 重症下肢虚血に対する下腿へのバイパス術 -In situ大伏在静脈グラフトの有用性- | 小林平 川本純 濱石誠 | 広島医学 | Vol 63. No 3. 162~165 | 2010年 |

皮膚科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|--------------------------------|-------------|--------------------------|-------|
| Nocardia brasiliensisによる限局型皮膚ノカルジア症の1例 | 亀頭晶子 北野文朗 森川博文 池部晃司 鶴田理奈 | 臨床皮膚科(医学書院) | Vol 64. No 6. 431~434 | 2010年 |

泌尿器科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---------------------------|---|------------|--------------------|-------|
| 膀胱移行上皮癌微小乳頭状垂型の3例 | 岡清貴 望月英樹 石田吉樹 後藤景介 稗田圭介 廣本宣彦 小深田義勝 臺丸裕 | 西日本泌尿器科 | Vol 2. 79~83 | 2010年 |
| ゲムシタピン単剤投与により間質性肺炎を生じた膀胱癌 | 岡清貴 望月英樹 石田吉樹 小深田義勝 古玉純子 | 臨床泌尿器科 | Vol 5. 341~343 | 2010年 |
| インディアナパウチ内に発症した大腸腺癌 | 池田健一郎 望月英樹 石田吉樹 小深田義勝 田辺徹行 水谷雅巳 | 臨床泌尿器科 | Vol 11. 849~851 | 2010年 |

産婦人科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|-----------------------|--|---------------------|----------------------------|-------|
| 術前に診断し得た妊娠36週の嵌頓子宮の1例 | 小出千絵 内藤博之 中川朗子 中村紘子 坂手慎太郎 向井啓司 藤本英夫 | 日本周産期・新生児 医学会雑誌 | Vol.45. No.4. 1406~1470 | 2009年 |
| 回盲部腸重積を形成した盲腸子宮内膜症の1例 | 古宇家正 藤本英夫 三好剛一 佐野祥子 中西慶喜 | 現代産婦人科 | Vol.58. No.2. 117~121 | 2009年 |
| 高悪性度子宮内膜間質肉腫の1例 | 佐野祥子 藤本英夫 中前里香子 中西慶喜 三好剛一 臺丸裕 占部悦子 永田郁子 山根恵子 | 日本臨床細胞学会 広島県支部会誌 | Vol.31. 40~45 | 2010年 |

画像診断部

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|---------------------------------|-------------|--------------------------|-------|
| 前立腺の拡散強調像とdynamic MRIの比較検討 | 海地陽子 鈴木孝之 土田泰幸 秦良一郎 藤川光一 | 臨床放射線(金原出版) | Vol.54 No.9 1115~1118 | 2009年 |
| IgG4関連硬化性疾患に伴う子宮頸部病変と考えられた1例 | 海地陽子 鈴木孝之 土田泰幸 太刀掛俊浩 藤川光一 | 臨床放射線(金原出版) | Vol.55 No.6 821~827 | 2010年 |
| 肺動脈壁内血腫の1例 | 海地陽子 鈴木孝之 土田泰幸 太刀掛俊浩 藤川光一 | 臨床放射線(金原出版) | Vol.56 No.1 127~131 | 2011年 |
| aggressive angiomyxomaの1例 | 海地陽子 鈴木孝之 土田泰幸 太刀掛俊浩 藤川光一 | 広島医学 | Vol.64 No.1 3~4 | 2011年 |
| 腸管気腫症の重傷度診断におけるCTの有用性について 腸管壁内ガス像の検討を中心に | 土田泰幸 海地陽子 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 | 臨床放射線(金原出版) | Vol.56 No.2 213~218 | 2011年 |

麻酔科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|---------------------------------|---------------------------|----------------------------|-------|
| 「麻酔科学レクチャー」 Q20 麻酔導入前の酸素化 浅井隆 編集 ここがポイント! 気道確保Q&A | 中尾正和 | (総合医学社) | Vol.1. No.3. 669~672 | 2009年 |
| 「レミフェンタニル麻酔の実際 100マス(麻酔)チャート」 1.体表手術(乳腺腫瘍、鼠径ヘルニアなど)における 麻酔管理 | 中尾正和 | (克誠堂出版) | 9~19 | 2009年 |
| 二酸化炭素吸収剤はどうして必要なのですか? 交換の目安や揮発性吸入麻酔薬との関係について 教えてください | 新澤正秀 | オペナーシング (メディカ出版) | Vol.24. No.9. 1001-1003 | 2009年 |
| 全身麻酔中になぜ動脈血酸素飽和度低下や二酸化炭素貯留が 起こるのですか? | 新澤正秀 | オペナーシング (メディカ出版) | Vol.24. No.9. 999~1001 | 2009年 |
| 全身麻酔中に、なぜ血圧の低下が生じるのですか? | 新澤正秀 | オペナーシング (メディカ出版) | Vol.24. No.9. 997~999 | 2009年 |
| Fontan術後患者の巨大脳動脈瘤手術の麻酔経験 (原著論文/症例報告/抄録あり) | 宮崎信一郎 新澤正秀 吉谷健司 能見俊浩 大西佳彦 | 麻酔 (京誠堂出版) | Vol.58. 753~756 | 2009年 |
| Target Controlled Infusion (TCI) と濃度を意識した 麻酔管理の現状 | 中尾正和 | 臨床麻酔 (真興交易(株)) | Vol.34. No.3. 561~570 | 2010年 |
| 「MGH麻酔の手引」 6.内分泌疾患患者での特別な注意 | 中尾正和 | (メディカルサイエンス インターナショナル) | | 2010年 |
| 「MGH麻酔の手引」 11.静脈麻酔薬と吸入麻酔薬 | 中尾正和 | (メディカルサイエンス インターナショナル) | | 2010年 |
| 「周術期管理チームテキスト」 第14章 麻酔からの覚醒 | 中尾正和 | (日本麻酔科学会) | 341~348 | 2010年 |

麻酔科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|--|-----------------------------------|---------------------------|-------|
| [麻酔科トラブルシューティングAtoZ] 心房細動がある | 中尾正和 | (文光堂) | 66~67 | 2010年 |
| [麻酔科トラブルシューティングAtoZ] 心電図で房室ブロック2度がある | 中尾正和 | (文光堂) | 76~77 | 2010年 |
| [麻酔科トラブルシューティングAtoZ] ペースメーカーが植え込まれている | 中尾正和 | (文光堂) | 98~99 | 2010年 |
| [麻酔科トラブルシューティングAtoZ] 植込み型除細動器が入っている | 中尾正和 | (文光堂) | 100~101 | 2010年 |
| 救急・災害医療体制検討専門委員会 平成21年度 救急・災害医療体制検討専門委員会 調査研究報告書 | 谷川攻一 荒木康之 市本一正 石川雅己 大谷博正 大田泰正 瀬浪正樹 津山順子 世良昭彦 内藤博司 中尾正和 中川五男 馬場敏治 檜谷義美 廣橋伸之 藤岡泰博 藤間裕二 正岡亨 | 広島医学 | Vol 63. No 12. 790~794 | 2010年 |
| Analysis of human cultured myotubes responses mediated by ryanodine receptor 1 | M.Kobayashi K.Mukaida T.Migita H.Hamada M.Kawamoto O.Yuge | Anaesthesia and Intensive Care | Vol 39. No 2. 252~ 261 | 2011年 |

歯科口腔外科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---|----------|------------|--------------------------|-------|
| Shy-Drager症候群患者の抜歯経験－歯科治療上の問題点と その対応－ | 井上伸吾 原田直 | 広島大学歯学雑誌 | Vol 41. No 2. 149~153 | 2009年 |
| 血液透析を併用しシスプラチン動注化学療法を行った 進行口底癌の1例 | 井上伸吾 原田直 | 広島大学歯学雑誌 | Vol 42. No 1. 92~97 | 2010年 |
| 超高齢者の臼後部に発生したbasaloid squamous cell carcinomaの1例 | 井上伸吾 原田直 | 広島大学歯学雑誌 | Vol 42. No 1. 98~104 | 2010年 |

緩和ケア科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|---------------------------------|------------|--------------------------|-----|
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する 不安と影響要因 ー看護職とその他の職種と比較からー | 古本直子 廣瀬恭子 正畠忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 癌と化学療法 | Vol 5. No 50. 268-271 | |

看護部

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|----------|------------|------------------------|-----|
| 教育と臨床の協働でつくるフィジカルアセスメント研修 ～知識と実践が結びつくシナリオシミュレーションの実際～ | 寺田英子 高橋恵 | 看護展望2011 | 1月号 72~79 育てる支える | |

看護部東7階

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--|---------------------------------|------------|--------------------------|-------|
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安 と影響要因 ー看護職とその他の職種と比較からー | 古本直子 廣瀬恭子 正畠忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 癌と化学療法 | Vol 5. No 50. 268~271 | 2010年 |

看護部東8階

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|------------|------|-------------------|----------------------|-------|
| フットケア誌上検討会 | 中元美恵 | 糖尿病ケア (メディカ出版) | Vol 7. No 8. 6~10 | 2010年 |

| | | | | |
|-----------------------------------|------|--------------------------------|-----------------|-------|
| あなたの町の糖尿病看護認定看護師 | 中元美恵 | 糖尿病ケア (メディカ出版) | Vol 7. No 12. | 2010年 |
| フットケアをする第2部 | 中元美恵 | 糖尿病ケア (メディカ出版) | 春季増刊 152~160 | 2011年 |
| 糖尿病フットケア外来スタートブック | | 糖尿病ケア 2011年春季増刊 (メディカ出版) | 152~160 | 2011年 |
| 糖尿病ケア ～患者とパートナーシップをむすぶ糖尿病療養援助～ | 中元美恵 | 糖尿病ケア 2011年春季増刊 (通巻91号) | 152~160 | |

薬剤部

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|--------------------------------------|--|------------|----------------------------|-------|
| FOLFIRI療法を施行したUGT1A1*28ホモ接合体の大腸癌の2症例 | 横山聡 今村祐司 羽田野直人 福岡達仁 碓井裕史 森田保司 | 癌と化学療法誌 | Vol 36. No 7. 1159~1161 | 2009年 |
| イリノテカン塩酸塩によるコリン様症状の発現状況とその対策 | 横山聡 野村昌代 只佐正嗣 葉田亜希 今村祐司 安本壽枝 大田博子 | 日本病院薬剤師会雑誌 | Vol 46. No 2. 223~226 | 2010年 |

臨床研究検査科

| タイトル(著書名) | 著者名 | 投稿誌名(出版社名) | 巻・号・ページ | 発行年 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------|--------------------------|-------|
| 血小板製剤輸血に関連した急性肺障害 (TRALI) の一例 | 鶴田理奈 | 広島県臨床検査技師会誌 | No 106. 32~34 | 2010年 |
| ケミルミADVIA CentaurXPによる心筋バイオマーカーの基礎的検討 | 福岡達仁 谷口実佳 北村紀恵 横山富子 水野誠士 碓井裕史 | 医学と薬学 | Vol 63. No 4. 651~657 | 2010年 |

学会発表

院長

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------|-----|
| 院長からみた決算書の読み方 －医師のモチベーションを保つために－ | 福田康彦 | 第59回 日本農村医学会 ワークショップ | 盛岡市 |

呼吸器内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|--------------------------------|-------------------------|-----|
| 当院で経験した肺非結核性抗酸菌症 Mycobacterium abscessusの2例 | 内田晃 櫻井穰司 古玉純子 近藤丈博 池上靖彦 | 第44回日本呼吸器学会 中国・四国地方会 | 松江 |
| 超音波ネブライザーの使用により発作の悪化を来とし、 心肺停止となった気管支喘息発作の一例 | 餘家浩樹 櫻井穰司 内田晃 古玉純子 近藤丈博 | 第44回日本呼吸器学会 中国・四国地方会 | 松江 |
| 当院における喀血に対する気管支動脈塞栓術の検討 | 古玉純子 櫻井穰司 近藤丈博 鈴木孝之 藤川光一 | 第101回日本内科学会 中国地方会 | 広島 |
| ARDS患者における肺上皮被覆液中KL-6の検討 | 近藤丈博 | 第49回日本呼吸器学科 学術講演会 | 東京 |
| ARDS患者における肺上皮被覆液中KL-6の検討 | 近藤丈博 | 第37回日本集中治療医学会総会 | 広島 |
| 重症肺炎からARDS、間質性肺炎の合併を来とし、 HFOV(高頻度振動換気)管理にて救命できた1例 | 近藤丈博 櫻井穰司 古玉純子 | | |
| 非結核性抗酸菌症 (NTM症) のフォロー中、 肺腺癌を合併した一例 | 中増昭久 櫻井穰司 餘家浩樹 近藤丈博 | | |

循環器内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---|----------------------------|-----|
| Myocardial bridgeと冠攣縮が関与しACSを発症した1例 (MDCTでの検討含む) | 對馬浩 藤井隆 卜部洋司 三玉敦子 前田幸治 辻山修司 | 第94回日本循環器学会 中国・四国合同地方会 | 高知 |
| SPECTと64列MDCTを併用した虚血性心疾患の ハイブリッド診断法－Card IQ FusionTMの使用経験 | 藤井隆 三玉敦子 卜部洋司 前田幸治 對馬 浩 関口善孝 辻山修司 鈴木孝之 藤川光一 山口裕之 高畑明 | 第58回日本農村医学会学術総会 | 横浜 |
| Usefulness of SPECT/CT Fusion Imaging in Comparison with CAG diagnosis | 對馬浩 藤井隆 卜部洋司 辻山修司 前田幸治 三玉敦子 関口善孝 | 第74回日本循環器学会学術集会 (全国大会) | 京都 |
| 明日から役に立つ最新画像診断を学ぼう～ MDCTによる冠動脈評価の進歩 ～現在と未来～ | 藤井隆 | 第17回日本心血管 インターベンション治療学会 | 岡山 |
| 急性心筋梗塞の責任病変を発症前にMDCTで確認し得た一例 | 政田賢治 對馬浩 辻山修司 前田幸治 久留島秀治 藤井隆 | 佐伯地区医学会総会 | 廿日市 |
| IgG4関連冠動脈周囲炎に冠動脈瘤を併発し 急性心筋梗塞を発症した1例 | 藤井隆 久留島秀治 對馬浩 前田幸治 政田賢治 辻山修司 | 第59回日本農村医学会学術総会 | 盛岡 |
| IgG4関連冠動脈周囲炎に冠動脈瘤を併発しAMIを発症した1例 | 久留島秀治 對馬浩 藤井隆 前田幸治 政田賢治 平林晃 辻山修司 臺丸裕 | 第103回日本内科学会 中国地方会 | 岡山 |

| | | | | |
|---|------------------------------------|-----------------------|-----------------|----|
| 逐次近似法を応用した画像再構成法 (ASIR) を用いた冠動脈小ステントの評価 | 對馬浩 藤井隆 政田賢治 辻山修司 山口裕之 | 久留島秀治 前田幸治 重田祐輔 | 第21回日本心血管画像動態学会 | 松山 |
|---|------------------------------------|-----------------------|-----------------|----|

腎臓内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|--|-----------------------|----------------------|------------------------|----|
| 透析中に頻回にプレシヨックを来たす維持透析患者の1例 | 倉恒正利 門前まや 福田康彦 | 平林晃 頼岡徳在 | 第55回日本透析医学会 学術集会、総会 | 神戸 |
| 好酸球性腹膜炎の経過観察中、好酸球性肺炎を合併したPD患者の一例 | 門前まや 倉恒正利 福田康彦 | 平林晃 | 第55回日本透析医学会 学術集会、総会 | 神戸 |
| 当院の維持透析患者における手指衛生の現状と課題 | 松尾晴美 上田美紀 倉恒正利 | 村中好美 平林晃 | 第55回日本透析医学会 学術集会、総会 | 神戸 |
| 教育セミナー2:「IgG4関連腎症」演者 | 平林晃 | 第40回日本腎臓学会 西部学術大会 | 広島 | |
| 急性心筋梗塞発症により偶然発見された冠動脈瘤を合併するIgG4関連腎症の一例 | 佐々木健介 倉恒正利 福田康彦 | 平林晃 | 第40回日本腎臓学会 西部学術大会 | 広島 |
| 自覚症状に乏しいANCA関連血管炎の一例 | 倉恒正利 佐々木健介 福田康彦 | 平林晃 | 第40回日本腎臓学会 西部学術大会 | 広島 |

糖尿病・代謝内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|---|---------------------------------------|----------------------|------------------------|----|
| 電流知覚閾値検査 (CPT) のスコア化とアキレス腱反射の組み合わせによる治療戦略に有用な糖尿病末梢神経障害病期分類の提言 | 石田和史 大黒景子 | 平岡佐知子 | 第52回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 大阪 |
| In Body S20を用いた運動療法の効果判定における有用性～運動療法の成果を患者にフィードバックできるか?～ | 大黒景子 平岡佐知子 | 石田和史 | 第52回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 大阪 |
| インスリンリスポミクス25とインスリンアスパルト30mixの2型糖尿病における臨床効果の比較 | 平岡佐知子 大黒景子 大田博子 中島恵子 | 石田和史 角井碧 | 第52回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 大阪 |
| 2型糖尿病患者の血糖コントロールに関連する心理・社会的要因 (第3報): 教育入院6ヶ月後の追跡研究 | 高石美樹 佐伯俊成 河面智之 平岡佐知子 山脇成人 | 石田和史 大黒景子 田妻進 | 第52回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 大阪 |
| 糖尿病性神経障害を考える会作成の病期分類とCPTを用いた病期分類の比較検討 | 石田和史 岸本瑠衣 | 一町澄宜 | 第47回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 岡山 |
| 薬物療法選択における電流知覚閾値検査 (CPT) による神経障害病期分類の有用性 | 石田和史 岸本瑠衣 | 一町澄宜 | 第47回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 岡山 |
| 当院糖尿病外来患者におけるマウスケアの実態と合併症との関連性 | 岸本瑠衣 一町澄宜 | 石田和史 | 第47回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 岡山 |
| 糖代謝改善作用におけるグリメピリドの用量的差異の検討 | 一町澄宜 岸本瑠衣 | 石田和史 | 第47回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 岡山 |
| シックデイルール (SDR) 運用を想定した適切かつ簡便な食事摂取量把握法の試み | 石村和子 河本良美 中元美恵 岸本瑠衣 | 坂田良子 一町澄宜 石田和史 | 第47回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 岡山 |
| 糖尿病性神経障害を考える会の病期分類との比較からみたCPTによる糖尿病神経障害病期分類の治療戦略的有用性の検討 | 石田和史 岸本瑠衣 | 一町澄宜 | 第53回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 岡山 |
| 糖尿病患者の歯磨き習慣の差異に着目したマウスケアの実態と合併症との関連性 | 岸本瑠衣 一町澄宜 | 石田和史 | 第53回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 岡山 |
| 旧世代SU薬からの切り替えからみたグリメピリドの用量的糖代謝改善作用の差異 | 一町澄宜 岸本瑠衣 | 石田和史 | 第53回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 岡山 |

糖尿病・代謝内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---|------------------------|-----|
| 当院での糖尿病インシデント、アクシデント予防の取り組み ～低血糖処置の統一化をめざして～ | 中元美恵 角井 碧 石田和史 大田博子 | 第53回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 岡山 |
| 糖尿病神経障害評価に用いる振動覚検査としての C128とC64音叉の有用性比較 | 石田和史 一町澄宜 日域邦昭 | 第48回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 松山 |
| ARBからの切り替えからみた2型糖尿病での ロサルタン・ヒドロクロロチアジド合剤の有用性 | 日域邦昭 一町澄宜 石田和史 | 第48回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 松山 |
| 多剤併用2型糖尿病でのシタグリブチンの臨床効果と その作用機序に関する考察 | 一町澄宜 日域邦昭 石田和史 | 第48回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 松山 |
| 当院における糖尿病インシデント予防プロジェクト委員会活動の 取り組み | 中元美恵 村中好美 大田博子 角井 碧 石田和史 | 第48回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 松山 |
| 腹部へのインスリン注射指導法の見直し ～看護師のアンケート調査から明確になった問題～ | 中本きよみ 中田恵梨 山本時生子 石田和史 加賀美昌美 中元美恵 | 第48回日本糖尿病学会 中国四国地方会 | 松山 |

消化器内科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|---|----------------------------|------|
| 胃ESDにおけるSBナイフの有用性について | 中原隆志 菅宏美 浅本泰正 徳毛宏則 中原春奈 小松弘尚 石田邦夫 | 第20回、佐伯医学会総会 | 廿日市市 |
| 経腸栄養器材の衛生管理における現状 ～細菌汚染に関する調査から～ | 里本昌子 石崎淳子 池部晃司 水野誠士 徳毛宏則 | 第14回、HEQ研究会 | 神戸市 |
| ワークショップ4 PEGのメリット・デメリット・問題点 PEGでつながる院内・院外連携 | 石崎淳子 松下理恵 本山敏恵 藤本七津美 田地由紀乃 岡田佳奈子 古川尚子 徳毛宏則 上野潤子 田島由貴 | 第58回、日本農村医学会 学術総会 | 横浜市 |
| ワークショップ5 緩和ケアのあるべきすがたー地域連携も含めてー JA広島総合病院緩和ケアチームの現状と課題 ～緩和ケアチームに対するアンケート調査から～ | 高原さおり 小松弘尚 藤田寿賀 正畠忠貴 | 第58回、日本農村医学会 学術総会 | 横浜市 |
| 膵管胸腔瘻による膵性胸水の1例 | 中原隆志 菅宏美 浅本泰正 徳毛宏則 香山茂平 中原春奈 小松弘尚 石田邦夫 | 第92回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 広島市 |
| 急性膵炎後膵膿瘍が腸管内自壊し軽快した1例 | 菅宏美 中原隆志 浅本泰正 徳毛宏則 中原春奈 小松弘尚 石田邦夫 | 第92回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 広島市 |
| 膵尾部に著明な貯留嚢胞を形成し発見された膵体部癌の1例 | 中原春奈 菅宏美 浅本泰正 徳毛宏則 香山茂平 中原隆志 小松弘尚 石田邦夫 臺丸裕 | 第92回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 広島市 |
| PEGでつながる院内・院外連携 | 石崎淳子 松下理恵 田島由貴 本山敏恵 上野潤子 岡田佳奈子 古川尚子 藤本七津美 徳毛宏則 | 第2回、日本静脈経腸栄養学会 中国支部学術集会 | 広島市 |
| シンポジウム5 消化器癌に対する分子標的治療の現状。 EGFR阻害剤を用いた胆道癌の集学的治療の可能性 | 藤本佳史 宮田英樹 茶山一彰 | 第96回、日本消化器病学会総会 | 新潟市 |

| | | | | |
|---|--|------------------------------|---------------------------|------|
| パネルディスカッション8-1 PEGの管理と在宅医療、 病院内LANを使った胃瘻管理ツール(PEGJAK)の有用性 | 徳毛宏則 石崎淳子 | 石田邦夫 | 第79回、日本消化器内視鏡学会 総会 | 東京都 |
| より安全な胃瘻造設術をめざして — 経鼻内視鏡の使用 — | 石崎淳子 本山敏恵 久保田美子 米田直美 山田小百合 徳毛宏則 | 田島由貴 平舛仁美 田中則子 石川知佳 | 第15回、PEG・在宅医療研究会 | 横浜市 |
| 出血を来した胆管腺扁平上皮癌の1例 | 菅宏美 藤本佳史 小松弘尚 瀧川英彦 中光篤志 | 徳毛宏則 古土井明 石田邦夫 壺丸裕 | 第46回、日本胆道学会 | 広島市 |
| 超高齢者に対するERCPの検討 | 藤本佳史 徳毛宏則 古土井明 瀧川英彦 | 小松弘尚 菅宏美 石田邦夫 | 第46回、日本胆道学会 | 広島市 |
| 当院での胃瘻造設と管理の状況 | 石崎淳子 本山敏恵 久保田美子 米田直美 山田小百合 徳毛宏則 | 田島由貴 平舛仁美 田中則子 石川知佳 | 第21回、佐伯医学会総会 | 廿日市市 |
| 超音波内視鏡下膵腫瘍生検が診断に有用であった膵癌の1例 | 瀧川英彦 藤本佳史 古土井明 徳毛宏則 | 菅宏美 小松弘尚 石田邦夫 | 第21回、佐伯医学会総会 | 廿日市市 |
| 食道狭窄を伴った食道壁内偽憩室症の1例 | 定秀孝介 藤本佳史 菅宏美 小松弘尚 石田邦夫 | 瀧川英彦 古土井明 徳毛宏則 | 第94回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 松江市 |
| Bevacizumab併用化学療法中に結腸穿孔を来したS状結腸癌の1例 — Bevacizumab60例の使用経験からの考察を含めて — | 菅宏美 小松弘尚 藤本佳史 徳毛宏則 今村祐司 | 瀧川英彦 古土井明 石田邦夫 壺丸裕 | 第94回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 松江市 |
| ERCPにおけるCO ₂ 送気の有用性の検討 | 瀧川英彦 藤本佳史 古土井明 徳毛宏則 | 菅宏美 小松弘尚 石田邦夫 | 第105回、日本消化器内視鏡学会 中国地方会 | 松江市 |
| 有茎性大腸SM癌の臨床病理学的特徴とリンパ節転移予測因子の検討 | 濱田康彦 田中信治 永田信二 古土井明ほか | 岡志郎 小松弘尚 | 第94回、日本消化器病学会 中国支部例会 | 松江市 |

実績

心療内科・精神科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|----------------|----------------------------|-----|
| 精神科撤退で懸念されること ～3箇所の総合病院、地域中核病院に勤務してみて～ | 吉村朋範 | 日本総合病院精神医学会無床 フォーラム2010 | 広島 |

小児科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|---|----------------|---------------|---------------|-----|
| シクロスポリン療法が奏効したステロイド依存性の好酸球性胃腸症 | 古井潤 塩手裕子 | 内田 晃 中島千恵子 | 日本小児栄養消化器肝臓学会 | 香川市 |
| 日本海裂頭条虫における家族内感染： ミトコンドリアCO1遺伝子による種の同定 | 古井潤 塩手裕子 | 今田早織 中島千恵子 | 第62回中国四国小児科学会 | |

外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|---------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 乳癌後腹膜転移2例 | 柴田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第17回日本乳癌学会 東京 |
| 当院における小腸穿孔症例の検討 | 柴田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第64回消化器外科学会 大阪 |
| 腹壁癍痕ヘルニア術後2年遅発性メッシュ感染の1例 | 柴田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第71回日本臨床外科学会総会 京都 |
| 診断に難渋した盲腸部腸重積を形成した腸管内膜炎の1例 | 柴田亜希 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第22回日本内視鏡外科学会 東京 |
| 当院における腹腔鏡補助下結腸切除術 | 藤解邦生 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 柴田亜希 福田康彦 | 第1回腹腔鏡下手術勉強会 広島 |
| 当院におけるStageⅢ大腸癌における腹腔鏡下手術の検討 | 藤解邦生 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 柴田亜希 福田康彦 | 第71回日本臨床外科学会総会 京都 |
| 当院における胃癌に対する腹腔鏡補助下胃切除術の検討 | 藤解邦生 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 中光篤志 香山茂平 柴田亜希 福田康彦 | 第32回広島内視鏡下外科手術 研究会 広島 |
| ペバシズマブ併用大腸癌化学療法における有害事象マネジメントと 消化器外科医が作るチーム医療 | 今村祐司 香山茂平 柴田亜希 埜越宏幸 | 中光篤志 上神慎之介 藤解邦生 福田康彦 | 第71回日本臨床外科学会総会 京都 |
| 非治癒因子を有する進行胃癌に対する治療症例の検討 | 加納幹浩 栗栖佳宏 羽田野直人 | 赤木真治 | 第110回日本外科学会総会 名古屋市 |
| 腹腔鏡補助下に膵尾部切除したSPTの1例 | 柴田亜希 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 第22回肝胆膵外科学会 仙台 |
| 巨大嚢胞内腫瘍を呈した乳癌の1例 | 柴田亜希 中光篤志 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 第18回日本乳癌学会 札幌 |
| 進行乳癌にprimary endocrine therapyを施行した症例の検討 | 香山茂平 中光篤志 柴田亜希 | 今村祐司 福田康彦 | 第18回日本乳癌学会総会 札幌 |
| 腹腔鏡下胃切除術(LADG)における術後QOLを重視した再建法 | 加納幹浩 栗栖佳宏 羽田野直人 | 赤木真治 | 第65回日本消化器外科学会総会 下関市 |
| StageⅣ大腸癌における原発巣非切除症例の検討 原発巣切除の意義はあるのか | 香山茂平 中光篤志 上神慎之介 埜越宏幸 福田康彦 | 今村祐司 柴田亜希 藤解邦生 | 第65回日本消化器外科学会総会 山口 |
| 切除不能進行再発大腸癌の3rdライン以降の化学療法について | 柴田亜希 中光篤志 船越真人 上神慎之介 埜越宏幸 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 大腸癌small conference 広島 |

| | | | | |
|---|---|------------------------------|---------------------|-----|
| 小腸穿孔をきたした肺癌小腸転移の1例 | 栗田亜希 中光篤志 船越真人 上神慎之介 埜越宏幸 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第65回大腸肛門病学会 | 浜松 |
| 腹腔鏡下胆嚢摘出中に確認した奇異な走行を示す肝動脈の1例 | 栗田亜希 中光篤志 船越真人 上神慎之介 埜越宏幸 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第34回内視鏡下外科手術研究会 | 広島 |
| 膀胱ヘルニアの2例 | 藤解邦生 今村祐司 香山茂平 栗田亜希 | 中光篤志 上神慎之介 埜越宏幸 | 第8回日本ヘルニア学会 学術集会 | 千葉 |
| 胃癌肝転移に対する治療方針の検討 | 藤解邦生 中光篤志 香山茂平 栗田亜希 | 今村祐司 上神慎之介 埜越宏幸 | 第9回同門会研究報告会 | 広島 |
| S状結腸膀胱瘻の2例 | 栗田亜希 中光篤志 船越真人 上神慎之介 埜越宏幸 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 福田康彦 | 第72回臨床外科学会 | 横浜 |
| 腹腔鏡手術を施行したS状結腸間膜窩ヘルニアの1例 | 上神慎之介 中光篤志 船越真人 加納幹浩 栗田亜希 福田康彦 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 埜越宏幸 | 第72回日本臨床外科学会総会 | 横浜 |
| 腹腔鏡下に修復したMorgagni孔ヘルニアの1例 | 香山茂平 中光篤志 船越真人 上神慎之介 栗田亜希 福田康彦 | 今村祐司 加納幹浩 藤解邦生 埜越宏幸 | 第72回日本臨床外科学会総会 | 横浜 |
| 開腹手術及び腹膜炎既往例に対する 腹腔鏡下CAPDカテーテル挿入術 | 香山茂平 中光篤志 船越真人 上神慎之介 栗田亜希 福田康彦 | 今村祐司 加納幹浩 藤解邦生 埜越宏幸 | 第23回日本内視鏡外科学会総会 | 横浜 |
| 安全な単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の導入と困難症例への展開 | 加納幹浩 栗栖佳宏 今村祐司 上神慎之介 藤解邦生 | 田中智子 香山茂平 栗田亜希 福田康彦 | 第23回日本内視鏡外科学会総会 | 横浜市 |
| 術前診断し腹腔鏡手術を施行した魚骨穿通による腹腔内膿瘍の1例 | 上神慎之介 中光篤志 船越真人 加納幹浩 栗田亜希 福田康彦 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 埜越宏幸 | 第23回日本内視鏡外科学会総会 | 横浜 |
| 5FU/LV+bevacizumab療法にて組織学的CRが得られた S状結腸癌、多発肝転移の1例 | 上神慎之介 中光篤志 船越真人 加納幹浩 栗田亜希 福田康彦 | 今村祐司 香山茂平 藤解邦生 埜越宏幸 | 広島医学会総会 | 広島 |
| 当院における食道胃接合部癌に対する治療方針 | 加納幹浩 中光篤志 香山茂平 栗田亜希 埜越宏幸 | 今村祐司 上神慎之介 藤解邦生 | 第83回日本胃癌学会総会 | 三沢市 |

実績

乳腺外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|----------------|--------------------------------------|-----|
| 3D-CTlymphographyによる センチネルリンパ節同定の有用性と問題点 | 船越真人 | 第109回 日本外科学会 | 福岡 |
| 3D-CTおよび3D-CTlymphographyによる センチネルリンパ節同定の有用性 | 船越真人 | 第17回 日本乳癌学会 | 東京 |
| 総胆管閉塞による閉塞性黄疸にて再発した乳癌術後症例 | 船越真人 | 第64回 日本消化器外科学会 | 札幌 |
| 遺伝子プロファイルからみた乳癌術後補助療法 (Adjuvant onlineを用いた検討) | 船越真人 | 第47回 日本癌治療学会 | 横浜 |
| 3D-CTおよび3D-CTlymphographyのcombination診断で センチネルリンパ節の転移診断は可能か? | 船越真人 | 第71回 臨床外科学会 | 福岡 |
| Treatment of Lapatinib in advanced or recurrent HER2- positive breast cancer patients | 船越真人 | 第8回 日本臨床腫瘍学会 | 東京 |
| 3D virtual navigation CT-lymphographyによる センチネルリンパ節同定の有用性 | 船越真人 | 第110回 日本外科学会 | 名古屋 |
| 3D virtual navigation CT-lymphographyによる センチネルリンパ節生検とNomogramを用いた転移予測 | 船越真人 | 第18回 日本乳癌学会 | 札幌 |
| Combined diagnosis of three-dimensional computed tomography and three-dimensional computed tomography lymphography, and three-dimensional virtual navigation biopsy of sentinel lymph node in patients with early breast cancer. | 船越真人 | 第9回アジア臨床腫瘍学会 (国際学会) | 岐阜 |
| Combined diagnosis of three-dimensional computed tomography and three-dimensional computed tomography lymphography, and three-dimensional virtual navigation biopsy of sentinel lymph node in patients with early breast cancer. | 船越真人 | 第20回・第4回三大学 コンソーシアム共催国際 シンポジウム | 広島 |
| Bolus 3D-CT lymphography (3D-CTLG)を用いた術前advanced axillary lymph node mappingによるセンチネルリンパ節生検(SLNB) | 船越真人 | 第72回 日本臨床外科学会 | 横浜 |

実績

整形外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---|--|------|
| 骨粗鬆症性椎体骨折に伴う脊椎後彎変形に対する手術治療 | 山田清貴 藤本吉範 金沢敏勝 平松武 宇治郷諭 古高慎司 | 第45回広島脊椎・脊髄セミナー | 広島 |
| 腰椎変性側弯における腰痛の起源 | 山田清貴 藤本吉範 金沢敏勝 平松武 宇治郷諭 古高慎司 奥田晃章 | 第17回日本腰痛学会 | 東京 |
| 持続筋電図を併用した術中脊髄モニタリングが 有用であった脊髄軟膜下脂肪腫の1例 | 山田清貴 藤本吉範 金沢敏勝 平松武 宇治郷諭 古高慎司 敦賀一郎 藤岡朋子 吉武直幸 | 第32回脊髄機能診断研究会 | 東京 |
| 高齢者腰椎変性側弯症に伴う腰痛に対する低侵襲手術 | 山田清貴 藤本吉範 金沢敏勝 平松武 宇治郷諭 古高慎司 | 第216回広島整形外科研究会 | 広島 |
| Surgical treatment for atlanto-axial subluxation associated with Down syndrome | Kiyotaka Yamada Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | 15th Annual meeting of Spine society of Ho Chi Minh City, Viet Nam. The operative spine course. | ベトナム |
| 持続筋電図を併用した術中脊髄モニタリングが有用であった 脊髄軟膜下脂肪腫の1例 | 平松武 藤本吉範 金沢敏勝 山田清貴 宇治郷諭 古高慎司 | 広島整形外科研究会 | 広島 |

| | | | | |
|---|---|--------------------------------|--|------|
| 骨粗鬆症性椎体骨折における経皮的椎体形成術後隣接椎体骨折の危険因子 | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 古高慎司 | 金沢敏勝 平松 武 | 第5回椎体形成術研究会 | 京都 |
| CTガイド下フィブリン糊充填法を施行した仙骨くも膜嚢腫の2例 | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 古高慎司 | 金沢敏勝 平松 武 | 第45回広島脊椎・脊髄セミナー | 広島 |
| 胸腰椎移行部に高度後弯変形を来した軟骨無形成症の1例 | 古高慎司 藤本吉範 山田清貴 宇治郷諭 | 金沢敏勝 平松 武 古井潤 | 第20回佐伯医学会総会 | 廿日市市 |
| 骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節に対する経皮的椎体形成術の手術適応と中長期成績 | 古高慎司 藤本吉範 山田清貴 宇治郷諭 | 金沢敏勝 平松 武 | 第29回広島臨床外科医学会 | 広島市 |
| 脊髄症に対する経頭蓋磁気刺激運動誘発電位計測の脊髄機能評価法としての有用性 | 山本りさこ 田中信弘 佐々木浩文 山田清貴 泉文一郎 藤本吉範 | 中西一義 濱崎貴彦 中前稔夫 越智光夫 | 第82回日本整形外科学会 学術総会 | 福岡市 |
| 脊髄硬膜動静脈瘻に対する術前の皮質脊髄路機能評価ならびに脊髄機能モニタリングを併用した手術成績 | 中西一義 田中信弘 西川公一郎 佐々木浩文 濱崎貴彦 山本りさこ 泉文一郎 | 藤本吉範 山田清貴 中前稔生 越智光夫 | 第82回日本整形外科学会 学術総会 | 福岡市 |
| 脊髄終糸症候群の診断・治療の経験 | 中西一義 田中信弘 山田清貴 中前稔生 藤本吉範 | 佐々木浩文 山本りさこ 泉文一郎 越智光夫 | 第38回日本脊椎脊髄病学会 | 神戸市 |
| 脊髄腫瘍の治療成績－電気生理学的検査の有用性－ | 泉文一郎 田中信弘 中西一義 越智光夫 | 藤本吉範 亀井直輔 | 第113回中部日本整形外科 災害外科学会・学術集会 | 神戸市 |
| Pathophysiology and treatment for cervical flexion myelopathy (Hirayama disease) | Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Kiyotaka Yamada Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | | 15th Annual meeting of Spine society of Ho Chi Minh City, Viet Nam. The operative spine course. | ベトナム |
| Percutaneous vertebroplasty for osteoporotic pseudoarthrosis associated with delayed neurological deficit | Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Kiyotaka Yamada Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | | 15th Annual meeting of Spine society of Ho Chi Minh City, Viet Nam. The operative spine course. | ベトナム |
| Pathophysiology and treatment for cervical flexion myelopathy (Hirayama disease) | Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Kiyotaka Yamada Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | | The first international spine symposium in Khanh Hoa General Hospital | ベトナム |
| Percutaneous vertebroplasty for osteoporotic pseudoarthrosis associated with delayed neurological deficit | Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Kiyotaka Yamada Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | | The first international spine symposium in Khanh Hoa General Hospital | ベトナム |

整形外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--|---|------|
| Surgical treatment for atlanto-axial subluxation associated with Down syndrome | Kiyotaka Yamada Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | The first international spine symposium in Khanh Hoa General Hospital | ベトナム |
| Novel surgical intervention for low back pain associated with degenerative lumbar scoliosis in the elderly. | Kiyotaka Yamada Yoshinori Fujimoto Toshikatsu Kanazawa Takuro Shimbo Takeshi Hiramatsu Satoshi Ujigo Shinji Kotaka | 3rd Annual meeting of Lumbar spine research society | アメリカ |
| 高齢者腰椎変性側弯症に伴う慢性腰痛に対する低侵襲手術 | 山田清貴 藤本吉範 平松武 古高慎司 金沢敏勝 宇治郷諭 | 第39回日本脊椎脊髄病学会 | 高知 |
| 高齢者腰椎変性側弯症に伴う腰痛に対する低侵襲手術 | 山田清貴 藤本吉範 平松武 高澤篤之 高田治彦 宇治郷諭 | 第17回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 | 横浜 |
| 高齢者腰椎変性側弯症に伴う腰痛に対する低侵襲手術 | 山田清貴 藤本吉範 平松武 高澤篤之 高田治彦 宇治郷諭 | 第18回日本腰痛学会 | 札幌 |
| 骨粗鬆症性椎体偽関節に対する経皮的椎体形成術の有用性と問題点 | 平松武 藤本吉範 山田清貴 古高慎司 金沢敏勝 宇治郷諭 | 第39回日本脊椎脊髄病学会 | 高知 |
| プロサッカー選手に発症した中心性脊髄損傷の治療経験 | 平松武 藤本吉範 山田清貴 高澤篤之 高田治彦 宇治郷諭 | 第217回広島整形外科研究会 | 広島 |
| 胸腰椎移行部に高度後側彎変形を来した軟骨無形成症の1例 | 高澤篤之 藤本吉範 山田清貴 宇治郷諭 高田治彦 平松武 | 第217回広島整形外科研究会 | 広島 |
| プロスポーツ選手の脊椎障害に対する低侵襲手術とアスレティックリハビリテーション | 高澤篤之 藤本吉範 山田清貴 宇治郷諭 高田治彦 平松武 | 第21回佐伯医学会総会 | 広島 |
| 骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する経皮的椎体形成術における隣接椎体骨折の危険因子 | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 古高慎司 金沢敏勝 平松武 | 第39回日本脊椎脊髄病学会 | 高知 |
| 高齢者腰椎変性側弯症に伴う腰痛の起源－MRIによる検討－ | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 古高慎司 金沢敏勝 平松武 | 第39回日本脊椎脊髄病学会 | 高知 |
| サッカー選手に発生した腰椎片側分離部ガングリオンの2例 | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 高澤篤之 高田治彦 平松武 | 第18回日本腰痛学会 | 札幌 |
| 骨粗鬆症性椎体骨折後の椎体無腐性壊死の画像所見と臨床症状 | 宇治郷諭 藤本吉範 山田清貴 高澤篤之 高田治彦 平松武 | 第47回広島脊椎・脊髄セミナー | 広島 |

| | | | |
|--|--|---------------------------------------|------|
| Expansive laminoplasty for cervical myelopathy with interconnected porous calcium hydroxyapatite ceramic spacers: comparison with autogenous bone spacers. | Nobuhiro Tanaka Kazuyoshi Nakanishi Yoshinori Fujimoto Hirofumi Sasaki Naosuke Kamei Takahiko Hamasaki Kiyotaka Yamada Risako Yamamoto Toshio Nakamae Mitsuo Ochi | The 25th North American Spine Society | アメリカ |
|--|--|---------------------------------------|------|

脳神経外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--|-----------------------------|-----|
| 高齢者atypical meningioma の1症例 | 黒木一彦 湯川修 織田祥至 杉山一彦 澁川正顕 臺丸裕 | 第15回広島老年脳神経外科研究会 | 広島 |
| 脳ヘルニアをきたしたSubependymomaの1症例 | 黒木一彦 湯川修 織田祥至 杉山一彦 澁川正顕 臺丸裕 | 第70回日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会 | 広島 |
| orbito-zygomatic approach を用いて摘出した頭蓋内 Neuroendocrine carcinomaの1例 | 黒木一彦 湯川修 織田祥至 杉山一彦 澁川正顕 臺丸裕 | 第18回広島頭蓋底外科研究会 | 広島 |
| 高齢者atypical meningioma の1症例 | 黒木一彦 湯川修 織田祥至 杉山一彦 澁川正顕 臺丸裕 | 第24回日本老年脳神経外科研究会 | 名古屋 |
| 頭痛後に失明をきたした下垂体卒中の1例 | 黒木一彦 湯川修 織田祥至 澁川正顕 富永篤 | 第218回佐伯臨床研修会 | 広島 |
| 経静脈的コイル塞栓術が有効であった外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の1症例 | 織田祥至 大庭信二 迫田英一郎 伊藤陽子 大下純平 | 第18回中国四国脳神経血管内手術研究会 | 高知 |
| 当院における高齢者に対する頸動脈ステント留置術の治療成績 | 織田祥至 大庭信二 迫田英一郎 伊藤陽子 大下純平 | 日本脳神経外科学会 第68回学術総会 | 東京 |
| 当院における高齢者に対する頸動脈ステント留置術の治療成績 | 織田祥至 大庭信二 迫田英一郎 伊藤陽子 大下純平 | 第62回広島医学会総会 日本医師会生涯教育講座 | 広島 |
| 正常圧水頭症を呈した馬尾神経鞘腫の一症例 | 織田祥至 大庭信二 迫田英一郎 伊藤陽子 大下純平 | 第68回日本脳神経外科学会 中国四国支部学術総会 | 鳥取 |
| 両側前頭葉 巨大悪性神経膠腫の一症例 | 織田祥至 大庭信二 迫田英一郎 伊藤陽子 大下純平 | 第85回広島脳神経外科 フォーラム | 広島 |
| 突然脳ヘルニアをきたした 巨大脳腫瘍の一症例 | 織田祥至 黒木一彦 澁川正顕 湯川修 | 第87回広島脳神経外科 フォーラム | 広島 |

呼吸器外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|----------------|-----------------|------|
| 肺癌手術時に高度徐脈を来した3例 | 渡正伸 茶谷成 | 第26回日本呼吸器外科学会総会 | 北九州市 |
| 縦隔リンパ節転移腫瘍による気管狭窄に対し、気管挿管下で放射線治療を完遂した肺扁平上皮癌の1例 | 茶谷成 渡正伸 | 第26回日本呼吸器外科学会総会 | 北九州市 |
| 当院における高齢者、または合併症を有する肺癌手術症例の検討 | 渡正伸 松浦陽介 | 第58回日本農村医学会総会 | 横浜市 |

呼吸器外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|----------------|--------------|-----|
| CTガイド下針生検後に心腔内空気栓を認めたが姿勢保持にて空気栓の消失を確認した肺癌の一例 | 松浦陽介 渡正伸 | 第50回日本肺癌学会総会 | 東京 |
| 当院における高齢者、または合併症を有する肺癌手術症例の検討 | 渡正伸 松浦陽介 | 第50回日本肺癌学会総会 | 東京 |

心臓血管外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|----------------|------------------------|-----|
| 感染性心内膜炎に対する外科治療の検討 ～弁置換術と弁形成術の比較～ | 濱石誠 | 第39回日本心臓血管外科学会 学術総会 | 富山 |
| 当院における感染性腹部大動脈瘤に対する手術治療の検討 | 濱石誠 | 第37回日本血管外科学会総会 | 長野 |
| 胸部大血管手術における血小板粒度分布情報の有用性の検討 | 川本純 | 第37回日本血管外科学会総会 | 長野 |
| 重症下肢虚血に対する下腿・足部へのバイパス術 －In situ大伏在静脈グラフトの有用性－ | 小林平 川本純 濱石誠 | 第24回Young Vascular | 広島 |
| 透析用内シャントの長期開存を得るために | 小林平 川本純 濱石誠 | 第38回日本血管外科学会 | 埼玉 |
| 左腋窩動脈-左総大腿動脈バイパス術後早期における 人工血管感染に対する自家動脈パッチ形成術の一治療経験 | 濱石誠 川本純 小林平 | 第38回日本血管外科学会 | 埼玉 |
| 上腸間膜動脈閉塞症に対する 1救命例の検討 | 小林平 川本純 濱石誠 | 第38回日本血管外科学会 | 埼玉 |
| Saddle Shape Ringを用いた僧帽弁形成術の経験 | 川本純 | 広島循環器病研究会 | 広島 |
| 冠動脈バイパス術後、薬物抵抗性Electrical stormの 1救命例の検討 | 小林平 川本純 濱石誠 | 第38回日本救急医学会 | 東京 |
| 重症下肢虚血に対する下腿・足部へのバイパス術 －In situ大伏在静脈グラフトの有用性－ | 小林平 | 同門会総会 | 広島 |
| 当院における僧帽弁形成術の現況 | 川本純 | 第46回広島循環器病研究会 | 広島 |
| 急性B型大動脈解離、遠隔期成績からみた急性期治療の問題点 | 小林平 川本純 濱石誠 | 第38回日本集中治療学会 | 横浜 |
| 重症下肢虚血に対するDistal Bypassの治療成績 －あきらめないで、創意工夫、そして執念深く－ | 小林平 | Young Vascular | 広島 |
| 後腹膜内腫瘍摘出時に腹腔動脈、総肝動脈に対して内腸骨動脈を用いて 血行再建を施行した一例 | 前田和樹 | 広島外科会 | 広島 |

皮膚科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---------------------------|---------------------------------------|-------------|-----|
| アンピシリン・スルバクタムによるAGEPの1例 | 亀頭晶子 木矢絢子 森川博文 | 第125回 広島地方会 | 広島市 |
| 生検後自然消退傾向を示したMerkel細胞癌の1例 | 木矢絢子 亀頭晶子 北野文朗 森川博文 臺丸裕 北野雅朗 | 第125回 広島地方会 | 広島市 |
| 足趾の壊死を生じたプロテインS欠損症の1例 | 亀頭晶子 北野文朗 木矢絢子 森川博文 江崎隆 門前まや | 第126回 広島地方会 | 広島市 |
| 複数の皮膚病型を呈したサルコイドーシスの1例 | 木矢絢子 亀頭晶子 森川博文 臺丸裕 | 第126回 広島地方会 | 広島市 |
| 当科で経験したステロイドレスポンスの1例 | 中村吏江 木矢絢子 森川博文 二井宏紀 山田悟 | 第127回 広島地方会 | 広島市 |
| 熱傷瘢痕に生じた無色素性基底細胞癌の1例 | 木矢絢子 中村吏江 森川博文 臺丸裕 北野雅朗 | 第127回 広島地方会 | 広島市 |

| | | | |
|------------------------|-----------------------------|-------------|-----|
| Eccrine spiradenomaの1例 | 中村吏江 木矢絢子 森川博文 臺丸裕 | 第128回 広島地方会 | 広島市 |
| Myopericytomaの1例 | 木矢絢子 中村吏江 森川博文 臺丸裕 | 第128回 広島地方会 | 広島市 |

泌尿器科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---|--------------------------------|-----|
| 尿路上皮癌に対するジェムザール単剤投与により 薬剤性間質性肺炎を生じた1例 | 石田吉樹 岡清貴 小深田義勝 望月英樹 古玉純子 | 第143回 日本泌尿器科学会 広島地方会 | 広島 |
| 当科における鏡視下手術中合併症に関する検討 | 望月英樹 石田吉樹 小深田義勝 岡清貴 | 第24回 広島Endourology ESWL学会 | 広島 |
| 膀胱小細胞癌の2例 | 岡清貴 望月英樹 広本宣彦 後藤景介 小深田義勝 | 第61回 日本泌尿器科学会 西日本総会 | 高松 |
| 尿路上皮原発リンパ上皮腫様癌腫の2例 | 石田吉樹 岡清貴 小深田義勝 植木哲裕 望月英樹 稗田圭介 広本宣彦 | 第61回 日本泌尿器科学会 西日本総会 | 高松 |
| 後腹膜鏡下腎摘除術:3本ポートか4本ポートか (年間手術症例数20例以下の施設での試み) | 望月英樹 石田吉樹 岡清貴 広本宣彦 後藤景介 小深田義勝 | 第23回 日本Endourology ESWL学会総会 | 東京 |
| 根治的前立腺全摘除術後における局所放射線療法の検討 | 望月英樹 石田吉樹 小深田義勝 桐生浩司 岡清貴 幸慎太郎 | 第18回 中国四国前立腺疾患 研究会 | 岡山 |
| 膀胱印環細胞癌の1例 | 岡清貴 石田吉樹 小深田義勝 後藤景介 望月英樹 臺丸裕 | 第145回 日本泌尿器科学会 広島地方会 | 広島 |
| 尿路上皮癌に対するジェムザール単剤投与により 薬剤性間質性肺炎を生じた2例 | 岡清貴 望月英樹 小深田義勝 石田吉樹 古玉純子 | 第98回 日本泌尿器科学会総会 | 盛岡 |
| 前立腺癌診断におけるMRI検査の有用性の検討 | 後藤圭介 林哲太郎 林睦雄 望月英樹 広本宣彦 井上洋二 岡清貴 小深田義勝 | 第98回 日本泌尿器科学会総会 | 盛岡 |
| 根治的前立腺全摘除術後における局所放射線療法の検討 | 望月英樹 石田吉樹 後藤景介 広本宣彦 桐生浩司 岡清貴 稗田圭介 小深田義勝 | 第98回 日本泌尿器科学会総会 | 盛岡 |
| ADL不良患者における結石性腎盂腎炎の傾向と今後の課題 | 石田吉樹 望月英樹 後藤景介 広本宣彦 岡清貴 稗田圭介 小深田義勝 | 第98回 日本泌尿器科学会総会 | 盛岡 |
| 馬蹄鉄腎頰部に発生し腎部分切除術を施行した嚢胞性腎細胞癌の1例 | 池田健一郎 望月英樹 小深田義勝 広本宣彦 石田吉樹 後藤景介 | 第146回 日本泌尿器科学会 広島地方会 | 広島 |
| 尿管鏡下レーザー切除術を施行した有茎性尿管癌の1例 | 望月英樹 池田健一郎 小深田義勝 石田吉樹 | 第25回 広島EE研究会 | 広島 |
| 高齢者の上部尿路腫瘍に対する後腹膜鏡補助下尿管全摘の検討 | 石田吉樹 望月英樹 小深田義勝 後藤景介 植木哲祐 池田健一郎 岡清貴 稗田圭介 広本宣彦 | 第24回 日本Endourology ESWL学会総会 | 京都 |

泌尿器科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|------------------------|-----|
| 経尿道的前立腺切除術を施行した前立腺膿瘍の2例 | 望月英樹 石田吉樹 池田健一郎 藤田潔 | 望月英樹 岡清貴 小深田義勝 | 第62回 日本泌尿器科学会 西日本総会 | 鹿児島 |
| 前立腺癌におけるMRI拡散強調画像の有用性 | 池田健一郎 望月英樹 石田吉樹 太刀掛俊浩 | 後藤景介 小深田義勝 鈴木孝之 | 第62回 日本泌尿器科学会 西日本総会 | 鹿児島 |
| 前立腺肥大症の診断と薬物療法 | 望月英樹 | | 広島西部地区 泌尿器疾患セミナー | 広島 |
| 前立腺癌におけるMRI拡散強調画像の有用性 | 池田健一郎 望月英樹 小深田義勝 鈴木孝之 | 石田吉樹 太刀掛俊浩 | 第19回 中国四国前立腺疾患 研究会 | 岡山 |

産婦人科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|--|------------------------------|---------------|--|----|
| 羊水混濁と胎児低酸素状態および胎児心拍数パターンの検討 | 中川朗子 中村紘子 中西慶喜 | 藤本英夫 内藤博之 | 第61回日本産科婦人科学会 | 京都 |
| 分娩時FHR variabilityに関する検討 | 三好剛一 古宇家正 藤本英夫 | 佐野祥子 中西慶喜 | 第60回日本産科婦人科学会 広島地方部会 | 広島 |
| 回盲部腸重積を形成した盲腸子宮内膜症の1例 | 古宇家正 藤本英夫 佐野祥子 | 三好剛一 中西慶喜 | 第62回日本産科婦人科学会 中国四国合同地方部会 | 米子 |
| LBC法による子宮頸部細胞診異常とHPV typingの検討 | 藤本英夫 中西慶喜 占部悦子 宮川法子 | 臺丸裕 永田郁子 | 第48回日本臨床細胞学会 秋期大会 | 福岡 |
| プライマリーケア医に知っておいてほしい産婦人科の話題 | 中西慶喜 | | 大竹市医師会月例会 | 大竹 |
| 高悪性度子宮内膜間質肉腫の1例 | 佐野祥子 藤本英夫 中前里香子 | 三好剛一 中西慶喜 | 第35回日本臨床細胞学会 広島県支部総会 | 広島 |
| 分娩時の胎児心拍動細変動に関する検討 | 三好剛一 佐野祥子 藤本英夫 | 中前里香子 中西慶喜 | 第62回日本産科婦人科学会総会 学術講演会 | 東京 |
| 常位胎盤早期剥離により子宮内胎児死亡をきたし、 経陰分娩後に脳内出血を発生した一例 | 中前里香子 藤本英夫 | 三好剛一 | 第46回日本周産期・新生児医学会 学術集会 | 神戸 |
| 一過性徐脈上の胎児心拍数細変動の臨床的意義について | 三好剛一 中前里香子 | 藤本英夫 | 第46回日本周産期・新生児医学会 学術集会 | 神戸 |
| 分娩後約1年で末期腎不全に至ったIgA腎症合併妊娠の1例 | 野村清歌 藤本英夫 佐野祥子 中西慶喜 | 松岡直樹 中前里香子 | 第63回日本産科婦人科学会 中国四国合同地方部会総会 ならびに学術講演会 | 岡山 |

眼科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|----------------------------------|-----------------------|---------------|-----------------|----|
| 極小切開白内障手術における眼内レンズ挿入後の創口幅 | 二井宏紀 中村有美子 | | 第69回 広島地方眼科学会 | 広島 |
| 眼底精査困難例に対して眼部MRIによる網膜評価が有効であった2例 | 森口裕子 出口香穂里 木内良明 | 曾根隆志 中村有美子 | 第69回 広島地方眼科学会 | 広島 |
| 白内障術後悪性緑内障の1例 | 中村有美子 | | 第255回 広島眼科症例検討会 | 広島 |

| | | | |
|--------------------------------|---------------|---------------|----|
| 極小切開白内障手術における眼内レンズ挿入後の創口幅拡大の検討 | 二井宏紀 中村有美子 | 第34回 日本眼科手術学会 | 京都 |
|--------------------------------|---------------|---------------|----|

耳鼻咽喉科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|-------------------|-------------------|--|-----|
| 喉頭癌開術で診断できた喉頭癌の1例 | 横江裕幸 兼見良典 水野一志 | 第46回広島頭頸部腫瘍研究会 | 広島 |
| 喉頭癌開術で診断できた喉頭癌の1例 | 横江裕幸 兼見良典 水野一志 | 日本耳鼻咽喉科学会広島県地方 部会・広島県耳鼻科医会 平成22年度学術講演会 | 広島 |

画像診断部

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--------------------------------|---|----------------------------|-----|
| 子宮頸部病変を伴ったIgG4関連症候群の1例 | 海地陽子 土田泰幸 秦良一郎 鈴木孝之 藤川光一 | 第112回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 鳥取 |
| 仙骨嚢腫に対し経皮的治療を施行した1症例 | 土田泰幸 海地陽子 秦良一郎 鈴木孝之 藤川光一 宇治郷論 藤本吉範 | 第23回日本IVR学会 中国・四国地方会 | 広島 |
| 肺動脈解離の一例 | 海地陽子 土田泰幸 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 | 第113回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 高知 |
| 当院におけるAutopsy imaging (Ai) の現状 | 海地陽子 土田泰幸 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 | 第114回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 愛媛 |
| 腸管壁内気腫についての検討 | 土田泰幸 海地陽子 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 | 第114回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 愛媛 |
| 冠動脈病変を伴ったIgG4関連疾患と考えられた1例 | 海地陽子 土田泰幸 太刀掛俊浩 鈴木孝之 藤川光一 | 第115回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 香川 |
| 十二指腸に穿破した感染性腹部大動脈瘤の1例 | 太刀掛俊浩 海地陽子 土田泰幸 鈴木孝之 藤川光一 | 第115回日本医学放射線学会 中国・四国地方会 | 香川 |

麻酔科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--|--------------------------------|-----|
| 包括医療における全静脈麻酔(TIVA)のありかたと合併症対策 | 中尾正和 | 第56回日本麻酔科学会学術集会 ランチョンセミナー講師 | 神戸 |
| 市販汎用喉頭鏡に装着するワイヤレス多目的カメラLS-7を利用した 安価でコンパクトなビデオ喉頭鏡システムの使用経験 | 中尾正和 撰圭司 松本千香子 白石成二 渡邊愛沙 吉田研一 | 第56回日本麻酔科学会学術集会 | 神戸 |
| グレリンのNaチャンネル、Caチャンネルと アセチルコリン受容体に対する影響 | 白石成二 中尾正和 撰圭司 渡邊愛沙 松本千香子 | 第56回日本麻酔科学会学術集会 | 神戸 |
| 心臓血管外科手術症例でのFloTrac (TM) を用いた stroke volume variation (SVV) への不整脈の影響 | 渡邊愛沙 中尾正和 撰圭司 白石成二 吉田研一 松本千香子 | 第56回日本麻酔科学会学術集会 | 神戸 |
| Patient Controlled Analgesia (PCA)の ポンプ履歴データから作成したトレンドグラフの有効性 | 松本千香子 中尾正和 白石成二 撰圭司 渡邊愛沙 吉田研一 | 第56回日本麻酔科学会学術集会 | 神戸 |
| TCI実践のノウハウ(初心者からオタクまで) | 中尾正和 | 第29回 臨床麻酔学会教育講演 | 浜松 |

麻酔科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|---|---|------|
| 甲状腺術後出血による上気道閉塞で心肺停止となった緊急気管切開後の経口気管挿管に難渋した症例 | 松本千香子 早瀬一馬 中尾正和 | 第29回 臨床麻酔学会 | 浜松 |
| ビデオ喉頭鏡による初期研修医の挿管操作,接触部位の検討 | 早瀬一馬 中尾正和 松本千香子 | 第29回 臨床麻酔学会 | 浜松 |
| TEE セミナー「今日から実践、明日を拓くTEEにチャレンジ!」 | 新澤正秀 | 第29回 臨床麻酔学会 | 浜松 |
| モルヒネ内服と硬膜外ブロックで加療中のCRPS患者のニューロキニン1受容体サブタイプの全血mRNA変動 | 東俊晴 松本千香子 中尾正和 成田弥生 松本延幸 菊地博達 | 日本ペインクリニック学会 | |
| レミフェンタニルでのTIVAの習熟とそのバリエーション | 中尾正和 | 第16回 日本静脈麻酔学会2009 | 長野 |
| ビデオ喉頭鏡GlideScopeのためのGlideRite Rigid Styletの有用性の検討 | 松本千香子 中尾正和 早瀬一馬 新澤正秀 小林雅子 渡邊愛沙 | 第57回日本麻酔科学会学術集会 | 福岡 |
| ビデオ喉頭鏡による救急救命士の挿管操作,接触部位の検討 | 早瀬一馬 中尾正和 松本千香子 新澤正秀 小林雅子 | 第57回日本麻酔科学会学術集会 | 福岡 |
| レミフェンタニル 1 μ g/kg/分で1分間のローディングをおこなうと,ローディングなしと比較し循環変動は同じくらいで麻酔導入時間が短くできる | 中尾正和 新澤正秀 田中佐誉子 早瀬一馬 櫻谷正明 吉田研一 | 第57回日本麻酔科学会学術集会 | 福岡 |
| 硬膜外麻酔穿刺中の低用量レミフェンタニル持続投与は安全に使用できる | 中尾正和 早瀬一馬 松本千香子 渡邊愛沙 新澤正秀 小林雅子 | 第57回日本麻酔科学会学術集会 | 福岡 |
| ダントロレン投与が劇症型悪性高熱症の予後に及ぼす影響 | 小林雅子 向田圭子 右田貴子 濱田宏 河本昌志 | 日本麻酔科学会第57回学術集会 | 福岡 |
| ダントロレンのヒト培養骨格筋細胞のカルシウム動態への作用 | 向田圭子 右田貴子 原木俊明 安田季道 小林雅子 河本昌志 | 日本麻酔科学会第57回学術集会 | 福岡 |
| セボフルランは悪性高熱症の“weak trigger”か? | 右田貴子 向田圭子 小林雅子 濱田宏 河本昌志 | 日本麻酔科学会第57回学術集会 | 福岡 |
| 静脈麻酔薬の薬物動態学シミュレーションを行うソフトウェアExcel_PkPdを自動麻酔記録システムPaperChartと連携する機能の開発 | 中村隆治 中尾正和 越川正嗣 河本昌志 | 第57回日本麻酔科学会学術集会 | 福岡 |
| Anesthetic management for spine surgeries in Japan | Masakazu Nakao Chikako Matsumoto Aisa Watanabe Kazuma Hayase Masahide Shinzawa Kenichi Yoshida | 15 th annual meeting of the spine society of HCM city | ベトナム |
| ビデオ喉頭鏡(全例録画モニター)を用いた気管挿管研修における初期研修医の評価 | 高田菜々子 中尾正和 松本千香子 新澤正秀 早瀬一馬 小林雅子 吉田研一 櫻谷正明 | 第57回 広島麻酔医学会 | 広島 |
| 肺動脈血栓摘出術中の急性右心不全から人工心肺離脱に成功した1例 | 早瀬一馬 新澤正秀 中尾正和 | 第15回日本心臓血管麻酔学会学術集会 | 東京 |

歯科口腔外科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---------------------|----------------|-------------------------|-----|
| 頬部打撲により生じた巨大皮下気腫の1例 | 井上伸吾 原田直 | 第38回日本口腔外科学会 中・四国地方会 | 広島市 |

| | | | |
|--------------------------------------|-------------|---------------|-----|
| 血液透析を併用しシスプラチン動注化学療法を行った 進行口底癌の1例 | 井上伸吾 原田直 | 第42回広島大学歯学会総会 | 広島市 |
| 頬部打撲により生じた巨大皮下気腫の1例 | 井上伸吾 原田直 | 第42回広島大学歯学会総会 | 広島市 |
| 血液透析を併用しシスプラチン動注化学療法を行った 進行口底癌の1例 | 井上伸吾 原田直 | 第127回 広島地方会 | 広島市 |

救急・集中治療科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|-----------------------------|----------------|------------------------|-----|
| 血小板輸血に関連した急性肺障害 (TRALI) の1例 | 櫻谷正明 吉田研一 | 第37回 日本救急医学会 学術総会 | 盛岡 |
| 新型インフルエンザ患者のICU管理の課題 | 櫻谷正明 吉田研一 | 第37回 日本集中治療医学会 学術総会 | 広島 |
| HFOVでの呼吸管理を必要としたARDSの1例 | 櫻谷正明 吉田研一 | 第38回 日本救急医学会 学術総会 | 東京 |
| 咽後膿瘍から四肢麻痺を来した2症例 | 櫻谷正明 吉田研一 | 第38回 日本集中治療医学会 学術総会 | 横浜 |

緩和ケア科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---------------------------------|-------------------------------|-----|
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する 不安と影響要因—不安尺度評価STAIを用いて— | 古本直子 | ホスピス緩和ケアスタッフの 発掘・啓発 | |
| JA広島総合病院緩和ケアチームの現状と課題 —緩和ケアチームに対するアンケート調査から— | 高原さおり 小松弘尚 正島忠貴 藤田寿賀 福田康彦 | 第58回日本農村医学会 | 横浜 |
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する 不安と影響要因—看護職とその他の職種の比較から— | 古本直子 廣瀬恭子 正島忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 第21回 日本在宅医療学会 学術集会 | 東京 |
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する 不安と影響要因 | 古本直子 | 日本ホスピス・在宅ケア研究会 第18回鳥取大会 | 鳥取 |
| 「緩和ケアチームの関わり」について —遺族アンケートからみえてくるもの— | 高原さおり 安本壽枝 古本直子 岡田恵美子 | 第10回 広島県看護協会 廿日市支部 看護研究発表会 | 広島 |
| がん診療連携拠点病院の地域連携室としての—在宅緩和ケアに おけるケアマネジャーの不安アンケートから | 正島忠貴 古本直子 矢野秀美 岡崎のり子 | 第21回 佐伯医学会総会 | 広島 |

外来化学療法室

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|---|----------------|-------------|
| 皮下埋め込み型ポート穿刺時消毒方法の検討 ～10%ポピドンヨード液と70%エタノール綿の比較検討～ | 森田純子(座長) 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 野村昌代 益村勇子 矢野淳子 | 第25回がん看護学会学術集会 | 神戸国際 会議場 |

健康管理センター

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---------------------|---|-----------------|-----|
| 健康運動指導士の活動報告 | 東千穂 久保知子 川村洋子 米川直子 長田恵美子 増本順子 碓井裕史 | 第59回日本農村医学会学術総会 | 岩手県 |
| 巡回健診における安全な採血への取り組み | 川村洋子 久保知子 東千穂 米川直子 長田恵美子 増本順子 碓井裕史 | 第59回日本農村医学会学術総会 | 岩手県 |

健康管理センター

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--------------|---|----------------|-----|
| 健康運動指導士の活動報告 | 東千穂 久保知子 川村洋子 米川直子 長田恵美子 増本順子 碓井裕史 | 第33回JA広島厚生連医学会 | 広島県 |

看護部西7階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|--|--------------------------------|-----|
| 皮下埋め込み型ポート穿刺時消毒方法の検討 ～10%ポビドンヨード液と70%エタノール綿の比較検討～ | 森田純子(座長) 独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター | 第25回がん看護学会学術集会 (2011年2月12日) | 神戸市 |

看護部西8階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|--|----------------|----------------------|-----|
| 急性期混合病棟における口腔ケアの現状と課題 | 大屋奈緒美 坂尻明美 | 第36回日本看護研究学会 学術集会 | 岡山市 |
| 急性期病院における終末期がん患者の療養場の意思決定を支える 看護師の関わり | 坂尻明美 | 第34回日本がん看護学会 学術集会 | 静岡市 |

看護部東3階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--------------------------------|---------------------|-----|
| 血管性認知症の人に個人回想法がもたらす 感情・認知分野への影響と効果 | 新谷正子 加藤重子 今坂鈴江 鈴木和恵 檜垣純子 | 第11回認知症ケア学会 | 神戸 |
| 心臓リハビリテーションを含めた開心術パス導入と今後の展開 | 高橋健太 岡崎祐也 藤田寿賀 小林平 | 日本心臓リハビリテーション 学会 | 鹿児島 |
| 心臓リハビリテーションを導入した開心術パスの検討 ～バリエーション分析の結果からみた問題点と今後の検討～ | 岡崎祐也 高橋健太 藤田寿賀 小林平 | 第11回クリニカルパス学会 | 愛媛 |
| 循環器病棟における新人教育体制の見直し | 益田尚恵 丸澤葉志子 藤田寿賀 | 廿日市支部研究発表会 | 広島 |

看護部東4階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--|-------------------------------|-----|
| 高齢者の白内障手術に対する点眼指導～現在の実態と今後の課題～ | 宮野裕子 畝小百合 | 第38回日本老年看護学会 | 福島 |
| 小児科外来と病棟との一元化の取り組み～継続看護の評価～ | 磯辺利江 秦真規子 辻幸枝 松島加奈恵 波田朋子 戸田敬子 | 第40回日本小児看護学会 | 高知 |
| 放射線治療・化学療法中の頭頸部腫瘍患者の看護師の 口腔内アセスメントの変化 ～患者記入用の口腔内チェック表を作成して～ | 森川裕子 西本知可子 | 第58回日本農村医学会学術総会 | 横浜 |
| 小児科入院中の末梢持続点滴に関する輸液トラブルの実態調査 | 井本彩 鶴谷理恵 戸田敬子 | 平成21年度広島県看護協会 廿日市支部看護研究発表会 | 広島 |
| 外来・病棟・手術室を通じたプレパレーション導入の効果 ～幼児期の患児へパンフレット・キワニスドールを使用して～ | 辻幸枝 戸田敬子 | 第60回日本病院学会 | 岐阜 |
| 外来・病棟・手術室を通じたプレパレーション導入の効果 ～幼児期の患児へパンフレット・キワニスドールを使用して～ | 辻幸枝 戸田敬子 | 厚生連医学会 | 広島 |

| | | | |
|----------------------------|-------------------|--------------|----|
| 医療ネグレクトを疑われた聴覚障害をもつ母親との関わり | 光井綾美 辻幸枝 | 第41回日本小児看護学会 | 三重 |
| 親同伴点滴導入における看護師の意識変化 | 川口裕子 橋本弓子 戸田敬子 | 第41回日本小児看護学会 | 三重 |

看護部東6階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|-------------------------|--|----------------------|-----|
| 看護の要・組織改革の要、看護師長の役割を語ろう | JA広島総合病院: 尾神正子・藤田壽賀・ 松村鶴代・佐藤澄香 四国大学:稲田久美子 広島大学:坂田桐子 広島日赤病院: 加藤純子・榎並育代 広島西医療センター: 塩谷恵子 県立広島病院: 佐々木貴美江 | 第14回日本看護管理学会 年次大会 | 横浜 |

看護部東7階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---------------------------------|----------------------------|-------------|
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安と影響要因－看護職とその他の職種の比較から－ | 古本直子 廣瀬恭子 正島忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 第21回 日本在宅医療学会 学術集会 | 東京 |
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安と影響要因 | 古本直子 廣瀬恭子 正島忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 日本ホスピス・在宅ケア研究会 第18回鳥取大会 | 鳥取 |
| 在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの看取りに関する不安と影響要因－記述内容の分析を通して－ | 廣瀬恭子 古本直子 正島忠貴 矢野秀美 岡崎のり子 | 日本ホスピス・在宅ケア研究会 第18回鳥取大会 | 鳥取 |
| がん診療連携拠点病院の地域連携室としての在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの不安アンケートから | 正島忠貴 古本直子 矢野秀美 岡崎のり子 | 第21回 佐伯医学会総会 | 広島 (廿日市) |

看護部東8階

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|-------------------------------|--------------------------|-----|
| 当院における糖尿病インシデント予防プロジェクト委員会活動の取り組み | 中元美恵 村中好美 角井碧 大田博子 石田和史 | 日本糖尿病学会 中国四国地方会第48回総会 | 愛媛 |
| 糖尿病地域連携パスを用いた広島県西部地区糖尿病医療連携の現状－地域の看護師と連携を深めるための取り組み | 中元美恵 | 第14回日本糖尿病教育・ 看護学会学術集会 | 北海道 |
| 当院での糖尿病インシデント、アクシデント予防の取り組み～低血糖処置の統一化をめざして～ | 中元美恵 角井碧 大田博子 石田和史 | 第53回日本糖尿病学会 年次学術集会 | 岡山 |

手術室

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|-------------------|--------------|-----|
| 四点支持台を用いた腹臥位手術における体圧分散のための大腿部マットの工夫～スタッフをモデルとしての考察～ | 中野あゆみ 上田順子 中原薫 | 第23回日本手術看護学会 | 千葉県 |

薬剤部

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|-------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 地域がん診療連携拠点病院における薬剤部が担う役割とは | 中島恵子 磯貝明彦 只佐正嗣 横山聡 福田康彦 | 小川智恵子 藤堂未来 大田博子 | 第58回日本農村医学会学術総会 横浜市 |
| CAPD腹膜炎治療におけるバンコマイシン腹腔内投与時のTDM | 角井碧 正島和美 中本実佳 倉恒正利 | 大原由希子 大田博子 平林晃 | 第19回日本医療薬学会年会 長崎市 |
| 当院におけるプレアポイド報告と疑義照会の現状と課題 | 寺澤千佳子 小川智恵子 中島恵子 大田博子 | 正島和美 三上史記 | 第32回JA広島厚生連医学会 広島市 |
| HECおよびMECにおける制吐療法に関する実態調査 | 埋橋賢吾 藪田ゆみ 大田博子 | 横山聡 | 平成22年度広島県病院薬剤師会 研究発表会 広島市 |
| 当院におけるプレアポイド報告 | 大田博子 寺澤千佳子 | | 第21回佐伯医学会総会 廿日市市 |
| JA広島総合病院におけるプレアポイドの現状と課題 | 寺澤千佳子 小川智恵子 中島恵子 大田博子 | 正島和美 三上史記 | 第59回日本農村医学会学術総会 盛岡市 |
| HECおよびMECに対する制吐療法に関する実態調査 | 藪田ゆみ 埋橋賢吾 大田博子 | 横山聡 | 第20回 日本医療薬学会年会 千葉市 |
| MRSA・緑膿菌検出率の推移と抗菌薬使用量の変遷 | 正島和美 池部晃司 | 今本紀生 | 第26回日本環境感染症学会総会 横浜市 |
| オピオイドの適正使用に向けて緩和ケアチームでの取り組み —外来患者アンケートから見えてきたもの— | 磯貝明彦 吉廣尚大 寺澤千佳子 小松弘尚 | 高原さおり 大田博子 | 第33回JA広島厚生連医学会 広島市 |

臨床研究検査科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|--|------------------------------|-----------------------|
| 当院小児科におけるインフルエンザ検出状況と 新型インフルエンザ遺伝子検査について | 池田光泰 池部晃司 水野誠士 | 笹谷真奈美 碓井裕史 | 第32回JA広島厚生連医学会 広島 |
| 血小板製剤輸血に関連した急性肺障害 (TRALI) の一例 | 鶴田理奈 池田光泰 山本加代子 水野誠士 | 池部晃司 笹谷真奈美 | 第27回広島県医学検査学会 広島 |
| 当院における脊椎脊髄手術における術中脊髄モニタリングの現状 | 藤岡朋子 長尾専 山田清貴 | 水野誠士 藤本吉範 | 第59回日本農村医学会学術総会 岩手 |
| 標準化の現状と今後の取り組み 尿中赤血球形態について | 山下美香 | | 第27回広島県医学検査学会 広島 |
| 父子3名に検出された日本海裂頭条虫寄生症例について | 山下美香 後藤千帆 三舛正志 水野誠士 | 霜津宏典 貝原加苗江 | 第42回中国四国医学検査学会 香川 |
| 当院における脊椎脊髄手術における術中脊髄モニタリングの現状 | 藤岡朋子 長尾専 山田清貴 | 水野誠士 藤本吉範 | 第59回日本農村医学会学術総会 岩手 |
| 激しい溶血をみとめたClostridium perfringens敗血症の1症例 | 後藤千帆 森下未来依 荒瀬美幸 貝原加苗江 水野誠士 | 霜津宏典 山下美香 三舛正志 吉田研一 | 第59回日本農村医学会学術集會 岩手 |

| | | | | |
|--|--|-------------------------------|--------------------------|-----|
| 全自動尿有形成分分析装置UF-1000iの導入に伴うシステム構築について | 荒瀬美幸 森下未来依 霜津宏典 貝原加苗江 水野誠士 | 後藤千帆 山下美香 三舛正志 | 第43回中国四国医学検査学会 | 島根 |
| 激しい溶血と球状赤血球症を伴ったClostridium perfringens敗血症の1症例 | 後藤千帆 森下未来依 荒瀬美幸 貝原加苗江 水野誠士 | 霜津宏典 山下美香 三舛正志 | 第43回中国四国医学検査学会 | 島根 |
| 自動血液分析装置Advia2120iを用いた腹膜透析排液測定の見直し第1報 | 三舛正志 森下未来依 霜津宏典 山下美香 水野誠士 平林晃 | 後藤千帆 荒瀬美幸 貝原加苗江 倉恒正利 | 第16回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会 | 大分 |
| 自動血液分析装置Advia2120iと解析ソフトを用いた腹膜透析排液白血球分画の試み | 三舛正志 森下未来依 霜津宏典 山下美香 水野誠士 平林晃 | 後藤千帆 荒瀬美幸 貝原加苗江 倉恒正利 | 第16回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会 | 大分 |
| 分子疫学解析POTキットを利用した当院での感染管理の現状 | 池部晃司 正島和美 | 今本紀生 | 第26回日本環境感染学会総会 | 神奈川 |
| 回腸導管術後の尿に異型細胞が出現した1症例 | 山下美香 丸田愛 水野誠士 | 三舛正志 | 第28回広島県医学検査学会 | 広島 |

中央放射線科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|---|-------------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| 逐次近似法を応用した異なる画像再構成方法の基礎検討とその比較 | 山口裕之 松村祐輔 大和真一郎 藤川光一 | 下土居一 重田祐輔 今井靖浩 | 日本放射線技術学会 第38回秋季学術大会 | 仙台 |
| 心臓検査における異なるモダリティ間の撮影体位の違いが融合画像に与える影響 | 高畑明 | | 日本核医学技術学会 第22回中国・四国地方会 | 島根県 |
| 心臓CTにおけるCT自動露出機構を利用した撮影条件設定の妥当性について | 高橋昌史 山口裕之 下土居一 藤川光一 | 大和真一郎 池田将敏 | 日本放射線技術学会第64回総会 学術大会 | 横浜 |
| 逐次近似法を応用した画像再構成法の基礎的検討 —空間分解能、ノイズの評価— | 松村祐輔 山口裕之 大和真一郎 藤川光一 | 下土居一 重田祐輔 今井靖浩 | 中四国放射線医療技術 フォーラム2011 | 高知 |
| 逐次近似法を応用した画像再構成法の基礎的検討 —画像再構成関数,FOV,撮影線量の影響について— | 松村祐輔 山口裕之 大和真一郎 藤川光一 | 下土居一 重田祐輔 今井靖浩 | 中四国放射線医療技術 フォーラム2011 | 高知 |

臨床工学科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 | |
|--|----------------------|--------------|------------------------|----|
| 重症呼吸不全 (ARDS) に高頻度振動換気法 (HFO) を長期間使用し救命し得た1例 | 荒田晋二 瀬尾憲由 竹内邦夫 | 曾我嘉博 近藤丈博 | 第7回中国地区臨床工学技士会 学術大会 | 山口 |
| ALTRUA60～レートレスポンス～ | 荒田晋二 吉本早織 曾我嘉博 | 瀬尾憲由 竹内邦夫 | 第3回循環器関連勉強会 | 広島 |
| ICUでCHDFを施行した特殊2症例における膜選択 | 曾我嘉博 荒田晋二 竹内邦夫 | 瀬尾憲由 | PMMA研究会 | 広島 |

リハビリテーション科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---------------------------------|---|------------------------|-----|
| 開心術後心臓リハビリテーション導入の経験 | 本間智明 上野忠活 金羽木敏治 小林恭子 味村裕美 久保田千代美 小林加枝 飛鷹恵理 下田喜子 折手祐一 玉田雅美 後藤優佳 小林平 | 第16回 心臓リハビリテーション学会学術集会 | 鹿児島 |
| 心臓リハビリテーションにおける携帯型12誘導負荷心電計の有用性 | 本間智明 上野忠活 金羽木敏治 寺迫正広 小林恭子 味村裕美 久保田千代美 飛鷹恵理 下田喜子 折手祐一 玉田雅美 後藤優佳 小林平 川本純 | 第21回 佐伯医師会総会学術集会 | 広島 |
| 開心術後心臓リハビリテーション導入の経験 | 本間智明 上野忠活 金羽木敏治 寺迫正広 小林恭子 味村裕美 久保田千代美 飛鷹恵理 下田喜子 小林平 | 第38回 集中治療医学会学術集会 | 横浜 |
| 開心術後嚥下障害のリスク因子検討と改善率の検討 | 玉田雅美 後藤優佳 上野忠活 小林平 川本純 | 第7回 広島県言語聴覚士会学術集会 | 広島 |

栄養科

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|---|--|-----|
| 米飯への油脂添加によるGlycemic index及び尿中CPRへの影響 | 八幡謙吾 成川輝明 准教授 (近畿大学農学部食品栄養学 科臨床栄養学研究室) | 第31回日本臨床栄養学会総会・ 第30回日本臨床栄養協会総会・ 第7回大連合大会 | 神戸市 |
| シックデイルール運用を想定した適切かつ簡便な食事摂取量把握法 | 石村和子 河本良美 坂田良子 中元美恵 一町澄宜 岸本瑠衣 石田和史 | 第47回糖尿病学会中四国地方会 | 岡山 |
| 各職域における指導媒体の活用について | 坂田良子 | 広島県栄養士会第一支部研修 会・総会 | 広島 |
| 災害時における透析患者のマニュアル作成 | 坂田良子 | 広島県栄養士会生涯学習研修会 | 広島 |
| 当院での呼吸器外科周術期集学的チーム医療における 栄養管理の取り組み | 八幡謙吾 | 第26回日本静脈経腸栄養学会 | 名古屋 |
| 地域医療機関での栄養指導の実態と糖尿病連携パスにおける 効果的栄養指導の取り組み | 河本良美 上村真由美 坂田良子 中元美恵 石田和史 | 第48回糖尿病学会中四国地方会 | 松山 |

医療安全管理室

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|------------------------------|--|-----------------------|-----|
| 認定看護師のチーム医療における役割 | 今本紀生 | 第58回 日本農村医学会 学術総会 | 神奈川 |
| 広島厚生連感染管理ネットワークのキックオフ | 今本紀生 正島和美 堀川俊二 住吉静香 神田裕子 松原晴美 只佐宣子 平原恵子 井藤久子 | 第32回 広島厚生連医学会 | 広島 |
| 広島県内10施設の院内結核感染対策の現状把握への取り組み | 今本紀生 池部晃司 正島和美 | 第26回 日本環境感染学会 学術総会 | 神奈川 |

地域医療連携室

| 演題 | 発表者名 協同研究者名 | 会名 | 開催地 |
|---|----------------------------|-------------|-----|
| がん診療連携拠点病院の地域医療連携室としての役割 ～在宅緩和ケアにおけるケアマネジャーの不安アンケートから～ | 正畠忠貴 古本直子 矢野秀美 岡崎のり子 | 第21回佐伯医学会総会 | 広島 |

学会での座長

呼吸器内科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|---|--|----------|-----------------|
| 第1回広島西部呼吸器セミナー 『COPDをどう診るかーUPLIFTS試験の結果および 新COPDガイドラインを踏まえてー』 | 広島大学病院 呼吸器内科 准教授 服部登先生 | 2009年11月 | 広島市佐伯地区 医師会館 |
| 第2回広島西部呼吸器セミナー 『進化する呼吸器診療ーCOPDと肺癌について』 | 島根大学医学部内科学講座 癌化学療法教育学 呼吸器・化学療法内科 教授 磯部威先生 | 2009年6月 | 広島市佐伯地区 医師会館 |

循環器内科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|-----------------|--------|------------|-------------------|
| 第21回日本心血管画像動態学会 | 座長:藤井隆 | 2011年1月22日 | 愛媛県県民文化会館 (松山) |

腎臓内科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|--------------------|---------|------------|-----------|
| 第55回日本透析医学会学術集会、総会 | 座長:平林 晃 | 2010年6月18日 | 国際会議場(神戸) |

糖尿病・代謝内科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|--------------------|--|-------------|-----------------------|
| 第52回日本糖尿病学会年次学術集会 | 滋賀医科大学附属病院 柏木厚典病院長 座長:石田和史 | 2009年5月21日 | 大阪国際会議場 (大阪) |
| 第47回日本糖尿病学会中国四国地方会 | 心臓病センター榊原病院 岡崎悟院長 座長:石田和史 | 2009年11月6日 | 岡山コンベンション センター(岡山) |
| 第53回日本糖尿病学会年次学術集会 | 川崎医科大学糖尿病・代謝・ 内分泌内科 加来浩平教授 座長:石田和史 | 2010年5月29日 | 岡山市デジタル ミュージアム(岡山) |
| 第48回日本糖尿病学会中国四国地方会 | 愛媛大学糖尿病内科 大澤春彦教授 座長:石田和史 | 2010年10月30日 | 愛媛県県民文化会館 (松山) |

消化器内科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|------------------|------------------------|-------------|-------------------------|
| 第21回日本老年医学会中国地方会 | 日本老年医学会 座長:徳毛宏則 | 2009年11月14日 | 広島市 広島国際会議場 |
| 第15回PEG・在宅医療研究会 | PEG・在宅医療研究会 座長:徳毛宏則 | 2010年9月11日 | 横浜市 横浜国際会議場 |
| 第46回日本胆道学会 | 日本胆道学会 座長:徳毛宏則 | 2010年9月23日 | 広島市 リーガロイヤル ホテル広島 |

小児科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|----------------|--------|-------|----------|
| 第41回広島小児循環器研究会 | 古井潤 | | |

外科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|---------------|--------------------|------------|-----------------|
| 佐伯地区医師会学術講演会 | 佐伯地区医師会 座長:中光篤志 | 2010年6月22日 | 佐伯地区医師会館 |
| 第33回広島県厚生連医学会 | 広島厚生連 座長:中光篤志 | 2011年2月19日 | 大手町JAビル (広島) |

| | | | |
|--------------|------------------|-----------|--------|
| 広島外科会(小腸・大腸) | 広島外科会 座長:香山茂平 | 2011年3月4日 | 広島医師会館 |
|--------------|------------------|-----------|--------|

乳腺外科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|---------|--------------------|------------|----------|
| 広島乳腺研究会 | 広島乳腺事務局 座長:船越真人 | 2010年2月20日 | 広島国際会議場 |

整形外科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|-------------------------|------------------------------|------------|----------|
| 第38回日本脊椎脊髄病学会 | 大阪南医療センター 米延策雄 座長:藤本吉範 | 2009年4月23日 | 神戸 |
| 第39回日本脊椎脊髄病学会 | 高知大学整形外科 谷俊一 座長:藤本吉範 | 2010年4月22日 | 高知 |
| 第9回広島 Bone & Joint セミナー | 広島大学病院 越智光夫 座長:藤本吉範 | 2011年2月22日 | 広島 |

耳鼻咽喉科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|--|---------|------------|----------|
| 日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会・広島県耳鼻科医会 平成21年度学術講演会 | 座長:兼見良典 | 2009年4月11日 | 広島国際会議場 |

緩和ケア科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|--|---------|-------------|-------------------|
| 地域住民対象緩和ケア研修会「一般病棟も緩和ケアの場」 | 座長:小松弘尚 | 2009年8月3日 | 廿日市商工保険会館 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会「がん患者さんの心のケア」 | 座長:小松弘尚 | 2009年12月10日 | JA広島総合病院 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会「在宅緩和ケア講演会」 | 座長:小松弘尚 | 2010年1月16日 | 廿日市文化ホール さくらびあ |
| 地域医療者対象緩和ケア研修会 「在宅における緩和ケアー病院から在宅に向けてー」 | 佐藤澄香 | 2010年3月4日 | JA広島総合病院 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会「共に支え共に生きる」 | 座長:小松弘尚 | 2011年1月22日 | 廿日市商工保険会館 |
| JAグループ広島県福祉大会「緩和ケアってなあに？」 | 馬庭恭子 | 2011年1月28日 | 広島国際会議場 |

病理研究検査科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|-------------------|--------|--------------------|-----------------------|
| 第48回日本臨床細胞学会 秋期大会 | 座長:臺丸裕 | 2009年 10月30、31日 | JALリゾートシー ホークホテル福岡 |

中央放射線科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|--------------------------------|------------------------|--------------------|------------------|
| 日本放射線技術学会第66回総会学術大会 | 石井勉 座長:山口裕之 | 2010年4月8-11日 | 横浜・ パシフィコ横浜 |
| 日本放射線技術学会第38回秋季学術大会 | 梁川功 座長:山口裕之 | 2010年 10月14-16日 | 仙台・ 仙台国際センター |
| 乳腺画像セミナー(座長+症例解説) | GEヘルスケア 座長:小濱千幸 | 2010年11月21日 | 福岡国際会議場 |
| 第20回日本乳癌検診学会 | 座長:小濱千幸 | 2010年11月20日 | 福岡国際会議場 |
| 第37回秋季学術大会モーニングフレッシューズセミナー | 日本放射線技術学会 座長:小濱千幸 | 2009年10月23日 | 岡山国際会議場 |
| 平成21年度 全国自治体病院協議会 MMG技術講習会(講師) | 全国自治体病院協議会 座長:小濱千幸 | 2010年9月10-12日 | 広島市民病院 |
| おしえて村上先生 | ひろしま乳房画像研究会 座長:小濱千幸 | 2010年2月11日 | 広島国際大学 教育センター |

中央放射線科

| 学会名 | 開催者・座長 | 開催年月日 | 開催地・開催場所 |
|-------------------------------|----------------------------------|-------------|--------------------|
| 広島マンモグラフィ講習会(講師+実行委員) | 広島マンモグラフィ講習会 実行委員会 座長:小濱千幸 | 2010年3月6-7日 | 広島大学病院 |
| 広島プレストケアセミナー(パネルディスカッションパネラー) | 座長:小濱千幸 | 2010年10月23日 | 広島YMCA |
| 広島県マンモグラフィ検診従事者研修 | 広島県 座長:小濱千幸 | 2010年12月19日 | 広島市民病院 |
| 第25回核医学夢工房 | 日本放射線技術学会 中国四国部会 座長:高畑明 | 2010年11月27日 | 岡山大学病院 |
| 第11回 安芸RI倶楽部勉強会 | 座長:高畑明 | 2011年1月21日 | 広島 |
| 第11回 CTテクノロジーセミナー | イーザイ 座長:高橋昌史 | 2010年2月27日 | 広島 |
| 第9回 高速らせんCT技術セミナー | 高橋昌史 | 2009年4月25日 | 広島 |
| 第7回 広島国際フォーラム | 高橋昌史 | 2009年8月30日 | 広島 |
| 第106回広島県放射線治療技術研究会 | 田丸隆行 | 2010年6月5日 | 広島県環衛ビル |
| 第108回広島県放射線治療技術研究会 | 田丸隆行 | 2010年12月4日 | 県立広島病院 |
| 長野県CT撮影技術研究会第10回CTセミナー | 山口裕之 | 2010年2月19日 | 松本市・林友ホール |
| 2010年度広島国際大学臨床実習講義 | 山口裕之 | 2010年5月14日 | 広島・広島国際大学 |
| 第37回 CTテクノロジー勉強会 | 重田祐輔 | 2010年5月7日 | 広島・広島コミュニケーションオフィス |

研究会講演・発表

院長

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|---------------|------|------------------------|----------------|
| 佐伯区医師会学術講演会、特別講演 | 広島県の医師事情 | 福田康彦 | 2010年2月9日 佐伯区医師会館 | |
| 廿日市ロータリークラブ例会、招待講演 | 廿日市市とJA広島総合病院 | 福田康彦 | 2010年6月14日 サンプラザホテル | |
| 第二回広島西部腎不全研究会、特別講演 | 広島の透析創生期 | 福田康彦 | 2010年7月8日 安芸グランドホテル | |

呼吸器内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------|-----------------------------|------|-------------------------|----------------|
| 薬剤師の連携を深める会in廿日市 | 喘息治療について ～ステロイド吸入薬の使い分け～ | 櫻井稯司 | 2010年3月11日 安芸グランドホテル | アストラゼネカ |

循環器内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|--|------|--|--|
| IB-IVUS・IBエコー研究会 | MDCTにおける冠縮性狭心症の plaque検討 —IB-IVUS所見との対比を含めて— | 三玉敦子 | 2009年1月10日 名古屋ルーセント タワー 16階 | IB-IVUS・ IBエコー研究会 ファイザー株式会社 テルモ株式会社 |
| ワーファリンセミナー | ワーファリン使用の実際と注意点 | 辻山修司 | 2009年4月21日 佐伯区民文化 センター | イーザイ |
| ワーファリンセミナー | ワーファリン使用の実際と注意点 | 辻山修司 | 2009年5月28日 廿日市商工会議所 | イーザイ |
| 第43回広島循環器研究会 | MDCTにおける冠縮性狭心症の plaque検討 | 三玉敦子 | 2009年6月6日 広島エソール 歯科医師会館 | イーザイ |
| 第13回せとうちCT勉強会 | FusionTMの有用性:冠動脈精査から 虚血領域の診断へ | 對馬浩 | 2009年7月4日 広島 | タイコヘルスケア |
| VASCULAR MEETING64 | 64列MDCTを使用した 虚血性心疾患の診断の現状と未来 | 藤井隆 | 2009年7月10日 アステラス製薬 広島第二会議室 (広島) | アステラス製薬 株式会社 |
| 第12回広島循環器画像診断研究会 | 当院における64列MDCTを用いた plaque診断 | 卜部洋司 | 2009年8月7日 リーガロイヤル ホテル広島(広島市) | 共催:広島循環器 画像診断研究会/ ノバルティス ファーマ株式会社 |
| 第5回せとうち心臓核医学研究会 | Card IQ FusionTMの有用性 | 對馬浩 | 2009年8月22日 広島 | |
| 益田赤十字病院 循環器内科講演会 | 64列MDCTを用いた冠動脈評価に ついて | 藤井隆 | 2009年9月11日 益田赤十字病院 8階大講堂 (益田市) | サノフィ・ アベンティス/ 益田赤十字病院 |
| 第44回広島循環器研究会 | 心サルコイドーシスの一例: 馬鹿にはいけない房室ブロック | 餘家浩樹 | 2009年12月5日 広島市エソール 歯科医師会館 | トーアエイヨー |
| 第57回中国地区冠動脈造影研究会 | 左前下行枝病変のインターベンション 困難であった1例 | 辻山修司 | 2009年6月6日 広島YMCAホール | |
| 佐伯地区学術講演会 | 抗血小板剤のあれこれ ～使い方・注意事項など～ | 辻山修司 | 2010年4月20日 佐伯地区医師会館 (広島) | 佐伯地区医師会・ アステラス製薬 株式会社 |
| 第16回広島循環器フォーラム21 | MDCTによる動脈硬化病変の評価 (薬剤の反応性) | 三玉敦子 | 2010年4月21日 広島 | |

実績

実績

循環器内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--|---|-------|--|--|
| 冠動脈CTをインターベンションに活かす会 | LightspeedTM VCT VISIONを使用した心臓CTの進歩 | 對馬浩 | 2010年5月8日 ANAクラウンプラザ ホテル (広島) | 第一三共株式会社 |
| 第2回VASCULAR MEETING64 | 64列MDCTを使用した 虚血性心疾患の診断の臨床を含めた 現状PART2 | 藤井隆 | 2010年5月21日 アステラス製薬 広島第二会議室 (広島) | アステラス製薬 株式会社 |
| インターベンション治療学術講演会 | MDCTの有用性 ～高脂血症治療薬の薬効評価～ | 藤井隆 | 2010年6月12日 ホテルセンチュリー 21広島(広島) | アステラス製薬 株式会社 |
| 賀茂東部医師会学術講演会 | 心房細動治療の現状 | 辻山修司 | 2010年6月18日 広島エアポート ホテル(三原) | 共催:賀茂東部 医師会/ ノバルティス ファーマ株式会社 |
| 第15回せとうち心臓CT勉強会 | IgG4関連冠動脈周囲炎に 冠動脈瘤を併発し 急性心筋梗塞を発症した一例 | 久留島秀治 | 2010年7月10日 岡山 | タイコヘルスケア |
| 佐伯高血圧治療を考える会 | 見逃してはいけない臨床における 高血圧診断と治療 ーRAS系を中心としてー | 藤井隆 | 2010年8月4日 佐伯区民文化 センター | 万有製薬株式会社/ シェリング・ プラウ株式会社 |
| 第1回広島心臓CT講演会 | 虚血性心疾患における MDCTの有用性 | 藤井隆 | 2010年9月1日 広島 | |
| PUFAフォーラム広島 <心血管イベント予防戦略における EPAの役割> | 広島総合病院での症例検討 | 藤井隆 | 2010年10月18日 オリエンタルホテル 広島 | 持田製薬株式会社 |
| 佐伯地区循環器懇話会 | 冠動脈プラークの性状診断と 血液マーカーの役割 | 藤井隆 | 2010年11月15日 安芸グランドホテル | アストラゼネカ 株式会社・ 塩野義製薬 |
| 第4回糖尿病専門医と循環器専門医が 握手をする会 | パネルディスカッション 「アディポネクチン」 | 藤井隆 | 2010年11月24日 ANAクラウンプラザ ホテル広島 | 糖尿病専門医と 循環器専門医が 握手をする会/ サノフィ・ アベンティス |
| 循環器懇話会 | 冠動脈プラークの性状診断と 血液マーカーの役割 | 藤井隆 | 2010年12月2日 小野田セントラル ホテル | アストラゼネカ 株式会社・ 塩野義製薬 |
| 第46回広島循環器研究会 | IgG4関連冠動脈周囲炎に 冠動脈瘤を併発し急性心筋梗塞を発症 した症例 | 前岡侑二郎 | 2010年12月11日 広島エソール 歯科医師会館 | |
| 大竹市医師会月例会 | 虚血性心疾患いかに診るか? ～MDCT up to dateを含めて～ | 藤井隆 | 2011年2月18日 大竹医師会館 | |
| GE Cardiac Seminar in Hiroshima | 心臓CTの画像診断の方向性 | 藤井隆 | 2011年2月27日 広島 リーガー ロイヤルホテル広島 | GEヘルスケア |
| 心不全の体液管理を考える会 | Tolvaptanの使用経験 | 辻山修司 | 2011年3月1日 広島 ホテルグランビア | 大塚製薬 |

腎臓内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 座長者名 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------|---------------------------------|-------|-------------------------|----------------|
| 第19回中国腎不全研究会 | 当院で経験した腎病変を有する IgG4関連疾患4例の検討 | 佐々木健介 | 2010年9月12日 国際会議場(広島) | |
| 第19回中国腎不全研究会 | 陰嚢水腫を合併した 腹膜透析患者の2例 | 倉恒正利 | 2010年9月12日 国際会議場(広島) | |
| 第19回中国腎不全研究会 | 還元型漂白剤使用による APD排液腐敗混濁防止の可能性 | 松尾晴美 | 2010年9月12日 国際会議場(広島) | |

糖尿病・代謝内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------------|--|------|--|------------------------------------|
| オピニオンリーダーに聞く | 「基礎インスリン」について | 石田和史 | 2009年4月8日 リーガロイヤル ホテル広島 (広島市中区) | サノフィ・ アベンティス |
| 第3回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | インスリン抵抗性をターゲットにした 経口剤治療の実際 | 石田和史 | 2009年4月14日 廿日市市商工保健 会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会 糖尿病対策 推進会議・ バイエル薬品 |
| 呉地区 糖尿病に関するセミナー | 糖尿病医療連携/パスを用いた 広島県西部地区糖尿病医療連携の 取り組み ～地域全体の糖尿病診療における質の 向上・均一化を目指して～ | 石田和史 | 2009年4月16日 呉阪急ホテル (広島県呉市) | サノフィ・ アベンティス |
| 小野薬品工業糖尿病勉強会 | 病態に応じた 経口血糖降下薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年4月24日 小野薬品工業(株) 広島支店 (広島市南区) | 小野薬品工業 |
| 広島市佐伯区糖尿病診療連携パス説明会 | 当院糖尿病専門診療の実態と 医療連携の提言 | 石田和史 | 2009年5月19日 広島市佐伯区民文化 センター (広島市佐伯区) | 広島市佐伯区 医師会 |
| 第5回DMチーム医療勉強会in広島世話人会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年6月1日 オリエンタルホテル 広島 (広島市中区) | 日本イーライリリー |
| インスリンアナログ検討会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年6月12日 鹿児島サンロイヤル ホテル (鹿児島県鹿児島市) | 日本イーライリリー |
| 糖尿病治療学術講演会 | 糖尿病専門外来における 経口血糖降下薬治療の実際 | 石田和史 | 2009年6月17日 オリエンタルホテル 広島 (広島市中区) | サノフィ・ アベンティス |
| 福岡インスリン療法研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年6月26日 ホテル日航福岡 (福岡県福岡市) | 日本イーライリリー |
| 山県郡学術勉強会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年7月3日 みちづれ(広島県 山県郡北広島町) | キッセイ薬品 |
| Lilly Web Conference | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年7月9日 全国配信 (ANAクラウン プラザホテル広島) | 日本イーライリリー |
| 大竹市医師会糖尿病地域医療連携 パス説明会 | 広島県西部地区における 糖尿病地域医療連携の提言 | 石田和史 | 2009年7月14日 大竹市医師会 ダイケアセンター (大竹市) | 大竹市医師会 |
| 山口県インスリン療法懇話会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年7月17日 ホテルサンルート 徳山 (山口県周南市) | 日本イーライリリー |
| Lilly Web Conference | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年7月29日 全国配信 (ANAクラウン プラザホテル広島) | 日本イーライリリー |
| 北九州インスリン療法研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年7月31日 パークサイドビル (福岡県北九州市) | 日本イーライリリー |

糖尿病・代謝内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------------------|---|------|--|------------------------------|
| インスリン治療研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年8月7日 横浜ベイシエラトン ホテル (神奈川県横浜市) | 日本イーライリリー |
| 第4回広島県西部地区糖尿病医療連携を 進める会 | 糖尿病非専門医でも可能な インスリン療法のイロハ | 石田和史 | 2009年8月11日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 持田製薬 |
| 札幌西糖尿病講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年9月11日 札幌ホテルヤマチ (北海道札幌市) | 日本イーライリリー |
| 防府医師会学術講演会 | 糖尿病神経障害の早期診断と 治療戦略 ～薬物は如何に用いるべきか?～ | 石田和史 | 2009年9月25日 防府グランドホテル (山口県防府市) | 日本イーライリリー |
| 東備インスリン治療懇話会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年10月2日 おさふね サービスエリア (岡山県瀬戸内市) | 日本イーライリリー |
| 第6期島根県糖尿病療養指導士研修会 | 糖尿病神経障害 ～神経障害をいかにビジュアル化する か?～ | 石田和史 | 2009年10月3日 島根県立大学 短期大学部 (島根県松江市) | 島根県糖尿病 療養指導士認定機構 |
| 佐賀インスリン治療研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年10月16日 ホテルマリターレ 創世佐賀 (佐賀県佐賀市) | 日本イーライリリー |
| 第18回島根糖尿病セミナー | 糖尿病神経障害の早期診断と 治療戦略 ～薬物は如何に用いるべきか?～ | 石田和史 | 2009年10月17日 チェリヴォホール (島根県雲南市) | 島根糖尿病 セミナー・ バイエル薬品 |
| Lilly Web Conference | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年10月28日 ホテルマリターレ 全国配信 (オリエンタル ホテル広島) | 日本イーライリリー |
| 第4回尾道DMフォーラム | 糖尿病医療連携パスを用いた 広島県西部地区糖尿病医療連携の 取り組み ～地域全体の糖尿病診療における質の 向上・均一化をめざして～ | 石田和史 | 2009年10月29日 グリーンヒルホテル 尾道 (広島県尾道市) | 万有製薬 |
| 呉 インスリン研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年11月12日 CLAYTON BAY HOTEL (広島県呉市) | 日本イーライリリー |
| 三原市医師会学術講演会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年11月13日 三原シティホテル (広島県三原市) | 小野薬品工業 |
| 第68回尾道市医師会生活習慣病関連講演会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年11月18日 尾道国際ホテル (広島県尾道市) | 小野薬品工業 |
| 萩市医師会学術講演会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年11月20日 千春楽別館 (山口県萩市) | 小野薬品工業 |
| 広島インクレチンフォーラム2009 | 電流知覚閾値検査(CPT)の臨床成績 から見えてきた糖尿病神経障害の 早期診断と薬物療法のコツ | 石田和史 | 2009年11月26日 ホテルグランヴィア 広島 (広島市南区) | 小野薬品工業 |
| 沖縄県最新の糖尿病治療を考える会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年11月28日 沖縄県医師会館 (沖縄県沖縄市) | 日本イーライリリー |

| | | | | |
|----------------------------------|---|------|---|--------------------------------|
| 志太・榛原地区糖尿病治療学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年12月4日 藤枝エミナス (静岡県藤枝市) | 日本イーライリリー |
| リリー アナログインスリンについて 語る会 in姫路 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2009年12月5日 姫路キャッスル グランヴィリオ ホテル (兵庫県姫路市) | 日本イーライリリー |
| 第5回広島県西部地区糖尿病医療連携を 進める会 | 2型糖尿病における1日2回 インスリン療法の進め方 | 石田和史 | 2009年12月10日 はつかいち文化ホール さくらびあ (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 田辺三菱製薬 |
| 第5回広島県西部地区糖尿病医療連携を 進める会 | 当院糖尿病外来患者における マウスケアの実態と合併症との関連性 | 岸本瑠衣 | 2009年12月10日 はつかいち文化ホール さくらびあ (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 田辺三菱製薬 |
| 安芸高田市医師会学術講演会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2009年12月15日 JA広島厚生連 吉田総合病院 (広島県安芸高田市) | 小野薬品工業 |
| 宮崎県北 糖尿病懇話会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年1月15日 ベルフォート日向 (宮崎県日向市) | 日本イーライリリー |
| 竹原市医師会学術講演 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2010年1月27日 竹原市保健センター (広島県竹原市) | 小野薬品工業 |
| 第7回群馬糖尿病治療研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年2月5日 群馬ロイヤルホテル (群馬県前橋市) | 日本イーライリリー |
| ヒューマログ混合製剤発売5周年記念講演会 | 日常診療の経験から見えた ミックス25と30ミックスの相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年2月17日 オリエンタルホテル 広島 (広島市中区) | 日本イーライリリー |
| つくばJOY会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年2月19日 つくば国際会議場 (茨城県つくば市) | 日本イーライリリー |
| 糖尿病学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年3月5日 ANAクラウンプラザ ホテル福岡 (福岡県福岡市) | 日本イーライリリー |
| 呉地区糖尿病勉強会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2010年3月12日 シティープラザ すぎや (広島県呉市) | キッセイ薬品工業 |
| 第3回中四国糖尿病研修セミナー | 教育講演 神経障害の診断と最新の治療 | 石田和史 | 2010年3月14日 岡山コンベンション センター (岡山県岡山市) | 日本糖尿病学会 中国四国支部 |
| 広島プライマリケア・セミナー ～進化する糖尿病診療を学ぶ～ | 血糖降下薬の位置付け(その選び方) | 石田和史 | 2010年3月25日 ホテルグランヴィア 広島 (広島市南区) | 小野薬品工業 |
| 安来市医師会学術講演会 | 病態を意識した 糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2010年3月26日 安来市医師会館 (島根県安来市) | 小野薬品工業 |
| 富士糖尿病治療学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年4月2日 ホテルグランド富士 (静岡県富士市) | 日本イーライリリー |
| 第6回広島県西部地区糖尿病医療連携を 進める会 | 速報!DPP-IV阻害薬の臨床効果 | 石田和史 | 2010年4月14日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 興和創薬 |

糖尿病・代謝内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------------------|---|------|---|------------------------------|
| 第6回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 旧世代SU薬からの切り替えからみたグリメピリドの容量的糖代謝改善作用の差異 | 一町澄宜 | 2010年4月14日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 興和創薬 |
| 岐阜インスリンアナログ勉強会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年4月23日 県民文化ホール 未来会館 (岐阜県岐阜市) | 日本イーライリリー |
| 第4回栃木実践インスリン療法研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年5月7日 ホテルサンルート 栃木 (栃木県栃木市) | 日本イーライリリー |
| 浜田医療センター糖尿病セミナー | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年5月14日 浜田医療センター (島根県浜田市) | 日本イーライリリー |
| JA広島総合病院オープンカンファレンス | SU薬二次無効にもかかわらず、グリニド薬と持効型インスリンアナログの併用で血糖コントロールが安定した高齢者2型糖尿病の1例 | 石田和史 | 2010年5月19日 JA広島総合病院 大会議室 (広島県廿日市市) | 広島総合病院 |
| インスリン治療勉強会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年6月3日 済生会山口総合病院 (山口県山口市) | 日本イーライリリー |
| 第5回群馬インスリン治療情報交換会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年6月4日 マーキュリーホテル (群馬県前橋市) | 日本イーライリリー |
| 第23回高知糖尿病チーム医療研修会 | 電流知覚閾値検査(CPT)の臨床成績から見えてきた糖尿病神経障害の早期診断と薬物療法のコツ | 石田和史 | 2010年6月6日 高知新聞放送会館 (高知県高知市) | 第一三共 |
| 第8回広島糖尿病疾患研究会 | 2型糖尿病における シタグリプチンの臨床効果 ～新しい治療薬の可能性を探る～ | 石田和史 | 2010年6月11日 リーガロイヤル ホテル広島 (広島市中区) | 万有製薬 |
| 埼玉東部地区インスリン療法勉強会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年6月18日 春日部市 商工振興センター (埼玉県春日部市) | 日本イーライリリー |
| 筑豊糖尿病学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年6月25日 のがみプレジデント ホテル (福岡県飯塚市) | 日本イーライリリー |
| 埼玉インスリン勉強会 | 日常診療の経験から見えた ミックス25と30ミックスの相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年7月2日 ラフレさいたま (埼玉県さいたま市) | 日本イーライリリー |
| OYUの会大分県由布地区糖尿病アップデート学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年7月9日 ゆふいんホテル 秀峰館 (大分県由布市) | 日本イーライリリー |
| 佐伯クリニックズグループ学術講演会 | 経口血糖降下薬治療の新たな展開 | 石田和史 | 2010年7月14日 広島市佐伯区民 文化センター (広島市佐伯区) | 広島市佐伯区医師会 小野薬品工業 |
| 呉 インスリン研究会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年7月22日 呉阪急ホテル (広島県呉市) | 日本イーライリリー |
| Niigata Insulin Seminar | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年7月30日 新潟ブランドホテル (新潟県新潟市) | 日本イーライリリー |

| | | | | |
|---------------------------------|---|------|---|-------------------------------------|
| アピドラ発売1周年記念講演会 | グルリジンが他の超速効型インスリンアナログより有効性で優れた症例の特徴を探る | 石田和史 | 2010年7月31日 グランドプリンスホテル広島 (広島市南区) | サノフィ・アベンティス |
| 井笠地区糖尿病治療懇話会 | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年8月5日 笠岡グランドホテル (岡山県笠岡市) | 日本イーライリリー |
| 第4回小樽糖尿病談話会 | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年8月6日 グランドパーク小樽 (北海道小樽市) | 日本イーライリリー |
| 第7回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | インスリン分泌促進薬をどう使い分けるか? | 石田和史 | 2010年8月11日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策推進会議・ 帝人ファーマ |
| 第3回東広島糖尿病地域医療交流会 | 病態を意識した糖尿病治療薬使用の実際 | 石田和史 | 2010年8月20日 西条HAKUWAホテル (広島県東広島市) | 日本イーライリリー |
| 第6回広島西DMイブニングセミナー～オピニオンリーダーに聞く～ | 経口血糖降下薬治療の新たな展開 | 石田和史 | 2010年8月25日 オリエンタルホテル広島 (広島市中区) | 三和化学研究所 |
| Nagano Insulin Seminar | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年9月3日 ホテル国際21 (長野県長野市) | 日本イーライリリー |
| 第3回広島心臓病を語る会 | 当院で行っているインスリン治療の実際～各種インスリン製剤の特徴を語る～ | 石田和史 | 2010年9月7日 リーガロイヤルホテル広島 (広島市中区) | 万有製薬 |
| インスリン治療勉強会 | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年9月10日 川越東武ホテル (埼玉県川越市) | 日本イーライリリー |
| 新庄インスリン治療勉強会 | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年10月1日 ニューグランドホテル (山形県新庄市) | 日本イーライリリー |
| 広島プライマリケア・セミナー～糖尿病診療のピットフォール～ | 糖尿病治療薬の使い方 | 石田和史 | 2010年10月26日 リーガロイヤル広島 (広島市中区) | 興和創薬 |
| 三原市医師会内科会 | 当院で行っているインスリン治療の実際～各種インスリン製剤の特徴を語る～ | 石田和史 | 2010年11月2日 三原国際ホテル (広島県三原市) | サノフィ・アベンティス |
| 第31回呉糖尿病勉強会 | 電流知覚閾値検査(CPT)を用いた糖尿病末梢神経障害の新たな展開 | 石田和史 | 2010年11月17日 呉森沢ホテル (広島県呉市) | 広島県医師会糖尿病対策推進会議・ 小野薬品工業・ 第一三共 |
| さいたま南部地区インスリン治療研究会 | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年11月19日 川口総合文化センター (埼玉県川口市) | 日本イーライリリー |
| 糖尿病治療カンファレンス | 日常診療の経験から見えたインスリンアナログ製剤の相違～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年11月26日 陣内病院 (熊本県熊本市) | 日本イーライリリー |
| 第3回糖尿病チーム医療を考える会 | 糖尿病合併症～そのポイントを理解しましょう～ | 石田和史 | 2010年11月2日 宇部全日空ホテル (山口県宇部市) | サノフィ・アベンティス |
| 第4回中四国糖尿病研修セミナー | チーム医療の観点から構築する病診連携システム | 石田和史 | 2010年12月5日 広島国際会議場 (広島市中区) | 日本糖尿病学会 中国四国支部 |
| 第8回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 糖尿病診療に役立つ臨床検査の活用法 | 石田和史 | 2010年12月8日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策推進会議・ ノバルティスファーマ |

糖尿病・代謝内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------------|---|------|---|-------------------|
| 第6回奈良県糖尿病セミナー | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2010年12月17日 ホテル日航奈良 (奈良県奈良市) | 日本イーライリリー |
| 第2回水戸Diabetes Conference | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2011年1月14日 テラスザガーデン 水戸 (茨城県水戸市) | 日本イーライリリー |
| 学術講演会 | DPP-4阻害薬の臨床効果を探る ～シタグリプチンを1年間使用して見 えてきたこと～ | 石田和史 | 2011年1月20日 ホテル日航福岡 (福岡県福岡市) | 小野薬品工業 |
| 両毛地区糖尿病治療を考える会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2011年1月21日 じばさんセンター (栃木県足利市) | 日本イーライリリー |
| 第5回福山プライマリー研究会 | DPP-4阻害薬の臨床効果を探る ～シタグリプチンを1年間使用して見 えてきたこと～ | 石田和史 | 2011年1月25日 福山ニュー キャッスルホテル (広島県福山市) | MSD |
| 学術講演会 | DPP-4阻害薬の臨床効果を探る ～シタグリプチンを1年間使用して見 えてきたこと～ | 石田和史 | 2011年1月28日 垣田病院 (鳥取県倉吉市) | 小野薬品工業 |
| 学術講演会 | DPP-4阻害薬の臨床効果を探る ～シタグリプチンを1年間使用して見 えてきたこと～ | 石田和史 | 2011年1月29日 松江テルサ (島根県松江市) | 小野薬品工業 |
| 島根県糖尿病療養指導士の会 研修会 | 新時代を迎えた糖尿病治療薬 ～どこが今までと変わったのかを理解 しましょう～ | 石田和史 | 2011年1月30日 出雲医師会館 (島根県出雲市) | 島根県糖尿病 療養指導士の会 |
| 第33回JA広島厚生連医学会 | 広島県西部地区糖尿病地域連携パス運 用開始2年半での成果をふりかえる | 石田和史 | 2011年2月19日 JAビル (広島市中区) | JA広島厚生連 |
| 糖尿病治療学術講演会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2011年2月25日 ヒルトン福岡 シーホーク (福岡県福岡市) | 日本イーライリリー |
| 糖尿病連携の会 | 日常診療の経験から見えた インスリンアナログ製剤の相違 ～似て非なる製剤の違いを探る～ | 石田和史 | 2011年3月31日 津山国際ホテル (岡山県津山市) | 日本イーライリリー |

消化器内科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|---------------------------------------|------|----------------------|-----------------------------|
| ホワイト会講演会 | 胃瘻による栄養投与の実際 | 徳毛宏則 | 2009年9月3日 広島県医師会館 | ホワイト会 |
| 第4回、広島PDNセミナー | 胃瘻造設とその関連事項 | 徳毛宏則 | 2010年6月19日 呉市 | PEGドクターズ ネットワーク |
| 第260回、広島胃と腸疾患研究会 | 指定発言 | 古土井明 | 2010年8月31日 広島市 | 広島大学第一内科 エーザイ株式会社 |
| 第22回、広島ヘリコバクター研究会 | コメンテーター [H.Pylori・・・何をどう除菌するのか!?!] | 古土井明 | 2010年10月5日 広島市 | 広島大学第一内科 広島市 |
| 第22回、広島プライマリ・ケア研究会 | パネルディスカッション 「胃瘻の光と影」 | 徳毛宏則 | 2011年3月10日 広島市 | 広島プライマリ・ ケア研究会 広島県医師会 |

外科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------------|-------------------------------------|------|--------------------------------|------------------|
| 広島県病院薬剤師会東支部研修会 | がん治療専門医が望む 病院薬剤師の在り方 | 今村祐司 | 2010年9月1日 福山ニュー キャッスルホテル | 広島県病院 薬剤師会東支部 |
| 第9回広島ICT活動研修会 | ICT活動における結核対策の現状 | 今村祐司 | 2010年10月23日 大正製薬広島支店 | 広島ICT活動研修会 |
| 佐伯地区医師会勉強会 | 最新の胃癌治療 | 加納幹浩 | 2010年11月24日 佐伯区医師会館 | 佐伯地区医師会 |
| H22年度廿日市市学校保健会 研究協議会 | 佐伯地区医師会・感染症ネットワーク が見た新型インフルエンザ流行 | 今村祐司 | 2010年12月9日 廿日市市 商工保健会館 | 廿日市市 学校保健会 |
| 佐伯区医師会勉強会 | 最新の胃癌治療 | 加納幹浩 | 2011年2月16日 佐伯区民 文化センター | 佐伯区医師会 |

乳腺外科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------|--|------|-----------------------|----------------|
| 広島乳腺研究会 | 3D-CT-lymphographyを用いた術前 axillary lymph node mapping | 船越真人 | 2010年2月20日 広島国際会議場 | |
| 日本乳房画像研究会 | 3D virtual navigation CT-lymphographyによる センチネルリンパ節同定の有用性 | 船越真人 | 2010年3月20日 明石市民会館 | |

整形外科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------|-------------------------------|------|------------------------|----------------|
| 第7回広島ベイサイド骨関節研究会 | 高齢者の腰椎疾患 ー骨セメントを応用した低侵襲手術ー | 藤本吉範 | 2010年11月17日 広島 | |
| 第21回腰痛シンポジウム | プロサッカー選手の腰痛と治療 | 藤本吉範 | 2010年3月6日 東京国際フォーラム | |
| 第49回関東整形外科災害外科学会 | 高齢者の腰椎疾患 ー病態と低侵襲手術ー | 藤本吉範 | 2009年4月20日 東京 | |

眼科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------------|-----------------------------|------|---|----------------|
| ハイパジール発売10周年記念学術講演会 | ハイパジールコーワ点眼液 0.25%の 使用経験 | 二井宏紀 | 2009年10月17日 広島リーガロイヤル ホテル (広島) | 興和創薬 |

放射線治療科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------------------|-------------------------------|---------------|--------------------------------|----------------|
| 第4回広島放射線治療研究会 | 当院における前立腺癌に対する IMRT治療成績と考察 | 桐生浩司・ 幸慎太郎 | 2011年3月19日 センチュリー21 (広島) | |
| 第79回JA広島総合病院 オープンカンファレンス | 体幹部定位照射について | 幸慎太郎 | 2010年10月20日 当院大会議室 | |
| 第4回広島放射線治療研究会 | 前立腺全摘除術後における 放射線治療の検討 | 幸慎太郎・ 桐生浩司 | 2011年3月19日 センチュリー21 (広島) | |

放射線治療科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|----------|------|--|----------------|
| 第2回中・四国放射線治療夏季セミナー | 肺癌の放射線治療 | 幸慎太郎 | 2010年8月29日 三和の森リゾート& カンファレンス センター | |

緩和ケア科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------|---|-------------------------------|---------------|----------------|
| 第58回日本農村医学会学術総会 | JA広島総合病院緩和ケアチームの 現状と課題 ～緩和ケアチームに対するアンケート 調査から～ | 高原さおり 小松弘尚 正島忠貴 藤田寿賀 | パシフィコ横浜 | |

外来化学療法室

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------------|------------------------------|------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 第102回広島県放射線治療研究会 教育講演 | がん患者に関わるがん化学療法看護認定 看護師の役割 | 野村昌代 | 2009年7月4日 広島国際大学 (東広島キャンパス) | |
| 第5回広島プレストケアセミナー | ジェネラリストとプロフェッショナル との違い | 野村昌代 | 2009年12月19日 広島YMCA会館 | 広島市立広島市民病 院 乳腺・内分泌科 大谷彰一郎(座長) |
| 第2回チームで実践！がん薬物療法講演会 | チームで実践！大腸がん治療 | 野村昌代 | 2010年2月27日 国際ファッション センター | |

病理研究検査科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------------------------|--------|------|--------------------|----------------|
| 平成21年度初心者講習会 (細胞検査士資格認定試験直前講習会) | 呼吸器 | 占部悦子 | 2009年10月4日 広島大学 | |

看護部長室

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|------------------------------------|--|---------------------------------|-------------------------|
| 認定看護管理者サードレベル教育課程 | 保健医療福祉組織論 「ヘルスサービスの連携」 | 宮田恵子 | 2010年12月8日 静岡県看護協会 | 社団法人・ 静岡県看護協会 |
| 大学・高校実践ソリューションセミナー | 「教育」と「臨床」の実践的連携を 目指した患者シミュレーション | 高橋恵 (山陽看護専 門学校)、 寺田英子、 丸澤葉志子 | 2010年12月2日 株式会社 内田洋行 大阪支店 | 株式会社 内田洋行、 株式会社 京都科学 |
| 広島県看護協会看護生涯教育 | 新人看護師の実地指導者研修 「JA広島総合病院の新人教育」 | 寺田英子 | 2010年1月20日 広島県看護協会会館 | 社団法人 広島県看護協会 |

看護部西4階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------------------|----------------------------------|----------------------|-----------------|----------------|
| 平成21年度広島県母性衛生学会 | 当院における助産師確保対策 | 悦喜桂子 宮田恵子 中西慶喜 | 広島大学医学部 広仁会館 | |
| 平成21年度広島県看護協会廿日市支部 看護研究発表会 | 小児科入院中の末梢持続点滴に 関する輸液トラブルの実態調査 | 井本彩 鶴合理恵 戸田敬子 | JA広島総合病院 | |

看護部西5階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------------------|------------------------------------|--------------|---------------|----------------|
| 平成21年度広島県看護協会廿日市支部 看護研究発表会 | 脊椎手術後の患者に対する清潔援助 ～抜糸前シャワー浴を試みて～ | 遠山美加 高見直子 | JA広島総合病院 | |

看護部西6階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------|
| | 褥創予防と管理 | 皮膚・排泄ケ ア認定看護師 藤村雅子 | 2010年4月27日 大野浦病院 | |
| 地域医療従事者研修会 | 褥創の治療と管理 | 皮膚・排泄ケ ア認定看護師 藤村雅子 | 2010年9月13日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| 地域医療従事者研修会 | 褥創予防とスキンケア | 皮膚・排泄ケ ア認定看護師 藤村雅子 | 2009年7月3日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| 介護教室 | 褥創予防とスキンケア | 皮膚・排泄ケ ア認定看護師 藤村雅子 | 2009年10月28日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| 地域医療従事者研修会 | 摂食・嚥下障害の看護 「食べる」を支える援助 | 摂食・嚥下障 害看護認定看 護師 藤本七津美 | 2009年11月25日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| | 摂食・嚥下障害の看護 「食べる」を支える援助 | 摂食・嚥下障 害看護認定看 護師 藤本七津美 | 2010年3月5日 特別養護老人ホーム 洗心園 | |
| | 摂食・嚥下障害の看護 「食べる」を支える援助 | 摂食・嚥下障 害看護認定看 護師 藤本七津美 | 2010年7月24日 一陽会 原田病院 | |
| 健康教室 | 健口に食べる ～安全に・楽しく・おいしく 食べましょう～ | 摂食・嚥下障 害看護認定看 護師 藤本七津美 | 2011年2月22日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| 地域医療従事者研修会 | 摂食・嚥下障害の看護 「食べる」を支える援助～実践編～ | 摂食・嚥下障 害看護認定看 護師 藤本七津美 | 2010年12月17日 JA広島総合病院 大会議室 | |
| ヘルパー研修会 | 褥創予防とスキンケア | 皮膚・排泄ケ ア認定看護師 藤村雅子 | 2009年6月25日 JA広島市 | |

看護部西7階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------------|---|--------------|---------------|----------------|
| 第40回日本看護学会学術集会－看護総合－ | ポータブルトイレ使用時における 排泄臭に対する調査 ～消臭対策に対する看護師と患者の 意識のズレ～ | 坂手友子 米屋奈美 | 国立京都国際会館 | |
| 第62回日本消化器内視鏡技師学会 | 内視鏡的粘膜下層剥離術の記録用紙の 改善 ～クリニカルパスとフローシートを 活用した記録用紙の作成～ | 田島由貴 船津史華 | 広島国際会議場 | |

看護部西7階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------|--|---|-------------------------------------|-----------------|
| 第6回広島県消化器内視鏡技師研究会 | 内視鏡的粘膜下層剥離術の記録用紙の改善 ～クリニカルパスとフローシートを活用した記録用紙導入後の追跡調査を行って～ | 田島由貴 久保田美子 平舛仁美 米田直美 山田小百合 石川知佳 宮本みい子 船津史華 本山敏恵 石崎淳子 | RCC文化センター | |
| 第64回日本消化器内視鏡技師学会 | 緊急内視鏡の現状 | 松下理恵 | 2010年 5月14～15日 きゅりあん (東京都) | 日本消化器内視鏡 技師会 |

看護部西8階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------|---|--|---------------------------------|----------------|
| 第35回日本看護研究学会学術集会 | 採血時の手袋着用率向上における 手袋素材の比較検討 | 廣川恵子 【神戸市看護 大学】 坂尻明美 岡田淳子 【日本赤十字 広島看護大学】 | パシフィコ横浜 | |
| 第24回日本がん看護学会学術集会 | 急性期病院における終末期がん患者の 療養上の意思決定を支える看護師長の 関わり | 坂尻明美 | 静岡県コンベンショ ンアーツセンターグ ランシップ | |

看護部東4階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------|---|--|---------------|----------------|
| 第58回日本農村医学会学術総会 | 放射線治療・化学療法中の頭頸部腫瘍 患者の看護師の口腔内アセスメントの 変化 ～患者記入用の口腔内チェック表を 作成して～ | 森川裕子 西本知可子 | パシフィコ横浜 | |
| 第38回日本老年看護学会 | 高齢者の白内障手術に対する点眼指導 ～現在の実態と今後の課題～ | 宮野裕子 畝小百合 | ビックパレット福島 | |
| 第40回日本小児看護学会 | 小児科外来と病棟との一元化の 取り組み～継続看護の評価～ | 磯辺利江 秦真規子 辻幸枝 松島加奈恵 波田朋子 戸田敬子 | 高知市文化プラザ | |

看護部東5階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------|-------------------------------------|--------------|---------------|----------------|
| 第20回佐伯地区医学会総会学術集会 | 経腸栄養器材の衛生管理における現状 ～細菌汚染に関する調査から～ | 里本昌子 石崎淳子 | 廿日市商工保健会館 | |

看護部東6階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------|--------------|------|------------------------------|----------------|
| 廿日市市五師士会第3回研修会 | 基本的な創傷ケアについて | 南部智江 | 2011年2月23日 廿日市市 商工保健会館 | 五師士会 |

看護部東8階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------------|--|--|--|--------------------------|
| 第14回日本糖尿病教育看護学会学術集会 | 糖尿病地域連携パスを用いた 広島県西部地区糖尿病医療連携の現状 ～地域の看護師と連携を進めるための 取り組み～ | 中元美恵 | 札幌コンベンション センター | |
| 第15回日本腹膜透析研究会総会学術集会 | 腎代替療法の説明を担当する 看護師の育成内容についての検討 | 村中好美 中元美恵 久保田瑞穂 手島未貴 今中貴美子 中田恵梨 | 静岡県コンベンシ ョンアーツセンターグ ランシップ | |
| 第15回日本腹膜透析研究会総会学術総会 | 聾啞者がAPD療法を自立するための 一考察 ～療法選択から導入期・在宅療養を 経験して～ | 中田恵梨 松尾晴美 手島未貴 森本郁子 今中貴美子 瀬戸田佳織 村中好美 | 静岡県コンベンシ ョンアーツセンターグ ランシップ | |
| 第54回日本透析医学会学術集会 | 慢性腎不全の治療選択 ～患者さんの希望を叶えるために～ | 村中好美 松尾晴美 手島未貴 今中貴美子 中田恵梨 | パシフィコ横浜 | |
| 第18回中国腎不全研究会 | 維持透析患者のカルニチン投与と ADL改善に関する検討 | 松尾晴美 上田美紀 手島未貴 今中貴美子 村中好美 | 広島国際会議場 | |
| 平成23年度広島県看護協会研修 成人看護 | 糖尿病血糖パターンマネジメント | 中元美恵 | 2009年6月18日 福山すこやか センター | 広島県看護協会 |
| 平成23年度広島県看護協会研修 成人看護 | 糖尿病血糖パターンマネジメント | 中元美恵 | 2009年6月25日 広島県看護協会会館 | 広島県看護協会 |
| 第26回呉糖尿病勉強会 | フットケア外来の立ち上げと運営 | 中元美恵 | 2009年8月18日 呉医療センター4階 地域医療研修センター | 第一三共株式会社 |
| 糖尿病における質の高い看護師 育成研修会 | フットケアの実際 | 中元美恵 | 2009年9月5日 香川県看護協会 看護研修センター | |
| 第30回愛知県糖尿病療養指導研究会 | 実践:血糖パターンマネジメント | 中元美恵 | 2009年11月29日 名古屋大学医学部 附属病院中央診療棟 3階講堂 | 一般社団法人 愛知県理学療法士会 他 |
| 糖尿病コメディカル勉強会 | 糖尿病教室と療養指導の実際 | 中元美恵 | 2009年12月5日 宇部全日空ホテル | サノフィ アベン ティス株式会社 |
| 第5回中四国糖尿病研修セミナー | 実践レポート「CDE実践:フットケアか ら見えるもの」 | 中元美恵 | 2011年3月13日 岡山コンベンション センター | 日本糖尿病学会 中国四国支部 |
| 四国地区企画糖尿病重症化予防研修会 | フットケアの実際予防のための セルフケア支援 | 中元美恵 | 2010年3月21日 愛媛大学医学部 看護学科 | 日本糖尿病教育・ 看護学会 |
| 第3回東広島糖尿病地域医療交流会 | 糖尿病療養指導の実際 「患者さんとのかわりから 学ぶことが沢山あります」 | 中元美恵 | 2010年8月20日 西条HAKUWA ホテル | 東広島糖尿病地域医 療交流会他 |

看護部東8階

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------------|----------------------------------|------|---------------------------------|-----------------------------|
| 広島糖尿病重症化予防(フットケア)研修会研修 | フットケアの実際 ～予防のためのセルフケア支援 | 中元美恵 | 2010年8月29日 広島大学大学院 保健学研究科 | 日本糖尿病教育・ 看護学会 |
| 第5回島根県糖尿病看護研究会 | 糖尿病足病変と療養支援 | 中元美恵 | 2010年10月31日 島根大学医学部 看護学科 | NPO法人 島根糖尿病療養 指導支援機構他 |
| 第2回山口市地域糖尿病連携 | 糖尿病地域連携 地域連携クリニカル パスの運用と今後の課題 | 中元美恵 | 2010年11月25日 山口ホテルかめ福 | 山口県山口健康 福祉センター |

手術室

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------|--|----------------------|----------------|----------------|
| 第23回日本手術看護学会年次大会 | 四点支持台を用いた腹臥位手術における 体圧分散の為の大腿部マットの工夫 ～スタッフをモデルとしての考察～ | 上田順子 中原薫 中野あゆみ | 幕張メッセ 国際会議場 | |

薬剤部

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------------------------|------------------------------|---------------|--------------------------------|--|
| 広島県病院薬剤師会学術講演会 | 教育講演「インスリン治療における薬 剤師の役割」 | 大田博子 | 2009年6月12日 ホテルグランヴィア 広島 | 広島県 病院薬剤師会 |
| 第3回外来化学療法・チーム医療研究会 | 「外来化学療法(大腸癌)」 | パネリスト 只佐正嗣 | 2009年9月27日 三井ガーデンホテル | ワイズ株式会社 |
| 広島病薬・薬業連携講演会 | インスリン治療者への 服薬支援のための基礎知識 | 大田博子 | 2009年10月14日 ホテルグランヴィア 広島 | 広島県 病院薬剤師会 |
| プラスケア スタイルセミナー2009 広島 | 「チームアプローチでエンパワーメン トする」 | パネリスト 角井碧 | 2009年11月18日 オリエンタルホテル 広島 | プラスケアスタイル セミナー世話人会 アークレイマーケ ティング株式会社 |
| 広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 意外とややこしくない? 経口糖尿病薬について | 角井碧 | 2010年4月14日 廿日市市 商工保健会館 | 広島県西部地区 糖尿病医療連携を 進める会 |
| 第32回厚生連薬剤師研修会 (中堅薬剤師フォローアップ) | 地域がん診療拠点病院において 薬剤部が担う役割とは | 中島恵子 | 2010年10月15日 新宿農協会館 | 日本文化厚生農業協 同組合連合会 |
| 第22回広島プライマリ・ケア研究会 | 「胃瘻の光と影」 | パネリスト 中島恵子 | 2011年3月10日 広島医師会館 | 広島県医師会, 広島県歯科医師会, 広島県薬剤師会, 広島県看護協会, 広島県社会福祉協議 会,広島県内科会, 広島県小児科医会 |

臨床研究検査科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------------------|-------------------|------|-------------------------------|-------------------|
| 第1回 血液研修会 | 血液塗抹標本作製法と染色法 | 霜津宏典 | 2009年5月23日 広島鉄道病院 | 広島県 臨床検査技師会 |
| 尿沈渣講習会 | 異形細胞 | 山下美香 | 2009年6月13日 広島大学医学部 保健学科 | (社)広島県 臨床検査技師会 |
| 第2回 血液研修会 | 伝染性単核球症の一症例 | 霜津宏典 | 2009年7月18日 広島大学 保健学科 | 広島県 臨床検査技師会 |
| 平成21年度中国地区 生物化学分析部門研修会 | 免疫学的測定法における乖離について | 福岡達仁 | 2009年9月6日 山陽女子短大 | 中国臨床検査技師会 |

| | | | | |
|---|---|------|---|-----------------------------------|
| 平成21年度検査研究部門研修会 形態検査部門 | 尿検査の基礎カトレーニング | 山下美香 | 2009年9月20日 宮崎大学医学部 講義実習棟 | (社)日本臨床検査 技師会 |
| 平成21年度島臨技一般検査研究班研修会 | 一般検査領域における 寄生虫検査の基礎 | 山下美香 | 2009年9月26日 パルメイト出雲4階 | (社)島根県 臨床検査技師会 |
| 平成21年度島臨技一般検査研究班研修会 | 一般検査領域における 穿刺液検査の基礎 | 山下美香 | 2009年9月26日 パルメイト出雲4階 | (社)島根県 臨床検査技師会 |
| シーメンス免疫セミナー | Centaur XPによる 心疾患マーカーの基礎的検討 | 谷口美佳 | 2009年10月3日 チサンホテル広島 | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 腎・泌尿器検査研修会 2009年度セミナー | 上皮細胞の基本的形態の見方 | 山下美香 | 2009年10月10日 日本大学医学部 1階 第1講堂 | 腎・泌尿器検査 研究会 |
| 血液形態セミナー2009 平成21年度形態検査部門血液検査領域 研修会 | 反応性病変と腫瘍性疾患の見分け方 ～末梢血液から考える～ | 三舛正志 | 2009年10月17日 広島鉄道病院 | (社)広島県 臨床検査技師会 |
| 平成21年度一般検査、 寄生虫分野研修会 | 尿検査、実力UPに向けての トレーニング | 山下美香 | 2009年11月7日 アルメイダ病院 研修会館 | (社)大分県 臨床衛生検査 技師会 |
| 平成21年度愛媛県臨床検査技師会 一般検査研修会 | 尿沈渣の基礎カトレーニング 愛媛編 | 山下美香 | 2009年12月6日 愛媛県立 医療技術大学 | (社)愛媛県 臨床検査技師会 |
| 一般検査研修会 | はじめての関節液検査と精液検査 入門編 | 山下美香 | 2009年12月11日 神戸市勤労会館 405号 | (社)兵庫県 臨床検査技師会 |
| 大阪府臨床検査技師会 一般検査部門研修会 | スキルアップのために 知っておきたい基礎知識 関節液検査と精液検査 | 山下美香 | 2009年12月12日 大阪医療技術 専門学校 2階 大教室 | (社)大阪府 臨床検査技師会 |
| 検査科研修会 | 尿沈渣の見方、考え方 | 山下美香 | 2009年12月16日 尾道看護専門学校 1階 | 厚生連 尾道総合病院 |
| 平成21年度形態検査部門一般領域研修会 | 炎症反応発症とそのメカニズム | 三舛正志 | 2010年2月6日 広島市民病院 9階講堂 | (社)広島県 臨床検査技師会 |
| 京都一般検査セミナー2010 | 見て感じて!ここが大事! あなたも出来る!上皮細胞分類 | 山下美香 | 2010年2月13日 キャンパスプラザ 京都 | (社)京都府 臨床検査技師会 |
| 第20回近畿地区臨床検査技師会 一般検査分野研修会 | 髄液検査 入門 -あなたも出来る技師になろう!- | 山下美香 | 2010年2月14日 アヤハレクサイド ホテル | 近畿地区 臨床検査技師会 |
| 第5回 血液研修会 | 骨髄異形性症候群の一症例 | 霜津宏典 | 2010年2月27日 広島大学保健学科 | 広島県 臨床検査技師会 |
| 岡山ヘマトロジーセミナー | 骨髄異形性症候群の一症例 | 霜津宏典 | 2010年3月27日 サンビーチ岡山 | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 形体検査部門 | 尿沈渣の基礎～応用編 | 山下美香 | 2010年3月27日 山口県総合保健会館 第2研修室 | (社)山口県 臨床検査技師会 |
| シーメンス関西イムノセミナー | 広島総合病院における 生化学・免疫検査室の運用について | 水野誠士 | 2010年5月15日 新大阪ワシントン ホテルプラザ | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 一般検査研修会 | 尿沈渣検査の基礎 | 山下美香 | 2010年6月12日 広島大学病院 大会議室 | (社)広島県 臨床検査技師会 |
| アークレイ臨床検査セミナー | 薬剤投与で見られる尿検査所見 尿の性状と尿沈渣 | 山下美香 | 2010年6月26日 KFC Hall (東京・両国) | アークレイマーケ ティング株式会社 |
| 第2回 血液研修会 | 寒冷凝集素症の一症例、 自己免疫性溶血性貧血の一症例 | 霜津宏典 | 2010年7月10日 広島大学保健学科 | 広島県 臨床検査技師会 |
| 平成22年度検査研究部門研修会 形態検査部門 | 尿沈渣検査 実施前の心構えと予備知識 | 山下美香 | 2010年7月17日 新潟大学医学部 医学科研究棟 | (社)日本臨床検査 技師会 |

臨床研究検査科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------------|-------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------|
| 生理検査研修会 | 心電図 虚血編 | 河内さおり | 2010年9月4日 県立広島病院 講義堂 | 広島県 臨床検査技師会 |
| 平成22年度 第2回形態検査部門研修会 | 尿検査から考えられる病態について | 山下美香 | 2010年10月17日 鳥取大学医学部 附属病院検査部3階 | (社)鳥取県 臨床検査技師会 |
| 一般検査研究班 尿沈渣研修会 | 尿検査物語!沈渣を見るための コツとポイント | 山下美香 | 2010年10月24日 熊本保健科学大学 | (社)熊本県 臨床検査技師会 |
| 愛媛県・南予支部合同一般検査研修会 | 知っておきたい尿検査のポイント | 山下美香 | 2010年11月27日 宇和島社会保険病院 | (社)愛媛県 臨床検査技師会 |
| 第10回玄海シンポジウム | もっと分かつよう髄液検査 | 山下美香 | 2011年2月5日 ナースプラザ福岡 | 九州臨床検査技師会 |
| 中国地区形態部門研修会 | 骨髄異形性症候群の一症例、 急性骨髄性白血病の一症例 | 霜津宏典 | 2011年2月6日 広島大学保健学科 | 中国臨床検査技師会 |
| 一般検査研修会 | 尿検査から考えられる病態 | 山下美香 | 2011年3月19日 パルメイト出雲4階 | (社)島根県 臨床検査技師会 |

中央放射線科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------|------------------|------|--------------------------|----------------|
| 広島GEMRIユーザーズミーティング | インフローインハンスの基礎的検討 | 池田将敏 | 2009年9月26日 安佐南区文化センター | GE Healthcare |

栄養科

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------|---|------|--------------------------------|------------------------------|
| 第6回広島NST研究会 | 長期経静脈・経管栄養による セレン欠乏をきたした小児の一例 | 中西弘子 | 2010年4月17日 広島国際会議場 | 大塚製薬株式会社 |
| 東西糖尿病をつなぐ会 | 糖尿病連携パスについて | 河本良美 | 2010年8月21日 JA広島総合病院 大会議室 | 万有製薬株式会社 シェリングプラウ 株式会社 |
| 第7回広島NST研究会 | 高齢・低肺機能肺癌患者に対する 周術期集学的治療における 栄養管理について | 八幡謙吾 | 2010年10月23日 広島国際会議場 | 大塚製薬株式会社 |
| 周南地域糖尿病チーム医療を考える会 | 糖尿病の食事指導 ～日々の指導より学んだこと～ | 河本良美 | 2010年12月18日 ピピ510(山口) | サノフィ・ アベンティス |

医療安全管理室

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------|-----------------------|------|---------------|----------------|
| 第58回日本農村医学会学術総会 | チーム医療における感染管理認定看護師の役割 | 今本紀生 | パシフィコ横浜 | |

PEGチーム

| 研究会名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------|-----------------|---|---------------|----------------|
| 第58回日本農村医学会学術総会 | PEGでつながる院内・院外連携 | 石崎淳子 松下理恵 本山敏恵 田島由貴 上野潤子 田地由紀乃 岡田佳奈子 古川尚子 藤本七津美 徳毛宏則 | パシフィコ横浜 | |

研究会座長

院長

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------|------|-------------------------|-----|-------------------------------|----------------|
| 第2回広島腎移植検討会 | 福田康彦 | 特別講演 腎移植におけるCANIについて | | 2010年9月30日 広島オリエンタル ホテル | |

呼吸器内科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------|------|---|---|--------------------------------|------------------|
| 第2回広島西部呼吸器セミナー | 櫻井穰司 | 一般演題2題 | 餘家浩樹 (当院呼吸器内 科)、 松浦陽介 (当院呼吸器外 科) | 2011年6月25日 広島市佐伯地区 医師会館 | ベーリンガー、 ファイザー |
| 第1回広島西部呼吸器セミナー | 櫻井穰司 | 『COPDをどう診るか—UPLIFTs 試験の結果および新COPDガイド ラインを踏まえて—』 | 広島大学病院 呼吸器内科 准教授 服部登 | 2011年11月25日 広島市佐伯地区 医師会館 | ベーリンガー、 ファイザー |

循環器内科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------------|------|--|-------------------------|--|--|
| 佐伯地区学術講演会 | 藤井隆 | JSHガイドライン2009から 考える高血圧治療戦略 ～合剤の位置付け～ | 神戸大学 江本憲昭 | 2009年4月21日 廿日市市 商工保健会館 (廿日市市) | 共催:佐伯地区医師 会/ノバルティス ファーマ株式会社 |
| 第12回広島循環器画像診断 研究会 | 藤井隆 | 冠動脈CTの現状と新たな展開 | 慶應義塾大学 陣崎雅弘 | 2009年8月7日 リーガロイヤル ホテル広島 (広島市) | 共催:広島循環器画像 診断研究会/ ノバルティス ファーマ株式会社 |
| 佐伯地区医師会学術講演会 | 藤井隆 | 虚血性心疾患の診断と治療・ 専門施設に紹介する タイミングと退院後の治療 | 広島市民病院 循環器内科 石原正治 | 2009年12月22日 佐伯地区医師会館 | 佐伯地区医師会 |

糖尿病・代謝内科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------------------|------|---|--|--|--------------------------------|
| 佐伯地区医師会学術講演会 | 石田和史 | 2型糖尿病における DPP4阻害剤への期待 | 兵庫医科大学 内科学糖尿病 科 准教授 宮川潤一郎 先生 | 2009年11月24日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 万有製薬 |
| 糖尿病治療を考える会 | 石田和史 | 糖の日内変動から考える 糖尿病治療戦略 | 西条中央病院 藤原正純先生 | 2010年1月29日 オリエンタルホテル 広島 (広島市中区) | キッセイ薬品工業 |
| 第8回広島糖尿病疾患研究会 | 石田和史 | 日経米人における栄養摂取状況と 糖尿病発症の関連 | 広島大学 大学院 杉廣真史先生 | 2010年6月11日 リーガロイヤル ホテル (広島市中区) | 万有製薬 |
| 第22回広島糖尿病セミナー | 石田和史 | 糖尿病を伴った高齢者診療の実際 | 日本医科大学 老年内科教授 大庭建三先生 | 2010年7月10日 広島YMCA 国際文化ホール | 広島県医師会糖尿病 対策推進会議・ 日本ケミファ |
| 第4回糖尿病専門医と 循環器専門医が握手をする会 | 石田和史 | 2型糖尿病の分子メカニズムと 治療戦略～アディポネクチン・ AdipoRを中心に～ | 東京大学大学 院糖尿病・ 代謝内科 山内敏正先生 | 2010年11月24日 ANAクラウン プラザホテル広島 | サノフィ・ アベンティス |

消化器内科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------|------|---|--------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| 第5回広島胃瘻と経腸栄養療法研究会 | 徳毛宏則 | 特別講演2 「リハビリテーションから見た胃瘻の適応とタイミング」 | 広島県言語 聴覚士会会長 沖田啓子 | 2010年3月13日 広島国際会議場 (広島市) | 広島胃瘻と 経腸栄養療法 研究会 |
| 第22回広島ヘリコバクター研究会 | 小松弘尚 | パネルディスカッション 「H.Pylori・・・何をどう除菌するの か!?!」 | 広島鉄道病院 中尾円 | 2010年10月5日 広仁会館(広島市) | 広島大学第一内科 |
| 第7回広島NST研究会 | 徳毛宏則 | 要望演題・一般演題 | 社会保険 下関厚生病院 消化器外科 西村拓 | 2010年10月23日 広島国際会議場 (広島市) | 広島NST研究会 大塚製薬工場 |

外科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------------|------|--------|-----|----------------------------------|----------------|
| 大腸癌small conference | 中光篤志 | 一般講演 | | 2010年7月9日 ANAクラウン プラザホテル広島 | 中外製薬 |

整形外科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------------|------|--------------------------|----------------------|--------------------------------|----------------|
| 西部整形外科懇話会 | 藤本吉範 | 高齢者の腰椎疾患 —新たな治療法を目指して | 福島県立 医科大学 紺野慎一 | 2011年1月14日 リーガロイヤル ホテル広島 | 大日本製薬 |
| 第9回広島 Bone & Jointセミナー | 藤本吉範 | 腰椎椎間板ヘルニアの病態と 治療戦略 | 山梨大学 波呂浩孝 | 2011年2月12日 リーガロイヤル ホテル広島 | 旭化成ファーマ |

脳神経外科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------|------|----------------|-----|-------------------------|----------------|
| 広島大学脳神経外科フォーラム | 黒木一彦 | | | 2010年11月16日 広島大学広仁会館 | |
| 第23回広島救急初療研究会 | 黒木一彦 | CPA 症例に対する症例報告 | | 2011年1月25日 広島大学広仁会館 | |

泌尿器科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------------------|-------|--|-----------------------------------|---------------------------------------|--|
| 広島西部地区泌尿器科疾患 セミナー | 小深田義勝 | 前立腺肥大症の診断と薬物療法 | JA広島 総合病院 泌尿器科部長 望月英樹 | 2010年11月18日 セイエル 西北営業所(広島) | 株式会社セイエル 大鵬薬品工業株式会 社 グラクソ・スミスク ライン株式会社 |
| 前立腺癌Expert-Meeting | 小深田義勝 | ①後腹膜鏡補助腎部分切除の経験 ②最近当科にて経験した比較的稀 な疾患の紹介 | JA尾道総合病 院 泌尿器科 主任部長 森山浩之 | 2010年12月4日 グリーンヒルホテル 尾道 (広島) | 武田薬品工業 株式会社 |

放射線治療科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------|------|---------------------------------|-------------------------|------------------------------|----------------|
| 在宅緩和ケア講演会 | 桐生浩司 | 住みなれた我が家でよりよく生き るために～ホスピスの心～ | 山口赤十字病 院 副院長 末永和之 | 2010年1月16日 さくらびあ (廿日市) | JA広島総合病院 |

| | | | | | |
|---------|------|-------------|-------------------|---------------------------------|-------------------|
| 禁煙対策講演会 | 桐生浩司 | 医療従事者とタバコ対策 | 日赤看護大学; 川根博司先生 | 2010年1月19日 JA広島総合病院 (廿日市) | JA広島総合病院 禁煙委員会 |
|---------|------|-------------|-------------------|---------------------------------|-------------------|

緩和ケア科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|----------|------|-------------------------|------|---------------------------------|----------------|
| 日本緩和医療学会 | 小松弘尚 | 地域がん診療に携わる医師に 対する研修会 | 桐生浩司 | 2009年 5月30日.31日 JA広島総合病院 | |
| 日本緩和医療学会 | 小松弘尚 | 地域がん診療に携わる医師に 対する研修会 | 桐生浩司 | 2010年 6月27日.7月4日 JA広島総合病院 | |

外来化学療法室

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-----------------|------|------------------------------|------|--------------------------------|----------------|
| 第2回がん化学療法看護セミナー | | 当院の外来化学療法室における 看護スタッフへの教育 | 野村昌代 | 2009年1月24日 リーガロイヤル ホテル広島 | |

看護部長室

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------|------|----------------------------------|-----|---|----------------|
| 第58回日本農村医学会 | 宮田恵子 | ワークショップ 認定看護師のチーム医療における 役割 | | 2009年 11月2日～11月3日 神奈川県横浜市・ パシフィコ | |

看護部東8階

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|------------------------------|------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 第2回中国ブロック糖尿病看護 スキルアップセミナー | 中元美恵 | 合併症をもった患者への かかわりかた | 福岡県立大学 看護学部教授 安酸史子 | 2009年1月11日 ピュアリティ まきび | 中国地区 糖尿病看護研究会 日本糖尿病教育 看護学会 |
| 第3回中四国糖尿病研修セミナー | 中元美恵 | チームで取り組むフットケアと その効果 | 高樽由美 | 2010年3月4日 岡山コンベンション センター | 日本糖尿病学会 中国四国支部 |
| 第3回中国ブロック糖尿病看護 スキルアップセミナー | 中元美恵 | 高齢者糖尿病看護 レクチャー | 高樽由美 他 | 2010年7月4日 山陽新聞社本社 大会議室9階 | 中国地区 糖尿病看護研究会 日本糖尿病教育 看護学会 |
| 第4回中四国糖尿病研修セミナー | 中元美恵 | チームをコーディネートする 糖尿病専門外来の役割 | 伊波早苗 | 2010年12月5日 広島国際会議場 ヒマワリ | 日本糖尿病学会 中国四国支部 |

薬剤部

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|---------------|------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 廿日市市薬剤師会集合研修会 | 大田博子 | インフルエンザで死なないために | 川崎医科大学 付属川崎病院 沖本二郎 | 2009年10月30日 廿日市市総合 健康福祉センター | 廿日市市薬剤師会 |
| 廿日市市薬剤師会集合研修会 | 大田博子 | 糖尿病に合併した脂質異常症、高 血圧症の臨床経験 | 一陽会 原田病院内科 河面智之 | 2010年2月24日 廿日市市総合 健康福祉センター | 廿日市市薬剤師会 |

臨床研究検査科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|--------------------------|------|---|---------------------------------|--|-----------------------------------|
| シーメンス尿検査セミナー | 山下美香 | 尿一般検査から見たCKD | 宿谷賢一 (東京大学医学 部附属病院) | 2009年9月22日 ホテルJALシティ宮 崎 | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 平成21年度血液領域研修会 | 三舛正志 | 骨髄異形成症候群－最近の話題－ | 通山薫 (川崎医科大学) | 2009年12月12日 県立広島病院 中央棟2階 | 広島県臨床検査 技師会 |
| 第27回広島県医学検査学会 | 水野誠士 | 標準化の現状と今後の取り組み (シンポジウム) | | 2010年3月6日 広島県健康福祉 センター | 広島県臨床検査 技師会 |
| シーメンス尿検査セミナー | 山下美香 | 円柱からみた腎機能と評価 | 田中佳 (金沢医科大学) | 2010年7月19日 朱鷺メッセ: 新潟コンベンション センター4階 マリナーホール | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 尿検査フォーラム中四国2010 | 山下美香 | CKD,尿一般検査の重要性 | 宿谷賢一 (東京大学医学 部附属病院) | 2010年9月25日 広島市東区民 文化センター | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |
| 第43回中国四国医学検査学会 | 山下美香 | 一般検査と尿路感染症 臨床にい かに有用な情報を提供するか | 小笠佐知子・ 林田孝子・ 村上晶子・ 竹谷健 | 2010年 11月6日・7日 島根県民会館・サン ラポーむらくも | 中国臨床検査技師 会・四国臨床検査技 師会 |
| シーメンス中国・四国 ヘマトロジーセミナー | 三舛正志 | 維持透析患者における網赤血球へ モグロビン含量(Chr)を指標とし た貧血管理 | 三馬省二 (奈良県立奈良 病院) | 2011年3月26日 岡山国際交流 センター | シーメンスヘルス ケア・ダイアグノス ティクス株式会社 |

中央放射線科

| 研究会名 | 座長者名 | 講演タイトル | 講演者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援団体・ 会社 |
|-------------------------------|------|-------------------------------|--|------------------------------|-----------------------|
| 広島県MRI勉強会 | 本山貴志 | 信号処理 | 広島大学病院 田頭吉峰 | 2009年7月14日 県立広島病院 | 芸南放射線技術研究 会、パイエル薬品 |
| 広島GEMRI ユーザーズミーティング | 本山貴志 | 臨床講座 脂肪抑制について | 山本整形 瀬野、 広島市民病院 西江、広島大学 田頭、平和クリ ニック 野中、 中国労災病院 滝口、広島市 リハビリテー ション病院 平野 | 2009年9月26日 安佐南区文化 センター | GE Healthcare |
| CTテクノロジー 第35回勉強会 | | 肝ダイナミックCTの撮り方 | 高橋昌史 | 広島 | |
| CTテクノロジー 第38回勉強会 | | 救急撮影認定技師について | 田丸隆行 | 広島 | |
| 社団法人広島県臨床検査技師会 生物化学分析部門研究会 | | 臨床検査技師も理解しておきたい 画像の見方(基礎編) | 本山貴志 | 広島 | |
| GE Healthcare | | 非造影MRA検査の当院での試み | 本山貴志 | 広島 | |
| 広島県MRI勉強会 | | 撮像パラメータと画像の最適化 | 本山貴志 | 広島 | |

地域活動

糖尿病・代謝内科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|---------------------------------|-----|------|-------------------------------|----------------------|------|
| 広島市西区市民公開講座 「糖尿病を放置するとなぜ悪い？」 | | 一般市民 | 2009年5月16日 (広島市西区民文化センター) | 広島市西区医師会 ファイザー | 150人 |
| 市民公開講座「糖尿病の薬物治療について」 | | 一般市民 | 2009年11月3日 (広島YMCA国際文化ホール) | 中国新聞社 サノフィ・アベンティス | 285人 |
| あいプラザまつり「糖尿病クイズ」 | | 一般市民 | 2009年11月8日 (廿日市市あいプラザ) | 廿日市市佐伯地区医師会 | 342人 |
| あいプラザまつり「糖尿病クイズ」 | | 一般市民 | 2010年11月7日 (廿日市市あいプラザ) | 廿日市市佐伯地区医師会 | 267人 |

消化器内科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-------------------------------|------|----------------|------------------------------|--------------------|------|
| 平成21年度第2回講演会 「潰瘍性大腸炎の内科治療」 | 徳毛宏則 | 患者会会員 | 2010年1月30日 広島市 | すこぶる快腸倶楽部 | 50人 |
| 広島市民公開講座「逆流性食道炎って!？」 | 小松弘尚 | 一般市民 | 2010年5月29日 広島市 | リビング新聞社 | 500人 |
| 市民公開講座「C型肝炎の治療戦略」 | 石田邦夫 | 一般市民 | 2010年7月25日 廿日市市 | 広島大学第一内科 日本肝臓学会 | 50人 |
| 市民公開講座「食べるための胃瘦」 | 徳毛宏則 | 一般市民 | 2011年3月12日 広島国際会議場 | 広島胃瘦と経腸栄養療法 研究会 | 400人 |
| 日赤看護大学摂食嚥下認定看護師コース講義 | 徳毛宏則 | 認定看護師 コース学生 | 2009年 8月12日・29日 日赤看護大学 | 日赤看護大学 | 60人 |
| 日赤看護大学摂食嚥下認定看護師コース講義 | 徳毛宏則 | 認定看護師 コース学生 | 2010年 7月14日・21日 日赤看護大学 | 日赤看護大学 | 60人 |

小児科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-----------------------------------|---------------------|-----|---------------------------|-----|------|
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Aコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2009年6月27日(土) 日赤広島看護大学 | | 8人 |
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Aコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2010年6月9日(水) JA広島総合病院 | | 8人 |
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Aコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2011年3月2日(水) JA広島総合病院 | | 6人 |
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Bコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2009年3月14日(土) JA広島総合病院 | | 11人 |
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Bコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2009年7月11日(土) 日赤広島看護大学 | | 9人 |
| 日本周産期・新生児学会 新生児蘇生法事業公式コース Bコース | 古井潤 小池伝一 森田知孝 | | 2010年4月28日(水) 日赤広島看護大学 | | 10人 |

外科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|--------------------------------------|------|-------------|------------|----------|------|
| 広島総合病院市民公開講座: 危険な痛みについて知りましょう(腹痛) | 香山茂平 | 廿日市 近隣市民 | 2011年1月16日 | JA広島総合病院 | 800人 |

乳腺外科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-------------|------|------|------------|----------|------|
| 乳がん治療市民公開講座 | 船越真人 | 近隣市民 | 2010年6月20日 | JA広島総合病院 | 300人 |

放射線治療科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------|-------------------------|-------------------------------|------|
| がん患者さんの症状緩和: 呼吸困難・嘔気・嘔吐について | 桐生浩司 (講師) 益村勇子 (座長) | 医師 看護師 薬剤師 | 2010年10月15日 JA広島総合病院 | JA広島総合病院 地域がん診療拠点病院 研修会 | 48人 |

緩和ケア科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|---|-------------------------------|---------------|----------------------------------|---------------------------|------|
| 地域がん診療に携わる医師に対する研修会 | 上杉文彦 中谷玉樹 小原弘之 | 地域医師 | 2009年5月30.31日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 18人 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会 「一般病棟も緩和ケアの場」 | 徳永進 | 地域住民 | 2009年8月3日 廿日市商工保険会館 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 153人 |
| 地域医療者対象緩和ケア研修会 「がん患者さんの心のケア」 | 小早川昌子 | 地域医療 従事者 | 2009年12月10日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 46人 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会 「在宅緩和ケア講演会」 | 末長和之 | 地域住民 医療従事者 | 2010年1月16日・ 廿日市文化ホール さくらびあ | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 110人 |
| 地域医療者対象緩和ケア研修会 「在宅における緩和ケア —病院から在宅に向けて—」 | 岡田恵美子 | 地域医療 従事者 | 2010年3月4日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 | 46人 |
| 地域がん診療に携わる医師に対する研修会 | 榎本和樹 小早川誠 志々田一宏 桐生浩司 | 地域医師 | 2010年6月27日・ 7月4日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 23人 |
| 地域医療者対象緩和ケア研修会 「がん患者さんの症状緩和」 | 桐生浩司 | 地域医療 従事者 | 2010年10月15日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 48人 |
| 地域住民対象緩和ケア研修会 「共に支え共に生きる」 | 沼野尚美 | 地域住民 | 2011年1月22日・ 廿日市商工保険会館 | JA広島総合病院 緩和ケアチーム | 136人 |
| JAグループ広島県福祉大会 「緩和ケアってなあに?」 | 岡田恵美子 | 地域住民 | 2011年1月28日・ 広島国際会議場 | JAグループ広島県 JAグループ広島県福祉会 | 50人 |
| 地域医療者対象緩和ケア研修会 「在宅で終末期を過ごすがん患者・家族を 支える為に」 | 古本直子 | 地域医療 従事者 | 2011年3月23日・ JA広島総合病院 | JA広島総合病院 | 35人 |

外来化学療法室

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|---|-----------------|----------------|------------------|---------|------|
| がん患者の集い・最近の治療法と副作用 | | がん患者の 集い患者会 | 廿日市市総合福祉 センター | 免疫療法研究会 | 35人 |
| 成人看護学実習Ⅰ 認定看護師による臨床講義 がん化学療法看護認定看護師の役割 | 日本赤十字 広島看護大学 | 学生 | 日本赤十字 広島看護大学 | | 210人 |

看護部長室

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|----------------------------|------|----------------|------------|----------|------|
| 卒前特別講演 「プレホスピタルケア・災害看護」 | 寺田英子 | 山陽看護専門 学校学生 | 2011年2月24日 | 山陽看護専門学校 | 90人 |
| 卒前特別講演「災害看護・国際看護」 | 寺田英子 | 尾道看護専門 学校学生 | 2011年1月19日 | 尾道看護専門学校 | 25人 |

看護部西4階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|----------------------|------|---------------------|--------------------------------------|---------------------|----------------|
| 家庭で伝えるいのちの話 | 悦喜桂子 | 幼稚園 PTA役員 保護者 | 2010年6月22日・ こばと幼稚園 | こばと幼稚園 | 7人 |
| いのちの素晴らしさと大切さ | 悦喜桂子 | 中学2年生 | 2010年7月9日・ 七尾中学校 | 広島市看護協会 七尾中学校 | 65人 |
| きずな～いのちの大切さ～ | 悦喜桂子 | 小学3～6年生 | 2010年8月23日・ 由宇町ふれあいパーク | 岩国青年会議所 きずな育成委員会 | 34人 |
| ベビーマッサージ | 悦喜桂子 | 親子 | 2010年11月7日・ あいプラザ | 廿日市市 | 親18人+ 子供19人 |
| 家庭で伝えるいのちの話 | 悦喜桂子 | 幼稚園保護者 | 2010年11月26日・ こばと幼稚園 | こばと幼稚園 | 50人 |
| いのちの素晴らしさと大切さ | 悦喜桂子 | 中学2年生 | 2010年11月30日・ 七尾中学校 | 広島市看護協会 七尾中学校 | 66人 |
| 介護の語り場!2010 ～笑顔のチカラ～ | 悦喜桂子 | 介護関係者 | 2010年12月4日・ 広島県社会福祉会館 | 広島県介護福祉士会 若者会 絆 | 80人 |
| 親から伝えるいのちの話 | 悦喜桂子 | 市民 | 2010年12月19日・ 広島市まちづくり 市民交流センター | 日本誕生学協会 | 41人 |
| いのちのはなし | 悦喜桂子 | 保育園年長児 | 2011年2月13日・ 広島和光園保育所 | 広島和光園保育所 | 34人 |

看護部西8階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-------------------------|------|-------|------------------------|-----|------|
| 広島県自殺対策啓発セミナー「心の健康について」 | 坂尻明美 | 廿日市市民 | 2011年2月26日 ほっとサロン宮園 | 広島県 | 60人 |

健康管理センター

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-----------------------|--------------|-------|---------------------------------|-------------|------|
| 乗務員の健康管理(車内でできるストレッチ) | 山口千穂 | 企業職員 | 2009年4月16日 廿日市市商工会館 | カーパタクシー | 50人 |
| 健康長寿の秘訣 | 川村洋子 | JA組合員 | 2009年5月19日 ANAクラウンプラザ ホテル | 中央会総務課 | 70人 |
| 健康長寿の秘訣 | 川村洋子 | JA組合員 | 2009年6月23日 三次農協会館 | 中央会総務課 | 40人 |
| 運動について | 山口千穂 | JA組合員 | 2009年9月2日 JA佐伯中央友和支店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 28人 |
| 高脂血症対策 データの見方 | 碓井裕史 | JA職員 | 2009年9月30日 JA中央会 | 中央会総務課 | 40人 |
| 健康体操 | 山口千穂 | JA組合員 | 2009年10月13日 JA安芸中野支店 | JA安芸 | 34人 |
| ハツラツシニアライフ | 野村恵美 米川直子 | JA組合員 | 2009年10月16日 JA広島市矢野支店 | JA広島市生活福祉課 | 16人 |
| 高脂血症対策 データの見方 | 碓井裕史 | JA職員 | 2009年10月19日 JA中央会 | 中央会総務課 | 40人 |
| 乳がん検診、女性の健康管理 | 川村洋子 | JA組合員 | 2009年12月18日 JA佐伯中央浜支店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 23人 |

健康管理センター

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|------------------------------------|---------------|--------|-------------------------------|----------------------|------|
| 健康長寿の秘訣 | 川村洋子 米川直子 | JA組合員 | 2009年12月21日 JA呉広東支店 | JA呉総合企画部 ふれあい課 | 19人 |
| 健康長寿の秘訣 | 川村洋子 米川直子 | JA組合員 | 2010年1月26日 JA呉昭和支店 | JA呉総合企画部 ふれあい課 | 30人 |
| 自宅でできるエクササイズ | 東千穂 | 廿日市市民 | 2010年3月5日 当院 | 地域医療連携室 | 26人 |
| 貯筋体操 | 東千穂 | JA組合員 | 2010年3月12日 メルパルク広島 | 中央会地域生活部 | 28人 |
| 健康体操 | 東千穂 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年3月25日 JA安芸本店 | JA安芸 | 480人 |
| 骨粗鬆症と認知症 | 米川直子 | JA組合員 | 2010年4月14日 JA呉広北支店 | JA呉総合企画部 ふれあい課 | 21人 |
| 健康講座と軽体操 | 東千穂 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年4月21日 JA佐伯中央本店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 27人 |
| 健康について・転倒予防 | 増本順子 | JA組合員 | 2010年4月23日 JA安芸海田支店 | JA安芸総務課 | 250人 |
| 運動ストレッチ・ゲーム | 東千穂 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年4月28日 JA安芸船越支店 | JA安芸総務課 | 44人 |
| 職員の健康管理・禁煙のすすめ | 米川直子 | 企業職員 | 2010年5月12日 (株)カープタクシー | カープタクシー | 53人 |
| 職員の健康管理・禁煙のすすめ | 米川直子 | 企業職員 | 2010年5月17日 (株)カープタクシー | カープタクシー | 57人 |
| 運動ストレッチ・ゲーム | 東千穂 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年5月20日 JA安芸海田支店 | JA安芸総務課 | 33人 |
| 運動で若返り体力アップの運動のすすめ・ 前立腺がん検診のすすめ | 東千穂 | 年金受給者 | 2010年6月4日 西区民文化センター | 農林年金受給者連盟 広島支部 | 30人 |
| 乳がん検診を受けましょう | 碓井裕史 | 廿日市市民 | 2010年6月20日 あいプラザ | JA広島総合病院 | 300人 |
| 運動ストレッチ・ゲーム | 東千穂 | JA組合員 | 2010年7月5日 宇和木老人集会所 | JA呉総合企画部 ふれあい課 | 26人 |
| 膝に優しい生活 | 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年9月9日 JA安芸畑賀支店 | JA安芸総務課 | 35人 |
| 体の調子を整える簡単エクササイズ | 東千穂 | JA組合員 | 2010年9月14日 JA中野支店 | JA安芸総務課 | 33人 |
| 高血圧について、減塩のポイント | 碓井裕史 米川直子 | JA職員 | 2010年10月5日 JA佐伯中央本店 | JA佐伯中央人事課 | 40人 |
| 体の調子を整える簡単エクササイズ | 東千穂 | JA組合員 | 2010年10月22日 三次農協会館 | JA三次ふれあい組織 たんばぼの会 | 76人 |
| 高血圧について、減塩のポイント | 碓井裕史 米川直子 | JA職員 | 2010年11月9日 JA佐伯中央本店 | JA佐伯中央人事課 | 9人 |
| 乳がんについて | 増本順子 | JA組合員 | 2011年1月24日 西公民館 | JA佐伯中央ふれあい課 | 7人 |
| 軽い運動を取り入れた健康教室 | 東千穂 | JA組合員 | 2011年1月27日 JA佐伯中央 地御前支店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 11人 |
| 緩和ケアってなあに「乳がん自己触診法について」 | 久保知子 長田恵美子 | JA組合員 | 2010年1月28日 広島国際会議場 | JAグループ 広島県福祉大会 | 50人 |
| 軽い運動を取り入れた健康教室 | 東千穂 | JA組合員 | 2011年2月9日 JA佐伯中央本店 | 中央会 | 9人 |
| 認知症について | 長田恵美子 | JA組合員 | 2011年2月14日 JA佐伯中央本店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 21人 |
| 生活習慣病・がんについて | 増本順子 | JA組合員 | 2011年2月17日 JA佐伯中央津田支店 | JA佐伯中央ふれあい課 | 27人 |
| 中高年の健康増進 | 増本順子 | 世羅地域住民 | 2011年2月20日 世羅コミュニティー | 世羅郡 | 60人 |
| 認知症について | 長田恵美子 | JA組合員 | 2011年2月25日 原市民センター | JA佐伯中央ふれあい課 | 42人 |

| | | | | | |
|--------------|------|-------|------------------------|-------------|-----|
| 生活習慣病・がんについて | 増本順子 | JA組合員 | 2011年3月15日 吉和保健センター | JA佐伯中央ふれあい課 | 15人 |
|--------------|------|-------|------------------------|-------------|-----|

看護部東3階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|----------------------------|------|--------------------------------|-------------------------|---------|------|
| 緩和ケアにおける 精神症状のアセスメントとケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2009年10月5日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 痛みのケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2009年7月14日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 認定看護師による臨床講義 | 古本直子 | 日赤看護大学 看護学生 日赤看護大学 教員 | 2010年1月14日 総合病院小会議室 | | 30人 |
| 緩和ケアにおける精神症状のアセスメントとケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2010年8月10日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| がん患者の家族看護 | 古本直子 | 院内看護師 | 2010年10月25日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 家族ががんになった時 | 古本直子 | がん患者の 家族 | 2010年8月23日 地域医療連携室 | 地域医療連携室 | 5人 |
| 在宅で終末期を過ごす患者・家族を支えるために | 古本直子 | 地域医療 従事者 | 2011年3月23日 総合病院大会議室 | 地域医療連携室 | 40人 |

看護部東6階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|----------|------|--------------|----------------------|-------|------|
| おしゃべりサロン | 南部智江 | がん患者及び 家族 | 2010年10月25日 地域連携室 | 地域連携室 | 10人 |

看護部東7階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|------------------------|------|--------------------------------|-------------------------|---------|------|
| 緩和ケアにおける精神症状のアセスメントとケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2009年10月5日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 痛みのケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2009年7月14日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 認定看護師による臨床講義 | 古本直子 | 日赤看護大学 看護学生 日赤看護大学 教員 | 2010年1月14日 総合病院小会議室 | | 30人 |
| 緩和ケアにおける精神症状のアセスメントとケア | 古本直子 | 院内看護師 | 2010年8月10日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| がん患者の家族看護 | 古本直子 | 院内看護師 | 2010年10月25日 総合病院大会議室 | 緩和ケア委員会 | 22人 |
| 家族ががんになった時 | 古本直子 | がん患者の 家族 | 2010年8月23日 地域医療連携室 | 地域医療連携室 | 5人 |
| 在宅で終末期を過ごす患者・家族を支えるために | 古本直子 | 地域医療 従事者 | 2011年3月23日 総合病院大会議室 | 地域医療連携室 | 40人 |

看護部東8階

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|-------------------|-----|-------------------------|-------------------------------|----------------------------|------|
| 糖尿病啓蒙活動講演 | | JA組合員、 地域住民 | 2010年2月5日 ホテルセンチュリー 21 | 広島県農業協同組合中央会 | 150人 |
| 糖尿病予防のために家庭でできること | | 健康づくり 推進員および 一般市民 | 2009年6月30日 | 広島県国民健康保険団体 連合会理事長保険事業課 | 40人 |
| わかりやすい糖尿病について | | JAさくらの会 会員女性部 部員 | 2011年2月15日 広島北部農協 千代田支店 | 助け合い組織 JAさくらの会事務局 | 40人 |

薬剤部

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|------------|-------|-------|------------------------------|---------|------|
| 就職・進路ガイダンス | 大原由希子 | 中学3年生 | 2011年2月19日・ 広島 安田女子中学校 | 安田女子中学校 | 60人 |

中央放射線科

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|---------------------------------------|------|-------------------|--------------------------|------------------------------|------|
| 「～乳がん早期発見のために～ 知って安心、マンモグラフィ検診の実際」 | 小濱千幸 | 広島市民 | 2010年1月24日 広島アステールプラザ | 広島市民公開講座 | 350人 |
| 放射線技師、マンモグラフィーとは | 小濱千幸 | 広島国際大 学生、東広島市民 | 2010年1月30日 黒瀬 広島国際大学 | ピンクリボンフォーラム 2009 in広島国際大学 | 300人 |
| 「マンモグラフィーの実際」 | 小濱千幸 | 廿日市市民 | 2010年6月20日 廿日市市アイプラザ | 廿日市市民公開講座 | |

医療安全管理室

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|--|------|-----------------------|-----------------------------------|----------------------|------|
| 「感染性廃棄物」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2009年5月29日・ 広島三菱病院 | 広島三菱病院 | 50人 |
| 「院内感染対策」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2009年6月2日・ 廿日市野村病院 | 廿日市野村病院 | 70人 |
| 住民健康講座 「食中毒って恐ろしい」についての講演 | 今本紀生 | 倉橋町住民 | 2009年6月9日・ JA呉 倉橋西支店 | 呉農業協同組合 | 40人 |
| 「感染防止の基礎知識」についての講演 | 今本紀生 | 看護師 | 2009年6月16日・ 広島県看護協会 | 広島県看護協会 | 120人 |
| 「訪問介護事業における感染管理」についての講演 | 今本紀生 | 介護保険事業 従事者 | 2009年6月24日・ JA尾道市 本所 | JA中央会地域生活部 | 10人 |
| 「訪問介護事業における感染管理」についての講演 | 今本紀生 | 介護保険事業 従事者 | 2009年6月25日・ JA広島市 本所 | JA中央会地域生活部 | 10人 |
| 「デイサービスセンターにおける感染管理」 についての講演 | 今本紀生 | 介護保険事業 従事者 | 2009年7月22日・ JA三次デイサービス センター | JA中央会地域生活部 | 10人 |
| 「デイサービスセンターにおける感染管理」 についての講演 | 今本紀生 | 介護保険事業 従事者 | 2009年7月23日・ JA福山デイサービス センター | JA中央会地域生活部 | 10人 |
| 「施設内での感染予防について～空気感染対策～」 についての講演 | 今本紀生 | 高齢者福祉 施設職員 | 2009年9月30日・ 広島県西部保健所 | 広島県西部保健所 | 30人 |
| 「結核・インフルエンザを中心とした感染対策」 についての講演 | 今本紀生 | 看護師 | 2009年10月17日・ 広島市東区総合福祉 センター | 広島県看護協会広島東支部 | 100人 |
| 「感染管理と医療安全」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2009年11月26日・ 広島パークヒル病院 | 広島パークヒル病院 | 70人 |
| 「標準的感染対策」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年3月18日・ 広島市佐伯区民文化 センター | 広島市佐伯区医師会 | 90人 |
| 「汚染器材の処理と衛生材料の管理」に についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年4月10日・ 岡山衛生会館 | 感染防止研究会 | 120人 |
| 「カテーテル関連尿路感染の予防のための CDCガイドライン2009」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年4月24日・ 広島YMCA国際 文化ホール | 広島感染防止および 滅菌業務研究会 | 100人 |
| 「感染管理認定看護師に聞く」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年6月27日・ 南区民文化センター | 広島院内感染対策研究会 | 250人 |
| JA吉田総合病院 医療安全研修 | 新宅祐子 | JA吉田総合 病院 全職員対象 | 2010年7月29日 JA吉田総合病院 | JA吉田総合病院 | 80人 |
| 「病院機能評価と院内感染対策」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年8月25日・ JA吉田総合病院 | JA吉田総合病院 | 80人 |

| | | | | | |
|---|------|-----------------|------------------------------|----------------|------|
| 「基本的な院内感染対策の振り返り」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年9月9日・ 廿日市市総合健康福祉センター | 廿日市市五師士会 | 100人 |
| 「標準感染対策」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年9月16日・ 広島市佐伯区民文化センター | 広島市佐伯区医師会 | 90人 |
| 日本赤十字広島看護大学・大学院 摂食嚥下障害認定看護師養成コース 「医療安全管理」 | 新宅祐子 | 日本赤十字広島看護大学大学院生 | 2010年9月29日 | 日本赤十字広島看護大学 | 42人 |
| 「どうしてですか?内視鏡室の感染管理」についてのシンポジウム | 今本紀生 | 内視鏡技師・医療従事者 | 2010年11月21日・ RCC文化センター | 広島県消化器内視鏡技師研究会 | 250人 |
| 「院内感染対策」についての講演 | 今本紀生 | 医薬情報担当者(MR) | 2010年12月2日・ 杏林製薬株式会社広島支部 | 杏林製薬株式会社 | 20人 |
| 尾道看護専門学校 関係法規 「医療安全管理」 | 新宅祐子 | 尾道看護専門学校学生 | 2010年12月2日 | 尾道看護専門学校 | 40人 |
| 「院内感染対策の現状の振り返りと課題」についての講演 | 今本紀生 | 医療従事者 | 2010年12月15日・ グリーンヒル病院 | グリーンヒル病院 | 80人 |
| 卒前特別講演「医療安全管理」 | 新宅祐子 | 山陽看護専門学校学生 | 2011年2月25日・ 山陽看護専門学校 | 山陽看護専門学校 | 40人 |

地域医療連携室

| 活動内容 | 招聘者 | 対象者 | 開催年月日・開催場所 | 主催名 | 参加人数 |
|---------------|-----|-------|------------------|---------------------|------|
| かかりつけ医を持ちましょう | | 廿日市市民 | 2009年7月7日・ 広島 | 地域包括支援センター はつかいち | 30人 |

その他

院長

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---------------------------------------|------------------------|------|
| 福田康彦 | 広島県医師協だより No462 2009年4月 | 医師の時間外労働について | |
| 福田康彦 | 広島県病院薬剤師会誌 Vol.44-4 2009年11月30日 | 巻頭言 医師と薬剤師 | |
| 福田康彦 | 全国厚生連病院長会ニュー スNo73 2009年7月1日 | 医局について | |
| 福田康彦 | 日本血管外科学会雑誌 Vol.18 No.7 2009年 | 巻頭言 日本にふさわしい外科専門医制度を | |
| 福田康彦 | ミクロスコピア 26巻4号 冬号 2009年11月30日 | [病腎移植]を考えるー移植医のモチベーション | |
| 福田康彦 | 全国厚生連病院長会ニュー スNo79 2010年7月1日 | 新米院長の決算報告書の読み方 | |
| 福田康彦 | 文化連情報No388 2010年7月 | 院長リレーインタビュー | |
| 福田康彦 | 広島県医師会速報 2010年10月25日 | 勤務医への手当の仕方 | |
| 福田康彦 | 佐伯地区医師会誌第60号 2010年12月 | 地域救命救急センター開設に向けて | |

実績

循環器内科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|-----------------------------------|----------|--------|
| 辻山修司 | 廿日市医療情報 2010年12月15日、 12月22日 | 急性心筋梗塞 | FM 廿日市 |

糖尿病・代謝内科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|--|--|-------------|
| 石田和史 | Medical Tribune座談会 2009年12月10日 | エビデンスに基づく薬剤選択 ～日本人の2型糖尿病治療におけるSU薬の有用性～ | サノフィ・アベンティス |
| 石田和史 | FMはつかいち医療情報 ラジオ出演 2010年3月15日 | 糖尿病地域連携システムについて | 佐伯地区医師会 |
| 石田和史 | HART 座談会 2011年2月 | 早期インスリン導入におけるアナログ混合製剤の活用 | 日本イーライリリー |
| 石田和史 | PROGRESS IN MEDICINE 座談会 2010年10月10日 | 2型糖尿病治療の現状と将来展開 ～DPP-4阻害薬をどのように臨床に活かすか～ | ノバルティスファーマ |
| 石田和史 | MR君インターネット配信 2011年2月 | ミックス25注と30ミックス注の違いをご存知ですか？(1) | 日本イーライリリー |

消化器内科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|--|--|----------------------------|
| 中原春奈・徳毛宏則 | WallFlex Biliary RX Stent Case Report 2:1-3.2010 | Uncovered WallFlex Bilisry RX Stentを用いた 肝門部悪性胆道狭窄に対するside by sideによる両葉ドレナージ | Boston Scientific Japan |

| | | | |
|------|--------------------------|--------------|-----|
| 徳毛宏則 | CCJAPAN 57:44-45.2010 | LCAP療法実施施設紹介 | 三雲社 |
|------|--------------------------|--------------|-----|

小児科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|------------------------|-----------|------|
| 古井潤 | FMはつかいち 2009年7月21日 | 食物アレルギー | |
| 中畠千恵子 | FMはつかいち 2010年11月25日 | 小児のワクチン接種 | |

外科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---------------------------|-----------|---------|
| 加納幹浩 | FMはつかいち 2011年1月12日・19日 | 腹腔鏡手術について | 佐伯地区医師会 |

乳腺外科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|-------------------------------|----------|---------|
| 船越真人 | FMはつかいち医療情報 2010年10月6日・13日 | 乳癌の診断と治療 | 佐伯地区医師会 |

皮膚科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|--------------------------|----------|--------|
| 森川博文 | ラジオ番組 2011年10月20日・27日 | 帯状疱疹について | FM 廿日市 |

泌尿器科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|------------------------------------|-------------------|------|
| 小深田義勝 | 臨床泌尿器科 第65巻 第1号 2011年1月20日発行 | JA広島厚生連広島総合病院泌尿器科 | 医学書院 |

耳鼻咽喉科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|-------------------|----------------|------|
| 兼見良典 | 佐伯地区医師会会報 | 医療の話題(異物症あれこれ) | |

画像診断部

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---------------------|------------------|----------|
| 海地陽子 | インナービジョン 2010年6月 | MDCTによる冠動脈の検査と診断 | インナービジョン |

緩和ケア科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---------------------------|----------------------|--------------|
| 小松弘尚 | FMはつかいち 2011年1月20日 | 緩和ケア研修会の予告と緩和ケアについて | FM廿日市 |
| 高原さおり | 緩和ケアを考える会・広島 2010年8月5日 | 「日本ホスピス在宅ケア研究会に参加して」 | 緩和ケアを考える会・広島 |

外来化学療法室

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-------------------|--|------------------------------|------|
| 横山聡、野村昌代、 今村祐二 | 日本病院薬剤師会雑誌 Vol.46.2010 | イリノテカン塩酸塩によるコリン様症状の発現状況とその対策 | 共同研究 |
| 今村祐二、横山聡、 野村昌代 | がん定期情報雑誌 「Oncology Epoch No13」 2010年3月 | がん治療実践研修プログラムを活かした事例紹介 | |

健康管理センター

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---|-----------------|-----------------|
| 山口千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年4月号 | ストレッチングのすすめ | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 古宇亜紀子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年5月号 | 高齢者に多い不眠 | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 川村洋子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年6月号 | 五十肩を予防しよう! | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 野村恵美 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年7月号 | 日焼けに注意 | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 山口千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年8月号 | 熱中症にご用心 | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 古宇亜紀子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年9月号 | 冷え性～冷えは万病のもと～ | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 米川直子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年10月号 | ぎっくり腰(急性腰痛症) | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 野村恵美 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年11月号 | 効果的な入浴について | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 山口千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2009年12月号 | 「がん検診」を受けていますか? | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 米川直子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年1月号 | 高齢者に多い誤嚥性肺炎 | JA広島市 JA佐伯中央 |

| | | | |
|-------|---|------------------------|-----------------|
| 川村洋子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年2月号 | あなたの骨は元気ですか | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 東千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年3月号 | あなたの胃は元気ですか?～慢性胃炎について～ | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 林直子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年4月号 | あなたはロコモティブシンドローム? | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 長田恵美子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年5月号 | 五月病について | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 増本順子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年6月号 | 家庭のできる食中毒予防 | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 東千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年7月号 | 紫外線から眼を守ろう! | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 林直子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年8月号 | 睡眠時無呼吸症候群について | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 長田恵美子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年9月号 | クーラー病(冷房病)について | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 増本順子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年10月号 | 歯の健康とメタボリックシンドローム | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 東千穂 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年11月号 | 胆石にご用心! | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 林直子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2010年12月号 | パソコン使用が肩こりの原因に? | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 長田恵美子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2011年1月号 | 五十肩について | JA広島市 JA佐伯中央 |
| 増本順子 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2011年2月号 | 昼食は食べていますか? | JA広島市 JA佐伯中央 |

健康管理センター

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|--|-----------|-----------------|
| 野村恵美 | 「ひろしまる倶楽部」 (JA広島市)・JA佐伯中央 コミュニティー誌 「さいきちゅうおう」 2011年3月号 | ドライアイについて | JA広島市 JA佐伯中央 |

薬剤部

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|---------------------|---------------------|------|
| 角井碧 | 月刊薬事 VOL.52 No.5 | 専門薬剤師Up-to-Date;糖尿病 | じほう |

中央放射線科

| 出演、執筆、提供者 | 出演、掲載物名 放送、掲載日 | テーマ・タイトル | 依頼社名 |
|-----------|-------------------------------|--------------------------------|---------|
| 高橋昌史 | インナービジョン別冊付録 2010年10月号別冊付録 | インプラントを用いた椎体後方固定術の術前シュミレーション画像 | 株式会社AZE |

合同カンファレンス

循環器内科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|------------------------|--------------|---------|-----------------------|--------------------|
| 第17回JA広島総合病院循環器科病診連携の会 | 関口善孝、 藤井隆 | 佐伯地区開業医 | 2009年6月24日 当院大会議室 | ノバルティスファーマ 株式会社 |
| 第18回JA広島総合病院循環器科病診連携の会 | 関口善孝、 藤井隆 | 佐伯地区開業医 | 2009年10月30日 当院大会議室 | ノバルティスファーマ 株式会社 |
| 第19回JA広島総合病院循環器科病診連携の会 | 関口善孝、 藤井隆 | 佐伯地区開業医 | 2010年5月28日 当院大会議室 | ノバルティスファーマ 株式会社 |
| 第20回JA広島総合病院循環器科病診連携の会 | 関口善孝、 藤井隆 | 佐伯地区開業医 | 2010年10月29日 当院大会議室 | ノバルティスファーマ 株式会社 |

糖尿病・代謝内科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|--------------------------------------|----------------------|--|---|------------------------------------|
| 第3回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2009年4月14日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策 推進会議・バイエル薬品 |
| 第4回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2009年8月11日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策 推進会議・持田製薬 |
| 第4回DMチーム医療勉強会in広島 | 日新製鋼 呉診療所 野間興二 | 広島県西部地区糖 尿病診療に関わる コメディカル | 2009年9月26日 中国新聞会議室 (広島市中区) | 日本イーライリリー |
| 平成21年度生活習慣病・糖尿病マネジメントのための ワークショップ | 石田和史 (ディレクター) | 全国各地の研修 医・コメディカル | 2009年 10月22～24日 農村保健研修 センター (長野県佐久市) | 全国厚生農業協同組合 連合会・日本成人病予防会 |
| 第5回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2009年12月10日 はつかいち 文化ホール さくらびあ (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策 推進会議・田辺三菱 |
| 第6回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2010年4月14日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策 推進会議・興和創薬 |
| 第7回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2010年8月11日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会糖尿病対策 推進会議・帝人ファーマ |
| 平成22年度生活習慣病・糖尿病マネジメントのための ワークショップ | 石田和史 (ディレクター) | 全国各地の 研修医・ コメディカル | 2010年 10月7～9日 農村保健研修 センター (長野県佐久市) | 全国厚生農業協同組合 連合会・日本成人病予防会 |
| 第5回DMチーム医療勉強会in広島 | 日新製鋼 呉診療所 野間興二 | 広島県西部地区糖 尿病診療に関わる コメディカル | 2010年10月16日 中国新聞会議室 (広島市中区) | 日本イーライリリー |
| 第8回広島県西部地区糖尿病医療連携を進める会 | 石田和史 | 佐伯地区・ 広島市佐伯区・ 大竹市の医師・ 歯科医師・ コメディカル | 2010年12月8日 廿日市市 商工保健会館 (広島県廿日市市) | 広島県医師会 糖尿病対策推進会議・ ノバルティスファーマ |

脳神経外科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|-------------------------|-----|---------------------|--------------------------------------|---------|
| アテローム血栓性脳梗塞の治療 | | 大塚製薬 | 2010年2月24日 大塚製薬 | |
| MC協議会 | | 大竹消防 | 2010年3月10日 | |
| DMAT 講演 | | 近隣市民 | 2010年5月30日 四季が丘公民館 | |
| 脳卒中講義 | | 当院看護師 | 2010年6月3日 当院糖尿病教室 | |
| 脳波講義 | | 山陽女子学園生徒 | 2010年6月4日～ 4回 山陽女子短期大学 | |
| 脳卒中地域連携会議 | | | 2010年8月4日 | |
| 臨床研修指導医養成講習 | | | 2010年 9月10日～12日 東京 | |
| 脳神経外科 joint meeting | | 脳神経外科医師 | 2010年10月13日 広島ANAホテル | 武田製薬 |
| DMAT 訓練 | | DMAT 隊員 | 2010年 10月16・17日 鳥取 | |
| 看護学校講義 | | 山陽女子学園 生徒 | 2010年 10月18日～ 6回 山陽女子短期大学 | |
| JPTEC 更新のため講義 | | JPTEC 認定 保持者 | 2010年10月22日 佐伯区医師会 | |
| 第9回西部救急研究会 | | 医師、 看護師、 救急隊員 | 2010年11月10日 はつかいち文化ホー ル さくらびあ | 田辺三菱製薬 |
| 東日本大震災に対してDMAT活動 | | | 2011年 3月11日～14日 宮城 仙台医療センター | |
| 東日本大震災におけるDMAT活動を県庁にて報告 | | | 2011年3月18日 広島県庁 | |
| 救急外来看護師に頭CTの読影に関して講義 | | 救急外来看護師 | 2011年3月24日 当院糖尿病教室 | |

耳鼻咽喉科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|-----------------|------|---------|-------------------|----------|
| 63卒広島大学耳鼻咽喉科座談会 | 太田行紀 | 耳鼻咽喉科医師 | 2009年9月18日 広島 | 日本ベーリンガー |
| 目で見る耳鼻咽喉科疾患 | 兼見良典 | アステラスMR | 2009年10月28日 広島 | アステラス |

放射線治療科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|-------------------|---------------|-----|---------------------------------|----------|
| (医師を対象にした)緩和ケア講習会 | 榎本和樹 | 医師 | 2010年 6月12・13日 三次ロイヤルホテル | 市立三次中央病院 |
| (医師を対象にした)緩和ケア講習会 | 桐生浩司・ 小松弘尚 | 医師 | 2010年 6月27日、7月4日 JA広島総合病院 | JA広島総合病院 |

緩和ケア科

| カンファレンス名 | 代表者 | 対象者 | 開催年月日 開催場所 | 共催・後援会社 |
|----------------|------|-----------------|---|---------|
| 緩和ケアチームカンファレンス | 小松弘尚 | 緩和ケアチーム メンバー | 2009年4月1日～ 2010年3月31日 毎週木曜 西7階病棟 カンファレンス室 | |
| 緩和ケアチームカンファレンス | 小松弘尚 | 緩和ケアチーム メンバー | 2010年4月1日～ 2011年3月31日 毎週木曜 西7階病棟 カンファレンス室 | |

診療科別外来患者数

平成21・22年度 月別外来患者数 (4・5月)

| 科 別 | 4月外来患者数 | | | | | | | |
|---------------|-------------------|-------|--------|---------|-------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数 22日) | | | | 平成22年度 (診療日数 21日) | | | |
| | 旧 患 | 新 患 | 計 | 1日当 | 旧 患 | 新 患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,886 | 684 | 6,570 | 312.9 | 5,974 | 633 | 6,607 | 314.6 |
| （呼吸器内科） | 591 | 104 | 695 | 33.1 | 646 | 109 | 755 | 36.0 |
| （循環器内科） | 1,194 | 185 | 1,379 | 65.7 | 1,085 | 151 | 1,236 | 58.9 |
| （腎臓内科） | 1,256 | 70 | 1,326 | 63.1 | 1,278 | 70 | 1,348 | 64.2 |
| （糖尿病内科） | 1,375 | 78 | 1,453 | 69.2 | 1,443 | 64 | 1,507 | 71.8 |
| （消化器内科） | 1,470 | 247 | 1,717 | 81.8 | 1,521 | 230 | 1,751 | 83.4 |
| （神経内科） | | | | | 1 | 9 | 10 | 0.5 |
| 精神科・心療内科 | 103 | 17 | 120 | 5.7 | 85 | 14 | 99 | 4.7 |
| 小 児 科 | 748 | 146 | 894 | 42.6 | 743 | 129 | 872 | 41.5 |
| 外 科 | 1,525 | 127 | 1,652 | 78.7 | 1,395 | 157 | 1,552 | 73.9 |
| 整 形 外 科 | 826 | 177 | 1,003 | 47.8 | 639 | 160 | 799 | 38.0 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,165 | 158 | 1,323 | 63.0 | 1,074 | 197 | 1,271 | 60.5 |
| 呼 吸 器 外 科 | 146 | 14 | 160 | 7.6 | 202 | 32 | 234 | 11.2 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 231 | 45 | 276 | 13.1 | 287 | 35 | 322 | 15.3 |
| 皮 膚 科 | 2,024 | 256 | 2,280 | 108.6 | 1,866 | 226 | 2,092 | 99.6 |
| 泌 尿 器 科 | 1,528 | 115 | 1,643 | 78.2 | 1,509 | 144 | 1,653 | 78.7 |
| 産 婦 人 科 | 987 | 135 | 1,122 | 53.4 | 1,007 | 192 | 1,199 | 57.1 |
| 眼 科 | 821 | 122 | 943 | 44.9 | 787 | 109 | 896 | 42.7 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 700 | 266 | 966 | 46.0 | 708 | 225 | 933 | 44.4 |
| 放 射 線 治 療 科 | 565 | 17 | 582 | 27.7 | 848 | 19 | 867 | 41.3 |
| 麻 酔 科 | 106 | 256 | 362 | 17.2 | 101 | 271 | 372 | 17.7 |
| 画 像 診 断 部 | 1,208 | 528 | 1,736 | 82.7 | 1,236 | 468 | 1,704 | 81.2 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 335 | 141 | 476 | 22.7 | 256 | 138 | 394 | 18.8 |
| 計 | 18,904 | 3,204 | 22,108 | 1,052.8 | 18,717 | 3,149 | 21,866 | 1,041.2 |
| 栗 谷 診 療 所 | 73 | 5 | 78 | 3.7 | 92 | 3 | 95 | 4.5 |
| 合 計 | 18,977 | 3,209 | 22,186 | 1,056.5 | 18,809 | 3,152 | 21,961 | 1,045.8 |

| 科 別 | 5月外来患者数 | | | | | | | |
|---------------|-------------------|-------|--------|---------|-------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数 18日) | | | | 平成22年度 (診療日数 18日) | | | |
| | 旧 患 | 新 患 | 計 | 1日当 | 旧 患 | 新 患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,251 | 588 | 5,839 | 324.3 | 5,234 | 550 | 5,784 | 321.3 |
| （呼吸器内科） | 572 | 110 | 682 | 37.9 | 556 | 103 | 659 | 36.6 |
| （循環器内科） | 1,062 | 151 | 1,213 | 67.4 | 971 | 126 | 1,097 | 60.9 |
| （腎臓内科） | 1,230 | 61 | 1,291 | 71.7 | 1,200 | 49 | 1,249 | 69.4 |
| （糖尿病内科） | 1,087 | 65 | 1,152 | 64.0 | 1,143 | 62 | 1,205 | 66.9 |
| （消化器内科） | 1,300 | 201 | 1,501 | 83.4 | 1,350 | 197 | 1,547 | 85.9 |
| （神経内科） | | | | | 14 | 13 | 27 | 1.5 |
| 精神科・心療内科 | 100 | 16 | 116 | 6.4 | 58 | 10 | 68 | 3.8 |
| 小 児 科 | 646 | 140 | 786 | 43.7 | 708 | 121 | 829 | 46.1 |
| 外 科 | 1,343 | 129 | 1,472 | 81.8 | 1,177 | 127 | 1,304 | 72.4 |
| 整 形 外 科 | 678 | 153 | 831 | 46.2 | 673 | 186 | 859 | 47.7 |
| 脳 神 経 外 科 | 965 | 219 | 1,184 | 65.8 | 884 | 165 | 1,049 | 58.3 |
| 呼 吸 器 外 科 | 156 | 22 | 178 | 9.9 | 154 | 13 | 167 | 9.3 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 242 | 25 | 267 | 14.8 | 339 | 29 | 368 | 20.4 |
| 皮 膚 科 | 1,719 | 239 | 1,958 | 108.8 | 1,589 | 233 | 1,822 | 101.2 |
| 泌 尿 器 科 | 1,370 | 127 | 1,497 | 83.2 | 1,296 | 106 | 1,402 | 77.9 |
| 産 婦 人 科 | 971 | 154 | 1,125 | 62.5 | 1,044 | 147 | 1,191 | 66.2 |
| 眼 科 | 587 | 107 | 694 | 38.6 | 671 | 91 | 762 | 42.3 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 574 | 213 | 787 | 43.7 | 585 | 221 | 806 | 44.8 |
| 放 射 線 治 療 科 | 504 | 26 | 530 | 29.4 | 712 | 32 | 744 | 41.3 |
| 麻 酔 科 | 88 | 228 | 316 | 17.6 | 117 | 268 | 385 | 21.4 |
| 画 像 診 断 部 | 981 | 466 | 1,447 | 80.4 | 1,121 | 412 | 1,533 | 85.2 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 309 | 132 | 441 | 24.5 | 255 | 109 | 364 | 20.2 |
| 計 | 16,484 | 2,984 | 19,468 | 1,081.6 | 16,617 | 2,820 | 19,437 | 1,079.8 |
| 栗 谷 診 療 所 | 72 | 2 | 74 | 4.1 | 79 | | 79 | 4.4 |
| 合 計 | 16,556 | 2,986 | 19,542 | 1,085.7 | 16,696 | 2,820 | 19,516 | 1,084.2 |

平成21・22年度 月別外来患者数(6・7月)

| 科 別 | 6月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度(診療日数22日) | | | | 平成22年度(診療日数22日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,900 | 739 | 6,639 | 301.6 | 6,018 | 714 | 6,732 | 306.0 |
| (呼吸器内科) | 590 | 109 | 699 | 31.8 | 647 | 125 | 772 | 35.1 |
| (循環器内科) | 1,092 | 187 | 1,279 | 58.1 | 1,054 | 167 | 1,221 | 55.5 |
| (腎臓内科) | 1,307 | 76 | 1,383 | 62.9 | 1,221 | 59 | 1,280 | 58.2 |
| (糖尿病内科) | 1,426 | 89 | 1,515 | 68.9 | 1,511 | 79 | 1,590 | 72.3 |
| (消化器内科) | 1,485 | 278 | 1,763 | 80.1 | 1,570 | 269 | 1,839 | 83.6 |
| (神経内科) | | | | | 15 | 15 | 30 | 1.4 |
| 精神科・心療内科 | 102 | 22 | 124 | 5.6 | 77 | 14 | 91 | 4.1 |
| 小 児 科 | 753 | 144 | 897 | 40.8 | 845 | 139 | 984 | 44.7 |
| 外 科 | 1,545 | 150 | 1,695 | 77.0 | 1,364 | 116 | 1,480 | 67.3 |
| 整 形 外 科 | 930 | 203 | 1,133 | 51.5 | 859 | 198 | 1,057 | 48.0 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,288 | 179 | 1,467 | 66.7 | 1,067 | 188 | 1,255 | 57.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 189 | 22 | 211 | 9.6 | 212 | 23 | 235 | 10.7 |
| 心臓・血管外科 | 258 | 43 | 301 | 13.7 | 312 | 39 | 351 | 16.0 |
| 皮 膚 科 | 1,805 | 308 | 2,113 | 96.0 | 1,932 | 276 | 2,208 | 100.4 |
| 泌 尿 器 科 | 1,551 | 140 | 1,691 | 76.9 | 1,411 | 117 | 1,528 | 69.5 |
| 産 婦 人 科 | 1,056 | 178 | 1,234 | 56.1 | 1,194 | 179 | 1,373 | 62.4 |
| 眼 科 | 751 | 106 | 857 | 39.0 | 758 | 114 | 872 | 39.6 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 616 | 228 | 844 | 38.4 | 690 | 253 | 943 | 42.9 |
| 放 射 線 治 療 科 | 779 | 23 | 802 | 36.5 | 1,030 | 37 | 1,067 | 48.5 |
| 麻 酔 科 | 122 | 296 | 418 | 19.0 | 116 | 254 | 370 | 16.8 |
| 画 像 診 断 部 | 1,340 | 516 | 1,856 | 84.4 | 1,268 | 523 | 1,791 | 81.4 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 379 | 140 | 519 | 23.6 | 248 | 161 | 409 | 18.6 |
| 計 | 19,364 | 3,437 | 22,801 | 1,036.4 | 19,401 | 3,345 | 22,746 | 1,033.9 |
| 栗 谷 診 療 所 | 73 | 3 | 76 | 3.5 | 75 | 1 | 76 | 3.5 |
| 合 計 | 19,437 | 3,440 | 22,877 | 1,039.9 | 19,476 | 3,346 | 22,822 | 1,037.4 |

資料

| 科 別 | 7月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度(診療日数22日) | | | | 平成22年度(診療日数21日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 6,075 | 694 | 6,769 | 307.8 | 5,874 | 678 | 6,552 | 312.0 |
| (呼吸器内科) | 650 | 121 | 771 | 35.0 | 640 | 136 | 776 | 37.0 |
| (循環器内科) | 1,164 | 167 | 1,331 | 60.5 | 992 | 160 | 1,152 | 54.9 |
| (腎臓内科) | 1,332 | 57 | 1,389 | 63.1 | 1,281 | 53 | 1,334 | 63.5 |
| (糖尿病内科) | 1,384 | 86 | 1,470 | 66.8 | 1,372 | 63 | 1,435 | 68.3 |
| (消化器内科) | 1,545 | 263 | 1,808 | 82.2 | 1,560 | 255 | 1,815 | 86.4 |
| (神経内科) | | | | | 29 | 11 | 40 | 1.9 |
| 精神科・心療内科 | 110 | 16 | 126 | 5.7 | 96 | 13 | 109 | 5.2 |
| 小 児 科 | 722 | 155 | 877 | 39.9 | 762 | 149 | 911 | 43.4 |
| 外 科 | 1,509 | 176 | 1,685 | 76.6 | 1,390 | 143 | 1,533 | 73.0 |
| 整 形 外 科 | 996 | 155 | 1,151 | 52.3 | 804 | 191 | 995 | 47.4 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,308 | 183 | 1,491 | 67.8 | 1,191 | 181 | 1,372 | 65.3 |
| 呼 吸 器 外 科 | 157 | 28 | 185 | 8.4 | 168 | 18 | 186 | 8.9 |
| 心臓・血管外科 | 292 | 44 | 336 | 15.3 | 354 | 43 | 397 | 18.9 |
| 皮 膚 科 | 1,986 | 299 | 2,285 | 103.9 | 1,855 | 254 | 2,109 | 100.4 |
| 泌 尿 器 科 | 1,539 | 156 | 1,695 | 77.0 | 1,416 | 131 | 1,547 | 73.7 |
| 産 婦 人 科 | 1,143 | 191 | 1,334 | 60.6 | 1,151 | 150 | 1,301 | 62.0 |
| 眼 科 | 800 | 127 | 927 | 42.1 | 703 | 103 | 806 | 38.4 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 659 | 228 | 887 | 40.3 | 737 | 202 | 939 | 44.7 |
| 放 射 線 治 療 科 | 867 | 26 | 893 | 40.6 | 1,062 | 22 | 1,084 | 51.6 |
| 麻 酔 科 | 106 | 275 | 381 | 17.3 | 123 | 278 | 401 | 19.1 |
| 画 像 診 断 部 | 1,331 | 531 | 1,862 | 84.6 | 1,167 | 502 | 1,669 | 79.5 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 378 | 179 | 557 | 25.3 | 239 | 156 | 395 | 18.8 |
| 計 | 19,978 | 3,463 | 23,441 | 1,065.5 | 19,092 | 3,214 | 22,306 | 1,062.2 |
| 栗 谷 診 療 所 | 87 | 5 | 92 | 4.2 | 84 | 1 | 85 | 4.0 |
| 合 計 | 20,065 | 3,468 | 23,533 | 1,069.7 | 19,176 | 3,215 | 22,391 | 1,066.2 |

診療科別外来患者数

平成21・22年度 月別外来患者数(8・9月)

| 科 別 | 8月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|-------|
| | 平成21年度(診療日数21日) | | | | 平成22年度(診療日数22日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,645 | 655 | 6,300 | 300.0 | 5,695 | 699 | 6,394 | 290.6 |
| (呼吸器内科) | 559 | 107 | 666 | 31.7 | 633 | 139 | 772 | 35.1 |
| (循環器内科) | 1,091 | 179 | 1,270 | 60.5 | 1,008 | 146 | 1,154 | 52.5 |
| (腎臓内科) | 1,336 | 56 | 1,392 | 66.3 | 1,335 | 58 | 1,393 | 63.3 |
| (糖尿病内科) | 1,239 | 72 | 1,311 | 62.4 | 1,345 | 82 | 1,427 | 64.9 |
| (消化器内科) | 1,420 | 241 | 1,661 | 79.1 | 1,360 | 257 | 1,617 | 73.5 |
| (神経内科) | | | | | 14 | 17 | 31 | 1.4 |
| 精神科・心療内科 | 97 | 32 | 129 | 6.1 | 86 | 29 | 115 | 5.2 |
| 小 児 科 | 745 | 145 | 890 | 42.4 | 754 | 133 | 887 | 40.3 |
| 外 科 | 1,300 | 115 | 1,415 | 67.4 | 1,247 | 131 | 1,378 | 62.6 |
| 整 形 外 科 | 841 | 173 | 1,014 | 48.3 | 799 | 201 | 1,000 | 45.5 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,279 | 162 | 1,441 | 68.6 | 1,350 | 164 | 1,514 | 68.8 |
| 呼 吸 器 外 科 | 166 | 12 | 178 | 8.5 | 187 | 27 | 214 | 9.7 |
| 心臓・血管外科 | 228 | 35 | 263 | 12.5 | 318 | 44 | 362 | 16.5 |
| 皮 膚 科 | 1,961 | 282 | 2,243 | 106.8 | 1,827 | 288 | 2,115 | 96.1 |
| 泌 尿 器 科 | 1,365 | 140 | 1,505 | 71.7 | 1,361 | 134 | 1,495 | 68.0 |
| 産 婦 人 科 | 1,029 | 166 | 1,195 | 56.9 | 1,060 | 176 | 1,236 | 56.2 |
| 眼 科 | 727 | 98 | 825 | 39.3 | 716 | 107 | 823 | 37.4 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 628 | 228 | 856 | 40.8 | 728 | 233 | 961 | 43.7 |
| 放 射 線 治 療 科 | 781 | 26 | 807 | 38.4 | 847 | 23 | 870 | 39.5 |
| 麻 酔 科 | 106 | 266 | 372 | 17.7 | 124 | 259 | 383 | 17.4 |
| 画 像 診 断 部 | 1,172 | 483 | 1,655 | 78.8 | 1,193 | 456 | 1,649 | 75.0 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 371 | 163 | 534 | 25.4 | 282 | 119 | 401 | 18.2 |
| 計 | 18,441 | 3,181 | 21,622 | 1,029.6 | 18,574 | 3,223 | 21,797 | 990.8 |
| 栗 谷 診 療 所 | 83 | 2 | 85 | 4.0 | 82 | 1 | 83 | 3.8 |
| 合 計 | 18,524 | 3,183 | 21,707 | 1,033.7 | 18,656 | 3,224 | 21,880 | 994.5 |

| 科 別 | 9月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度(診療日数19日) | | | | 平成22年度(診療日数20日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,633 | 598 | 6,231 | 328.0 | 5,631 | 713 | 6,344 | 317.2 |
| (呼吸器内科) | 619 | 82 | 701 | 36.9 | 675 | 130 | 805 | 40.3 |
| (循環器内科) | 1,087 | 157 | 1,244 | 65.5 | 1,009 | 155 | 1,164 | 58.2 |
| (腎臓内科) | 1,292 | 67 | 1,359 | 71.5 | 1,201 | 58 | 1,259 | 63.0 |
| (糖尿病内科) | 1,129 | 63 | 1,192 | 62.7 | 1,243 | 77 | 1,320 | 66.0 |
| (消化器内科) | 1,506 | 229 | 1,735 | 91.3 | 1,476 | 284 | 1,760 | 88.0 |
| (神経内科) | | | | | 27 | 9 | 36 | 1.8 |
| 精神科・心療内科 | 129 | 17 | 146 | 7.7 | 101 | 18 | 119 | 6.0 |
| 小 児 科 | 655 | 142 | 797 | 41.9 | 680 | 129 | 809 | 40.5 |
| 外 科 | 1,396 | 111 | 1,507 | 79.3 | 1,420 | 175 | 1,595 | 79.8 |
| 整 形 外 科 | 788 | 159 | 947 | 49.8 | 875 | 161 | 1,036 | 51.8 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,096 | 142 | 1,238 | 65.2 | 1,144 | 149 | 1,293 | 64.7 |
| 呼 吸 器 外 科 | 147 | 17 | 164 | 8.6 | 178 | 17 | 195 | 9.8 |
| 心臓・血管外科 | 264 | 38 | 302 | 15.9 | 343 | 36 | 379 | 19.0 |
| 皮 膚 科 | 1,690 | 253 | 1,943 | 102.3 | 1,721 | 349 | 2,070 | 103.5 |
| 泌 尿 器 科 | 1,483 | 133 | 1,616 | 85.1 | 1,397 | 133 | 1,530 | 76.5 |
| 産 婦 人 科 | 1,024 | 164 | 1,188 | 62.5 | 1,133 | 140 | 1,273 | 63.7 |
| 眼 科 | 694 | 92 | 786 | 41.4 | 710 | 88 | 798 | 39.9 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 669 | 183 | 852 | 44.8 | 801 | 196 | 997 | 49.9 |
| 放 射 線 治 療 科 | 890 | 29 | 919 | 48.4 | 870 | 28 | 898 | 44.9 |
| 麻 酔 科 | 135 | 253 | 388 | 20.4 | 120 | 261 | 381 | 19.1 |
| 画 像 診 断 部 | 1,153 | 455 | 1,608 | 84.6 | 1,211 | 467 | 1,678 | 83.9 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 367 | 129 | 496 | 26.1 | 218 | 134 | 352 | 17.6 |
| 計 | 18,213 | 2,915 | 21,128 | 1,112.0 | 18,553 | 3,194 | 21,747 | 1,087.4 |
| 栗 谷 診 療 所 | 71 | 4 | 75 | 3.9 | 75 | 3 | 78 | 3.9 |
| 合 計 | 18,284 | 2,919 | 21,203 | 1,115.9 | 18,628 | 3,197 | 21,825 | 1,091.3 |

平成21・22年度 月別外来患者数 (10・11月)

| 科 別 | 10月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|------------------|-------|--------|---------|------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数21日) | | | | 平成22年度 (診療日数20日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 6,057 | 640 | 6,697 | 318.9 | 5,238 | 669 | 5,907 | 295.4 |
| (呼吸器内科) | 670 | 107 | 777 | 37.0 | 605 | 151 | 756 | 37.8 |
| (循環器内科) | 1,119 | 172 | 1,291 | 61.5 | 968 | 162 | 1,130 | 56.5 |
| (腎臓内科) | 1,308 | 63 | 1,371 | 65.3 | 1,069 | 52 | 1,121 | 56.1 |
| (糖尿病内科) | 1,379 | 58 | 1,437 | 68.4 | 1,229 | 61 | 1,290 | 64.5 |
| (消化器内科) | 1,581 | 240 | 1,821 | 86.7 | 1,346 | 238 | 1,584 | 79.2 |
| (神経内科) | | | | | 21 | 5 | 26 | 1.3 |
| 精神科・心療内科 | 116 | 16 | 132 | 6.3 | 91 | 13 | 104 | 5.2 |
| 小 児 科 | 756 | 158 | 914 | 43.5 | 747 | 139 | 886 | 44.3 |
| 外 科 | 1,377 | 129 | 1,506 | 71.7 | 1,416 | 146 | 1,562 | 78.1 |
| 整 形 外 科 | 797 | 164 | 961 | 45.7 | 801 | 166 | 967 | 48.4 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,066 | 144 | 1,210 | 57.6 | 1,052 | 144 | 1,196 | 59.8 |
| 呼 吸 器 外 科 | 140 | 13 | 153 | 7.3 | 211 | 21 | 232 | 11.6 |
| 心臓・血管外科 | 301 | 47 | 348 | 16.6 | 375 | 40 | 415 | 20.8 |
| 皮 膚 科 | 1,872 | 257 | 2,129 | 101.4 | 1,672 | 197 | 1,869 | 93.5 |
| 泌 尿 器 科 | 1,549 | 147 | 1,696 | 80.7 | 1,433 | 113 | 1,546 | 77.3 |
| 産 婦 人 科 | 1,043 | 173 | 1,216 | 57.9 | 1,027 | 143 | 1,170 | 58.5 |
| 眼 科 | 781 | 94 | 875 | 41.7 | 758 | 91 | 849 | 42.5 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 602 | 226 | 828 | 39.4 | 625 | 213 | 838 | 41.9 |
| 放 射 線 治 療 科 | 912 | 26 | 938 | 44.7 | 989 | 26 | 1,015 | 50.8 |
| 麻 酔 科 | 112 | 276 | 388 | 18.5 | 101 | 242 | 343 | 17.2 |
| 画 像 診 断 部 | 1,278 | 515 | 1,793 | 85.4 | 1,211 | 437 | 1,648 | 82.4 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 406 | 161 | 567 | 27.0 | 248 | 138 | 386 | 19.3 |
| 計 | 19,165 | 3,186 | 22,351 | 1,064.3 | 17,995 | 2,938 | 20,933 | 1,046.7 |
| 栗 谷 診 療 所 | 79 | | 79 | 3.8 | 74 | | 74 | 3.7 |
| 合 計 | 19,244 | 3,186 | 22,430 | 1,068.1 | 18,069 | 2,938 | 21,007 | 1,050.4 |

| 科 別 | 11月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|------------------|-------|--------|---------|------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数19日) | | | | 平成22年度 (診療日数20日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,546 | 621 | 6,167 | 324.6 | 5,510 | 652 | 6,162 | 308.1 |
| (呼吸器内科) | 608 | 104 | 712 | 37.5 | 628 | 116 | 744 | 37.2 |
| (循環器内科) | 1,116 | 142 | 1,258 | 66.2 | 1,001 | 147 | 1,148 | 57.4 |
| (腎臓内科) | 1,232 | 43 | 1,275 | 67.1 | 1,154 | 53 | 1,207 | 60.4 |
| (糖尿病内科) | 1,208 | 74 | 1,282 | 67.5 | 1,275 | 77 | 1,352 | 67.6 |
| (消化器内科) | 1,382 | 258 | 1,640 | 86.3 | 1,414 | 247 | 1,661 | 83.1 |
| (神経内科) | | | | | 38 | 12 | 50 | 2.5 |
| 精神科・心療内科 | 138 | 30 | 168 | 8.8 | 62 | 17 | 79 | 4.0 |
| 小 児 科 | 939 | 150 | 1,089 | 57.3 | 769 | 139 | 908 | 45.4 |
| 外 科 | 1,284 | 118 | 1,402 | 73.8 | 1,440 | 160 | 1,600 | 80.0 |
| 整 形 外 科 | 844 | 151 | 995 | 52.4 | 792 | 187 | 979 | 49.0 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,007 | 147 | 1,154 | 60.7 | 938 | 135 | 1,073 | 53.7 |
| 呼 吸 器 外 科 | 138 | 17 | 155 | 8.2 | 175 | 26 | 201 | 10.1 |
| 心臓・血管外科 | 264 | 30 | 294 | 15.5 | 357 | 26 | 383 | 19.2 |
| 皮 膚 科 | 1,692 | 195 | 1,887 | 99.3 | 1,613 | 219 | 1,832 | 91.6 |
| 泌 尿 器 科 | 1,356 | 110 | 1,466 | 77.1 | 1,334 | 126 | 1,460 | 73.0 |
| 産 婦 人 科 | 1,098 | 136 | 1,234 | 64.9 | 1,123 | 144 | 1,267 | 63.4 |
| 眼 科 | 642 | 116 | 758 | 39.9 | 736 | 105 | 841 | 42.1 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 670 | 175 | 845 | 44.5 | 695 | 194 | 889 | 44.5 |
| 放 射 線 治 療 科 | 705 | 20 | 725 | 38.1 | 952 | 25 | 977 | 48.9 |
| 麻 酔 科 | 128 | 272 | 400 | 21.1 | 101 | 257 | 358 | 17.9 |
| 画 像 診 断 部 | 1,129 | 491 | 1,620 | 85.3 | 1,214 | 449 | 1,663 | 83.2 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 411 | 163 | 574 | 30.2 | 247 | 146 | 393 | 19.7 |
| 計 | 17,991 | 2,942 | 20,933 | 1,101.7 | 18,058 | 3,007 | 21,065 | 1,053.3 |
| 栗 谷 診 療 所 | 79 | 1 | 80 | 4.2 | 88 | 5 | 93 | 4.7 |
| 合 計 | 18,070 | 2,943 | 21,013 | 1,105.9 | 18,146 | 3,012 | 21,158 | 1,057.9 |

診療科別外来患者数

平成21・22年度 月別外来患者数 (12・1月)

| 科 別 | 12月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|------------------|-------|--------|---------|------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数20日) | | | | 平成22年度 (診療日数20日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,735 | 561 | 6,296 | 314.8 | 5,495 | 652 | 6,147 | 307.4 |
| （呼吸器内科） | 585 | 83 | 668 | 33.4 | 652 | 119 | 771 | 38.6 |
| （循環器内科） | 1,108 | 135 | 1,243 | 62.2 | 939 | 177 | 1,116 | 55.8 |
| （腎臓内科） | 1,198 | 44 | 1,242 | 62.1 | 1,143 | 49 | 1,192 | 59.6 |
| （糖尿病内科） | 1,307 | 70 | 1,377 | 68.9 | 1,255 | 69 | 1,324 | 66.2 |
| （消化器内科） | 1,537 | 229 | 1,766 | 88.3 | 1,479 | 226 | 1,705 | 85.3 |
| （神経内科） | | | | | 27 | 12 | 39 | 2.0 |
| 精神科・心療内科 | 124 | 13 | 137 | 6.9 | 76 | 13 | 89 | 4.5 |
| 小 児 科 | 1,117 | 150 | 1,267 | 63.3 | 990 | 149 | 1,139 | 57.0 |
| 外 科 | 1,284 | 147 | 1,431 | 71.5 | 1,451 | 134 | 1,585 | 79.3 |
| 整 形 外 科 | 735 | 146 | 881 | 44.0 | 821 | 135 | 956 | 47.8 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,038 | 150 | 1,188 | 59.4 | 1,027 | 157 | 1,184 | 59.2 |
| 呼 吸 器 外 科 | 183 | 23 | 206 | 10.3 | 196 | 18 | 214 | 10.7 |
| 心臓・血管外科 | 312 | 32 | 344 | 17.2 | 339 | 20 | 359 | 18.0 |
| 皮 膚 科 | 1,882 | 218 | 2,100 | 105.0 | 1,564 | 187 | 1,751 | 87.6 |
| 泌 尿 器 科 | 1,439 | 135 | 1,574 | 78.7 | 1,350 | 119 | 1,469 | 73.5 |
| 産 婦 人 科 | 1,069 | 150 | 1,219 | 61.0 | 1,115 | 159 | 1,274 | 63.7 |
| 眼 科 | 759 | 79 | 838 | 41.9 | 779 | 111 | 890 | 44.5 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 704 | 217 | 921 | 46.1 | 734 | 213 | 947 | 47.4 |
| 放 射 線 治 療 科 | 781 | 19 | 800 | 40.0 | 850 | 18 | 868 | 43.4 |
| 麻 酔 科 | 109 | 235 | 344 | 17.2 | 112 | 244 | 356 | 17.8 |
| 画 像 診 断 部 | 1,145 | 413 | 1,558 | 77.9 | 1,136 | 440 | 1,576 | 78.8 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 475 | 143 | 618 | 30.9 | 285 | 150 | 435 | 21.8 |
| 計 | 18,891 | 2,831 | 21,722 | 1,086.1 | 18,320 | 2,919 | 21,239 | 1,062.0 |
| 栗 谷 診 療 所 | 81 | 2 | 83 | 4.2 | 86 | 1 | 87 | 4.4 |
| 合 計 | 18,972 | 2,833 | 21,805 | 1,090.3 | 18,406 | 2,920 | 21,326 | 1,066.3 |

資料

| 科 別 | 1月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|------------------|-------|--------|---------|------------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度 (診療日数19日) | | | | 平成22年度 (診療日数19日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,477 | 505 | 5,982 | 314.8 | 5,340 | 577 | 5,917 | 311.4 |
| （呼吸器内科） | 586 | 96 | 682 | 35.9 | 655 | 115 | 770 | 40.5 |
| （循環器内科） | 1,030 | 126 | 1,156 | 60.8 | 964 | 126 | 1,090 | 57.4 |
| （腎臓内科） | 1,183 | 50 | 1,233 | 64.9 | 1,129 | 53 | 1,182 | 62.2 |
| （糖尿病内科） | 1,267 | 55 | 1,322 | 69.6 | 1,259 | 65 | 1,324 | 69.7 |
| （消化器内科） | 1,411 | 178 | 1,589 | 83.6 | 1,311 | 213 | 1,524 | 80.2 |
| （神経内科） | | | | | 22 | 5 | 27 | 1.4 |
| 精神科・心療内科 | 103 | 14 | 117 | 6.2 | 79 | 12 | 91 | 4.8 |
| 小 児 科 | 831 | 123 | 954 | 50.2 | 716 | 139 | 855 | 45.0 |
| 外 科 | 1,307 | 152 | 1,459 | 76.8 | 1,361 | 136 | 1,497 | 78.8 |
| 整 形 外 科 | 759 | 143 | 902 | 47.5 | 776 | 154 | 930 | 48.9 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,068 | 164 | 1,232 | 64.8 | 1,093 | 161 | 1,254 | 66.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 157 | 17 | 174 | 9.1 | 210 | 13 | 223 | 11.7 |
| 心臓・血管外科 | 351 | 24 | 375 | 19.7 | 344 | 27 | 371 | 19.5 |
| 皮 膚 科 | 1,791 | 213 | 2,004 | 105.5 | 1,588 | 204 | 1,792 | 94.3 |
| 泌 尿 器 科 | 1,391 | 116 | 1,507 | 79.3 | 1,291 | 121 | 1,412 | 74.3 |
| 産 婦 人 科 | 917 | 144 | 1,061 | 55.8 | 1,023 | 149 | 1,172 | 61.7 |
| 眼 科 | 676 | 106 | 782 | 41.2 | 696 | 81 | 777 | 40.9 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 593 | 193 | 786 | 41.4 | 642 | 216 | 858 | 45.2 |
| 放 射 線 治 療 科 | 623 | 15 | 638 | 33.6 | 629 | 27 | 656 | 34.5 |
| 麻 酔 科 | 74 | 289 | 363 | 19.1 | 80 | 291 | 371 | 19.5 |
| 画 像 診 断 部 | 1,122 | 375 | 1,497 | 78.8 | 1,166 | 443 | 1,609 | 84.7 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 299 | 157 | 456 | 24.0 | 233 | 146 | 379 | 19.9 |
| 計 | 17,539 | 2,750 | 20,289 | 1,067.8 | 17,267 | 2,897 | 20,164 | 1,061.3 |
| 栗 谷 診 療 所 | 74 | 2 | 76 | 4.0 | 69 | | 69 | 3.6 |
| 合 計 | 17,613 | 2,752 | 20,365 | 1,071.8 | 17,336 | 2,897 | 20,233 | 1,064.9 |

平成21・22年度 月別外来患者数(2・3月)

| 科 別 | 2月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度(診療日数19日) | | | | 平成22年度(診療日数19日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 5,526 | 590 | 6,116 | 321.9 | 4,559 | 540 | 5,099 | 268.4 |
| (呼吸器内科) | 611 | 87 | 698 | 36.7 | 586 | 99 | 685 | 36.1 |
| (循環器内科) | 1,005 | 159 | 1,164 | 61.3 | 887 | 134 | 1,021 | 53.7 |
| (腎臓内科) | 1,177 | 52 | 1,229 | 64.7 | 865 | 30 | 895 | 47.1 |
| (糖尿病内科) | 1,366 | 61 | 1,427 | 75.1 | 1,091 | 78 | 1,169 | 61.5 |
| (消化器内科) | 1,367 | 231 | 1,598 | 84.1 | 1,110 | 191 | 1,301 | 68.5 |
| (神経内科) | | | | | 20 | 8 | 28 | 1.5 |
| 精神科・心療内科 | 85 | 10 | 95 | 5.0 | 108 | 21 | 129 | 6.8 |
| 小 児 科 | 729 | 115 | 844 | 44.4 | 702 | 125 | 827 | 43.5 |
| 外 科 | 1,194 | 114 | 1,308 | 68.9 | 1,412 | 120 | 1,532 | 80.6 |
| 整 形 外 科 | 771 | 157 | 928 | 48.8 | 748 | 168 | 916 | 48.2 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,020 | 160 | 1,180 | 62.1 | 1,058 | 174 | 1,232 | 64.8 |
| 呼 吸 器 外 科 | 148 | 19 | 167 | 8.8 | 161 | 16 | 177 | 9.3 |
| 心臓・血管外科 | 317 | 29 | 346 | 18.2 | 298 | 25 | 323 | 17.0 |
| 皮 膚 科 | 1,742 | 207 | 1,949 | 102.6 | 1,492 | 200 | 1,692 | 89.1 |
| 泌 尿 器 科 | 1,326 | 126 | 1,452 | 76.4 | 1,307 | 143 | 1,450 | 76.3 |
| 産 婦 人 科 | 912 | 142 | 1,054 | 55.5 | 1,000 | 131 | 1,131 | 59.5 |
| 眼 科 | 761 | 103 | 864 | 45.5 | 732 | 78 | 810 | 42.6 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 641 | 222 | 863 | 45.4 | 692 | 174 | 866 | 45.6 |
| 放 射 線 治 療 科 | 654 | 22 | 676 | 35.6 | 888 | 24 | 912 | 48.0 |
| 麻 酔 科 | 94 | 276 | 370 | 19.5 | 91 | 259 | 350 | 18.4 |
| 画 像 診 断 部 | 1,151 | 379 | 1,530 | 80.5 | 1,173 | 461 | 1,634 | 86.0 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 257 | 163 | 420 | 22.1 | 239 | 124 | 363 | 19.1 |
| 計 | 17,328 | 2,834 | 20,162 | 1,061.2 | 16,660 | 2,783 | 19,443 | 1,023.3 |
| 栗 谷 診 療 所 | 71 | 1 | 72 | 3.8 | 73 | | 73 | 3.8 |
| 合 計 | 17,399 | 2,835 | 20,234 | 1,064.9 | 16,733 | 2,783 | 19,516 | 1,027.2 |

| 科 別 | 3月外来患者数 | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-------|--------|---------|-----------------|-------|--------|---------|
| | 平成21年度(診療日数22日) | | | | 平成22年度(診療日数22日) | | | |
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 6,283 | 682 | 6,965 | 316.6 | 5,026 | 647 | 5,673 | 257.9 |
| (呼吸器内科) | 683 | 111 | 794 | 36.1 | 623 | 126 | 749 | 34.0 |
| (循環器内科) | 1,049 | 168 | 1,217 | 55.3 | 921 | 174 | 1,095 | 49.8 |
| (腎臓内科) | 1,413 | 56 | 1,469 | 66.8 | 794 | 29 | 823 | 37.4 |
| (糖尿病内科) | 1,539 | 75 | 1,614 | 73.4 | 1,278 | 85 | 1,363 | 62.0 |
| (消化器内科) | 1,599 | 272 | 1,871 | 85.0 | 1,377 | 230 | 1,607 | 73.0 |
| (神経内科) | | | | | 33 | 3 | 36 | 1.6 |
| 精神科・心療内科 | 158 | 28 | 186 | 8.5 | 103 | 21 | 124 | 5.6 |
| 小 児 科 | 890 | 151 | 1,041 | 47.3 | 942 | 135 | 1,077 | 49.0 |
| 外 科 | 1,409 | 129 | 1,538 | 69.9 | 1,527 | 128 | 1,655 | 75.2 |
| 整 形 外 科 | 751 | 161 | 912 | 41.4 | 960 | 148 | 1,108 | 50.4 |
| 脳 神 経 外 科 | 1,106 | 169 | 1,275 | 58.0 | 1,180 | 160 | 1,340 | 60.9 |
| 呼 吸 器 外 科 | 154 | 18 | 172 | 7.8 | 173 | 18 | 191 | 8.7 |
| 心臓・血管外科 | 362 | 47 | 409 | 18.6 | 446 | 37 | 483 | 22.0 |
| 皮 膚 科 | 1,925 | 232 | 2,157 | 98.0 | 1,749 | 228 | 1,977 | 89.9 |
| 泌 尿 器 科 | 1,378 | 122 | 1,500 | 68.2 | 1,507 | 149 | 1,656 | 75.3 |
| 産 婦 人 科 | 1,104 | 164 | 1,268 | 57.6 | 1,114 | 135 | 1,249 | 56.8 |
| 眼 科 | 793 | 118 | 911 | 41.4 | 861 | 90 | 951 | 43.2 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 729 | 238 | 967 | 43.9 | 792 | 267 | 1,059 | 48.1 |
| 放 射 線 治 療 科 | 910 | 33 | 943 | 42.9 | 977 | 30 | 1,007 | 45.8 |
| 麻 酔 科 | 116 | 267 | 383 | 17.4 | 99 | 301 | 400 | 18.2 |
| 画 像 診 断 部 | 1,271 | 515 | 1,786 | 81.2 | 1,333 | 495 | 1,828 | 83.1 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 291 | 155 | 446 | 20.3 | 269 | 145 | 414 | 18.8 |
| 計 | 19,630 | 3,229 | 22,859 | 1,039.0 | 19,058 | 3,134 | 22,192 | 1,008.7 |
| 栗 谷 診 療 所 | 72 | 3 | 75 | 3.4 | 72 | 1 | 73 | 3.3 |
| 合 計 | 19,702 | 3,232 | 22,934 | 1,042.5 | 19,130 | 3,135 | 22,265 | 1,012.0 |

診療科別入院患者数

平成21・22年度 月別入院患者数 (4・5月)

| 科 別 | 4月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|------------------|-----|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数30日) | | | | 平成22年度 (診療日数30日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 293 | 287 | 4,590 | 153.0 | 301 | 299 | 4,799 | 160.0 |
| （呼吸器内科） | | | | | 64 | 62 | 1,100 | 36.7 |
| （循環器内科） | | | | | 78 | 92 | 966 | 32.2 |
| （腎臓内科） | | | | | 37 | 30 | 1,060 | 35.3 |
| （糖尿病内科） | | | | | 12 | 15 | 154 | 5.1 |
| （消化器内科） | | | | | 110 | 100 | 1,519 | 50.6 |
| （神経内科） | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 84 | 78 | 517 | 17.2 | 77 | 64 | 442 | 14.7 |
| 外 科 | 118 | 122 | 1,637 | 54.6 | 104 | 114 | 1,689 | 56.3 |
| 整 形 外 科 | 79 | 74 | 1,360 | 45.3 | 86 | 89 | 1,476 | 49.2 |
| 脳 神 経 外 科 | 37 | 27 | 807 | 26.9 | 41 | 43 | 787 | 26.2 |
| 呼 吸 器 外 科 | 20 | 14 | 261 | 8.7 | 27 | 15 | 482 | 16.1 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 12 | 16 | 615 | 20.5 | 28 | 32 | 780 | 26.0 |
| 皮 膚 科 | 15 | 14 | 211 | 7.0 | 10 | 16 | 201 | 6.7 |
| 泌 尿 器 科 | 57 | 48 | 460 | 15.3 | 60 | 66 | 524 | 17.5 |
| 産 婦 人 科 | 94 | 99 | 835 | 27.9 | 98 | 95 | 822 | 27.4 |
| 眼 科 | 39 | 42 | 153 | 5.1 | 25 | 25 | 119 | 4.0 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 49 | 53 | 433 | 14.4 | 42 | 43 | 463 | 15.4 |
| 放 射 線 治 療 科 | 6 | 8 | 203 | 6.8 | 4 | 8 | 130 | 4.3 |
| 麻 酔 科 | 20 | 22 | 126 | 4.2 | 21 | 12 | 99 | 3.3 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | | 28 | 0.9 | 1 | 1 | 6 | 0.2 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 9 | 8 | 113 | 3.8 | 8 | 7 | 147 | 4.9 |
| 合 計 | 933 | 912 | 12,349 | 411.6 | 933 | 929 | 12,966 | 432.2 |

資料

| 科 別 | 5月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|------------------|-----|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数31日) | | | | 平成22年度 (診療日数31日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 290 | 308 | 4,605 | 148.6 | 278 | 278 | 4,911 | 158.4 |
| （呼吸器内科） | | | | | 58 | 59 | 1,076 | 34.7 |
| （循環器内科） | | | | | 76 | 74 | 859 | 27.7 |
| （腎臓内科） | | | | | 33 | 35 | 1,182 | 38.1 |
| （糖尿病内科） | | | | | 9 | 8 | 100 | 3.2 |
| （消化器内科） | | | | | 102 | 102 | 1,694 | 54.6 |
| （神経内科） | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 70 | 69 | 478 | 15.4 | 79 | 93 | 465 | 15.0 |
| 外 科 | 105 | 104 | 1,585 | 51.1 | 108 | 102 | 1,733 | 55.9 |
| 整 形 外 科 | 72 | 89 | 1,290 | 41.6 | 79 | 82 | 1,296 | 41.8 |
| 脳 神 経 外 科 | 36 | 33 | 898 | 29.0 | 47 | 30 | 1,118 | 36.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 27 | 24 | 426 | 13.7 | 25 | 24 | 595 | 19.2 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 20 | 18 | 643 | 20.7 | 23 | 19 | 746 | 24.1 |
| 皮 膚 科 | 22 | 23 | 191 | 6.2 | 18 | 19 | 183 | 5.9 |
| 泌 尿 器 科 | 63 | 63 | 595 | 19.2 | 56 | 50 | 449 | 14.5 |
| 産 婦 人 科 | 107 | 101 | 781 | 25.2 | 101 | 102 | 769 | 24.8 |
| 眼 科 | 34 | 34 | 147 | 4.7 | 34 | 34 | 94 | 3.0 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 32 | 34 | 298 | 9.6 | 44 | 43 | 504 | 16.3 |
| 放 射 線 治 療 科 | 7 | 8 | 185 | 6.0 | 4 | 8 | 92 | 3.0 |
| 麻 酔 科 | 21 | 19 | 143 | 4.6 | 29 | 17 | 130 | 4.2 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | 1 | 45 | 1.5 | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 12 | 10 | 116 | 3.7 | 11 | 8 | 149 | 4.8 |
| 合 計 | 919 | 938 | 12,426 | 400.8 | 936 | 909 | 13,234 | 426.9 |

平成21・22年度 月別入院患者数 (6・7月)

| 科 別 | 6月入院患者数 | | | | | | | |
|----------|------------------|-------|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数30日) | | | | 平成22年度 (診療日数30日) | | | |
| | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 |
| 内科 | 338 | 312 | 4,341 | 144.8 | 309 | 311 | 4,481 | 149.4 |
| (呼吸器内科) | | | | | 58 | 58 | 915 | 30.5 |
| (循環器内科) | | | | | 81 | 86 | 896 | 29.9 |
| (腎臓内科) | | | | | 30 | 24 | 1,005 | 33.5 |
| (糖尿病内科) | | | | | 13 | 10 | 81 | 2.7 |
| (消化器内科) | | | | | 127 | 133 | 1,584 | 52.8 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小児科 | 88 | 82 | 547 | 18.2 | 80 | 73 | 517 | 17.2 |
| 外科 | 128 | 129 | 1,681 | 56.0 | 107 | 132 | 1,484 | 49.4 |
| 整形外科 | 97 | 88 | 1,306 | 43.5 | 78 | 77 | 1,268 | 42.3 |
| 脳神経外科 | 40 | 43 | 743 | 24.8 | 36 | 48 | 1,127 | 37.6 |
| 呼吸器外科 | 24 | 14 | 479 | 16.0 | 26 | 29 | 496 | 16.5 |
| 心臓・血管外科 | 31 | 24 | 678 | 22.6 | 31 | 26 | 870 | 29.0 |
| 皮膚科 | 17 | 18 | 181 | 6.0 | 14 | 16 | 138 | 4.6 |
| 泌尿器科 | 82 | 80 | 727 | 24.2 | 55 | 56 | 417 | 13.9 |
| 産婦人科 | 111 | 107 | 919 | 30.6 | 105 | 98 | 818 | 27.3 |
| 眼科 | 45 | 43 | 157 | 5.2 | 41 | 39 | 126 | 4.2 |
| 耳鼻咽喉科 | 34 | 35 | 315 | 10.5 | 50 | 49 | 535 | 17.8 |
| 放射線治療科 | 13 | 5 | 208 | 6.9 | 7 | 2 | 107 | 3.6 |
| 麻酔科 | 23 | 20 | 144 | 4.8 | 20 | 12 | 158 | 5.3 |
| 画像診断部 | 1 | 1 | 26 | 0.9 | 1 | 1 | 12 | 0.4 |
| 歯科口腔外科 | 10 | 11 | 164 | 5.5 | 8 | 12 | 124 | 4.1 |
| 合計 | 1,082 | 1,012 | 12,616 | 420.5 | 968 | 981 | 12,678 | 422.6 |

資料

| 科 別 | 7月入院患者数 | | | | | | | |
|----------|------------------|-------|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数31日) | | | | 平成22年度 (診療日数31日) | | | |
| | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 |
| 内科 | 317 | 334 | 4,462 | 144.0 | 276 | 283 | 4,588 | 148.0 |
| (呼吸器内科) | | | | | 57 | 54 | 973 | 31.4 |
| (循環器内科) | | | | | 67 | 71 | 863 | 27.8 |
| (腎臓内科) | | | | | 20 | 27 | 1,013 | 32.7 |
| (糖尿病内科) | | | | | 12 | 11 | 114 | 3.7 |
| (消化器内科) | | | | | 120 | 120 | 1,625 | 52.4 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小児科 | 69 | 72 | 523 | 16.9 | 62 | 63 | 401 | 12.9 |
| 外科 | 102 | 110 | 1,444 | 46.6 | 116 | 98 | 1,531 | 49.4 |
| 整形外科 | 91 | 87 | 1,447 | 46.7 | 93 | 103 | 1,369 | 44.2 |
| 脳神経外科 | 38 | 33 | 857 | 27.6 | 35 | 46 | 874 | 28.2 |
| 呼吸器外科 | 23 | 30 | 606 | 19.5 | 20 | 22 | 495 | 16.0 |
| 心臓・血管外科 | 24 | 29 | 744 | 24.0 | 25 | 32 | 871 | 28.1 |
| 皮膚科 | 21 | 22 | 174 | 5.6 | 18 | 16 | 128 | 4.1 |
| 泌尿器科 | 78 | 78 | 756 | 24.4 | 50 | 54 | 513 | 16.5 |
| 産婦人科 | 106 | 110 | 878 | 28.3 | 119 | 118 | 836 | 27.0 |
| 眼科 | 45 | 39 | 202 | 6.5 | 34 | 39 | 88 | 2.8 |
| 耳鼻咽喉科 | 48 | 40 | 479 | 15.5 | 44 | 52 | 549 | 17.7 |
| 放射線治療科 | 6 | 11 | 215 | 6.9 | 9 | 9 | 247 | 8.0 |
| 麻酔科 | 25 | 25 | 234 | 7.5 | 30 | 20 | 233 | 7.5 |
| 画像診断部 | 1 | 1 | 19 | 0.6 | | | | |
| 歯科口腔外科 | 7 | 10 | 95 | 3.1 | 9 | 6 | 145 | 4.7 |
| 合計 | 1,001 | 1,031 | 13,135 | 423.7 | 940 | 961 | 12,868 | 415.1 |

診療科別入院患者数

平成21・22年度 月別入院患者数 (8・9月)

| 科 別 | 8月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|-------------------|-------|--------|-------|-------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数 31日) | | | | 平成22年度 (診療日数 31日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 326 | 311 | 4,785 | 154.4 | 297 | 260 | 4,520 | 145.8 |
| （呼吸器内科） | | | | | 40 | 45 | 809 | 26.1 |
| （循環器内科） | | | | | 85 | 69 | 890 | 28.7 |
| （腎臓内科） | | | | | 34 | 33 | 1,117 | 36.0 |
| （糖尿病内科） | | | | | 21 | 13 | 204 | 6.6 |
| （消化器内科） | | | | | 117 | 100 | 1,500 | 48.4 |
| （神経内科） | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 72 | 75 | 504 | 16.3 | 72 | 71 | 481 | 15.5 |
| 外 科 | 105 | 104 | 1,398 | 45.1 | 111 | 127 | 1,791 | 57.8 |
| 整 形 外 科 | 88 | 89 | 1,514 | 48.8 | 74 | 76 | 1,076 | 34.7 |
| 脳 神 経 外 科 | 40 | 48 | 850 | 27.4 | 43 | 37 | 962 | 31.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 25 | 30 | 545 | 17.6 | 27 | 22 | 409 | 13.2 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 27 | 28 | 713 | 23.0 | 24 | 29 | 809 | 26.1 |
| 皮 膚 科 | 19 | 19 | 198 | 6.4 | 15 | 16 | 189 | 6.1 |
| 泌 尿 器 科 | 63 | 71 | 529 | 17.1 | 53 | 54 | 406 | 13.1 |
| 産 婦 人 科 | 114 | 117 | 900 | 29.0 | 104 | 110 | 779 | 25.1 |
| 眼 科 | 35 | 41 | 140 | 4.5 | 30 | 25 | 108 | 3.5 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 41 | 45 | 441 | 14.2 | 53 | 48 | 574 | 18.5 |
| 放 射 線 治 療 科 | 8 | 8 | 218 | 7.0 | 5 | 8 | 175 | 5.6 |
| 麻 酔 科 | 33 | 37 | 215 | 6.9 | 32 | 24 | 343 | 11.1 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | 2 | 19 | 0.6 | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 10 | 4 | 99 | 3.2 | 14 | 14 | 194 | 6.3 |
| 合 計 | 1,007 | 1,029 | 13,068 | 421.5 | 954 | 921 | 12,816 | 413.4 |

資料

| 科 別 | 9月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|-------------------|-----|--------|-------|-------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数 30日) | | | | 平成22年度 (診療日数 30日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 318 | 316 | 4,603 | 153.4 | 307 | 321 | 4,376 | 145.9 |
| （呼吸器内科） | | | | | 53 | 52 | 704 | 23.5 |
| （循環器内科） | | | | | 92 | 97 | 795 | 26.5 |
| （腎臓内科） | | | | | 27 | 31 | 1,005 | 33.5 |
| （糖尿病内科） | | | | | 12 | 12 | 221 | 7.4 |
| （消化器内科） | | | | | 123 | 129 | 1,651 | 55.0 |
| （神経内科） | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 73 | 76 | 439 | 14.6 | 65 | 65 | 468 | 15.6 |
| 外 科 | 106 | 102 | 1,413 | 47.1 | 126 | 121 | 1,747 | 58.2 |
| 整 形 外 科 | 76 | 84 | 1,363 | 45.5 | 69 | 64 | 1,202 | 40.1 |
| 脳 神 経 外 科 | 38 | 40 | 725 | 24.2 | 47 | 45 | 975 | 32.5 |
| 呼 吸 器 外 科 | 21 | 21 | 456 | 15.2 | 25 | 27 | 385 | 12.8 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 19 | 18 | 636 | 21.2 | 19 | 18 | 784 | 26.1 |
| 皮 膚 科 | 24 | 22 | 206 | 6.9 | 10 | 12 | 126 | 4.2 |
| 泌 尿 器 科 | 75 | 72 | 625 | 20.8 | 68 | 59 | 562 | 18.7 |
| 産 婦 人 科 | 105 | 101 | 861 | 28.7 | 105 | 103 | 785 | 26.2 |
| 眼 科 | 40 | 35 | 150 | 5.0 | 38 | 35 | 106 | 3.5 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 45 | 38 | 409 | 13.6 | 46 | 49 | 465 | 15.5 |
| 放 射 線 治 療 科 | 4 | 2 | 249 | 8.3 | 8 | 4 | 260 | 8.7 |
| 麻 酔 科 | 20 | 18 | 158 | 5.3 | 17 | 24 | 251 | 8.4 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | 1 | 9 | 0.3 | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 12 | 12 | 231 | 7.7 | 10 | 13 | 211 | 7.0 |
| 合 計 | 977 | 958 | 12,533 | 417.8 | 960 | 960 | 12,703 | 423.4 |

平成21・22年度 月別入院患者数 (10・11月)

| 科 別 | 10月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|------------------|-------|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数31日) | | | | 平成22年度 (診療日数31日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 317 | 326 | 4,731 | 152.6 | 271 | 272 | 4,194 | 135.3 |
| (呼吸器内科) | | | | | 46 | 47 | 746 | 24.1 |
| (循環器内科) | | | | | 76 | 68 | 711 | 22.9 |
| (腎臓内科) | | | | | 21 | 25 | 982 | 31.7 |
| (糖尿病内科) | | | | | 11 | 11 | 212 | 6.8 |
| (消化器内科) | | | | | 117 | 121 | 1,543 | 49.8 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 72 | 75 | 423 | 13.6 | 69 | 81 | 484 | 15.6 |
| 外 科 | 101 | 102 | 1,550 | 50.0 | 119 | 133 | 1,823 | 58.8 |
| 整 形 外 科 | 80 | 84 | 1,310 | 42.3 | 74 | 82 | 1,229 | 39.6 |
| 脳 神 経 外 科 | 39 | 44 | 745 | 24.0 | 42 | 50 | 1,013 | 32.7 |
| 呼 吸 器 外 科 | 26 | 23 | 538 | 17.4 | 34 | 34 | 473 | 15.3 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 25 | 24 | 643 | 20.7 | 21 | 28 | 721 | 23.3 |
| 皮 膚 科 | 23 | 21 | 252 | 8.1 | 16 | 16 | 155 | 5.0 |
| 泌 尿 器 科 | 91 | 85 | 667 | 21.5 | 56 | 55 | 499 | 16.1 |
| 産 婦 人 科 | 96 | 106 | 876 | 28.3 | 74 | 82 | 708 | 22.8 |
| 眼 科 | 41 | 46 | 166 | 5.4 | 45 | 52 | 120 | 3.9 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 45 | 50 | 509 | 16.4 | 35 | 33 | 506 | 16.3 |
| 放 射 線 治 療 科 | 5 | 8 | 283 | 9.1 | 6 | 9 | 251 | 8.1 |
| 麻 酔 科 | 30 | 31 | 204 | 6.6 | 11 | 10 | 112 | 3.6 |
| 画 像 診 断 部 | 2 | 1 | 18 | 0.6 | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 10 | 14 | 222 | 7.2 | 10 | 7 | 166 | 5.4 |
| 合 計 | 1,003 | 1,040 | 13,137 | 423.8 | 883 | 944 | 12,454 | 401.7 |

資料

| 科 別 | 11月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|------------------|-----|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数30日) | | | | 平成22年度 (診療日数30日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 329 | 328 | 4,679 | 156.0 | 339 | 311 | 4,633 | 154.4 |
| (呼吸器内科) | | | | | 70 | 59 | 864 | 28.8 |
| (循環器内科) | | | | | 95 | 82 | 1,041 | 34.7 |
| (腎臓内科) | | | | | 18 | 27 | 926 | 30.9 |
| (糖尿病内科) | | | | | 12 | 11 | 143 | 4.8 |
| (消化器内科) | | | | | 144 | 132 | 1,659 | 55.3 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 90 | 83 | 497 | 16.6 | 83 | 70 | 486 | 16.2 |
| 外 科 | 116 | 112 | 1,615 | 53.8 | 116 | 116 | 1,633 | 54.4 |
| 整 形 外 科 | 84 | 75 | 1,451 | 48.4 | 103 | 101 | 1,297 | 43.2 |
| 脳 神 経 外 科 | 51 | 46 | 694 | 23.1 | 39 | 41 | 684 | 22.8 |
| 呼 吸 器 外 科 | 22 | 21 | 455 | 15.2 | 33 | 27 | 548 | 18.3 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 34 | 32 | 774 | 25.8 | 24 | 17 | 706 | 23.5 |
| 皮 膚 科 | 22 | 21 | 316 | 10.5 | 18 | 16 | 212 | 7.1 |
| 泌 尿 器 科 | 59 | 65 | 606 | 20.2 | 64 | 66 | 607 | 20.2 |
| 産 婦 人 科 | 88 | 92 | 757 | 25.2 | 100 | 97 | 629 | 21.0 |
| 眼 科 | 36 | 35 | 132 | 4.4 | 36 | 33 | 101 | 3.4 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 33 | 32 | 350 | 11.7 | 33 | 39 | 471 | 15.7 |
| 放 射 線 治 療 科 | 5 | 7 | 129 | 4.3 | 6 | 6 | 172 | 5.7 |
| 麻 酔 科 | 21 | 20 | 214 | 7.1 | 25 | 18 | 248 | 8.3 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | 2 | 18 | 0.6 | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 13 | 11 | 183 | 6.1 | 8 | 10 | 161 | 5.4 |
| 合 計 | 1,004 | 982 | 12,870 | 429.0 | 1,027 | 968 | 12,588 | 419.6 |

診療科別入院患者数

平成21・22年度 月別入院患者数 (12・1月)

| 科 別 | 12月入院患者数 | | | | | | | |
|----------|------------------|-------|--------|-------|------------------|-------|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数31日) | | | | 平成22年度 (診療日数31日) | | | |
| | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 284 | 321 | 4,570 | 147.4 | 277 | 334 | 4,542 | 146.5 |
| (呼吸器内科) | | | | | 56 | 69 | 880 | 28.4 |
| (循環器内科) | | | | | 88 | 96 | 981 | 31.6 |
| (腎臓内科) | | | | | 29 | 29 | 964 | 31.1 |
| (糖尿病内科) | | | | | 11 | 12 | 190 | 6.1 |
| (消化器内科) | | | | | 93 | 128 | 1,527 | 49.3 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 114 | 120 | 682 | 22.0 | 108 | 112 | 645 | 20.8 |
| 外 科 | 93 | 111 | 1,453 | 46.9 | 111 | 128 | 1,889 | 60.9 |
| 整形外科 | 74 | 86 | 1,352 | 43.6 | 76 | 89 | 1,226 | 39.5 |
| 脳神経外科 | 31 | 43 | 664 | 21.4 | 47 | 47 | 981 | 31.6 |
| 呼吸器外科 | 30 | 37 | 509 | 16.4 | 20 | 31 | 473 | 15.3 |
| 心臓・血管外科 | 22 | 26 | 674 | 21.7 | 25 | 30 | 848 | 27.4 |
| 皮膚科 | 23 | 29 | 234 | 7.5 | 13 | 16 | 193 | 6.2 |
| 泌尿器科 | 53 | 60 | 600 | 19.4 | 53 | 69 | 512 | 16.5 |
| 産婦人科 | 90 | 91 | 703 | 22.7 | 99 | 105 | 794 | 25.6 |
| 眼科 | 29 | 34 | 134 | 4.3 | 42 | 46 | 144 | 4.6 |
| 耳鼻咽喉科 | 34 | 46 | 400 | 12.9 | 42 | 42 | 415 | 13.4 |
| 放射線治療科 | 5 | 4 | 133 | 4.3 | 6 | 9 | 194 | 6.3 |
| 麻酔科 | 15 | 14 | 145 | 4.7 | 27 | 19 | 177 | 5.7 |
| 画像診断部 | | | | | | | | |
| 歯科口腔外科 | 9 | 14 | 123 | 4.0 | 4 | 8 | 76 | 2.5 |
| 合 計 | 906 | 1,036 | 12,376 | 399.2 | 950 | 1,085 | 13,109 | 422.9 |

資料

| 科 別 | 1月入院患者数 | | | | | | | |
|----------|------------------|-----|--------|-------|------------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度 (診療日数31日) | | | | 平成22年度 (診療日数31日) | | | |
| | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 337 | 295 | 5,057 | 163.1 | 309 | 241 | 4,600 | 148.4 |
| (呼吸器内科) | | | | | 63 | 52 | 994 | 32.1 |
| (循環器内科) | | | | | 94 | 75 | 1,174 | 37.9 |
| (腎臓内科) | | | | | 27 | 31 | 867 | 28.0 |
| (糖尿病内科) | | | | | 17 | 7 | 208 | 6.7 |
| (消化器内科) | | | | | 108 | 76 | 1,357 | 43.8 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 94 | 85 | 572 | 18.5 | 66 | 70 | 467 | 15.1 |
| 外 科 | 123 | 102 | 1,624 | 52.4 | 124 | 117 | 1,853 | 59.8 |
| 整形外科 | 85 | 73 | 1,428 | 46.1 | 82 | 67 | 1,128 | 36.4 |
| 脳神経外科 | 49 | 30 | 738 | 23.8 | 46 | 48 | 1,030 | 33.2 |
| 呼吸器外科 | 26 | 21 | 542 | 17.5 | 35 | 26 | 472 | 15.2 |
| 心臓・血管外科 | 23 | 18 | 699 | 22.5 | 27 | 26 | 930 | 30.0 |
| 皮膚科 | 22 | 19 | 211 | 6.8 | 15 | 13 | 193 | 6.2 |
| 泌尿器科 | 68 | 53 | 661 | 21.3 | 63 | 51 | 466 | 15.0 |
| 産婦人科 | 85 | 82 | 719 | 23.2 | 99 | 91 | 618 | 19.9 |
| 眼科 | 26 | 26 | 101 | 3.3 | 35 | 32 | 77 | 2.5 |
| 耳鼻咽喉科 | 36 | 26 | 331 | 10.7 | 42 | 34 | 484 | 15.6 |
| 放射線治療科 | 10 | 8 | 202 | 6.5 | 9 | 5 | 177 | 5.7 |
| 麻酔科 | 27 | 28 | 189 | 6.1 | 33 | 24 | 301 | 9.7 |
| 画像診断部 | | | | | | | | |
| 歯科口腔外科 | 12 | 7 | 158 | 5.1 | 8 | 4 | 105 | 3.4 |
| 合 計 | 1,023 | 873 | 13,232 | 426.8 | 993 | 849 | 12,901 | 416.2 |

平成21・22年度 月別入院患者数(2・3月)

| 科 別 | 2月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|-----------------|-----|--------|-------|-----------------|-----|--------|-------|
| | 平成21年度(診療日数28日) | | | | 平成22年度(診療日数28日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 292 | 295 | 4,509 | 161.0 | 259 | 265 | 4,279 | 152.8 |
| (呼吸器内科) | | | | | 52 | 51 | 851 | 30.4 |
| (循環器内科) | | | | | 84 | 74 | 1,050 | 37.5 |
| (腎臓内科) | | | | | 16 | 20 | 661 | 23.6 |
| (糖尿病内科) | | | | | 10 | 15 | 275 | 9.8 |
| (消化器内科) | | | | | 97 | 105 | 1,442 | 51.5 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 78 | 77 | 531 | 19.0 | 46 | 42 | 350 | 12.5 |
| 外 科 | 122 | 124 | 1,707 | 60.9 | 104 | 123 | 1,628 | 58.1 |
| 整 形 外 科 | 98 | 92 | 1,400 | 50.0 | 83 | 79 | 1,262 | 45.1 |
| 脳 神 経 外 科 | 34 | 36 | 870 | 31.1 | 39 | 37 | 923 | 33.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 27 | 29 | 449 | 16.0 | 30 | 28 | 436 | 15.6 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 19 | 26 | 668 | 23.9 | 28 | 35 | 948 | 33.9 |
| 皮 膚 科 | 20 | 23 | 228 | 8.1 | 13 | 13 | 126 | 4.5 |
| 泌 尿 器 科 | 65 | 67 | 593 | 21.2 | 65 | 65 | 462 | 16.5 |
| 産 婦 人 科 | 89 | 85 | 719 | 25.7 | 77 | 79 | 628 | 22.4 |
| 眼 科 | 39 | 36 | 129 | 4.6 | 43 | 41 | 108 | 3.9 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 37 | 36 | 425 | 15.2 | 39 | 44 | 457 | 16.3 |
| 放 射 線 治 療 科 | 6 | 8 | 204 | 7.3 | 4 | 4 | 189 | 6.8 |
| 麻 酔 科 | 27 | 24 | 192 | 6.9 | 20 | 16 | 254 | 9.1 |
| 画 像 診 断 部 | | | | | | | | |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 10 | 11 | 129 | 4.6 | 12 | 14 | 168 | 6.0 |
| 合 計 | 963 | 969 | 12,753 | 455.5 | 862 | 885 | 12,218 | 436.4 |

資料

| 科 別 | 3月入院患者数 | | | | | | | |
|---------------|-----------------|-----|--------|-------|-----------------|-------|--------|-------|
| | 平成21年度(診療日数31日) | | | | 平成22年度(診療日数31日) | | | |
| | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 | 入 院 | 退 院 | 計 | 1日当 |
| 内 科 | 304 | 313 | 4,720 | 152.3 | 304 | 290 | 4,468 | 144.1 |
| (呼吸器内科) | | | | | 55 | 62 | 1,017 | 32.8 |
| (循環器内科) | | | | | 94 | 91 | 1,222 | 39.4 |
| (腎臓内科) | | | | | 14 | 17 | 605 | 19.5 |
| (糖尿病内科) | | | | | 18 | 18 | 255 | 8.2 |
| (消化器内科) | | | | | 123 | 102 | 1,369 | 44.2 |
| (神経内科) | | | | | | | | |
| 精神科・心療内科 | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 71 | 82 | 541 | 17.5 | 81 | 76 | 502 | 16.2 |
| 外 科 | 110 | 105 | 1,672 | 54.0 | 120 | 117 | 1,657 | 53.5 |
| 整 形 外 科 | 86 | 90 | 1,598 | 51.5 | 101 | 114 | 1,414 | 45.6 |
| 脳 神 経 外 科 | 46 | 50 | 838 | 27.0 | 40 | 54 | 1,110 | 35.8 |
| 呼 吸 器 外 科 | 20 | 28 | 368 | 11.9 | 25 | 35 | 369 | 11.9 |
| 心 臓 ・ 血 管 外 科 | 26 | 22 | 804 | 25.9 | 34 | 39 | 881 | 28.4 |
| 皮 膚 科 | 26 | 20 | 234 | 7.5 | 22 | 18 | 257 | 8.3 |
| 泌 尿 器 科 | 53 | 60 | 566 | 18.3 | 80 | 81 | 530 | 17.1 |
| 産 婦 人 科 | 86 | 87 | 764 | 24.6 | 81 | 90 | 633 | 20.4 |
| 眼 科 | 47 | 47 | 190 | 6.1 | 47 | 45 | 149 | 4.8 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 49 | 45 | 498 | 16.1 | 58 | 53 | 491 | 15.8 |
| 放 射 線 治 療 科 | 9 | 5 | 274 | 8.9 | 4 | 10 | 170 | 5.5 |
| 麻 酔 科 | 24 | 32 | 209 | 6.7 | 39 | 24 | 272 | 8.8 |
| 画 像 診 断 部 | 1 | 1 | 9 | 0.3 | 1 | 1 | 10 | 0.3 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 9 | 10 | 147 | 4.7 | 9 | 6 | 84 | 2.7 |
| 合 計 | 967 | 997 | 13,432 | 433.3 | 1,046 | 1,053 | 12,997 | 419.3 |

患者数の推移

年度別外来患者数

| 年度 | 平成19年度(診療日数244日) | | | | 平成20年度(診療日数243日) | | | | 平成21年度(診療日数243日) | | | | 平成22年度(診療日数244日) | | | | |
|----------|------------------|--------|---------|---------|------------------|--------|---------|---------|------------------|--------|---------|---------|------------------|--------|---------|---------|--|
| | 旧患 | 新患 | 計 | 1日当 | |
| 科別 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 科 | 67,389 | 7,528 | 74,917 | 307.0 | 68,784 | 7,401 | 76,185 | 313.5 | 69,014 | 7,557 | 76,571 | 315.1 | 65,594 | 7,724 | 73,318 | 300.5 | |
| 精神科・心療内科 | 5,838 | 396 | 6,234 | 25.5 | 1,476 | 254 | 1,730 | 7.1 | 1,365 | 231 | 1,596 | 6.6 | 1,022 | 195 | 1,217 | 5.0 | |
| 小 児 科 | 10,455 | 1,800 | 12,255 | 50.2 | 9,835 | 1,609 | 11,444 | 47.1 | 9,531 | 1,719 | 11,250 | 46.3 | 9,358 | 1,626 | 10,984 | 45.0 | |
| 外 科 | 15,225 | 2,194 | 17,419 | 71.4 | 16,708 | 1,700 | 18,408 | 75.8 | 16,473 | 1,597 | 18,070 | 74.3 | 16,600 | 1,673 | 18,273 | 74.9 | |
| 整形外科 | 9,637 | 2,724 | 12,361 | 50.7 | 9,309 | 2,232 | 11,541 | 47.5 | 9,716 | 1,942 | 11,658 | 48.0 | 9,547 | 2,055 | 11,602 | 47.5 | |
| 脳神経外科 | 14,389 | 1,981 | 16,370 | 67.1 | 13,693 | 2,077 | 15,770 | 64.9 | 13,406 | 1,977 | 15,383 | 63.3 | 13,058 | 1,975 | 15,033 | 61.6 | |
| 呼吸器外科 | 1,927 | 236 | 2,163 | 8.9 | 1,751 | 206 | 1,957 | 8.1 | 1,881 | 222 | 2,103 | 8.7 | 2,227 | 242 | 2,469 | 10.1 | |
| 心臓・血管外科 | 4,776 | 541 | 5,317 | 21.8 | 5,359 | 423 | 5,782 | 23.8 | 3,422 | 439 | 3,861 | 15.9 | 4,112 | 401 | 4,513 | 18.5 | |
| 皮膚科 | 22,098 | 3,486 | 25,584 | 104.9 | 23,503 | 3,406 | 26,909 | 110.7 | 22,089 | 2,959 | 25,048 | 103.1 | 20,468 | 2,861 | 23,329 | 95.6 | |
| 泌尿器科 | 19,534 | 1,829 | 21,363 | 87.6 | 18,814 | 1,592 | 20,406 | 84.0 | 17,275 | 1,567 | 18,842 | 77.5 | 16,612 | 1,536 | 18,148 | 74.4 | |
| 産婦人科 | 12,959 | 2,086 | 15,045 | 61.7 | 13,584 | 2,125 | 15,709 | 64.6 | 12,353 | 1,897 | 14,250 | 58.6 | 12,991 | 1,845 | 14,836 | 60.8 | |
| 眼 科 | 9,985 | 2,031 | 12,016 | 49.2 | 9,240 | 1,799 | 11,039 | 45.4 | 8,792 | 1,268 | 10,060 | 41.4 | 8,907 | 1,168 | 10,075 | 41.3 | |
| 耳鼻咽喉科 | 7,938 | 2,685 | 10,623 | 43.5 | 7,447 | 2,668 | 10,115 | 41.6 | 7,785 | 2,617 | 10,402 | 42.8 | 8,429 | 2,607 | 11,036 | 45.2 | |
| 放射線治療科 | 10,006 | 287 | 10,293 | 42.2 | 8,790 | 272 | 9,062 | 37.3 | 8,971 | 282 | 9,253 | 38.1 | 10,654 | 311 | 10,965 | 44.9 | |
| 麻 酔 科 | 1,619 | 3,200 | 4,819 | 19.8 | 1,347 | 3,280 | 4,627 | 19.0 | 1,296 | 3,189 | 4,485 | 18.5 | 1,285 | 3,185 | 4,470 | 18.3 | |
| 画像診断部 | 12,597 | 5,541 | 18,138 | 74.3 | 13,760 | 5,656 | 19,416 | 79.9 | 14,281 | 5,667 | 19,948 | 82.1 | 14,429 | 5,553 | 19,982 | 81.9 | |
| 歯科口腔外科 | 4,406 | 1,494 | 5,900 | 24.2 | 3,882 | 1,614 | 5,496 | 22.6 | 4,278 | 1,826 | 6,104 | 25.1 | 3,019 | 1,666 | 4,685 | 19.2 | |
| 形成外科 | 1,627 | 263 | 1,890 | 7.7 | 1,007 | 197 | 1,204 | 5.0 | | | | | | | | | |
| 計 | 232,405 | 40,302 | 272,707 | 1,117.7 | 228,289 | 38,511 | 266,800 | 1,097.9 | 221,928 | 36,956 | 258,884 | 1,065.4 | 218,312 | 36,623 | 254,935 | 1,044.8 | |
| 栗谷診療所 | 958 | 39 | 997 | 4.1 | 952 | 30 | 982 | 4.0 | 915 | 30 | 945 | 3.9 | 949 | 16 | 965 | 4.0 | |
| 合 計 | 233,363 | 40,341 | 273,704 | 1,121.7 | 229,241 | 38,541 | 267,782 | 1,102.0 | 222,843 | 36,986 | 259,829 | 1,069.3 | 219,261 | 36,639 | 255,900 | 1,048.8 | |

資料

年度別入院患者数

| 年度 | 平成19年度(診療日数366日) | | | | 平成20年度(診療日数365日) | | | | 平成21年度(診療日数365日) | | | | 平成22年度(診療日数365日) | | | | |
|----------|------------------|--------|---------|-------|------------------|--------|---------|-------|------------------|--------|---------|-------|------------------|--------|---------|-------|--|
| | 入院 | 退院 | 計 | 1日当 | |
| 科別 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 科 | 3,176 | 3,177 | 57,758 | 157.8 | 3,443 | 3,447 | 56,050 | 153.6 | 3,745 | 3,746 | 55,652 | 152.5 | 3,527 | 3,465 | 54,391 | 149.0 | |
| 精神科・心療内科 | 5 | 6 | 152 | 0.4 | | | | | | | | | | | | | |
| 小 児 科 | 969 | 965 | 6,349 | 17.3 | 791 | 800 | 4,933 | 13.5 | 975 | 974 | 6,254 | 17.1 | 888 | 880 | 5,708 | 15.6 | |
| 外 科 | 1,327 | 1,347 | 22,243 | 60.8 | 1,414 | 1,404 | 21,285 | 58.3 | 1,329 | 1,327 | 18,779 | 51.5 | 1,366 | 1,428 | 20,458 | 56.0 | |
| 整形外科 | 1,089 | 1,085 | 16,114 | 44.0 | 1,048 | 1,044 | 17,067 | 46.8 | 1,010 | 1,011 | 16,819 | 46.1 | 998 | 1,023 | 15,243 | 41.8 | |
| 脳神経外科 | 428 | 430 | 10,782 | 29.5 | 507 | 519 | 11,272 | 30.9 | 479 | 473 | 9,429 | 25.8 | 502 | 526 | 11,584 | 31.7 | |
| 呼吸器外科 | 289 | 291 | 6,156 | 16.8 | 247 | 251 | 5,520 | 15.1 | 291 | 292 | 5,634 | 15.4 | 327 | 320 | 5,633 | 15.4 | |
| 心臓・血管外科 | 416 | 436 | 10,896 | 29.8 | 389 | 387 | 8,945 | 24.5 | 282 | 281 | 8,291 | 22.7 | 309 | 331 | 9,894 | 27.1 | |
| 皮膚科 | 211 | 207 | 2,750 | 7.5 | 191 | 192 | 2,482 | 6.8 | 254 | 251 | 2,636 | 7.2 | 182 | 187 | 2,101 | 5.8 | |
| 泌尿器科 | 629 | 633 | 6,126 | 16.7 | 684 | 693 | 6,654 | 18.2 | 807 | 802 | 7,385 | 20.2 | 723 | 726 | 5,947 | 16.3 | |
| 産婦人科 | 1,119 | 1,125 | 9,740 | 26.6 | 1,142 | 1,136 | 9,496 | 26.0 | 1,171 | 1,178 | 9,712 | 26.6 | 1,162 | 1,170 | 8,819 | 24.2 | |
| 眼 科 | 410 | 409 | 1,757 | 4.8 | 468 | 468 | 1,694 | 4.6 | 456 | 458 | 1,801 | 4.9 | 450 | 446 | 1,340 | 3.7 | |
| 耳鼻咽喉科 | 479 | 481 | 5,120 | 14.0 | 475 | 473 | 5,392 | 14.8 | 483 | 480 | 4,888 | 13.4 | 528 | 529 | 5,914 | 16.2 | |
| 放射線治療科 | 96 | 106 | 3,373 | 9.2 | 142 | 140 | 3,631 | 9.9 | 84 | 82 | 2,503 | 6.9 | 72 | 82 | 2,164 | 5.9 | |
| 麻 酔 科 | 165 | 167 | 1,089 | 3.0 | 204 | 201 | 1,240 | 3.4 | 286 | 290 | 2,173 | 6.0 | 304 | 220 | 2,578 | 7.1 | |
| 画像診断部 | 13 | 14 | 247 | 0.7 | 12 | 12 | 168 | 0.5 | 10 | 10 | 191 | 0.5 | 3 | 3 | 28 | 0.1 | |
| 歯科口腔外科 | 133 | 126 | 1,711 | 4.7 | 135 | 141 | 2,197 | 6.0 | 123 | 122 | 1,780 | 4.9 | 111 | 109 | 1,730 | 4.7 | |
| 形成外科 | 39 | 38 | 863 | 2.4 | 35 | 39 | 749 | 2.1 | | | | | | | | | |
| 合 計 | 10,993 | 11,043 | 163,226 | 446.0 | 11,327 | 11,347 | 158,775 | 435.0 | 11,785 | 11,777 | 153,927 | 421.7 | 11,452 | 11,445 | 153,532 | 420.6 | |

平均在院日数

平成21・22年度 月別 診療科別 平均在院日数

(単位：日数)

| 月 別 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | H21年度 | H22年度 |
| 内 科 | 15.6 | 15.5 | 15.0 | 16.7 | 13.1 | 13.5 | 13.4 | 15.1 | 14.8 | 14.8 | 14.3 | 13.0 | 14.6 | 14.5 | 14.4 | 13.9 | 15.3 | 14.6 | 15.9 | 16.3 | 15.6 | 15.7 | 15.5 | 14.5 |
| 小 児 科 | 6.2 | 6.3 | 6.7 | 5.5 | 6.4 | 6.8 | 7.4 | 6.4 | 6.9 | 6.7 | 6.0 | 7.0 | 5.7 | 6.0 | 5.7 | 6.0 | 5.8 | 5.6 | 6.4 | 6.3 | 7.0 | 7.4 | 7.1 | 6.1 |
| 整 形 外 科 | 13.9 | 14.7 | 15.0 | 15.7 | 13.2 | 11.9 | 13.1 | 13.4 | 13.4 | 14.4 | 13.5 | 13.6 | 14.3 | 14.2 | 13.3 | 13.5 | 14.0 | 15.3 | 14.5 | 14.8 | 14.0 | 13.6 | 16.1 | 13.7 |
| 脳 神 経 外 科 | 18.1 | 16.6 | 16.4 | 15.8 | 14.4 | 16.1 | 16.5 | 13.6 | 17.1 | 13.0 | 16.7 | 17.4 | 16.9 | 14.5 | 19.4 | 12.5 | 16.8 | 14.3 | 17.1 | 14.6 | 16.0 | 15.1 | 18.1 | 12.6 |
| 産 婦 人 科 | 24.7 | 19.0 | 27.6 | 28.4 | 19.2 | 25.9 | 25.2 | 20.3 | 20.5 | 22.4 | 18.5 | 19.4 | 19.6 | 21.3 | 15.5 | 16.6 | 18.5 | 19.8 | 19.7 | 20.8 | 25.6 | 22.8 | 17.8 | 22.9 |
| 産 婦 人 科 | 10.1 | 10.0 | 8.5 | 8.9 | 11.4 | 7.9 | 9.1 | 8.2 | 9.5 | 8.9 | 9.6 | 8.9 | 10.6 | 11.5 | 9.7 | 7.0 | 8.8 | 9.8 | 10.4 | 7.8 | 9.9 | 10.7 | 10.7 | 9.7 |
| 皮 膚 科 | 14.6 | 15.5 | 8.4 | 9.9 | 11.0 | 9.2 | 8.3 | 7.5 | 10.4 | 12.5 | 9.0 | 11.3 | 12.6 | 7.8 | 15.8 | 10.7 | 9.5 | 12.6 | 10.4 | 13.8 | 10.9 | 9.7 | 9.9 | 12.8 |
| 泌 尿 器 科 | 8.4 | 8.3 | 9.6 | 8.5 | 8.8 | 7.6 | 9.4 | 10.0 | 7.8 | 7.6 | 8.2 | 8.9 | 7.4 | 9.1 | 9.9 | 9.2 | 10.8 | 8.3 | 11.2 | 8.2 | 9.3 | 7.1 | 9.9 | 6.6 |
| 眼 科 | 3.8 | 4.5 | 4.3 | 2.8 | 3.6 | 3.2 | 4.9 | 2.5 | 3.7 | 3.9 | 4.0 | 3.0 | 3.9 | 2.5 | 3.8 | 3.0 | 4.3 | 3.3 | 3.9 | 2.3 | 3.4 | 2.6 | 4.1 | 3.3 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 | 8.5 | 11.0 | 9.2 | 11.6 | 9.1 | 10.8 | 10.9 | 11.4 | 10.4 | 11.4 | 9.7 | 9.8 | 10.9 | 14.9 | 10.7 | 13.2 | 10.1 | 9.9 | 10.7 | 11.6 | 11.6 | 9.8 | 10.6 | 8.6 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 14.1 | 18.9 | 9.2 | 12.4 | 16.3 | 12.3 | 11.2 | 19.3 | 14.1 | 13.9 | 19.3 | 18.3 | 18.5 | 20.0 | 13.9 | 18.6 | 10.9 | 12.7 | 16.7 | 16.9 | 12.6 | 12.5 | 15.5 | 11.2 |
| 麻 酔 科 | 5.1 | 4.3 | 8.1 | 4.5 | 8.1 | 9.1 | 9.8 | 9.3 | 7.6 | 11.9 | 8.4 | 11.1 | 6.5 | 8.8 | 11.5 | 10.3 | 7.2 | 7.2 | 6.1 | 9.4 | 7.1 | 12.7 | 6.5 | 7.4 |
| 放 射 線 治 療 科 | 31.2 | 21.7 | 30.8 | 15.3 | 26.9 | 23.8 | 28.0 | 33.5 | 30.1 | 26.9 | 124.5 | 43.3 | 53.6 | 33.5 | 25.4 | 30.4 | 22.7 | 25.9 | 25.1 | 25.3 | 35.6 | 45.5 | 49.8 | 24.3 |
| 画 像 診 断 部 | 56.0 | 6.0 | 45.0 | | 26.0 | 12.0 | 19.0 | | 12.7 | | | | 12.0 | | 12.0 | | | | | | | | 9.0 | 10.0 |
| 呼 吸 器 外 科 | 15.8 | 21.5 | 17.7 | 21.5 | 26.7 | 15.5 | 22.0 | 18.0 | 22.2 | 13.2 | 22.4 | 11.5 | 22.5 | 12.8 | 22.1 | 17.2 | 15.7 | 16.1 | 23.4 | 13.1 | 16.6 | 12.2 | 16.0 | 9.9 |
| 心 臓 血 管 外 科 | 45.8 | 22.3 | 36.3 | 34.6 | 24.7 | 28.5 | 28.1 | 29.3 | 27.2 | 29.2 | 34.9 | 33.2 | 26.4 | 24.1 | 23.6 | 25.8 | 26.2 | 24.9 | 30.7 | 30.3 | 27.6 | 26.7 | 34.5 | 23.6 |
| 精 神 科 ・ 心 療 内 科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 13.5 | 13.7 | 13.5 | 14.2 | 12.3 | 12.5 | 12.9 | 13.3 | 13.2 | 13.2 | 13.1 | 12.7 | 13.1 | 13.1 | 13.3 | 12.3 | 12.9 | 12.6 | 14.1 | 13.7 | 13.7 | 13.5 | 14.0 | 12.2 |

平成21・22年度 月別 病棟別 平均在院日数

(単位：日数)

| 月 別 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | H21年度 | H22年度 | |
| 西 病 棟 | 4 F | 9.0 | 8.8 | 8.2 | 7.9 | 10.4 | 7.6 | 8.7 | 7.9 | 8.6 | 8.5 | 8.6 | 8.9 | 9.7 | 10.0 | 8.7 | 7.6 | 7.8 | 9.0 | 8.9 | 7.4 | 8.7 | 10.0 | 9.7 | 8.5 |
| | 5 F | 19.1 | 17.1 | 16.9 | 16.0 | 15.0 | 15.9 | 17.4 | 13.4 | 18.9 | 12.7 | 17.6 | 14.6 | 17.3 | 13.8 | 20.5 | 12.3 | 16.9 | 14.3 | 18.2 | 14.9 | 16.6 | 14.6 | 19.2 | 12.4 |
| | 6 F | 16.4 | 17.2 | 18.3 | 18.8 | 13.9 | 14.9 | 14.0 | 15.7 | 14.5 | 16.8 | 14.9 | 16.5 | 14.1 | 17.1 | 14.8 | 15.3 | 15.8 | 17.7 | 19.2 | 19.0 | 18.0 | 16.6 | 18.1 | 16.7 |
| | 7 F | 15.8 | 14.6 | 16.1 | 16.7 | 14.5 | 11.5 | 14.1 | 12.9 | 14.6 | 15.4 | 14.7 | 13.9 | 15.7 | 12.5 | 12.4 | 13.1 | 12.5 | 13.9 | 15.8 | 14.9 | 14.5 | 15.2 | 13.7 | 12.6 |
| | 8 F | 18.6 | 17.2 | 17.0 | 17.6 | 13.4 | 14.4 | 17.1 | 18.0 | 21.7 | 15.6 | 19.7 | 17.1 | 17.6 | 17.9 | 17.5 | 13.9 | 19.1 | 15.1 | 16.4 | 17.4 | 16.6 | 15.4 | 17.1 | 15.9 |
| | ICU | 7.7 | 9.4 | 7.4 | 9.8 | 11.4 | 13.8 | 8.6 | 10.4 | 7.9 | 9.2 | 7.6 | 8.3 | 7.2 | 11.1 | 10.2 | 9.5 | 11.3 | 8.5 | 7.6 | 6.1 | 9.8 | 8.1 | 16.1 | 8.1 |
| 東 病 棟 | 3 F | 14.2 | 13.8 | 12.3 | 14.5 | 10.8 | 12.1 | 11.8 | 15.7 | 13.9 | 13.6 | 13.4 | 10.0 | 12.5 | 12.2 | 13.9 | 13.0 | 15.1 | 12.0 | 16.4 | 16.5 | 15.2 | 17.3 | 15.1 | 14.9 |
| | 4 F | 6.3 | 7.8 | 6.7 | 6.5 | 6.1 | 6.9 | 7.6 | 7.1 | 7.3 | 7.6 | 6.7 | 6.5 | 6.6 | 6.8 | 6.4 | 6.8 | 6.4 | 5.8 | 6.7 | 6.8 | 7.3 | 6.7 | 7.2 | 6.1 |
| | 5 F | 20.5 | 15.7 | 18.7 | 23.1 | 14.5 | 21.2 | 16.7 | 19.3 | 15.8 | 19.7 | 14.8 | 17.0 | 16.2 | 18.9 | 14.5 | 14.6 | 15.6 | 18.7 | 15.2 | 18.2 | 17.9 | 19.2 | 15.9 | 17.7 |
| | 6 F | 9.8 | 9.7 | 10.1 | 10.4 | 9.8 | 8.5 | 9.5 | 10.1 | 8.4 | 9.4 | 9.2 | 11.0 | 9.5 | 10.1 | 11.2 | 10.1 | 10.2 | 9.5 | 11.1 | 10.0 | 9.7 | 8.5 | 10.1 | 8.6 |
| | 7 F | 18.0 | 19.4 | 21.2 | 20.1 | 18.0 | 20.7 | 20.1 | 17.3 | 18.8 | 16.9 | 20.0 | 16.3 | 17.8 | 15.7 | 19.1 | 18.3 | 16.0 | 20.5 | 21.6 | 18.8 | 18.7 | 15.8 | 17.2 | 14.7 |
| 8 F | 21.7 | 33.4 | 20.3 | 30.8 | 24.1 | 29.5 | 17.7 | 30.3 | 18.5 | 29.1 | 18.9 | 25.5 | 23.9 | 34.4 | 19.1 | 29.8 | 20.8 | 27.5 | 23.1 | 28.2 | 22.4 | 33.1 | 30.8 | 25.9 | |
| 計 | 13.5 | 13.7 | 13.5 | 14.2 | 12.3 | 12.5 | 12.9 | 13.3 | 13.2 | 13.2 | 13.1 | 12.7 | 13.1 | 13.1 | 13.3 | 12.3 | 12.9 | 12.6 | 14.1 | 13.7 | 13.7 | 13.5 | 14.0 | 12.2 | |

資料

地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

平成21・22年度
地域医療支援病院紹介率（月別）

| | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----|--------|--------|
| 4月 | 84.0% | 73.7% |
| 5月 | 77.6% | 75.8% |
| 6月 | 81.0% | 74.3% |
| 7月 | 80.5% | 74.0% |
| 8月 | 79.9% | 74.9% |
| 9月 | 82.8% | 77.7% |
| 10月 | 82.8% | 74.2% |
| 11月 | 83.2% | 78.0% |
| 12月 | 89.3% | 75.8% |
| 1月 | 87.4% | 74.7% |
| 2月 | 85.0% | 87.5% |
| 3月 | 73.9% | 78.8% |
| 合計 | 82.1% | 76.5% |

平成21・22年度
地域医療支援病院逆紹介率（月別）

| | 平成21年度 | 平成22年度 |
|-----|--------|--------|
| 4月 | 61.2% | 58.0% |
| 5月 | 53.4% | 58.3% |
| 6月 | 57.4% | 62.1% |
| 7月 | 57.0% | 66.3% |
| 8月 | 56.6% | 52.4% |
| 9月 | 59.1% | 56.7% |
| 10月 | 62.1% | 55.5% |
| 11月 | 59.0% | 59.0% |
| 12月 | 63.1% | 59.3% |
| 1月 | 57.2% | 53.7% |
| 2月 | 59.3% | 64.6% |
| 3月 | 65.5% | 78.2% |
| 合計 | 59.2% | 60.4% |

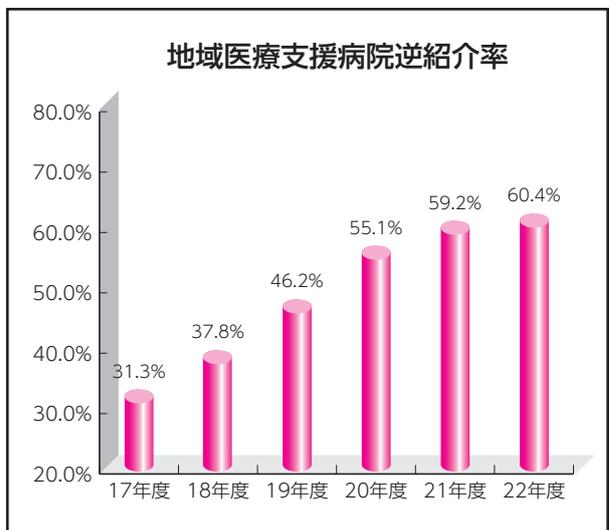
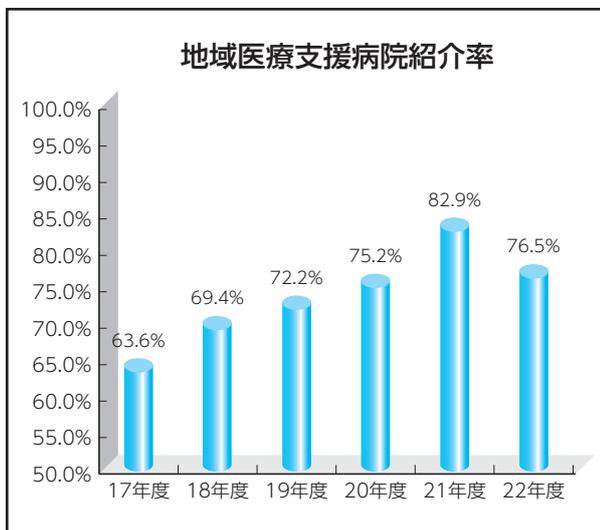
平成21・22年度
地域医療支援病院紹介率（診療科別）

| | 平成21年度 | 平成22年度 |
|----------|--------|--------|
| 内科 | 85.5% | 76.6% |
| 小児科 | 99.4% | 77.5% |
| 外科 | 97.9% | 89.8% |
| 整形外科 | 125.2% | 115.6% |
| 脳神経外科 | 74.7% | 64.3% |
| 産婦人科 | 68.6% | 57.9% |
| 皮膚科 | 66.5% | 67.2% |
| 泌尿器科 | 68.6% | 64.8% |
| 眼科 | 70.1% | 65.9% |
| 耳鼻咽喉科 | 68.4% | 67.8% |
| 歯科・口腔外科 | 50.5% | 48.2% |
| 麻酔科 | 89.8% | 110.3% |
| 放射線治療科 | 91.6% | 108.1% |
| 画像診断部 | 93.3% | 95.6% |
| 心臓・血管外科 | 97.5% | 88.9% |
| 精神科・心療内科 | 0.0% | 0.0% |
| 呼吸器外科 | 106.3% | 104.0% |
| 合計 | 82.1% | 76.5% |

平成21・22年度
地域医療支援病院逆紹介率（診療科別）

| | 平成21年度 | 平成22年度 |
|----------|--------|--------|
| 内科 | 62.5% | 70.7% |
| 小児科 | 42.5% | 31.5% |
| 外科 | 111.8% | 72.4% |
| 整形外科 | 126.1% | 116.1% |
| 脳神経外科 | 43.6% | 48.3% |
| 産婦人科 | 22.8% | 14.9% |
| 皮膚科 | 6.3% | 14.7% |
| 泌尿器科 | 17.0% | 30.2% |
| 眼科 | 57.5% | 57.1% |
| 耳鼻咽喉科 | 27.1% | 31.5% |
| 歯科・口腔外科 | 46.7% | 59.5% |
| 麻酔科 | 53.5% | 55.0% |
| 放射線治療科 | 136.6% | 44.6% |
| 画像診断部 | 117.3% | 119.7% |
| 心臓・血管外科 | 40.0% | 34.4% |
| 精神科・心療内科 | 266.7% | 100.0% |
| 呼吸器外科 | 160.8% | 60.4% |
| 合計 | 59.2% | 60.4% |

資料

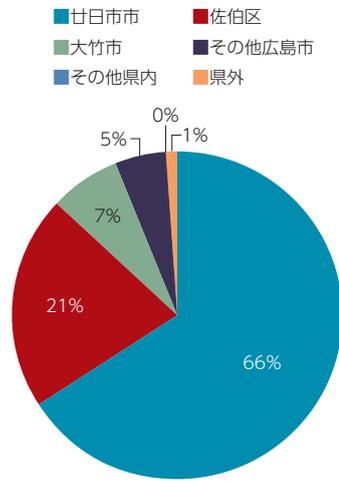


救急車来院件数

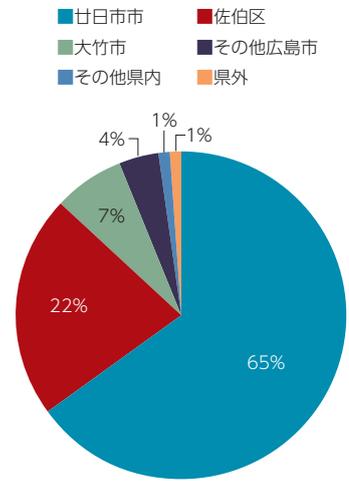
平成21・22年度
救急車来院件数（管轄別）

| | 平成21年度 | 平成22年度 |
|--------|--------|--------|
| 廿日市市 | 1,595 | 1,706 |
| 佐伯区 | 523 | 591 |
| 大竹市 | 166 | 184 |
| その他広島市 | 115 | 115 |
| その他県内 | 3 | 17 |
| 県外 | 20 | 25 |
| 合計 | 2,422 | 2,638 |

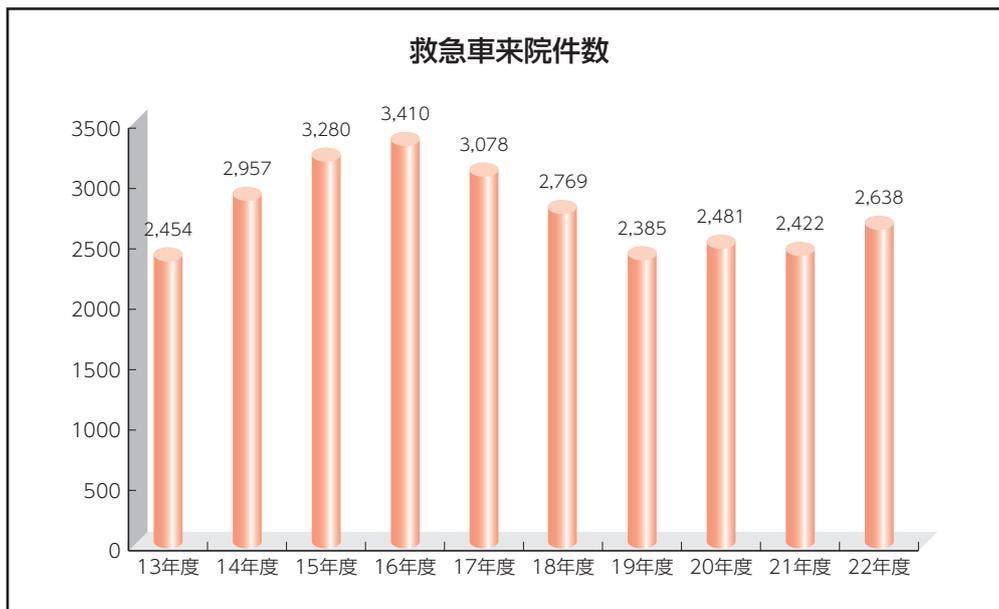
H21年度



H22年度



救急車来院件数



資料

医療行為統計表

平成21・22年度 医療行為統計表

| 【手術件数】 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 内科 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 小児科 | | | | 1 | | | | | 1 | | 2 | |
| 外科 | 83 | 80 | 69 | 77 | 88 | 67 | 72 | 90 | 67 | 87 | 69 | 90 |
| 整形外科 | 79 | 97 | 77 | 85 | 94 | 101 | 106 | 104 | 83 | 86 | 78 | 87 |
| 脳神経外科 | 6 | 11 | 7 | 15 | 9 | 11 | 10 | 9 | 8 | 12 | 8 | 11 |
| 産婦人科 | 36 | 38 | 34 | 34 | 44 | 39 | 49 | 38 | 41 | 36 | 44 | 43 |
| 眼科 | 55 | 35 | 39 | 46 | 48 | 45 | 50 | 39 | 46 | 40 | 46 | 48 |
| 耳鼻咽喉科 | 24 | 25 | 17 | 13 | 22 | 29 | 33 | 26 | 21 | 29 | 23 | 26 |
| 皮膚科 | 30 | 27 | 27 | 27 | 32 | 28 | 36 | 42 | 28 | 34 | 25 | 28 |
| 泌尿器科 | 21 | 26 | 29 | 25 | 34 | 29 | 36 | 28 | 29 | 24 | 27 | 34 |
| 歯科口腔外科 | 8 | 8 | 4 | 11 | 5 | 5 | 5 | 6 | 8 | 13 | 12 | 9 |
| 麻酔科 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 心臓血管外科 | 16 | 28 | 12 | 26 | 27 | 36 | 28 | 32 | 23 | 30 | 23 | 32 |
| 呼吸器外科 | 5 | 15 | 9 | 9 | 9 | 13 | 19 | 13 | 20 | 15 | 11 | 11 |
| 計 | 363 | 390 | 324 | 369 | 414 | 403 | 444 | 427 | 375 | 406 | 368 | 419 |

| 【手術件数】 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 内科 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 小児科 | | | | | 2 | | 1 | | 2 | | | | 8 | 1 |
| 外科 | 61 | 100 | 78 | 85 | 79 | 98 | 80 | 99 | 84 | 105 | 77 | 100 | 907 | 1,078 |
| 整形外科 | 82 | 88 | 85 | 94 | 78 | 78 | 82 | 71 | 99 | 93 | 83 | 120 | 1,026 | 1,104 |
| 脳神経外科 | 9 | 5 | 8 | 6 | 5 | 8 | 11 | 11 | 11 | 9 | 9 | 16 | 101 | 124 |
| 産婦人科 | 45 | 35 | 44 | 39 | 36 | 35 | 38 | 36 | 36 | 31 | 44 | 26 | 491 | 430 |
| 眼科 | 52 | 49 | 41 | 41 | 40 | 46 | 33 | 43 | 44 | 50 | 53 | 57 | 547 | 539 |
| 耳鼻咽喉科 | 20 | 18 | 19 | 20 | 25 | 24 | 18 | 19 | 17 | 23 | 27 | 28 | 266 | 280 |
| 皮膚科 | 32 | 34 | 34 | 40 | 30 | 22 | 30 | 32 | 34 | 30 | 31 | 29 | 369 | 373 |
| 泌尿器科 | 37 | 26 | 27 | 33 | 27 | 28 | 31 | 29 | 31 | 34 | 29 | 34 | 358 | 350 |
| 歯科口腔外科 | 6 | 3 | 10 | 5 | 13 | 4 | 13 | 5 | 11 | 8 | 7 | 8 | 102 | 85 |
| 麻酔科 | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | |
| 心臓血管外科 | 23 | 23 | 34 | 23 | 16 | 30 | 13 | 37 | 14 | 33 | 32 | 32 | 261 | 362 |
| 呼吸器外科 | 13 | 12 | 10 | 16 | 12 | 12 | 15 | 15 | 11 | 11 | 8 | 12 | 142 | 154 |
| 計 | 380 | 393 | 391 | 402 | 363 | 385 | 365 | 397 | 394 | 427 | 400 | 462 | 4,581 | 4,880 |

| 【放射線業務】 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 一般撮影 | 3,731 | 4,163 | 3,547 | 4,051 | 4,089 | 4,390 | 4,157 | 4,311 | 3,938 | 4,526 | 3,788 | 4,337 |
| パントモ | 76 | 75 | 76 | 70 | 88 | 84 | 114 | 89 | 91 | 79 | 85 | 84 |
| 骨密度測定 | 39 | 45 | 30 | 31 | 44 | 36 | 47 | 33 | 27 | 41 | 38 | 35 |
| 造影透視撮影 | 116 | 151 | 125 | 170 | 133 | 178 | 134 | 207 | 123 | 180 | 129 | 199 |
| 上部消化管 | 80 | 80 | 101 | 100 | 180 | 157 | 203 | 164 | 188 | 172 | 173 | 165 |
| 注腸 | 8 | 7 | 5 | 7 | 7 | 9 | 3 | 12 | 5 | 12 | 6 | 8 |
| 血管連続撮影 | 26 | 6 | 14 | 16 | 19 | 23 | 23 | 11 | 21 | 15 | 13 | 20 |
| 心臓血管連続撮影 | 51 | 72 | 51 | 60 | 67 | 84 | 65 | 51 | 57 | 64 | 51 | 66 |
| C T 各科 | 284 | 270 | 281 | 263 | 298 | 294 | 339 | 295 | 273 | 302 | 237 | 282 |
| C T 画診 | 1,038 | 1,149 | 1,037 | 1,023 | 1,255 | 1,194 | 1,237 | 1,119 | 1,111 | 1,062 | 1,086 | 1,114 |
| M R I | 510 | 556 | 487 | 514 | 579 | 611 | 610 | 555 | 523 | 588 | 547 | 545 |
| R I | 101 | 56 | 96 | 60 | 76 | 59 | 75 | 56 | 82 | 58 | 85 | 65 |
| リニアック (件数) | 383 | 647 | 313 | 502 | 596 | 752 | 703 | 842 | 609 | 594 | 977 | 628 |
| リニアック (門数) | 1,279 | 2,428 | 1,002 | 1,967 | 2,137 | 3,122 | 2,320 | 3,790 | 1,886 | 2,653 | 2,151 | 2,413 |

| 【放射線業務】 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 一般撮影 | 4,131 | 4,314 | 4,303 | 4,474 | 4,235 | 4,444 | 4,424 | 4,549 | 4,350 | 4,338 | 4,485 | 4,609 | 49,178 | 52,506 |
| パントモ | 86 | 71 | 84 | 76 | 94 | 77 | 82 | 77 | 70 | 67 | 88 | 94 | 1,034 | 943 |
| 骨密度測定 | 35 | 38 | 25 | 43 | 42 | 42 | 43 | 41 | 38 | 76 | 43 | 40 | 451 | 501 |
| 造影透視撮影 | 127 | 201 | 123 | 186 | 120 | 168 | 114 | 168 | 102 | 166 | 160 | 206 | 1,506 | 2,180 |
| 上部消化管 | 184 | 187 | 144 | 171 | 142 | 184 | 137 | 183 | 134 | 151 | 71 | 138 | 1,737 | 1,852 |
| 注腸 | 7 | 9 | 3 | 10 | 4 | 14 | 4 | 6 | 6 | 10 | 9 | 14 | 67 | 118 |
| 血管連続撮影 | 18 | 17 | 15 | 17 | 12 | 14 | 16 | 23 | 12 | 13 | 12 | 12 | 201 | 187 |
| 心臓血管連続撮影 | 48 | 48 | 65 | 84 | 64 | 54 | 60 | 52 | 84 | 66 | 67 | 85 | 730 | 786 |
| C T 各科 | 283 | 288 | 283 | 281 | 263 | 275 | 256 | 324 | 279 | 317 | 277 | 371 | 3,353 | 3,562 |
| C T 画診 | 1,188 | 1,092 | 1,058 | 1,097 | 1,094 | 1,042 | 1,072 | 1,134 | 1,018 | 1,102 | 1,222 | 1,261 | 13,416 | 13,389 |
| M R I | 563 | 554 | 549 | 545 | 489 | 529 | 423 | 513 | 487 | 520 | 560 | 597 | 6,327 | 6,627 |
| R I | 75 | 64 | 76 | 69 | 55 | 72 | 70 | 68 | 79 | 87 | 71 | 78 | 941 | 792 |
| リニアック (件数) | 723 | 771 | 513 | 745 | 562 | 613 | 386 | 382 | 441 | 630 | 678 | 723 | 6,884 | 7,829 |
| リニアック (門数) | 2,478 | 2,780 | 1,727 | 2,713 | 1,704 | 2,080 | 1,272 | 1,303 | 1,504 | 2,260 | 2,449 | 2,673 | 21,909 | 30,182 |

資料

| 【検査業務】 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 心電図検査 | 1,560 | 1,648 | 1,551 | 1,511 | 1,800 | 1,772 | 1,725 | 1,248 | 1,651 | 1,681 | 1,641 | 1,655 |
| トレッドミル | 9 | 12 | 8 | 9 | 13 | 10 | 7 | 7 | 11 | 5 | 6 | 4 |
| ホルター型 | 37 | 28 | 34 | 27 | 43 | 29 | 26 | 24 | 28 | 20 | 26 | 25 |
| 心臓エコー | 462 | 466 | 396 | 418 | 459 | 453 | 465 | 424 | 415 | 399 | 386 | 406 |
| 脳波 | 53 | 51 | 27 | 33 | 31 | 28 | 51 | 46 | 62 | 70 | 49 | 40 |
| 肺機能検査 | 231 | 242 | 250 | 238 | 295 | 271 | 335 | 251 | 298 | 300 | 281 | 284 |
| 神経伝達速度、電流知覚閾値測定 | 190 | 165 | 120 | 145 | 173 | 167 | 123 | 127 | 107 | 123 | 111 | 102 |
| 重心動揺検査 | 13 | 20 | 18 | 15 | 30 | 23 | 26 | 33 | 17 | 19 | 25 | 12 |
| サーモグラフィー検査 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 脈波図・心電図・ボリグラフ検査 | 169 | 175 | 107 | 125 | 135 | 158 | 157 | 131 | 149 | 163 | 138 | 146 |
| 体液量測定 | 216 | 183 | 155 | 153 | 202 | 177 | 175 | 146 | 135 | 148 | 126 | 103 |
| 病理組織検査 | 984 | 986 | 989 | 887 | 1,149 | 1,077 | 1,153 | 992 | 1,007 | 1,028 | 1,016 | 1,089 |
| 解剖件数 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 |

| 【検査業務】 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 心電図検査 | 1,635 | 1,603 | 1,579 | 1,720 | 1,590 | 1,579 | 1,736 | 1,671 | 1,649 | 1,750 | 1,684 | 1,920 | 19,801 | 19,758 |
| トレッドミル | 5 | 3 | 7 | 5 | 4 | 8 | 7 | 7 | 8 | 12 | 3 | 11 | 88 | 93 |
| ホルター型 | 33 | 36 | 50 | 29 | 23 | 29 | 33 | 26 | 29 | 36 | 22 | 49 | 384 | 358 |
| 心臓エコー | 443 | 401 | 401 | 421 | 401 | 420 | 452 | 449 | 429 | 458 | 473 | 520 | 5,182 | 5,235 |
| 脳波 | 39 | 48 | 37 | 34 | 47 | 41 | 42 | 41 | 42 | 36 | 53 | 64 | 533 | 532 |
| 肺機能検査 | 272 | 275 | 263 | 327 | 272 | 261 | 267 | 339 | 266 | 302 | 258 | 393 | 3,288 | 3,483 |
| 神経伝達速度、電流知覚閾値測定 | 123 | 123 | 112 | 131 | 121 | 129 | 142 | 132 | 105 | 131 | 157 | 162 | 1,584 | 1,637 |
| 重心動揺検査 | 20 | 12 | 12 | 10 | 16 | 17 | 20 | 14 | 17 | 14 | 23 | 31 | 237 | 220 |
| サーモグラフィー検査 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | | | 4 | 2 |
| 脈波図・心電図・ボリグラフ検査 | 168 | 157 | 157 | 174 | 139 | 146 | 176 | 172 | 181 | 210 | 226 | 228 | 1,902 | 1,985 |
| 体液量測定 | 144 | 130 | 122 | 131 | 132 | 156 | 169 | 163 | 141 | 174 | 183 | 167 | 1,900 | 1,831 |
| 病理組織検査 | 1,043 | 1,072 | 1,022 | 1,104 | 951 | 1,069 | 1,038 | 1,071 | 996 | 935 | 1,054 | 1,082 | 12,402 | 12,392 |
| 解剖件数 | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | 8 | 5 |

| 【薬剤業務】 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 外来 処方箋枚数 | 10,722 | 10,755 | 9,661 | 9,987 | 10,712 | 10,677 | 11,058 | 10,530 | 10,267 | 10,260 | 9,816 | 9,953 |
| 剤数 (件数) | 32,067 | 32,767 | 29,293 | 29,898 | 31,674 | 32,393 | 32,470 | 31,396 | 30,368 | 30,713 | 28,914 | 29,106 |
| 延べ剤数 | 864,988 | 907,705 | 752,179 | 820,224 | 848,386 | 884,128 | 872,028 | 889,806 | 832,914 | 887,859 | 781,916 | 823,450 |
| 入院 処方箋枚数 | 6,471 | 6,624 | 6,059 | 6,875 | 6,725 | 6,874 | 6,770 | 6,272 | 6,261 | 6,284 | 6,572 | 6,351 |
| 剤数 (件数) | 11,013 | 11,767 | 10,024 | 12,339 | 10,837 | 11,947 | 11,520 | 11,224 | 10,455 | 11,466 | 11,093 | 11,406 |
| 延べ剤数 | 65,356 | 76,348 | 55,914 | 75,215 | 58,910 | 70,340 | 64,818 | 67,010 | 58,662 | 69,093 | 65,447 | 72,042 |
| 服薬指導件数 | 402 | 460 | 408 | 405 | 446 | 463 | 454 | 505 | 445 | 508 | 583 | 499 |

| 【薬剤業務】 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|------------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 外来 処方箋枚数 | 10,688 | 9,993 | 9,920 | 9,852 | 10,289 | 10,624 | 9,801 | 9,678 | 9,724 | 8,940 | 10,902 | 11,037 | 123,560 | 122,286 |
| 剤数 (件数) | 31,392 | 30,102 | 29,260 | 29,913 | 30,930 | 32,245 | 29,882 | 29,760 | 29,831 | 27,552 | 32,824 | 33,574 | 368,905 | 369,419 |
| 延べ剤数 | 864,851 | 860,189 | 768,832 | 839,770 | 841,365 | 928,552 | 801,240 | 829,706 | 767,397 | 780,458 | 867,588 | 960,199 | 9,863,684 | 10,412,046 |
| 入院 処方箋枚数 | 6,695 | 6,133 | 6,708 | 6,559 | 6,046 | 6,732 | 6,927 | 6,358 | 6,445 | 6,164 | 7,537 | 6,897 | 79,216 | 78,123 |
| 剤数 (件数) | 11,587 | 10,552 | 11,797 | 11,340 | 10,496 | 11,889 | 12,385 | 11,724 | 11,910 | 10,763 | 13,718 | 12,683 | 136,835 | 139,100 |
| 延べ剤数 | 65,879 | 62,982 | 67,546 | 66,445 | 65,588 | 71,689 | 108,717 | 69,130 | 74,473 | 62,346 | 102,439 | 76,043 | 853,749 | 838,683 |
| 服薬指導件数 | 643 | 507 | 577 | 455 | 504 | 392 | 520 | 445 | 486 | 439 | 544 | 445 | 6,012 | 5,523 |

医療行為統計表

平成21・22年度 医療行為統計表

| | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 【内視鏡業務】 | | | | | | | | | | | | |
| 胃ファイバー検査 内科 | 231 | 226 | 198 | 194 | 257 | 218 | 271 | 206 | 235 | 187 | 196 | 219 |
| 胃ファイバー検査 ドック | 40 | 48 | 86 | 66 | 155 | 150 | 142 | 144 | 118 | 132 | 112 | 137 |
| 気管支ファイバー検査 | 10 | 8 | 10 | 7 | 12 | 8 | 4 | 5 | 11 | 8 | 13 | 12 |
| 大腸ファイバー検査 | 124 | 122 | 100 | 88 | 126 | 82 | 117 | 119 | 112 | 73 | 96 | 99 |
| 上部止血（消化管止血術） | 7 | 3 | 6 | 5 | 8 | 15 | 11 | 8 | 6 | 8 | 5 | 5 |
| EVL（食道静脈瘤血漿術） | 5 | 5 | 2 | 2 | 3 | 6 | 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 6 |
| PEG（胃瘻造設術） | 14 | 8 | 7 | 7 | 16 | 17 | 12 | 14 | 13 | 12 | 9 | 16 |
| 上部EMR（粘膜切除）、ESD | 6 | 2 | 2 | 3 | 9 | 6 | 4 | 2 | 6 | 5 | 4 | 2 |
| 下部ポリーブク（ポリープ切除） | 23 | 17 | 9 | 12 | 10 | 21 | 16 | 19 | 1 | 16 | 14 | 22 |
| 下部EMR（粘膜切除） | 20 | 16 | 27 | 22 | 36 | 22 | 27 | 20 | 20 | 14 | 24 | 18 |
| ERCP（膵胆管造影）、ERBD | 10 | 20 | 9 | 17 | 2 | 15 | 2 | 15 | 6 | 11 | 9 | 10 |
| EST（乳頭切開術） | 5 | 8 | 8 | 8 | 5 | 2 | 6 | 8 | 10 | 6 | 6 | 4 |

| | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 【内視鏡業務】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 胃ファイバー検査 内科 | 205 | 230 | 216 | 236 | 241 | 239 | 224 | 218 | 266 | 198 | 259 | 228 | 2,799 | 2,599 |
| 胃ファイバー検査 ドック | 112 | 123 | 107 | 148 | 112 | 131 | 129 | 142 | 116 | 142 | 94 | 112 | 1,323 | 1,475 |
| 気管支ファイバー検査 | 14 | 10 | 9 | 10 | 6 | 9 | 8 | 12 | 5 | 7 | 15 | 8 | 117 | 104 |
| 大腸ファイバー検査 | 97 | 88 | 107 | 119 | 126 | 91 | 95 | 106 | 103 | 104 | 117 | 109 | 1,320 | 1,200 |
| 上部止血（消化管止血術） | 7 | 7 | 9 | 8 | 7 | 7 | 14 | 10 | 7 | 5 | 8 | 8 | 95 | 89 |
| EVL（食道静脈瘤血漿術） | 2 | 4 | | 5 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 | 3 | 4 | 29 | 47 |
| PEG（胃瘻造設術） | 13 | 12 | 15 | 6 | 14 | 12 | 10 | 10 | 11 | 12 | 15 | 1 | 149 | 127 |
| 上部EMR（粘膜切除）、ESD | 6 | 3 | 9 | 10 | 6 | 6 | 9 | 1 | 4 | 2 | 5 | 8 | 70 | 50 |
| 下部ポリーブク（ポリープ切除） | 22 | 26 | 17 | 28 | 16 | 23 | 7 | 28 | 16 | 17 | 12 | 27 | 163 | 256 |
| 下部EMR（粘膜切除） | 22 | 22 | 20 | 18 | 18 | 10 | 18 | 18 | 17 | 23 | 22 | 21 | 271 | 224 |
| ERCP（膵胆管造影）、ERBD | 15 | 9 | 11 | 18 | 11 | 15 | 12 | 21 | 10 | 23 | 5 | 17 | 102 | 191 |
| EST（乳頭切開術） | 7 | 19 | 6 | 10 | 4 | 12 | 1 | 12 | 2 | 10 | 2 | 13 | 62 | 112 |

資料

| | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 【その他業務】 | | | | | | | | | | | | |
| 在宅療法指導 | 85 | 78 | 72 | 84 | 82 | 77 | 79 | 65 | 68 | 65 | 65 | 69 |
| 分娩 | 50 | 51 | 41 | 56 | 54 | 51 | 52 | 62 | 60 | 52 | 54 | 57 |
| その他分娩 | 1 | 1 | 4 | 1 | | 2 | 1 | | | | 2 | 2 |
| 腎尿管結石破碎 | 10 | 5 | 9 | 12 | 22 | 9 | 17 | 9 | 10 | 22 | 12 | 14 |
| 超音波診断 計 | 964 | 1,011 | 946 | 884 | 1,166 | 1,121 | 1,157 | 1,063 | 1,100 | 1,015 | 1,110 | 1,123 |
| 内科 | 250 | 167 | 189 | 159 | 252 | 203 | 233 | 197 | 209 | 177 | 225 | 230 |
| 小児科 | | | 3 | | 1 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | |
| 外科 | 208 | 229 | 183 | 183 | 238 | 233 | 224 | 222 | 192 | 195 | 225 | 241 |
| 整形外科 | 1 | 1 | | | | 1 | | 2 | 2 | 1 | | |
| 脳神経外科 | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| 産婦人科 | 225 | 269 | 218 | 234 | 244 | 291 | 291 | 242 | 241 | 237 | 262 | 254 |
| 眼科 | 2 | 2 | 3 | 1 | 6 | 1 | 7 | 2 | 2 | | 2 | 2 |
| 耳鼻咽喉科 | 26 | 27 | 21 | 23 | 25 | 26 | 22 | 17 | 31 | 20 | 24 | 17 |
| 皮膚科 | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 泌尿器科 | 196 | 208 | 199 | 161 | 217 | 177 | 194 | 185 | 199 | 173 | 191 | 168 |
| 歯科口腔外科 | | | | | | | | | | | | |
| 麻酔科 | 5 | 7 | 3 | 8 | 3 | 5 | 12 | 3 | 14 | 6 | 3 | 5 |
| 放射線治療科 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 画像診断部 | | | 13 | | 4 | | | | | | | |
| 心臓血管外科 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | 2 | | 3 | | | 1 |
| 呼吸器外科 | | | 1 | | | | | | 2 | 2 | | 1 |
| 健康管理課 | 48 | 98 | 112 | 114 | 175 | 182 | 170 | 193 | 204 | 204 | 176 | 203 |

| | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 【その他業務】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 在宅療法指導 | 67 | 62 | 75 | 59 | 77 | 70 | 68 | 170 | 71 | 75 | 91 | 80 | 900 | 954 |
| 分娩 | 50 | 36 | 43 | 53 | 53 | 58 | 46 | 55 | 53 | 44 | 41 | 43 | 597 | 618 |
| その他分娩 | 2 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 3 | 1 | | 4 | 3 | 1 | 17 | 16 |
| 腎尿管結石破碎 | 11 | 9 | 13 | 14 | 11 | 9 | 13 | 12 | 8 | 8 | 9 | 13 | 145 | 136 |
| 超音波診断 計 | 965 | 1,047 | 1,020 | 1,136 | 1,095 | 1,069 | 968 | 1,055 | 1,010 | 994 | 1,038 | 1,124 | 12,539 | 12,642 |
| 内科 | 224 | 176 | 197 | 188 | 199 | 156 | 211 | 203 | 224 | 160 | 248 | 221 | 2,661 | 2,237 |
| 小児科 | 2 | | | | | | | 3 | | | | | 10 | 4 |
| 外科 | 206 | 233 | 191 | 259 | 208 | 206 | 209 | 227 | 199 | 238 | 215 | 219 | 2,498 | 2,685 |
| 整形外科 | 3 | 1 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | 9 | 6 |
| 脳神経外科 | 2 | 1 | | 2 | 2 | 1 | | | 1 | | | 1 | 6 | 6 |
| 産婦人科 | 283 | 229 | 228 | 238 | 295 | 247 | 248 | 199 | 239 | 196 | 262 | 229 | 3,036 | 2,865 |
| 眼科 | | 1 | | 4 | | 2 | 1 | 5 | | 1 | 2 | 6 | 25 | 27 |
| 耳鼻咽喉科 | 23 | 25 | 29 | 36 | 24 | 31 | 15 | 22 | 29 | 21 | 26 | 20 | 295 | 285 |
| 皮膚科 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 泌尿器科 | 214 | 178 | 173 | 172 | 210 | 190 | 163 | 156 | 179 | 146 | 194 | 198 | 2,329 | 2,112 |
| 歯科口腔外科 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 |
| 麻酔科 | 6 | 5 | 13 | 9 | 7 | 9 | 8 | 7 | 3 | 7 | 6 | 12 | 83 | 83 |
| 放射線治療科 | 1 | | | | | | | | | | 3 | | 5 | |
| 画像診断部 | | | | | | | | | | | | | 17 | |
| 心臓血管外科 | 1 | | | 3 | | 10 | | 3 | | | 2 | 3 | 11 | 24 |
| 呼吸器外科 | | 2 | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | 4 | 8 |
| 健康管理課 | | 196 | 188 | 224 | 150 | 217 | 112 | 228 | 134 | 224 | 79 | 215 | 1,548 | 2,298 |

| | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【リハビリテーション業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 消炎鎮痛等（器具） | 8 | | 1 | | | | | | 7 | | 1 | |
| 運動器リハビリテーション | 609 | 646 | 583 | 412 | 667 | 527 | 709 | 470 | 657 | 394 | 645 | 420 |
| 脳血管疾患リハビリテーション | 1,078 | 1,174 | 1,027 | 1,063 | 1,234 | 1,287 | 1,049 | 1,325 | 1,121 | 1,601 | 912 | 1,365 |
| 呼吸器リハビリテーション | 30 | 76 | 45 | 54 | 77 | 44 | 99 | 68 | 63 | 66 | 64 | 108 |
| 疾患対象外 | 16 | 22 | 19 | 9 | 28 | 21 | 27 | 26 | 24 | 18 | 25 | 17 |
| 心大血管疾患リハビリテーション | | 132 | 7 | 131 | 7 | 110 | 26 | 127 | 50 | 87 | 64 | 80 |
| 早期リハ加算 | 1,022 | 1,459 | 1,042 | 1,199 | 1,335 | 1,345 | 1,219 | 1,303 | 1,218 | 1,483 | 995 | 1,357 |
| リハビリテーション総合実施計画書 | 53 | 45 | 62 | 27 | 87 | 34 | 38 | 68 | 66 | 39 | 64 | 36 |
| 退院時リハビリ指導 | 23 | 37 | 34 | 24 | 33 | 34 | 90 | 46 | 31 | 29 | 27 | 23 |

| | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【リハビリテーション業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 消炎鎮痛等（器具） | 7 | | | | | | | | | | 4 | | 28 | |
| 運動器リハビリテーション | 617 | 484 | 607 | 483 | 548 | 585 | 503 | 378 | 606 | 392 | 788 | 490 | 7,539 | 5,681 |
| 脳血管疾患リハビリテーション | 887 | 1,324 | 878 | 1,023 | 762 | 1,246 | 1,112 | 1,338 | 1,229 | 1,345 | 1,202 | 1,480 | 12,491 | 15,571 |
| 呼吸器リハビリテーション | 64 | 90 | 74 | 41 | 105 | 71 | 105 | 31 | 71 | 58 | 66 | 55 | 863 | 762 |
| 疾患対象外 | 28 | 14 | 19 | 10 | 17 | 13 | 8 | 11 | 8 | 10 | 8 | 17 | 227 | 188 |
| 心大血管疾患リハビリテーション | 75 | 52 | 28 | 37 | 54 | 39 | 36 | 89 | 34 | 169 | 115 | 83 | 496 | 1,136 |
| 早期リハ加算 | 1,012 | 1,243 | 1,083 | 1,088 | 1,067 | 1,490 | 1,181 | 1,274 | 1,327 | 1,399 | 1,419 | 1,570 | 13,920 | 16,210 |
| リハビリテーション総合実施計画書 | 48 | 29 | 53 | 49 | 57 | 43 | 40 | 22 | 44 | 40 | 47 | 46 | 659 | 478 |
| 退院時リハビリ指導 | 25 | 31 | 23 | 40 | 33 | 41 | 30 | 31 | 26 | 30 | 33 | 43 | 408 | 409 |

| | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【給食業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 常食 | 5,339 | 5,890 | 5,599 | 5,430 | 5,293 | 5,406 | 5,696 | 5,641 | 6,462 | 5,410 | 6,161 | 6,084 |
| 全粥 | 11,433 | 13,306 | 11,215 | 13,480 | 11,738 | 12,561 | 13,024 | 12,866 | 11,973 | 13,160 | 12,409 | 11,718 |
| 五分 | 153 | 160 | 196 | 175 | 219 | 248 | 161 | 172 | 183 | 186 | 160 | 160 |
| 三分 | 227 | 251 | 175 | 148 | 198 | 145 | 199 | 176 | 185 | 216 | 189 | 236 |
| 重湯 | 293 | 301 | 364 | 221 | 300 | 292 | 344 | 259 | 445 | 310 | 264 | 314 |
| 特別食 | 13,040 | 12,552 | 13,461 | 13,322 | 13,115 | 13,171 | 13,115 | 13,335 | 13,170 | 12,616 | 12,213 | 13,048 |
| 計 | 30,485 | 32,460 | 31,010 | 32,776 | 30,863 | 31,823 | 32,539 | 32,449 | 32,418 | 31,898 | 31,396 | 31,560 |

| | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 【給食業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 常食 | 6,401 | 6,549 | 5,782 | 5,347 | 5,372 | 4,949 | 5,749 | 4,420 | 5,359 | 5,396 | 5,511 | 5,514 | 68,724 | 66,036 |
| 全粥 | 12,502 | 11,879 | 12,530 | 11,980 | 12,319 | 13,140 | 12,508 | 12,886 | 12,647 | 11,435 | 14,183 | 12,022 | 148,481 | 150,433 |
| 五分 | 272 | 184 | 215 | 153 | 149 | 133 | 244 | 132 | 173 | 193 | 246 | 281 | 2,371 | 2,177 |
| 三分 | 295 | 196 | 354 | 200 | 274 | 168 | 300 | 132 | 190 | 211 | 275 | 170 | 2,861 | 2,249 |
| 重湯 | 381 | 331 | 312 | 372 | 284 | 269 | 463 | 181 | 496 | 248 | 518 | 475 | 4,464 | 3,573 |
| 特別食 | 13,317 | 11,714 | 13,214 | 12,623 | 12,112 | 13,038 | 12,777 | 13,321 | 13,090 | 13,341 | 12,461 | 14,172 | 155,085 | 156,253 |
| 計 | 33,168 | 30,853 | 32,407 | 30,675 | 30,510 | 31,697 | 32,041 | 31,072 | 31,955 | 30,824 | 33,194 | 32,634 | 381,986 | 380,721 |

| | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【栄養指導業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 外来栄養指導 | 165 | 178 | 135 | 145 | 168 | 173 | 190 | 150 | 147 | 177 | 156 | 131 |
| 入院栄養指導 | 42 | 38 | 22 | 36 | 40 | 33 | 38 | 33 | 25 | 26 | 24 | 37 |
| 集団栄養指導 | 14 | 13 | 10 | 14 | 12 | 13 | 10 | 13 | 6 | 3 | 11 | 15 |
| 後期高齢者指導 | 1 | | | | | | 2 | | | | | |

| | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 累計 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【栄養指導業務】 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 外来栄養指導 | 171 | 143 | 171 | 170 | 156 | 180 | 148 | 155 | 179 | 176 | 213 | 131 | 1,999 | 1,909 |
| 入院栄養指導 | 32 | 32 | 30 | 17 | 30 | 36 | 29 | 18 | 36 | 39 | 47 | 37 | 395 | 382 |
| 集団栄養指導 | 18 | 14 | 15 | 8 | 15 | 12 | 14 | 11 | 10 | 13 | 21 | 10 | 156 | 139 |
| 後期高齢者指導 | 2 | | | | 2 | | | | | | | | 7 | |

医師科別人員／職員数の推移

平成21・22年度 医師科別人員

| 部署名 | 平成21年4月 | 平成22年4月 | 備考 |
|----------|---------|---------|-----|
| 内科 | 呼吸器科 | 3 | 4 |
| | 腎・膠原病内科 | 4 | 3 |
| | 糖尿病代謝内科 | 3 | 3 |
| | 消化器科 | 7 | 7 |
| | 循環器科 | 6 | 6 |
| 合計 | 23 | 23 | |
| 小児科 | 3 | 3 | |
| 外科 | 8 | 10 | |
| 整形外科 | 6 | 6 | |
| 脳神経外科 | 4 | 4 | |
| 心臓血管外科 | 3 | 3 | |
| 産婦人科 | 5 | 6 | |
| 眼科 | 2 | 2 | |
| 耳鼻咽喉科 | 2 | 3 | |
| 皮膚科 | 3 | 3 | |
| 泌尿器科 | 4 | 4 | |
| 歯科口腔外科 | 2 | 2 | |
| 放射線治療科 | 2 | 2 | |
| 画像診断部 | 5 | 5 | |
| 麻酔科 | 6 | 7 | |
| 精神科・心療内科 | 1 | 1 | 非常勤 |
| 形成外科 | 0 | 0 | |
| 呼吸器外科 | 2 | 2 | |
| 健康管理課 | 1 | 1 | |
| 病理研究検査科 | 1 | 1 | |
| 臨床専門研修医 | 1 | 0 | |
| 臨床研修医2年次 | 9 | 8 | |
| 臨床研修医1年次 | 8 | 5 | |
| 合計 | 101 | 101 | |

平成21・22年度 職員数の推移

| 区分 | 平成21年4月 | 平成22年4月 |
|----------|---------|---------|
| 医師 | 81 | 86 |
| 歯科医師 | 2 | 2 |
| 臨床研修医 | 17 | 13 |
| 専修医 | 1 | — |
| 医師部門 計 | 101 | 101 |
| 助産師 | 15 | 22 |
| 保健師 | 76 | 81 |
| 看護師 | 386 | 401 |
| 准看護師 | 9 | 9 |
| 看護部門 計 | 486 | 513 |
| 薬剤師 | 25 | 24 |
| 放射線技師 | 21 | 23 |
| 臨床検査技師 | 39 | 41 |
| 臨床工学技士 | 9 | 10 |
| 理学療法士 | 9 | 9 |
| マッサージ師 | — | — |
| 作業療法士 | 1 | 1 |
| 管理栄養士 | 9 | 8 |
| 歯科衛生士 | 3 | 1 |
| 歯科技工士 | — | — |
| 視能訓練士 | 2 | 2 |
| 言語聴覚士 | 2 | 2 |
| 臨床心理士 | — | — |
| 社会福祉士 | 4 | 4 |
| 介護福祉士 | — | — |
| 医療技術部門 計 | 124 | 125 |
| 事務 | 36 | 41 |
| 事務部門 計 | 36 | 41 |
| ボイラ技師 | 2 | 2 |
| 電気技師 | 1 | 1 |
| 運転手 | — | — |
| 調理師 | — | — |
| 保清員 | 1 | 1 |
| 保育士 | — | — |
| 看護助手 | 1 | 1 |
| 介護員 | — | — |
| 技術助手 | 4 | 3 |
| 労務部門 計 | 9 | 8 |
| 出向 | — | — |
| 合計 | 756 | 788 |

学会施設認定

| 種別 |
|---------------------------------|
| 日本内科学会認定内科専門医教育関連病院 |
| 日本内科学会認定内科専門医制度研修医指導 |
| 日本呼吸器学会教育認定施設 |
| 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 |
| 日本消化器病学会認定施設 |
| 日本糖尿病学会認定教育施設 |
| 日本腎臓学会研修施設 |
| 日本透析医学会認定施設 |
| 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 |
| 日本小児科学会認定医制度研修施設 |
| 日本小児科学会小児科専門医研修施設 |
| 日本外科学会認定医制度修練施設 |
| 日本外科学会外科専門医制度修練施設 |
| 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 |
| 日本胸部外科学会（認定医）指定施設 |
| 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 |
| 日本脳神経外科学会指定専門医訓練施設 |
| 日本脳卒中学会認定研修教育病院 |
| 日本整形外科学会認定医制度研修施設 |
| 日本整形外科学会専門医制度研修施設 |
| 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 |
| 日本泌尿器科学会専門医教育施設 |
| 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設 |
| 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 |
| 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 |
| 日本麻酔科学会認定病院 |
| 日本救急医学会認定救急科専門医指定施設 |
| 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 |
| 日本老年医学会認定施設 |
| 日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設 |
| 呼吸器外科専門医制度関連施設 |
| 日本アレルギー学会認定教育施設 |
| 日本放射線腫瘍学会準認定施設 |
| 日本核医学会専門医教育病院 |
| 日本口腔外科学会専門医制度研修機関 |
| 日本病態栄養学会認定「栄養管理・NST実施施設」 |
| 日本がん治療認定医機構認定研修施設 |
| マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ検診施設 |
| 日本高血圧学会専門医認定施設 |
| 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設 |
| ペインクリニック専門医指定研修施設 |
| PEG・在宅医療研究会認定胃瘻造設施設・管理施設 |
| 日本呼吸器学会教育関連病院 |
| 優良二日ドック施設 |
| 腹部ステントグラフト実施施設 |

編集後記

この度 2011 年より従来出版しておりました「業績集」の形態から大きく変更し、「年報」として出版することとなりました。2011 年は当院にとって「地域救命救急センター」開設という大きな変化の年に当たり、これを機会に研究・論文業績のみでなく日常診療において各診療科が行っていること、また各部署において取り組んでいることを院外の多くの方に知っていただくことを目的として編集いたしました。

自分達の日常活動について業績集編集を契機に日常活動を振り返ることで活動内容に対する反省が行われ、次のステップに進むモチベーションを上げる効果があるものと考えます。当院の活動内容を院外の方々に知っていただくことが当院のスタッフに参加していただく端緒となり、また当地区における病診連携が推進され一助となれば幸いに思います。

今回初めての編集でありまだまだ完成されていない部分が多々あり、お見苦しい点もあるものと思いますが今後さらなる改善を目指して参ります。本業績集が広島県西部地区の地域医療の発展に貢献できることを願っております。

2012 年 3 月
業績集編集委員長
辻山 修司

業績集編集委員会

| | | | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 小林 平 | 荘川 知己 | 船越 真人 | 渋谷 正顕 | 香山 茂平 |
| 古土井 明 | 新澤 正秀 | 近藤 丈博 | 山田 清貴 | 熊田 高志 |
| 徳毛 健太郎 | 高畑 明 | 寺田 英子 | 水野 誠士 | 小松 浩基 |
| 玉田 雅美 | 角井 碧 | 久保 和子 | 佃 真由美 | 川上 多聞 |
| 山根 保博 | 井手 映理子 | | | |

JA広島総合病院 年報 2009・2010年度

平成 24 年 3 月 発行

発 行 広島県厚生農業協同組合連合会
広島総合病院

広島県廿日市市地御前 1 - 3 - 3

TEL 0829-36-3111

印 刷 株式会社 広島県農協印刷所



JA広島総合病院
JA. HIROSHIMA General Hospital